
高齢者の生活に関する調査

報告書

平成 29 年 3 月
葛 飾 区



目 次

第1章 調査実施の概要	1
第2章 調査結果の要旨	6
第3章 調査結果（全体の結果報告）	20
1 調査の回答者〔認定を受けていない者：問1、要支援・要介護認定者：問1〕	20
2 「あて名のご本人」の属性	
（1）性別と年齢〔認定を受けていない者：問2、要支援・要介護認定者：問2〕	22
（2）要支援・要介護度〔要支援・要介護認定者：問3〕	26
（3）現在生活している場所〔要支援・要介護認定者：問4〕	27
3 家族について	
（1）世帯状況〔認定を受けていない者：問3、問3-1、要支援・要介護認定者：問5、問5-1〕	29
（2）日中独居になる日数〔認定を受けていない者：問3-2、要支援・要介護認定者：問5-2〕	32
4 住まいについて	
（1）自宅の種類と所有〔認定を受けていない者：問4①②、要支援・要介護認定者：問6①②〕	35
（2）生活居室の階数〔認定を受けていない者：問4③、要支援・要介護認定者：問6③〕	36
（3）エレベーターの有無〔認定を受けていない者：問4④、要支援・要介護認定者：問6④〕	37
（4）住まいの地域〔認定を受けていない者：問5、要支援・要介護認定者：問7〕	40
5 健康状態について	
（1）疾病の状況〔認定を受けていない者：問6①、要支援・要介護認定者：問8①〕	42
（2）かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無	
〔認定を受けていない者：問6②、要支援・要介護認定者：問8②〕	45
（3）医療機器の利用、医療処置の有無〔要支援・要介護認定者：問9①〕	47
（4）訪問診療（往診）の有無〔要支援・要介護認定者：問9②〕	50
（5）訪問看護の有無〔要支援・要介護認定者：問9③〕	52
6 要支援・要介護認定の申請経験と申請をしたことがない理由について	
（1）要支援・要介護申請経験〔認定を受けていない者：問7〕	54
（2）要支援・要介護申請をしたことがない理由〔認定を受けていない者：問7-1〕	56
7 日常生活における自立について	
（1）基本的な動作〔認定を受けていない者：問9①、要支援・要介護認定者：問11①〕	58

(2) 日常生活に関わる動作〔認定を受けていない者：問 9②、要支援・要介護認定者：問 11②〕	61
(3) 歩行や移動、転倒〔認定を受けていない者：問 10①、要支援・要介護認定者：問 12①〕	64
(4) 食事・栄養、歯や口の健康〔認定を受けていない者：問 10②、要支援・要介護認定者：問 12②〕	67
(5) 社会活動や日常生活〔認定を受けていない者：問 10③、要支援・要介護認定者：問 12③〕	70
(6) 外出の頻度〔認定を受けていない者：問 8、要支援・要介護認定者：問 10〕	73
(7) 認知の状況〔認定を受けていない者：問 11、要支援・要介護認定者：問 13〕	75
(8) 判断の状況〔認定を受けていない者：問 12、要支援・要介護認定者：問 14〕	78
(9) 伝達の状況〔認定を受けていない者：問 13、要支援・要介護認定者：問 15〕	80

8 就労について

(1) 収入を伴う仕事の有無〔認定を受けていない者：問 16〕	82
(2) 働いている理由〔認定を受けていない者：問 16〕	84
(3) 働いていない理由〔認定を受けていない者：問 16〕	86

9 社会参加について

(1) 現在参加している生きがい・社会参加活動〔認定を受けていない者：問 17〕	88
(2) 今後参加したい生きがい・社会参加活動〔認定を受けていない者：問 18〕	91

10 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）について

(1) 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度 〔認定を受けていない者：問 22、要支援・要介護認定者：問 18〕	95
--	----

11 介護予防について

(1) 日常生活で行っている介護予防〔認定を受けていない者：問 23〕	99
(2) 介護予防として興味のある活動〔認定を受けていない者：問 19〕	102
(3) 介護予防事業の認知度〔認定を受けていない者：問 24〕	105

12 日常生活の支援について

(1) 身近な地域の生活の支援者〔認定を受けていない者：問 14、要支援・要介護認定者：問 16〕	109
(2) 災害時の対応や避難等について〔認定を受けていない者：問 15、要支援・要介護認定者：問 17〕	113
(3) 在宅生活の継続に必要な条件〔認定を受けていない者：問 21〕	117

13 介護保険サービスについて（居宅）

(1) 介護サービス、介護予防サービスの利用状況〔要支援・要介護認定者：問 19〕	119
(2) 介護サービス、介護予防サービスを利用していない理由 〔要支援・要介護認定者：問 19-1〕	121
(3) ケアプランの満足度〔要支援・要介護認定者：問 20〕	124
(4) 介護サービスの満足度〔要支援・要介護認定者：問 21〕	126
(5) 自宅で生活する上で利用したいサービス〔要支援・要介護認定者：問 22〕	128

(6) 利用限度額に対する利用割合〔要支援・要介護認定者：問 23〕	131
(7) 利用限度額まで利用しない理由〔要支援・要介護認定者：問 23-1〕	134
(8) 介護保険にかかる費用の負担者〔要支援・要介護認定者：問 25・35〕	136
1 4 介護保険サービスについて（施設等）	
(1) 施設等での生活の満足度〔要支援・要介護認定者：問 33〕	138
(2) 施設等に対する希望〔要支援・要介護認定者：問 34〕	140
1 5 今後の生活の希望について	
(1) 認定を受けていない者が希望する今後の暮らし方〔認定を受けていない者：問 20〕	144
(2) 要支援・要介護認定者が希望する今後の暮らし方〔要支援・要介護認定者：問 24〕	147
(3) 施設を利用したい理由〔要支援・要介護認定者：問 24-1〕	150
1 6 介護者の状況	
(1) 介護者の続柄〔要支援・要介護認定者：問 32〕	153
(2) 主な介護者の年齢〔要支援・要介護認定者：問 32-1〕	156
(3) 主な介護者が困っていること〔要支援・要介護認定者：問 32-2〕	158
1 7 介護保険料等について	
(1) 介護保険料の所得段階〔認定を受けていない者：問 25、要支援・要介護認定者：問 26・36〕	161
(2) 介護保険料に関する考え方〔認定を受けていない者：問 26、要支援・要介護認定者：問 27・37〕	162
(3) 介護保険料のあり方〔認定を受けていない者：問 27、要支援・要介護認定者：問 28・38〕	166
1 8 区の高齢者施策等について	
(1) 福祉、介護の情報源〔認定を受けていない者：問 28、要支援・要介護認定者：問 29〕	170
(2) 区に充実して欲しい高齢者施策〔認定を受けていない者：問 29、要支援・要介護認定者：問 30〕	173
(3) 自由記述	178

資料編（アンケート調査票）

高齢者の生活に関する調査票 認定を受けていない者
 高齢者の生活に関する調査票 要支援・要介護認定者

◆ 第 1 章 調査実施の概要 ◆

第 1 章 調査実施の概要

1 調査目的

「高齢者の生活に関する調査」は、葛飾区が平成 29 年度に策定する高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成 30～32 年度）の基礎的な資料とするため、区内在住の 65 歳以上の高齢者を、要支援・要介護の認定を受けていない方（以下「認定を受けていない者」という。）と、要支援・要介護の認定を受けている方（以下「要支援・要介護認定者」という。）に分け、それぞれ生活実態や意向等を把握、分析することを目的とする。

2 調査の概要

調査対象者	認定を受けていない者	要支援・要介護認定者
抽出方法	介護保険台帳をもとに、要支援・要介護の認定を受けていない 65 歳以上の区民（平成 28 年 10 月 1 日現在）の中から地域・年齢を考慮した上で無作為に抽出	介護保険台帳をもとに、要支援・要介護の認定を受けている 65 歳以上の区民（平成 28 年 10 月 1 日現在）の中から地域・年齢を考慮した上で無作為に抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収	
調査期間	平成 28 年 10 月 21 日～11 月 18 日	
調査票の回収結果	配布数 : 2,200 票	配布数 : 1,800 票
	有効回収数 : 1,564 票	有効回収数 : 1,158 票
	有効回収率 : 71.1%	有効回収率 : 64.3%

3 調査結果の見方

基本的なページ構成

◆タイトルについて

- ・認定を受けていない者だけを対象とした設問の表題には、〔認定を受けていない者：問〇〕と表示している。
- ・要支援・要介護認定者だけを対象とした設問の表題には、〔要支援・要介護認定者：問〇〕と表示している。
- ・第2章の調査結果要旨では、〔認定を受けていない者のみ〕〔要支援・要介護認定者のみ〕の表示とし、双方を対象とした設問には、表示を行っていない。

8 就労について

(1) 収入を伴う仕事の有無〔認定を受けていない者：問16〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、ふだん収入を伴う仕事(パート・アルバイトを含む)をしていますか。1つに○をして、それぞれ理由もお答えください。

認定を受けていない者について、収入を伴う仕事の有無をみると、仕事を「している」は32.4%、「していない」は62.1%であり、「していない」が6割以上を占めている。

《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、仕事を「している」割合が最も多いのは65～69歳の49.9%であり、次いで70～74歳では38.2%が「している」状況にある。70歳以上になると、「していない」割合が5割を超えている。

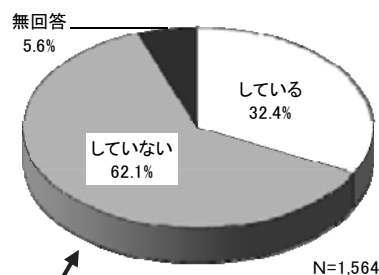
《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「している」(32.5%→32.4%)は横ばい、「していない」(60.6%→62.1%)は増加している。

◆コメントについて

- ・割合が高い回答を中心に記述している。
- ・「無回答」については記述しない。
- ・《〇〇別》については、必要に応じて、年齢別、要支援・要介護度別などの集計結果について記述している。

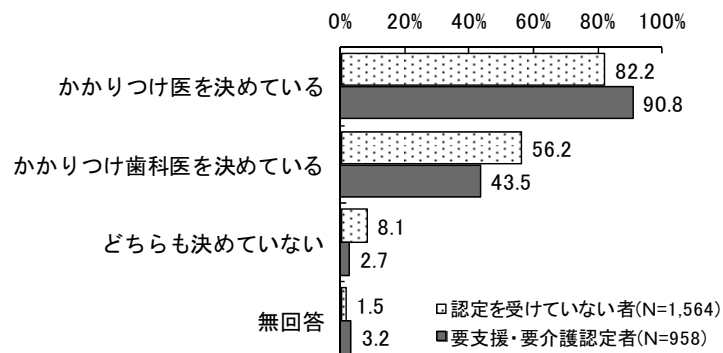
【収入を伴う仕事の有無(単数回答)】



◆グラフについて

- ・図表中の「N」は、設問への回答者数を示す。
- ・選択肢に記載された数値は、単純集計結果(%)を示す。
- ・各回答の割合(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、各回答の割合(%)の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答(あてはまるものすべてに○)の設問においては、各回答の割合(%)の合計は100%にならない。

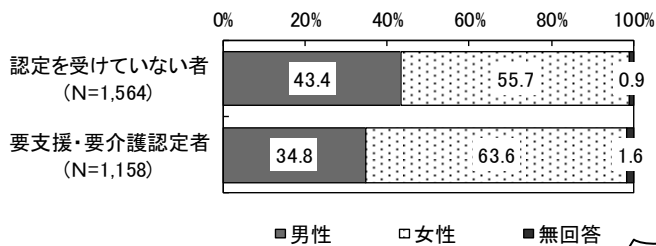
棒グラフの見方



◆棒グラフについて

- 棒グラフについては、薄い色の棒が認定を受けていない者、濃い色の棒が要支援・要介護認定を受けている者の割合を示す。

帯グラフの見方



◆帯グラフについて

- 帯グラフについては、上段が認定を受けていない者、下段が要支援・要介護認定を受けている者の割合を示す。

クロス集計表の見方

要支援・要介護認定者	合計	かかりつけ医を決めている	かかりつけ歯科医を決めている	どちらも決めていない	無回答
全 体	958 (100.0)	870 (90.8)	417 (43.5)	26 (2.7)	31 (3.2)
要支援・要介護度別	要支援 1	136 (100.0)	128 (94.1)	72 (52.9)	3 (2.2)
	要支援 2	184 (100.0)	166 (90.2)	84 (45.7)	4 (2.2)
	要介護 1	154 (100.0)	134 (87.0)	72 (46.8)	6 (3.9)
	要介護 2	233 (100.0)	217 (93.1)	92 (39.5)	7 (3.0)
	要介護 3	98 (100.0)	93 (94.9)	41 (41.8)	2 (2.0)
	要介護 4	62 (100.0)	57 (91.9)	22 (35.5)	1 (1.6)
	要介護 5	52 (100.0)	42 (80.8)	15 (28.8)	2 (3.8)
	無回答	39 (100.0)	33 (84.6)	19 (48.7)	1 (2.6)

◆クロス集計表について

- クロス集計結果は集計表で記載する。
- 集計表の数値の上段は実数、下段は(%)を示す。

経年比較の見方

- 「葛飾区高齢者の生活に関する調査報告書 平成 26 年 3 月」より、経年での変化をみることが可能な設問について、経年比較を行っている。
- 選択肢が同じではない場合などは、個別に説明を付している。
- ± 0.5 ポイント以内は横ばい、 $\pm 0.6 \sim 0.9$ ポイントは微増・微減、 ± 1 ポイント以上は増加・減少と記している。

4 日常生活圏域

日常生活圏域は、高齢者が住み慣れた地域で生活を続けられるように支援するため、区の地域を7つに分け、それぞれの地域ごとに、地域の住民を対象としたサービスを実施することを目的とした圏域である。

区の日常生活圏域は、丁目以下の住所で区分けを行っているが、本調査では、調査の便宜上、下表に掲載した町名と丁目のように地域を分類するものとする。

【 日常生活圏域区分 】

地域名	町名	丁目
水元地域	水元	1、2、3、4、5丁目
	東水元	1、2、3、4、5、6丁目
	南水元	1、2、3、4丁目
	水元公園	全域
	西水元	1、2、3、4、5、6丁目
金町・新宿地域	新宿	1、2、3、4、5、6丁目
	金町	2、3、4、5、6丁目
	東金町	1、2、3、4、5、6、7、8丁目
	金町浄水場	全域
柴又・高砂地域	高砂	1、2、3、4、5、6、7、8丁目
	鎌倉	1、2、3、4丁目
	細田	1、2、3、4、5丁目
	柴又	1、2、3、4、5、6、7丁目
	金町	1丁目
亀有・青戸地域	青戸	2、4、5、6、7、8丁目
	亀有	1、2、3、4、5丁目
	白鳥	3、4丁目
	西亀有	3、4丁目
南綾瀬・お花茶屋・堀切地域	堀切	1、2、3、4、5、6、7、8丁目
	小菅	1、2、3、4丁目
	西亀有	1、2丁目
	お花茶屋	1、2、3丁目
	白鳥	1、2丁目
	東堀切	1、2、3丁目
立石・東四つ木地域	立石	1、2、3、4、5、6、7、8丁目
	青戸	1、3丁目
	東立石	1、2、3、4丁目
	東四つ木	1、2、3、4丁目
	四つ木	1、2、3、4、5丁目
	宝町	1、2丁目
奥戸・新小岩地域	東新小岩	1、2、3、4、5、6、7、8丁目
	西新小岩	1、2、3、4、5丁目
	新小岩	1、2、3、4丁目
	奥戸	1、2、3、4、5、6、7、8、9丁目

◆ 第2章 調査結果の要旨 ◆

第2章 調査結果の要旨

1 調査の回答者

■認定を受けていない者は「あて名のご本人」が90.3%、要支援・要介護認定者では「あて名のご本人」が47.1%

- 認定を受けていない者は「あて名のご本人」が90.3%である。
- 要支援・要介護認定者では「あて名のご本人」が47.1%を占め、「あて名の方のご家族」は45.3%となっている。

2 「あて名のご本人」の属性

(1) 性別と年齢

■性別は、認定を受けていない者、要支援・要介護認定者ともに「女性」が5～6割台
■年齢は、認定を受けていない者は「70～74歳」、要支援・要介護認定者は「80～84歳」が最も多い

- 認定を受けていない者は「女性」55.7%、「男性」43.4%となっている。
- 要支援・要介護認定者では「女性」が63.6%、「男性」が34.8%となっている。
- 認定を受けていない者は「70～74歳」の26.6%、「65～69歳」の25.6%などの割合が多く、65～74歳の前期高齢者があわせて52.2%を占める。認定を受けていない者の平均年齢は74.7歳である。
- 要支援・要介護認定者では「80～84歳」が25.3%、「85～89歳」が25.0%であり、80歳代が50.3%となる。要支援・要介護認定者の平均年齢は83.0歳である。

(2) 要支援・要介護度〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者の要支援・要介護度は「要介護2」が22.6%で最も多い

- 要支援・要介護認定者について、あて名のご本人の要支援・要介護度をみると、「要介護2」が22.6%で最も多く、次いで「要支援2」16.3%、「要介護1」14.2%となっている。
- 最も割合が少ないのは、「要介護5」の9.2%である。

(3)現在生活している場所〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者の生活している場所は「自宅」が80.8%を占める

- **要支援・要介護認定者**について、あて名のご本人が生活している場所をみると、「自宅」で暮らしている割合が80.8%を占める。
- 自宅以外では、「特別養護老人ホーム」5.9%、「有料老人ホーム・ケアハウス」3.5%、「老人保健施設」2.4%の順に多いが、「特別養護老人ホーム」「有料老人ホーム・ケアハウス」以外はいずれも3%以内となっている。

3 家族について

(1)世帯状況

■認定を受けていない者、要支援・要介護認定者ともに、「家族と同居(65歳以上ではない)」の占める割合が最も多い

- **認定を受けていない者**では最も多い割合は「家族と同居(65歳以上ではない)」の31.6%であり、次いで「夫婦のみ世帯(65歳以上)」の28.5%、「ひとり暮らし」が15.9%で続いている。
- **要支援・要介護認定者**では「家族と同居(65歳以上ではない)」の32.2%が最も多く、次いで「ひとり暮らし」24.5%、「夫婦のみ世帯(65歳以上)」22.0%となっている。
- **認定を受けていない者**と**要支援・要介護認定者**を比較すると、「ひとり暮らし」および「家族と同居(65歳以上ではない)」は**要支援・要介護認定者**に多く、「夫婦のみ世帯」は**認定を受けていない者**に多くなっている。

(2)日中独居になる日数

■認定を受けていない者、要支援・要介護認定者ともに、「半日以上ひとりになることはほとんどない」が5割前後を占める

- **認定を受けていない者**では52.2%が「半日以上ひとりになることはほとんどない」と回答している。次いで「週4日以上」の17.2%となっている。
- **要支援・要介護認定者**では「半日以上ひとりになることはほとんどない」が49.2%、次いで「週4日以上」の19.7%である。

4 住まいについて

(1) 自宅の種類と所有

■認定を受けていない者、要支援・要介護認定者ともに、現在の住まいは「一戸建て(持ち家)」が6割弱を占める

- 認定を受けていない者では「一戸建て(持ち家)」が59.5%、次いで「集合住宅(持ち家)」が12.7%となっている。
- 要支援・要介護認定者では「一戸建て(持ち家)」が57.2%、次いで「集合住宅(公営賃貸)」が14.6%となっている。

5 健康状態について

(1) 疾病の状況

■認定を受けていない者は「高血圧・歯の病気・目の病気」、要支援・要介護認定者は「高血圧・筋肉や骨の病気・目の病気」が上位3位

- 認定を受けていない者では、何らかの疾病がある人(100%から「特になし」および「無回答」を引いた数値)が81.3%を占めている。具体的な疾病では「高血圧」43.0%、「歯の病気」21.2%、「目の病気」19.4%などが多い割合になっている。
- 要支援・要介護認定者では、何らかの疾病がある人(100%から「特になし」および「無回答」を引いた数値)が92.1%となっている。具体的な疾病では「高血圧」40.4%、「筋肉や骨の病気」29.2%、「目の病気」23.9%などが2割を超えている。

(2) かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無

■「かかりつけ医を決めている」は、認定を受けていない者では82.2%、要支援・要介護認定者では90.8%、「かかりつけ歯科医を決めている」は、認定を受けていない者では56.2%、要支援・要介護認定者では43.5%

- 認定を受けていない者では、「かかりつけ医を決めている」82.2%、「かかりつけ歯科医を決めている」56.2%である。
- 要支援・要介護認定者では、「かかりつけ医を決めている」は90.8%、「かかりつけ歯科医を決めている」43.5%である。

(3) 訪問診療(往診)の有無〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者では、訪問診療(往診)を「受けている」20.5%

- 要支援・要介護認定者では、「受けている」20.5%、「受けていない」74.2%である。

(4) 訪問看護の有無〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者では、訪問看護を「受けている」18.6%

- 要支援・要介護認定者では、「受けている」18.6%、「受けていない」75.8%である。

6 要支援・要介護認定の申請経験

(1) 要支援・要介護申請経験〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者について、要支援・要介護申請経験が「ある」は3.5%

- 認定を受けていない者について、要支援・要介護申請経験をみると、要支援・要介護認定の申請をしたことが「ある」割合は3.5%であり、94.5%はしたことが「ない」と回答している。

7 日常生活における自立について

(1) 基本的な動作

■要支援・要介護認定者は「階段の昇り降り・50メートル以上歩く・入浴をする」について、一人でできない割合が多い

- 認定を受けていない者では「どれも一人でできる」が93.7%で最も多い。具体的に一人でできない動作をみると、「50メートル以上歩く」2.1%、「階段の昇り降り」1.9%、「入浴をする」1.1%、「支えなしで座る」1.0%などが1%以上が一人でできないと回答した動作である。
- 要支援・要介護認定者では「階段の昇り降り」36.7%、「50メートル以上歩く」36.6%、「入浴をする」は32.2%が、一人でできないと回答している。また、「支えなしで座る」「着替える」も、約17%が一人でできないと回答している。

(2) 日常生活に関わる動作

■要支援・要介護認定者は「バスや電車を使った外出・掃除や洗濯をする・預貯金の出し入れをする」について、一人でできない割合が多い

- **認定を受けていない者**では「どれも一人でできる」が 86.7%で最も多くなっている。具体的に一人でできない動作をみると、「預金の出し入れをする」4.6%、「バスや電車を使った外出」4.5%、「掃除や洗濯をする」4.1%、「食事の用意をする」3.7%、「請求書の支払いをする」3.6%、「買い物をする」3.1%、「ごみを集積所に出す」3.1%などとなっている。
- **要支援・要介護認定者**では「バスや電車を使った外出」は 58.0%が一人でできないと回答しており、他に比べて一人でできない割合が多くなっている。次いで「掃除や洗濯をする」49.5%、「預貯金の出し入れをする」47.0%、「ごみを集積所に出す」46.5%、「買い物をする」46.3%、「食事の用意をする」45.1%なども、45%以上が一人でできないと回答している。

(3) 外出の頻度

■外出について、認定を受けていない者は「ほぼ毎日」が 55.4%、要支援・要介護認定者は「週2～3日」の 34.4%が最も多い

- **認定を受けていない者**では「ほぼ毎日」が 55.4%と過半数を占める。次いで「週4～5日」21.0%、「週2～3日」14.3%などの順に多い。「週1日」は4.0%、「週1日未満」は3.1%であり、いずれも1割以下となっている。
- **要支援・要介護認定者**では「週2～3日」の 34.4%が最も多く、次いで「週1日未満」17.1%、「週4～5日」16.5%、「ほぼ毎日」15.8%が続く。

8 就労について

(1) 収入を伴う仕事の有無〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者について、仕事を「している」は 32.4%、「していない」が 62.1%

- **認定を受けていない者**について、収入を伴う仕事の有無をみると、仕事を「している」は 32.4%、「していない」は 62.1%であり、「していない」が6割以上を占めている。
- 年齢別にみると、仕事を「している」割合が最も多いのは65～69歳の 49.9%であり、次いで70～74歳では 38.2%が「している」状況にある。

(2)働いている理由・働いていない理由〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者の働いている理由の第１位は「家計の維持・補助のため」、働いていない理由の第１位は「高齢だから」

- 認定を受けていない者について、収入を伴う仕事をしている理由をみると、「家計の維持・補助のため」が56.1%と多くなっている。
- 認定を受けていない者について、収入を伴う仕事をしていない理由をみると、「高齢だから」が57.3%で最も多くなっている。

9 社会参加について

(1)現在参加している生きがい・社会参加活動〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者について、参加している割合が多い生きがい・社会参加活動は「趣味・楽しみのための活動」「ジョギングやスポーツ活動」「町会・自治会の活動」

- 認定を受けていない者について、現在参加している生きがい・社会参加活動をみると、「特に何も行っていない」が37.6%であり、何らかの活動をしている(100%から「特に何も行っていない」および「無回答」を引いた数値)人の割合は53.4%となっている。
- 具体的な活動としては「趣味・楽しみのための活動に参加している」29.4%、「ジョギングやスポーツ活動を行っている」23.3%、「町会・自治会の活動に参加している」16.8%などの割合が多くなっている。

(2)今後参加したい生きがい・社会参加活動〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者について、参加意向が多い生きがい・社会参加活動は「趣味・楽しみのための活動」「健康維持、介護予防のための活動」「スポーツ活動」「町会・自治会の活動」

- 認定を受けていない者について、今後参加したい生きがい・社会参加活動をみると、「特に参加したい活動はない」が29.5%であり、何らかの活動をしたい割合(100%から「特に参加したい活動はない」および「無回答」を引いた数値)は51.2%となっている。
- 具体的に活動したい内容としては「趣味・楽しみのための活動」25.3%、「健康維持、介護予防のための活動」12.3%、「スポーツ活動」11.6%、「町会・自治会の活動」11.3%となっている。

10 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)について

(1) 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度

■“知っている”は、認定を受けていない者では 59.1%、要支援・要介護認定者では 70.0%

- **認定を受けていない者**では、「知っているが、利用したことはない」52.4%、次いで「知らない、聞いたことがない」が 36.9%、「知っているし、利用している（利用したことがある）」6.7%と続いている。高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の利用の有無にかかわらず、“知っている”は 59.1%である。
- **要支援・要介護認定者**では、「知っているし、利用している（利用したことがある）」が 43.8%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」26.2%、「知らない、聞いたことがない」24.9%となっている。高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の利用の有無にかかわらず、“知っている”は 70.0%となっている。
- **認定を受けていない者**に比べて、**要支援・要介護認定者**の方が“知っている”割合が多い。

11 介護予防について

(1) 日常生活で行っている介護予防〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者は 87.3%が日常生活で何らかの介護予防に取り組んでいる

- **認定を受けていない者**について、日常生活で行っている介護予防をみると、「散歩や軽い運動など、身体を動かすようにしている」が最も多く、75.9%が取り組んでいる。
- 次いで「頭を使うように心がけている」62.5%、「人との会話を楽しむようにしている」48.7%などが続いている。
- 「特に何もしていない」は 9.9%で、何かをしている人の割合（100%から「特に何もしていない」および「無回答」を引いた数値）は 87.3%となっている。

(2) 介護予防として興味のある活動〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者は 81.1%が何らかの介護予防に興味を持っている

- **認定を受けていない者**について、介護予防として興味のある活動をみると、「筋力をつけ、体力の維持・向上をはかる」は 59.6%が興味があると回答している。
- 次いで「適切な食事のとり方を知り、栄養の改善につなげる」38.1%、「楽しく食事をするために、歯や歯茎などの口の中の健康保持・増進を行う」36.6%、「外出の増加、人とのふれあいの機会をつくる」36.6%などについて、3 割以上が興味を持っている結果となっている。
- 「上記のようなことには、興味はない」は 10.0%であり、反対に、何か興味がある人の割合（100%から「上記のようなことには、興味はない」および「無回答」を引いた数値）は 81.1%となっている。

(3) 介護予防事業の認知度〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者が介護予防事業を“知っている”割合は 56.2%

- **認定を受けていない者**について、介護予防事業の認知度をみると、「知っているが、利用したことはない」45.7%、次いで「知らない、聞いたことがない」が 39.9%、「知っているし、利用している（利用したことがある）」が 10.5%で続いている。
- 介護予防事業の利用の有無にかかわらず、“知っている”という割合はあわせて 56.2%となっている。

12 日常生活の支援について

(1) 身近な地域の生活の支援者

■何らかの支援者がいる割合は、認定を受けていない者では 84.6%、要支援・要介護認定者では 86.9%

- **認定を受けていない者**について、身近な地域に生活の支援者がいるかをみると、「そのような人はいない」が 10.7%であり、何らかの支援者がいる割合（100%から「そのような人はいない」および「無回答」を引いた数値）は 84.6%となっている。具体的な支援者としては「具合が悪くなった時などに、連絡できる人」が 67.2%で最も多い。反対に最も少ない割合は、「災害時に避難を支援してくれる人」の 32.9%となっている。

- **要支援・要介護認定者**について、身近な地域に生活の支援者がいるかをみると、「そのような人はいない」が 6.7%であり、何らかの支援者がいる割合（100%から「そのような人はいない」および「無回答」を引いた数値）は 86.9%となっている。具体的な支援者としては「具合が悪くなった時などに、連絡できる人」が 70.5%で最も多く、「災害時に避難を支援してくれる人」が 38.2%で最も少なくなっている。

(2)災害時の対応や避難等について

■要支援・要介護認定者は「避難所まで一人では避難できない」が 58.5%

- **認定を受けていない者**では「寝室の家具の固定をしていない」が 36.3%で最も多く、次いで「災害時のための水や食料などの備蓄をしていない」の 32.4%が多くなっている。
- **要支援・要介護認定者**では「避難所まで一人では避難できない」が 58.5%であり、他を大きく上回っている。「災害時のための水や食料などの備蓄をしていない」「災害時に情報を得ることができるかどうか心配である」「寝室の家具の固定をしていない」「避難時に電気のブレーカーを下（おろ）すことができない」「身体状況等から、通常の避難所では暮らせない」についても、4割以上があてはまると回答している。

(3)在宅生活の継続に必要な条件〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者が考える在宅生活の継続に必要な条件は、自身の健康等の維持・向上などに加えて、「家事ができること」など、回答者自身に関する条件をあげた割合が多い

- **認定を受けていない者**について、在宅生活の継続に必要な条件をみると、「健康状態や身体の機能を維持・向上できること」78.5%、「家事ができること」66.0%など、回答者自身に関する条件をあげた割合が6割を超えて多くなっている。
- 次いで「身近な地域で利用できる介護サービスがあること」35.1%、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがあること」34.5%、「日常の不安（火の始末、戸締り、振り込め詐欺等）がなくなること」31.8%となり、“身近なサービス・緊急対応・日常の不安解消”などの支援体制について、3割以上が在宅生活の継続に必要な条件としてあげている。

13 介護保険サービスについて(居宅)

(1) 介護サービス、介護予防サービスの利用状況〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者について、介護サービス、介護予防サービスを「利用している」は 74.0%、「利用していない」は 19.5%

- 要支援・要介護認定者について、介護サービス、介護予防サービスの利用状況を見ると、「利用している」が 74.0%を占め、「利用していない」は 19.5%となっている。

(2) ケアプラン・介護サービスの満足度〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者について、「ケアプランは希望どおりである」が 74.9%、「介護サービスに満足している」は 72.5%

- 要支援・要介護認定者で介護サービス、介護予防サービスを利用している人に、ケアプランの満足度をたずねたところ、「ケアプランは希望どおりである」が 74.9%を占めている。
- 介護サービスの満足度をたずねたところ、「介護サービスに満足している」は 72.5%である。

(3) 自宅で生活する上で利用したいサービス〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者が自宅で生活する上で利用したいサービスは、「訪問介護(ホームヘルプ)」が最も多い

- 要支援・要介護認定者について、自宅で生活する上で利用したいサービスをみると、「訪問介護(ホームヘルプ)」が 28.2%で最も多くなっている。
- 次いで「通所介護(デイサービス)」24.6%、「福祉用具貸与・特定福祉用具販売」23.7%、「通所リハビリテーション(デイケア)」20.1%などが 2 割を超えて利用意向が多いサービスとなっている。
- 利用意向が少ないサービスは「小規模多機能型居宅介護」5.5%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」8.1%、「認知症対応型通所介護」8.4%、「夜間対応型訪問介護」9.1%であり、これらの地域密着型サービスは利用意向が 1 割未満となっている。

14 介護保険サービスについて(施設等)

(1)施設等での生活の満足度〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者について、施設等に入所している人の 75.8%が施設等での生活に“満足”

- 要支援・要介護認定者で施設等に入所している人について、施設等での生活の満足度をみると、「どちらかと言えば満足」の 43.5%が最も多く、次いで「満足」が 32.3%となり、あわせて 75.8%が“満足”と回答している。
- 「どちらかと言えば不満」は 10.8%、「不満」は 2.7%であり、あわせて 13.5%が“不満足”な状況にある。

15 今後の生活の希望について

(1)認定を受けていない者が希望する今後の暮らし方〔認定を受けていない者のみ〕

■認定を受けていない者は“自宅”で暮らしたいという希望があわせて 56.3%

- 認定を受けていない者について、介護が必要となった場合の暮らし方をみると、「介護保険制度を利用しながら自宅で暮らしたい」41.8%、「家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」14.5%など、“自宅”で暮らしたいという希望があわせて 56.3%となっている。
- 次いで「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」9.0%、「高齢者専用の住宅等に組み替えて暮らしたい」7.1%、「病院に入院したい」2.1%、「有料老人ホームに入所したい」1.9%が続くが、「わからない」という意見も 19.0%を占めている。

(2)要支援・要介護の者が希望する今後の暮らし方〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者は“現在の住まいで生活したい”という希望が 68.1%

- 要支援・要介護認定者について、希望する今後の暮らし方をみると、「介護サービスを主に利用し、現在の住まいで生活したい」の 48.7%が最も多く、次いで「家族の介護を主に受け、現在の住まい、家族の住まいで生活したい」が 19.4%となっている。これらをあわせた“現在の住まいで生活したい”という希望は 68.1%となるが、一方で、「わからない」という意見も 10.8%である。

- 施設等で暮らしたいという意見では、「特別養護老人ホームで生活したい」4.2%、「高齢者専用の住宅等に住み替えて生活したい」2.9%などとなっている。

16 介護者の状況

(1) 介護者の続柄〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者の主な介護者は「息子・娘」24.7%、「配偶者」20.1%の割合が多い

- 要支援・要介護認定者について、あて名のご本人を介護している人の続柄をみると、介護者（介護に携わっている人：複数回答）は「息子・娘」「配偶者」「ホームヘルパー、介護職員などのサービス提供者」の割合が多く、「息子・娘」は39.2%が介護にかかわっている結果となっている。
- 主な介護者（単数回答）になると、「息子・娘」24.7%、「配偶者」20.1%、「ホームヘルパー、介護職員などのサービス提供者」9.3%、「息子・娘の配偶者」4.4%となっており、家族や親族が主な介護者である割合（100%から「ホームヘルパー、介護職員などのサービス提供者」と「特にいない」と「無回答」を引いた数値）は51.0%である。

(2) 主な介護者の年齢〔要支援・要介護認定者のみ〕

■要支援・要介護認定者の主な介護者は50～70歳代である割合が62.3%、平均年齢は65.6歳

- 要支援・要介護認定者を主に介護している人の年齢をみると、「70歳代」23.4%、「50歳代」22.1%、「60歳代」16.8%などの割合が多く、50～60歳代である割合は全体の38.9%、50～70歳代である割合は全体の62.3%を占めている。
- 主な介護者の平均年齢は65.6歳、最高年齢は92歳となっている。

(3) 主な介護者が困っていること [要支援・要介護認定者のみ]

■要支援・要介護認定者の主な介護者が介護で困っていることがあると回答した割合は 71.5%、具体的には「精神的に疲れている」の 44.7%が最も多い

- 要支援・要介護認定者を主に介護している人が困っていることは、「精神的に疲れている」44.7%、「身体的に疲れている」42.6%、「自分の時間が少なくなった」40.8%が4割を超えて多い割合になっている。
- 困っていることがあると回答した割合（100%から「特に困っていることはない」と「無回答」を引いた数値）は 71.5%となっている。

17 介護保険料等について

(1) 介護保険料に関する考え方

■「高いと思う」は、認定を受けていない者では 44.0%、要支援・要介護認定者では 23.3%

- 認定を受けていない者について、介護保険料に関する考え方をみると、「高いと思う」が 44.0%を占めている。次いで「わからない」20.6%、「どちらとも言えない」17.1%の順に多くなっている。
- 要支援・要介護認定者では「わからない」の 31.6%が最も多く、次いで「高いと思う」23.3%、「どちらとも言えない」18.4%、「適当である」15.1%となっている。
- 「高いと思う」は、要支援・要介護認定者に比べて、認定を受けていない者が 20.7ポイント上回っている。一方で、「適当である」「どちらとも言えない」「わからない」は要支援・要介護認定者が、認定を受けていない者を上回っている。

(2) 介護保険料のあり方

■認定を受けていない者、要支援・要介護認定者ともに「どちらとも言えない」が最も多い

- 認定を受けていない者では「どちらとも言えない」が 38.0%を占め、次いで「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方がよい」19.6%、「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方がよい」17.3%、「わからない」16.4%の順になっている。

- **要支援・要介護認定者**では、**認定を受けていない者**と同様に、「どちらとも言えない」が 37.0%を占めて最も多いが、次いで「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方が良い」21.0%、「わからない」17.1%、「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方が良い」14.8%となっている。

18 区の高齢者施策等について

(1)福祉、介護の情報源

■認定を受けていない者は「区の広報、回覧板、ポスター」、要支援・要介護認定者は「ケアマネジャー」が最も多い

- 福祉、介護の情報源をみると、**認定を受けていない者**では「区の広報、回覧板、ポスター」の 67.3%が突出して多く、次いで「友人、知人」17.5%、「新聞」14.1%、「テレビ」11.6%が続いている。「特にどこからも得ていない」という人も 18.0%となっている。
- **要支援・要介護認定者**では「ケアマネジャー」が 54.0%と 5 割を超えて多く、次いで「区の広報、回覧板、ポスター」39.6%、「家族」17.2%となっている。

(2)区に充実して欲しい高齢者施策

■認定を受けていない者、要支援・要介護認定者ともに「自宅で利用できるサービスを充実させること」が最も多い

- **認定を受けていない者**では「自宅で利用できるサービスを充実させること」の 49.7%が最も多く、次いで「困った時に気軽に相談できる場所を整備すること」の 42.8%「特別養護老人ホームなどの入所施設を整備すること」の 39.1%、「介護が必要になるのを防ぐため介護予防サービスを充実させること」の 36.6%が続いている。
- **要支援・要介護認定者**では「自宅で利用できるサービスを充実させること」が 45.0%で最も多く、次いで「困った時に気軽に相談できる場所を整備すること」33.7%、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」・「特別養護老人ホームなどの入所施設を整備すること」31.1%が続いている。

◆ 第 3 章 調査結果 ◆

第3章 調査結果（全体の結果報告）

1 調査の回答者〔認定を受けていない者：問1、要支援・要介護認定者：問1〕

設問 この調査票に記入される方はどなたですか。（1つに○）

調査に回答した人は、**認定を受けていない者**は「あて名のご本人」が90.3%である。

要支援・要介護認定者では「あて名のご本人」が47.1%、「あて名の方のご家族」が45.3%を占めている。「あて名のご本人」が回答している割合は、**認定を受けていない者**に比べて少なくなっている。

《要支援・要介護度別》

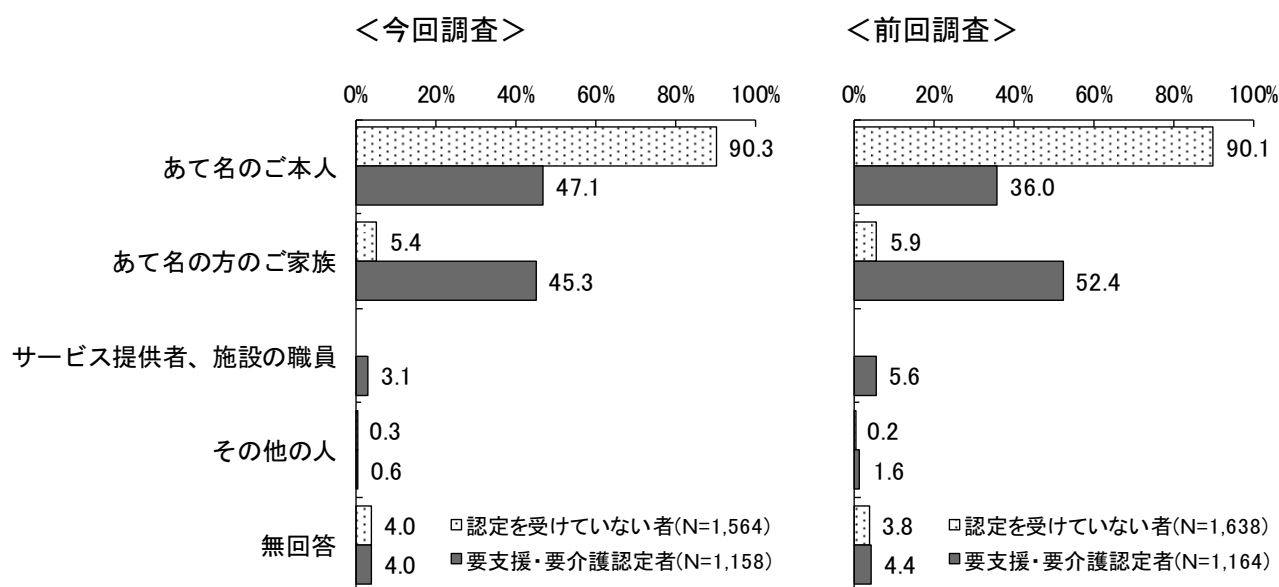
要支援1、要支援2、要介護1においては「あて名のご本人」が最も多いが、要介護2から要介護5では「あて名の方のご家族」が「あて名のご本人」の割合を上回っている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**について「あて名のご本人」（90.1%→90.3%）は横ばいである。

要支援・要介護認定者は、「あて名のご本人」（36.0%→47.1%）が増加し、「あて名の方のご家族」（52.4%→45.3%）は減少となっている。

【 調査の回答者（単数回答） 】



※「サービス提供者、施設の職員」の選択肢は、要支援・要介護認定者のみ

【 要支援・要介護認定者－調査の回答者（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		回答者数	あて名のご本人	あて名の方のご家族	サービス提供者、 施設の職員	その他の人	無回答
全 体		1,158 (100.0)	545 (47.1)	524 (45.3)	36 (3.1)	7 (0.6)	46 (4.0)
要支援・ 要介護度別	要支援1	142 (100.0)	120 (84.5)	17 (12.0)	0 (－)	1 (0.7)	4 (2.8)
	要支援2	189 (100.0)	153 (81.0)	26 (13.8)	2 (1.1)	0 (－)	8 (4.2)
	要介護1	165 (100.0)	81 (49.1)	74 (44.8)	4 (2.4)	1 (0.6)	5 (3.0)
	要介護2	262 (100.0)	117 (44.7)	124 (47.3)	11 (4.2)	1 (0.4)	9 (3.4)
	要介護3	135 (100.0)	34 (25.2)	96 (71.1)	3 (2.2)	2 (1.5)	0 (－)
	要介護4	112 (100.0)	15 (13.4)	85 (75.9)	5 (4.5)	2 (1.8)	5 (4.5)
	要介護5	106 (100.0)	1 (0.9)	93 (87.7)	9 (8.5)	0 (－)	3 (2.8)
	無回答	47 (100.0)	24 (51.1)	9 (19.1)	2 (4.3)	0 (－)	12 (25.5)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

2 「あて名のご本人」の属性

(1)性別と年齢〔認定を受けていない者：問 2、要支援・要介護認定者：問 2〕

設問 あなた(あて名のご本人)の性別、平成28年10月1日現在の満年齢をお答えください。

①性別

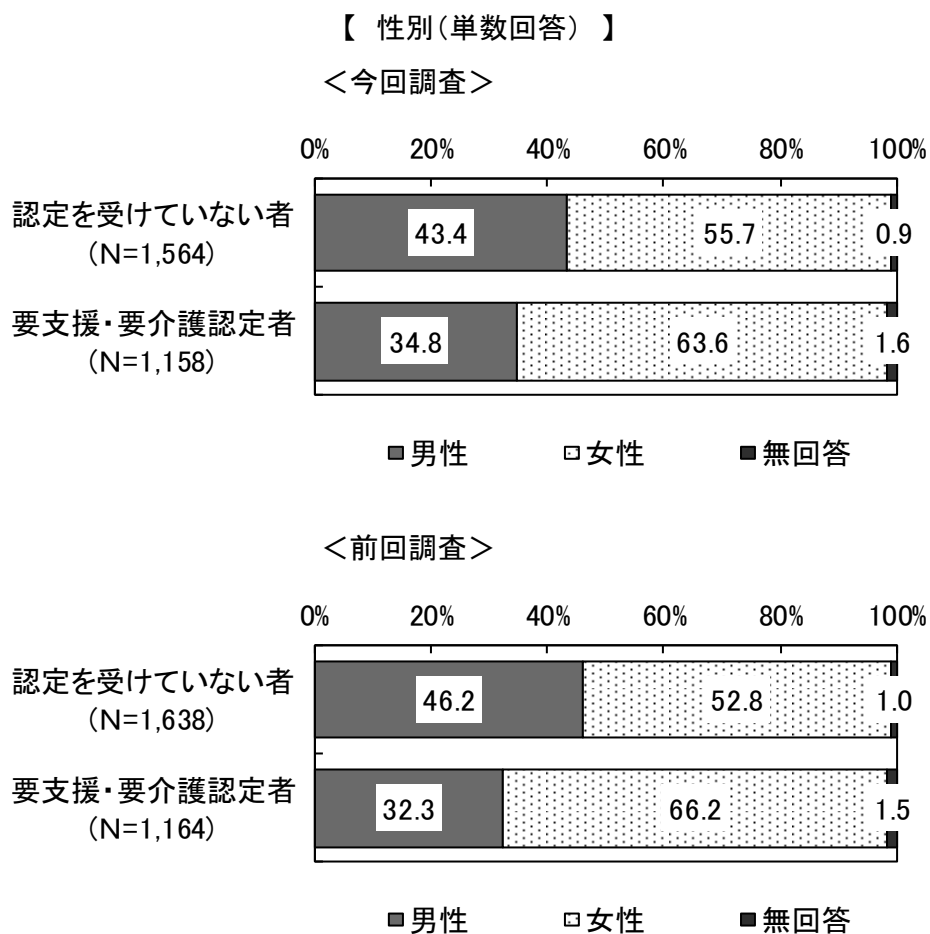
あて名のご本人の性別は、**認定を受けていない者**は「女性」55.7%、「男性」43.4%となっている。

要支援・要介護認定者では「女性」が63.6%、「男性」が34.8%となっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**について「女性」(52.8%→55.7%)は増加、「男性」(46.2%→43.4%)は減少している。

要支援・要介護認定者は、「女性」(66.2%→63.6%)は減少、「男性」(32.3%→34.8%)は増加している。



②年齢

あて名のご本人の年齢をみると、**認定を受けていない者**は「70～74 歳」の 26.6%、「65～69 歳」の 25.6%などの割合が多く、65～74 歳の前期高齢者があわせて 52.2%を占める。年齢が高くなるにしたがい割合は減少し、「90 歳以上」は最も少ない 1.5%となっている。**認定を受けていない者**の平均年齢は 74.7 歳である。

要支援・要介護認定者では「80～84 歳」が 25.3%、「85～89 歳」が 25.0%であり、80 歳代が 50.3%を占める。最も割合が少ないのは、「65～69 歳」の 5.2%となっている。**要支援・要介護認定者**の平均年齢は 83.0 歳である。

《要支援・要介護度別》

要支援 1 から要介護 1 においては「80～84 歳」の割合が最も多いが、要介護 2 から要介護 4 では「85～89 歳」、要介護 5 では「90 歳以上」の割合が最も多くなっている。

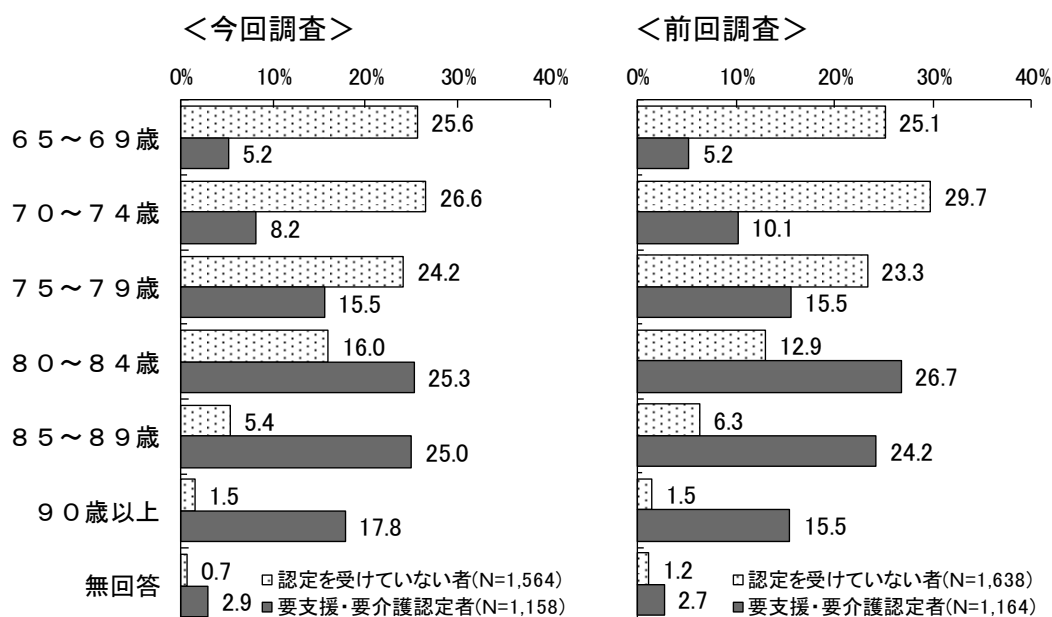
要支援 1 の平均年齢は 81.2 歳、同様に、要支援 2 は 81.5 歳、要介護 1 は 82.6 歳、要介護 2 は 83.1 歳、要介護 3 は 83.7 歳、要介護 4 は 85.5 歳、要介護 5 は 86.0 歳である。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**について増加しているのは「80～84 歳」（12.9%→16.0%）である。

要支援・要介護認定者では「90 歳以上」（15.5%→17.8%）が増加している。

【 年齢(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者一年齢(要支援・要介護度別) 】

要支援・要介護認定者		合計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全 体		1,158 (100.0)	60 (5.2)	95 (8.2)	180 (15.5)	293 (25.3)	290 (25.0)	206 (17.8)	34 (2.9)
要支援・要介護度別	要支援1	142 (100.0)	4 (2.8)	11 (7.7)	40 (28.2)	48 (33.8)	26 (18.3)	12 (8.5)	1 (0.7)
	要支援2	189 (100.0)	8 (4.2)	25 (13.2)	37 (19.6)	54 (28.6)	45 (23.8)	19 (10.1)	1 (0.5)
	要介護1	165 (100.0)	6 (3.6)	10 (6.1)	26 (15.8)	52 (31.5)	49 (29.7)	16 (9.7)	6 (3.6)
	要介護2	262 (100.0)	18 (6.9)	29 (11.1)	27 (10.3)	63 (24.0)	68 (26.0)	52 (19.8)	5 (1.9)
	要介護3	135 (100.0)	8 (5.9)	8 (5.9)	20 (14.8)	27 (20.0)	32 (23.7)	32 (23.7)	8 (5.9)
	要介護4	112 (100.0)	8 (7.1)	3 (2.7)	8 (7.1)	24 (21.4)	35 (31.3)	32 (28.6)	2 (1.8)
	要介護5	106 (100.0)	5 (4.7)	5 (4.7)	12 (11.3)	17 (16.0)	26 (24.5)	37 (34.9)	4 (3.8)
	無回答	47 (100.0)	3 (6.4)	4 (8.5)	10 (21.3)	8 (17.0)	9 (19.1)	6 (12.8)	7 (14.9)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者一平均年齢(要支援・要介護度別) 】

平均年齢 全体	83.0 歳
要支援1	81.2 歳
要支援2	81.5 歳
要介護1	82.6 歳
要介護2	83.1 歳
要介護3	83.7 歳
要介護4	85.5 歳
要介護5	86.0 歳

(2)要支援・要介護度〔要支援・要介護認定者:問3〕

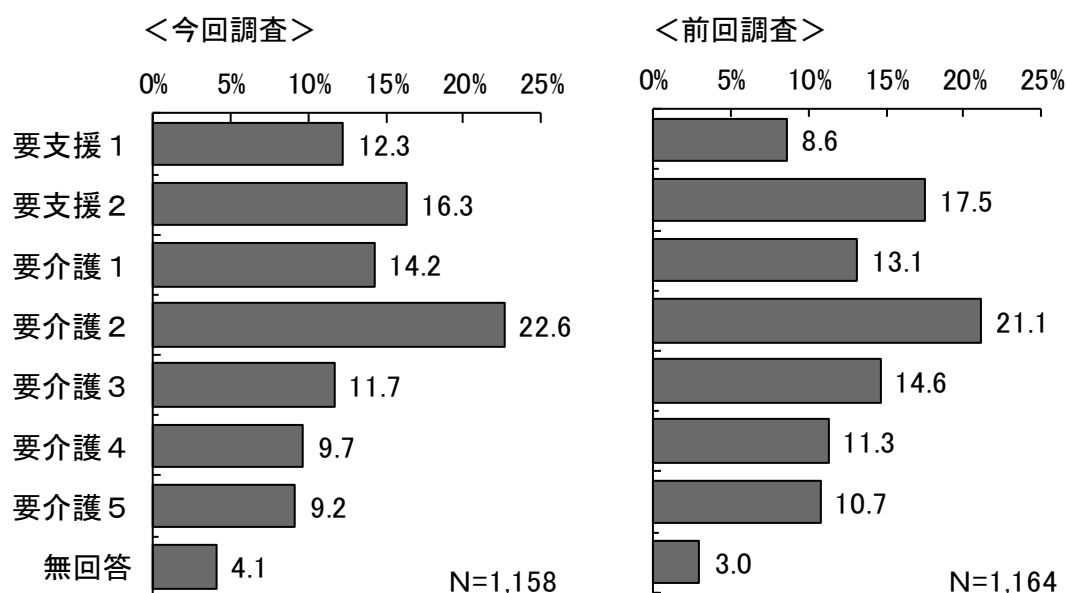
設問 あなた(あて名のご本人)の現在の要介護度をお答えください。(1つに○)

要支援・要介護認定者について、あて名のご本人の要支援・要介護度をみると、「要介護2」が22.6%で最も多く、次いで「要支援2」16.3%、「要介護1」14.2%となっている。最も割合が少ないのは、「要介護5」の9.2%である。

《性別》

性別にみると、男性は「要介護2」の24.8%、「要介護1」の14.9%、女性は「要介護2」の21.4%、「要支援2」の18.3%の順に多くなっている。

【 要支援・要介護度(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－要支援・要介護度(性別) 】

要支援・要介護認定者		合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
全 体		1,158 (100.0)	142 (12.3)	189 (16.3)	165 (14.2)	262 (22.6)	135 (11.7)	112 (9.7)	106 (9.2)	47 (4.1)
性別	男性	403 (100.0)	50 (12.4)	51 (12.7)	60 (14.9)	100 (24.8)	53 (13.2)	40 (9.9)	25 (6.2)	24 (6.0)
	女性	737 (100.0)	92 (12.5)	135 (18.3)	104 (14.1)	158 (21.4)	81 (11.0)	72 (9.8)	78 (10.6)	17 (2.3)
	無回答	18 (100.0)	0 (—)	3 (16.7)	1 (5.6)	4 (22.2)	1 (5.6)	0 (—)	3 (16.7)	6 (33.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3)現在生活している場所〔要支援・要介護認定者：問 4〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在どこで生活していますか。(1つに○)

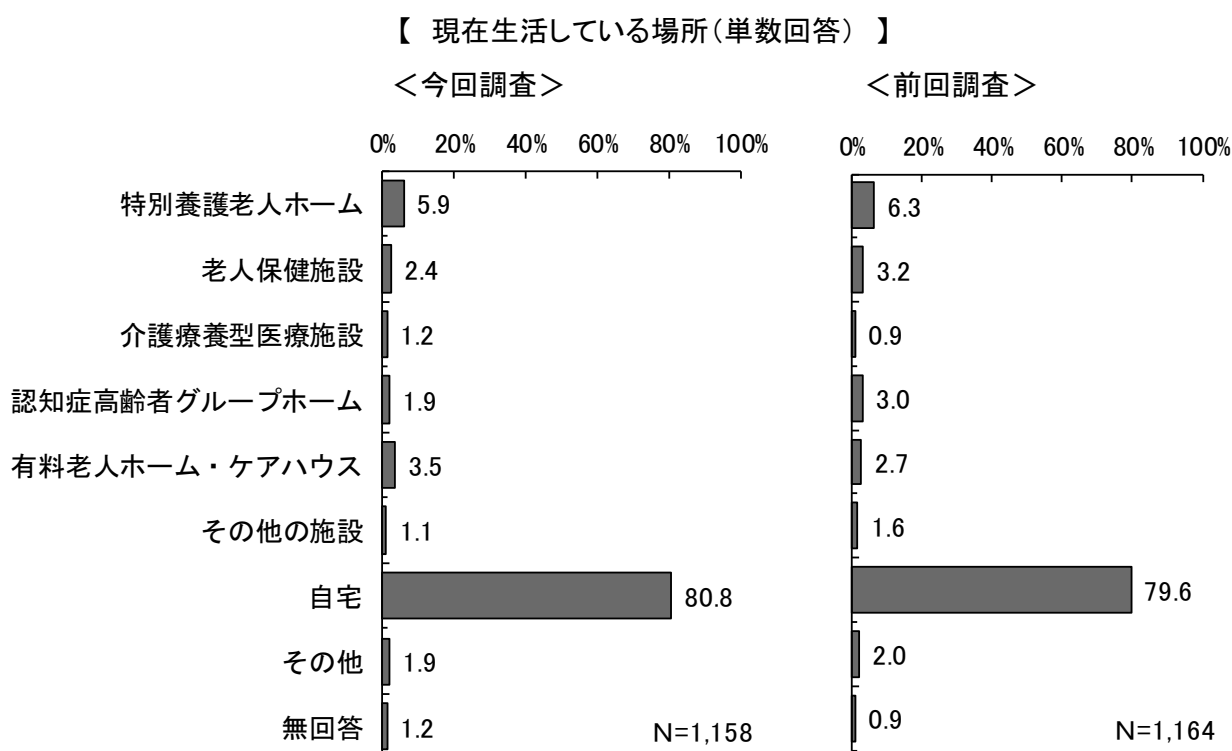
要支援・要介護認定者について、あて名のご本人が生活している場所をみると、「自宅」で暮らしている割合が 80.8%を占める。自宅以外では、「特別養護老人ホーム」5.9%、「有料老人ホーム・ケアハウス」3.5%、「老人保健施設」2.4%の順に多いが、「特別養護老人ホーム」と「有料老人ホーム・ケアハウス」以外はいずれも 3%以内となっている。

《要支援・要介護度別》

要支援 1 から要介護 1 では、「自宅」で生活している割合が 9 割を超えている。「自宅」の割合は要介護 2 では 87.0%、要介護 3 では 72.6%、要介護 4 では 51.8%となり、要介護 5 では 44.3%となる。また、要介護 4 および要介護 5 は、「特別養護老人ホーム」が 2 割台となっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**要支援・要介護認定者**では「自宅」(79.6%→80.8%)が増加している。



※「老人保健施設」「介護療養型医療施設」「自宅」の選択肢は、調査票では () 書きで説明を付しているが、報告書では掲載を省略している

【 要支援・要介護認定者－現在生活している場所（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	介護療養型 医療施設	認知症高齢 者グループ ホーム
全 体		1,158 (100.0)	68 (5.9)	28 (2.4)	14 (1.2)	22 (1.9)
要支援・要介護度別	要支援1	142 (100.0)	1 (0.7)	0 (－)	0 (－)	0 (－)
	要支援2	189 (100.0)	0 (－)	1 (0.5)	0 (－)	0 (－)
	要介護1	165 (100.0)	2 (1.2)	0 (－)	1 (0.6)	3 (1.8)
	要介護2	262 (100.0)	3 (1.1)	3 (1.1)	1 (0.4)	5 (1.9)
	要介護3	135 (100.0)	13 (9.6)	7 (5.2)	1 (0.7)	6 (4.4)
	要介護4	112 (100.0)	23 (20.5)	14 (12.5)	2 (1.8)	3 (2.7)
	要介護5	106 (100.0)	24 (22.6)	2 (1.9)	9 (8.5)	4 (3.8)
	無回答	47 (100.0)	2 (4.3)	1 (2.1)	0 (－)	1 (2.1)

要支援・ 要介護認定者 表 2		有料老人 ホーム・ ケアハウス	その他の 施設	自宅	その他	無回答
全 体		41 (3.5)	13 (1.1)	936 (80.8)	22 (1.9)	14 (1.2)
要支援・要介護度別	要支援1	2 (1.4)	1 (0.7)	134 (94.4)	2 (1.4)	2 (1.4)
	要支援2	1 (0.5)	3 (1.6)	183 (96.8)	1 (0.5)	0 (－)
	要介護1	2 (1.2)	1 (0.6)	149 (90.3)	5 (3.0)	2 (1.2)
	要介護2	11 (4.2)	3 (1.1)	228 (87.0)	5 (1.9)	3 (1.1)
	要介護3	5 (3.7)	2 (1.5)	98 (72.6)	0 (－)	3 (2.2)
	要介護4	6 (5.4)	0 (－)	58 (51.8)	4 (3.6)	2 (1.8)
	要介護5	14 (13.2)	0 (－)	47 (44.3)	5 (4.7)	1 (0.9)
	無回答	0 (－)	3 (6.4)	39 (83.0)	0 (－)	1 (2.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

3 家族について

(1) 世帯状況

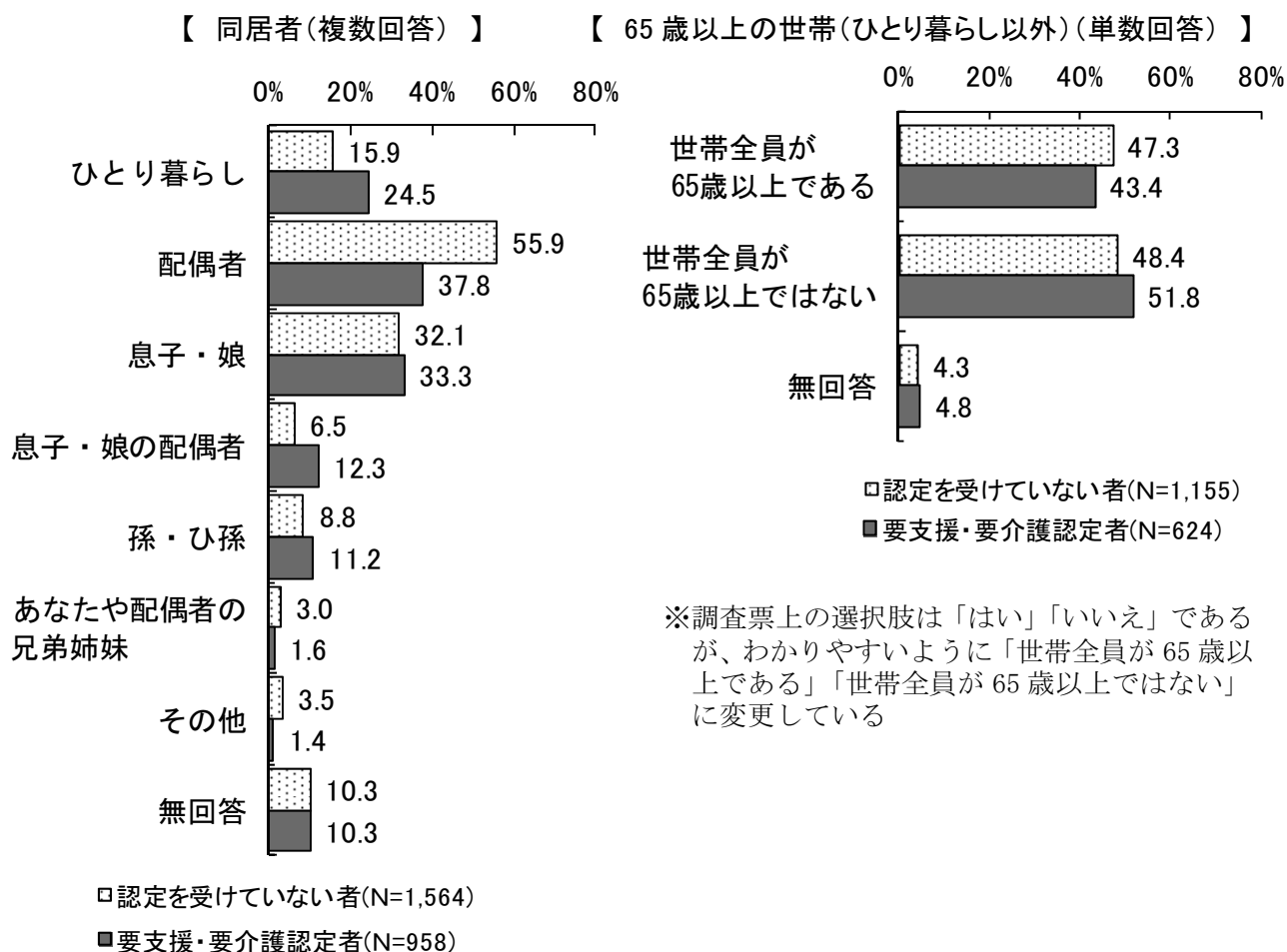
〔認定を受けていない者：問 3、問 3-1、要支援・要介護認定者：問 5、問 5-1〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在どなたと一緒に住まいますか。
(同居している場合は、同居している方すべてに○)
設問 同居の方がいる場合、同居の方は皆さん65歳以上ですか。(1つに○)

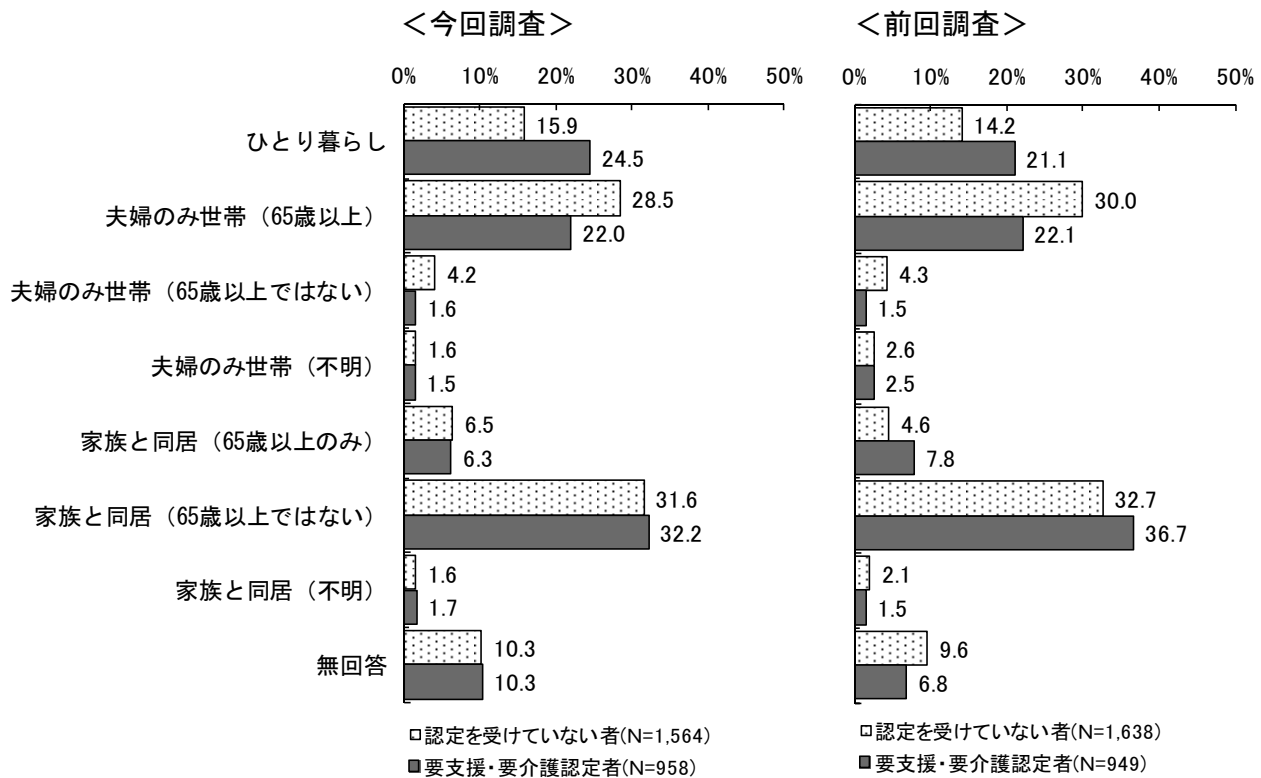
あて名のご本人の世帯状況をみると、**認定を受けていない者**では最も多い割合は「家族と同居（65歳以上ではない）」の31.6%であり、次いで「夫婦のみ世帯（65歳以上）」の28.5%、「ひとり暮らし」15.9%が続いている。

要支援・要介護認定者では「家族と同居（65歳以上ではない）」の32.2%が最も多く、次いで「ひとり暮らし」24.5%「夫婦のみ世帯（65歳以上）」22.0%となっている。

認定を受けていない者と**要支援・要介護認定者**を比較すると、「ひとり暮らし」および「家族と同居（65歳以上ではない）」は**要支援・要介護認定者**に多く、「夫婦のみ世帯」は**認定を受けていない者**に多くなっている。



【世帯状況(単数回答)】



※上記は、同居者および65歳以上の世帯を組み合わせ集計した結果である

《年齢別》

要支援・要介護認定者の年齢別にみると、70～74歳および80歳以上では「家族と同居（65歳以上ではない）」が3割台が多い。65～69歳では「ひとり暮らし」の割合が多い。

《要支援・要介護度別》

要支援1および要支援2では「ひとり暮らし」が最も多くなっている。要介護1から要介護5では、「家族と同居（65歳以上ではない）」が3割を超え最も多くなっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では「ひとり暮らし」（14.2%→15.9%）は増加している。

要支援・要介護認定者においても「ひとり暮らし」（21.1%→24.5%）が増加している。

【 要支援・要介護認定者一世帯状況（年齢別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	ひとり 暮らし	夫婦のみ 世帯(65 歳以上)	夫婦のみ 世帯(65 歳以上で はない)	夫婦の み世帯 (不明)	家族と同 居(65歳 以上の み)	家族と同 居(65歳 以上で はない)	家族と 同居 (不明)	無回答
全 体		958 (100.0)	235 (24.5)	211 (22.0)	15 (1.6)	14 (1.5)	60 (6.3)	308 (32.2)	16 (1.7)	99 (10.3)
年 齢 別	65～69歳	51 (100.0)	14 (27.5)	10 (19.6)	5 (9.8)	0 (－)	4 (7.8)	12 (23.5)	1 (2.0)	5 (9.8)
	70～74歳	89 (100.0)	24 (27.0)	19 (21.3)	2 (2.2)	1 (1.1)	4 (4.5)	27 (30.3)	0 (－)	12 (13.5)
	75～79歳	159 (100.0)	39 (24.5)	50 (31.4)	3 (1.9)	3 (1.9)	8 (5.0)	39 (24.5)	1 (0.6)	16 (10.1)
	80～84歳	261 (100.0)	53 (20.3)	76 (29.1)	4 (1.5)	5 (1.9)	7 (2.7)	88 (33.7)	3 (1.1)	25 (9.6)
	85～89歳	235 (100.0)	67 (28.5)	37 (15.7)	1 (0.4)	3 (1.3)	10 (4.3)	89 (37.9)	5 (2.1)	23 (9.8)
	90歳以上	140 (100.0)	33 (23.6)	15 (10.7)	0 (－)	1 (0.7)	27 (19.3)	44 (31.4)	6 (4.3)	14 (10.0)
	無回答	23 (100.0)	5 (21.7)	4 (17.4)	0 (－)	1 (4.3)	0 (－)	9 (39.1)	0 (－)	4 (17.4)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者一世帯状況（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	ひとり 暮らし	夫婦のみ 世帯(65 歳以上)	夫婦のみ 世帯(65 歳以上で はない)	夫婦の み世帯 (不明)	家族と同 居(65歳 以上の み)	家族と同 居(65歳 以上で はない)	家族と 同居 (不明)	無回答
全 体		958 (100.0)	235 (24.5)	211 (22.0)	15 (1.6)	14 (1.5)	60 (6.3)	308 (32.2)	16 (1.7)	99 (10.3)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	44 (32.4)	32 (23.5)	2 (1.5)	1 (0.7)	5 (3.7)	31 (22.8)	1 (0.7)	20 (14.7)
	要支援2	184 (100.0)	54 (29.3)	39 (21.2)	6 (3.3)	2 (1.1)	12 (6.5)	44 (23.9)	6 (3.3)	21 (11.4)
	要介護1	154 (100.0)	32 (20.8)	37 (24.0)	3 (1.9)	4 (2.6)	9 (5.8)	55 (35.7)	0 (－)	14 (9.1)
	要介護2	233 (100.0)	62 (26.6)	51 (21.9)	3 (1.3)	2 (0.9)	14 (6.0)	79 (33.9)	3 (1.3)	19 (8.2)
	要介護3	98 (100.0)	17 (17.3)	19 (19.4)	0 (－)	2 (2.0)	6 (6.1)	44 (44.9)	2 (2.0)	8 (8.2)
	要介護4	62 (100.0)	13 (21.0)	16 (25.8)	0 (－)	0 (－)	5 (8.1)	21 (33.9)	2 (3.2)	5 (8.1)
	要介護5	52 (100.0)	6 (11.5)	7 (13.5)	1 (1.9)	0 (－)	6 (11.5)	21 (40.4)	2 (3.8)	9 (17.3)
	無回答	39 (100.0)	7 (17.9)	10 (25.6)	0 (－)	3 (7.7)	3 (7.7)	13 (33.3)	0 (－)	3 (7.7)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 日中独居になる日数

〔認定を受けていない者：問 3-2、要支援・要介護認定者：問 5-2〕

設問 同居している方が仕事などで外出し、日中または夜間、半日以上にわたって、自宅でひとりになることがどのくらいありますか。(1つに○)

ひとり暮らしではない人に、日中または夜間、半日以上にわたって自宅でひとりになることがどのくらいあるかをたずねたところ、**認定を受けていない者**では 52.2%が「半日以上ひとりになることはほとんどない」と回答している。次いで「週 4 日以上」の 17.2%となっている。

要支援・要介護認定者では「半日以上ひとりになることはほとんどない」が 49.2%、次いで「週 4 日以上」19.7%である。

《年齢別》

要支援・要介護認定者の年齢別にみると、70 歳以上においては「半日以上ひとりになることはほとんどない」が 4 割以上で最も多いが、65～69 歳では「週 4 日以上」が 28.1%で最も多くなっている。

《要支援・要介護度別》

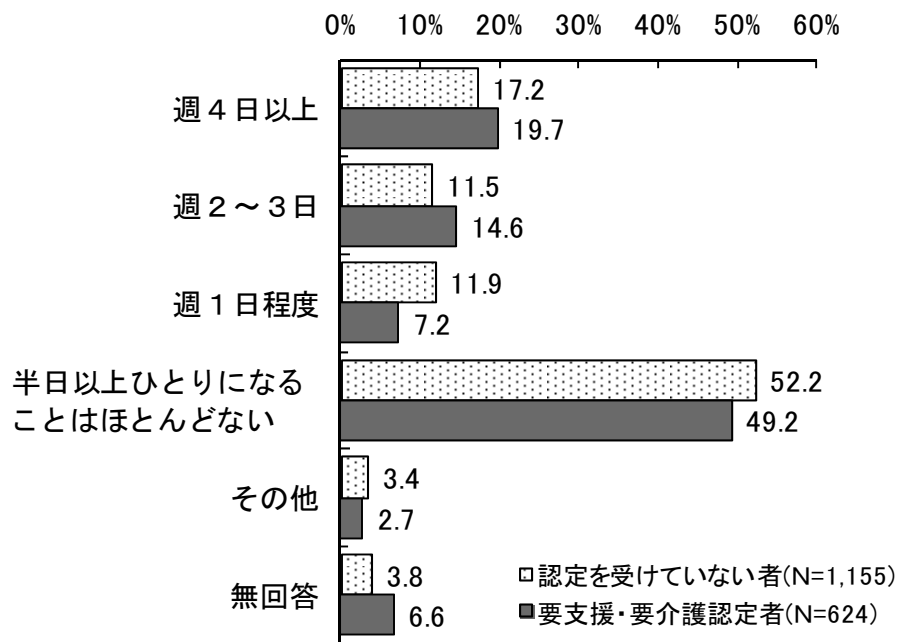
要介護 4 および要介護 5 では、「半日以上ひとりになることはほとんどない」が 6 割を超えている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では「半日以上ひとりになることはほとんどない」(48.8%→52.2%)が増加している。

要支援・要介護認定者では「週 4 日以上」(17.8%→19.7%)は増加、「週 2～3 日」(9.4%→14.6%)は増加、「半日以上ひとりになることはほとんどない」(50.1%→49.2%)は微減、「週 1 日程度」(7.3%→7.2%)横ばいとなっている。

【 日中独居になる日数(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者一日中独居になる日数(年齢別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	週4日 以上	週2～ 3日	週1日 程度	半日以上 ひとりにな ることはほ とんどない	その他	無回答
全 体		624 (100.0)	123 (19.7)	91 (14.6)	45 (7.2)	307 (49.2)	17 (2.7)	41 (6.6)
年 齢 別	65～69歳	32 (100.0)	9 (28.1)	7 (21.9)	3 (9.4)	8 (25.0)	4 (12.5)	1 (3.1)
	70～74歳	53 (100.0)	12 (22.6)	10 (18.9)	2 (3.8)	28 (52.8)	0 (—)	1 (1.9)
	75～79歳	104 (100.0)	16 (15.4)	18 (17.3)	7 (6.7)	51 (49.0)	2 (1.9)	10 (9.6)
	80～84歳	183 (100.0)	31 (16.9)	24 (13.1)	11 (6.0)	97 (53.0)	5 (2.7)	15 (8.2)
	85～89歳	145 (100.0)	35 (24.1)	21 (14.5)	12 (8.3)	66 (45.5)	3 (2.1)	8 (5.5)
	90歳以上	93 (100.0)	16 (17.2)	9 (9.7)	9 (9.7)	52 (55.9)	3 (3.2)	4 (4.3)
	無回答	14 (100.0)	4 (28.6)	2 (14.3)	1 (7.1)	5 (35.7)	0 (—)	2 (14.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者一日中独居になる日数(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	週4日 以上	週2～ 3日	週1日 程度	半日以上 ひとりにな ることはほ とんどない	その他	無回答
全 体		624 (100.0)	123 (19.7)	91 (14.6)	45 (7.2)	307 (49.2)	17 (2.7)	41 (6.6)
要 支 援・ 要 介 護 度 別	要支援1	72 (100.0)	20 (27.8)	7 (9.7)	5 (6.9)	35 (48.6)	2 (2.8)	3 (4.2)
	要支援2	109 (100.0)	27 (24.8)	11 (10.1)	8 (7.3)	50 (45.9)	1 (0.9)	12 (11.0)
	要介護1	108 (100.0)	22 (20.4)	15 (13.9)	11 (10.2)	53 (49.1)	1 (0.9)	6 (5.6)
	要介護2	152 (100.0)	37 (24.3)	35 (23.0)	11 (7.2)	61 (40.1)	2 (1.3)	6 (3.9)
	要介護3	73 (100.0)	8 (11.0)	13 (17.8)	5 (6.8)	43 (58.9)	2 (2.7)	2 (2.7)
	要介護4	44 (100.0)	4 (9.1)	4 (9.1)	2 (4.5)	28 (63.6)	3 (6.8)	3 (6.8)
	要介護5	37 (100.0)	2 (5.4)	4 (10.8)	1 (2.7)	24 (64.9)	4 (10.8)	2 (5.4)
	無回答	29 (100.0)	3 (10.3)	2 (6.9)	2 (6.9)	13 (44.8)	2 (6.9)	7 (24.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

4 住まいについて

(1) 自宅の種類と所有

〔認定を受けていない者：問 4①②、要支援・要介護認定者：問 6①②〕

設問 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいについて教えてください。

①お住まいは一戸建てですか、集合住宅ですか。(1つに○)

②お住まいは持ち家ですか、賃貸住宅ですか。(1つに○)

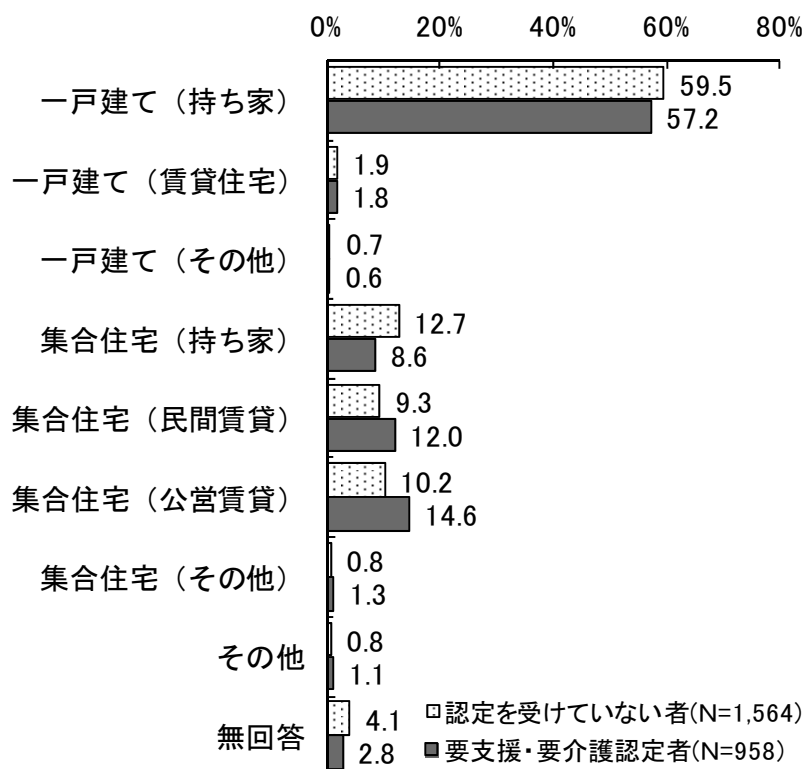
あて名のご本人の自宅の種類をみると、**認定を受けていない者**では「一戸建て（持ち家）」が 59.5%、次いで「集合住宅（持ち家）」が 12.7%となっている。

要支援・要介護認定者では「一戸建て（持ち家）」が 57.2%、次いで「集合住宅（公営賃貸）」が 14.6%となっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では「一戸建て（持ち家）」(59.3%→59.5%)は横ばい、**要支援・要介護認定者**では「一戸建て（持ち家）」(59.9%→57.2%)は減少となっている。

【 自宅の種類と所有(単数回答) 】



※上記は、自宅の種類および所有を組み合わせ集計しなおした結果である

※「集合住宅」「民間の賃貸住宅」「公営の賃貸住宅」の選択肢は、調査票では()書きで説明を付しているが、報告書では掲載を省略している

(2)生活居室の階数〔認定を受けていない者:問 4③、要支援・要介護認定者:問 6③〕

設問 住居、あるいは主に生活している部屋は、2階以上にありますか。(1つに○)

生活居室の階数をみると、**認定を受けていない者**では生活している部屋が「1 階で生活」が 33.2%、次いで「2 階で生活」が 32.7%となっている。

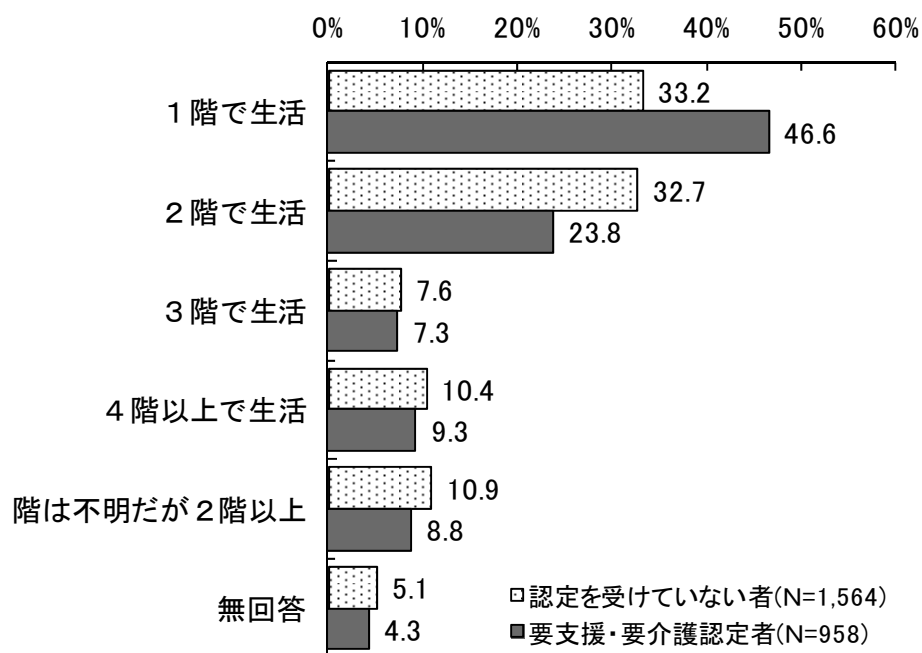
要支援・要介護認定者では「1 階で生活」が 46.6%、「2 階で生活」が 23.8%である。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では「1 階で生活」(38.3%→33.2%) は減少、「2 階で生活」(30.2%→32.7%) は増加している。

要支援・要介護認定者では「1 階で生活」(48.2%→46.6%) は減少、「2 階で生活」(22.7%→23.8%) は増加となっている。

【 生活居室の階数(単数回答) 】



※上記は、生活居室が 2 階以上であるか否か、および具体的な階数を組み合わせて集計しなおした結果である

(3)エレベーターの有無〔認定を受けていない者：問 4④、要支援・要介護認定者：問 6④〕

設問 お住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)

住まいにエレベーターは設置されているかをたずねたところ、**認定を受けていない者**ではエレベーターが「ある」が 23.5%となっている。

要支援・要介護認定者ではエレベーターが「ある」は 25.1%となっている。

《生活居室の階数別》

認定を受けていない者の生活居室の階数別にみると、エレベーターが「ある」割合は、2 階では 9.6%、3 階では 31.9%、4 階以上では 92.0%である。4 階以上でも、「ない」と回答した割合は 8.0%となっている。

《生活居室の階数別》

要支援・要介護認定者の生活居室の階数別にみると、エレベーターが「ある」割合は、2 階では 16.2%、3 階では 51.4%、4 階以上では 94.4%である。4 階以上でも、「ない」と回答した割合は 5.6%となっている。

《要支援・要介護度別》

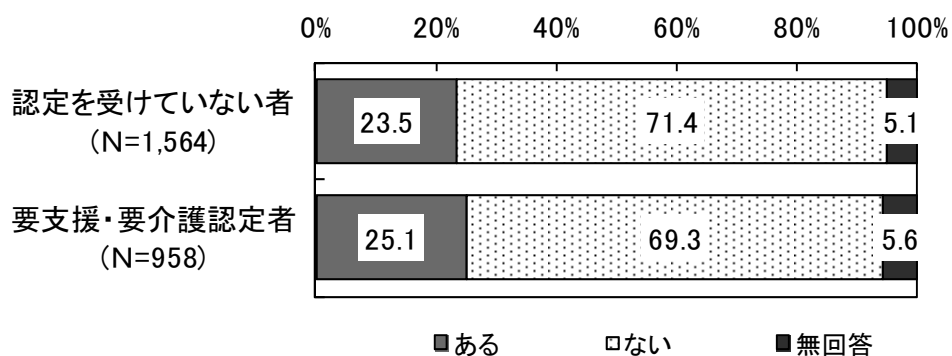
すべての要支援・要介護度において、エレベーターが「ある」割合は 2 割台となっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では「ある」(22.6%→23.5%)が微増している。

要支援・要介護認定者においても、「ある」(24.4%→25.1%)が微増である。

【 エレベーターの有無(単数回答) 】



【 認定を受けていない者－エレベーターの有無（生活居室の階数別） 】

認定を受けていない者		合計	ある	ない	無回答
生活居室の階数別	2階	512 (100.0)	49 (9.6)	461 (90.0)	2 (0.4)
	3階	119 (100.0)	38 (31.9)	80 (67.2)	1 (0.8)
	4階以上	162 (100.0)	149 (92.0)	13 (8.0)	0 (－)
	無回答	171 (100.0)	66 (38.6)	100 (58.5)	5 (2.9)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－エレベーターの有無（生活居室の階数別） 】

要支援・要介護認定者		合計	ある	ない	無回答
生活居室の階数別	2階	228 (100.0)	37 (16.2)	189 (82.9)	2 (0.9)
	3階	70 (100.0)	36 (51.4)	34 (48.6)	0 (－)
	4階以上	89 (100.0)	84 (94.4)	5 (5.6)	0 (－)
	無回答	84 (100.0)	39 (46.4)	40 (47.6)	5 (6.0)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－エレベーターの有無（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	ある	ない	無回答
全 体		958 (100.0)	240 (25.1)	664 (69.3)	54 (5.6)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	33 (24.3)	94 (69.1)	9 (6.6)
	要支援2	184 (100.0)	47 (25.5)	125 (67.9)	12 (6.5)
	要介護1	154 (100.0)	31 (20.1)	117 (76.0)	6 (3.9)
	要介護2	233 (100.0)	64 (27.5)	159 (68.2)	10 (4.3)
	要介護3	98 (100.0)	27 (27.6)	70 (71.4)	1 (1.0)
	要介護4	62 (100.0)	17 (27.4)	41 (66.1)	4 (6.5)
	要介護5	52 (100.0)	13 (25.0)	33 (63.5)	6 (11.5)
	無回答	39 (100.0)	8 (20.5)	25 (64.1)	6 (15.4)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(4)住まいの地域〔認定を受けていない者:問 5、要支援・要介護認定者:問 7〕

設問 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいの地域はどこですか。

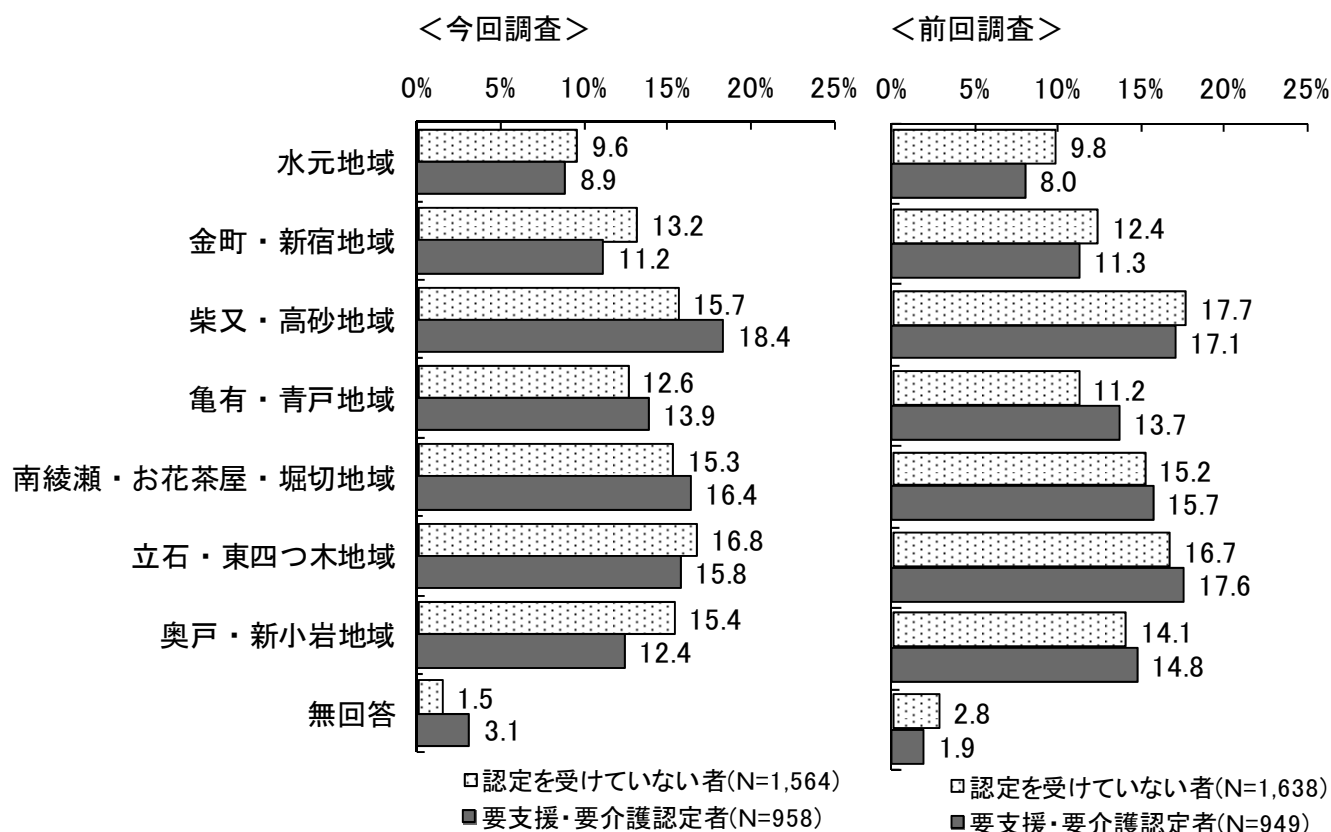
住まいの地域をみると、**認定を受けていない者**では「立石・東四つ木地域」が16.8%、「柴又・高砂地域」が15.7%、「奥戸・新小岩地域」15.4%、「南綾瀬・お花茶屋・堀切地域」が15.3%であり、これらが15%を超えた地域となっている。最も少ない割合の地域は、「水元地域」の9.6%となっている。

要支援・要介護認定者では「柴又・高砂地域」が18.4%、「南綾瀬・お花茶屋・堀切地域」が16.4%、「立石・東四つ木地域」が15.8%であり、これらが15%を超えた地域となっている。最も少ない割合の地域は、「水元地域」の8.9%である。

《要支援・要介護度別》

要支援1、要介護1、要介護2では「柴又・高砂地域」が最も多く、要支援2および要介護3では「南綾瀬・お花茶屋・堀切地域」が最も多くなっている。要介護4および要介護5では「立石・東四つ木地域」の割合が最も多くなっている。

【 住まいの地域(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－住まいの地域(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	水元 地域	金町・ 新宿 地域	柴又・ 高砂 地域	亀有・ 青戸 地域	南綾瀬・ お花茶屋・ 堀切 地域	立石・ 東四つ木 地域	奥戸・ 新小岩 地域	無回 答
全 体		958 (100.0)	85 (8.9)	107 (11.2)	176 (18.4)	133 (13.9)	157 (16.4)	151 (15.8)	119 (12.4)	30 (3.1)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	10 (7.4)	20 (14.7)	25 (18.4)	22 (16.2)	19 (14.0)	19 (14.0)	17 (12.5)	4 (2.9)
	要支援2	184 (100.0)	14 (7.6)	21 (11.4)	31 (16.8)	24 (13.0)	38 (20.7)	34 (18.5)	19 (10.3)	3 (1.6)
	要介護1	154 (100.0)	15 (9.7)	15 (9.7)	37 (24.0)	18 (11.7)	22 (14.3)	18 (11.7)	25 (16.2)	4 (2.6)
	要介護2	233 (100.0)	19 (8.2)	19 (8.2)	43 (18.5)	37 (15.9)	38 (16.3)	39 (16.7)	29 (12.4)	9 (3.9)
	要介護3	98 (100.0)	12 (12.2)	12 (12.2)	12 (12.2)	15 (15.3)	17 (17.3)	14 (14.3)	15 (15.3)	1 (1.0)
	要介護4	62 (100.0)	7 (11.3)	7 (11.3)	11 (17.7)	6 (9.7)	8 (12.9)	15 (24.2)	5 (8.1)	3 (4.8)
	要介護5	52 (100.0)	3 (5.8)	9 (17.3)	7 (13.5)	7 (13.5)	6 (11.5)	10 (19.2)	5 (9.6)	5 (9.6)
	無回答	39 (100.0)	5 (12.8)	4 (10.3)	10 (25.6)	4 (10.3)	9 (23.1)	2 (5.1)	4 (10.3)	1 (2.6)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

5 健康状態について

(1) 疾病の状況〔認定を受けていない者：問 6①、要支援・要介護認定者：問 8①〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。(あてはまるものすべてに○)

疾病の状況をみると、**認定を受けていない者**では、何らかの疾病がある人（100%から「特にない」および「無回答」を引いた数値）が 81.3%を占めている。具体的な疾病では「高血圧」43.0%、「歯の病気」21.2%、「目の病気」19.4%などが多い割合になっている。

要支援・要介護認定者では、何らかの疾病がある人（100%から「特にない」および「無回答」を引いた数値）が 92.1%となっている。具体的な疾病では「高血圧」40.4%、「筋肉や骨の病気」29.2%、「目の病気」23.9%などが 2 割を超えている。

《要支援・要介護度別》

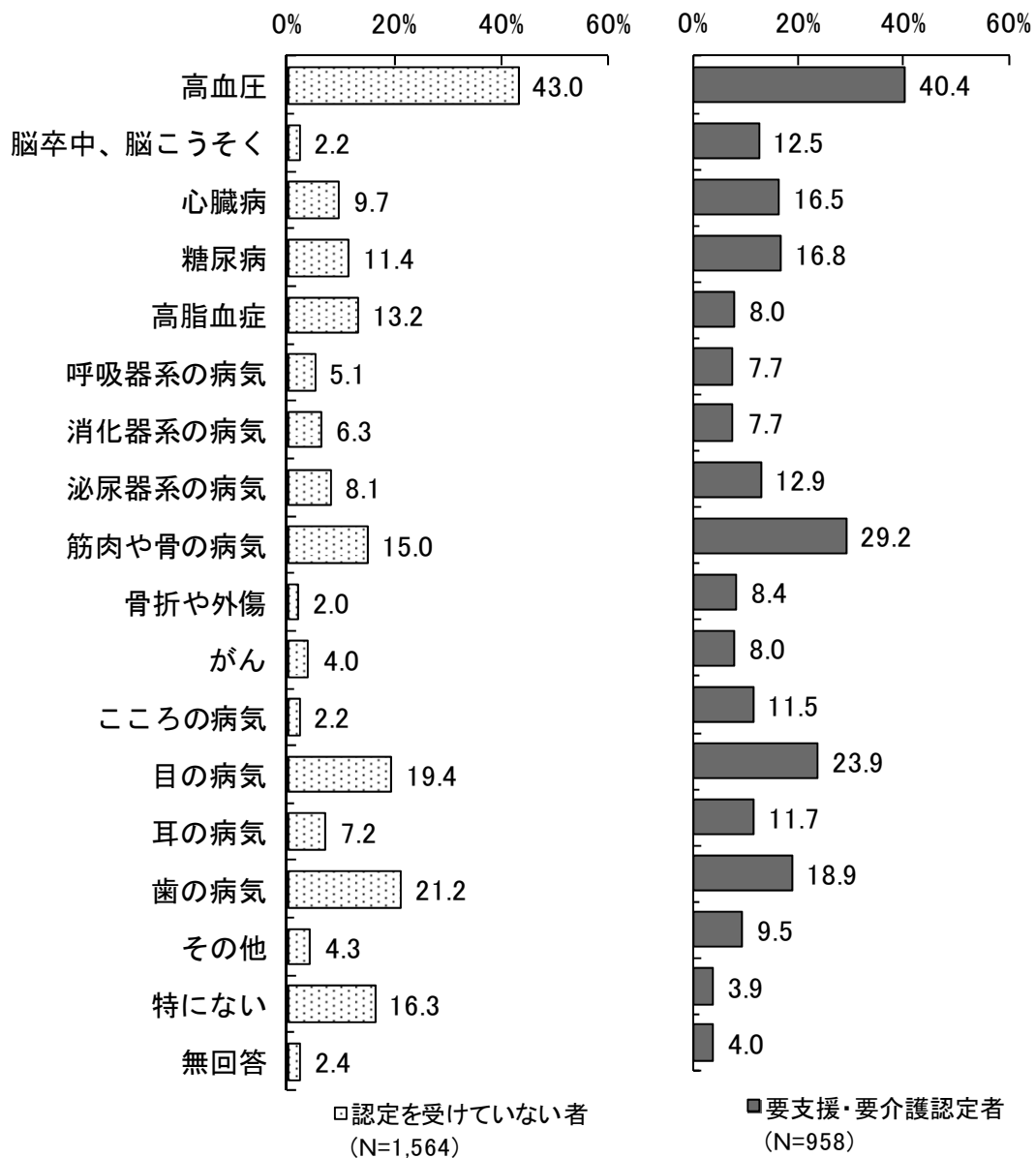
要支援・要介護度別にみると、「高血圧」の割合は要支援 1 から要介護 2 において 4 割台と多くなっている。「脳卒中、脳こうそく」は要介護 3、要介護 5 において 2 割を超えている。「筋肉や骨の病気」は要支援 1 および要支援 2 において 4 割台、また、「目の病気」は要支援 1 から要介護 2 において 2～3 割台となっている。「こころの病気」は要介護 1 以上で 1～2 割台となっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**について増加・微増した具体的な疾病は、「高脂血症」（11.1%→13.2%）、「筋肉や骨の病気」（12.5%→15.0%）、「骨折や外傷」（1.3%→2.0%）である。

同様に、**要支援・要介護認定者**では「筋肉や骨の病気」（25.0%→29.2%）、「骨折や外傷」（7.4%→8.4%）、「がん」（5.6%→8.0%）が増加となっている。

【 疾病の状況(複数回答) 】



※「呼吸器系の病気」「消化器系の病気」「泌尿器系の病気」「筋肉や骨の病気」「こころの病気」「目の病気」「耳の病気」「歯の病気」の選択肢は、調査票では（ ）書きで説明を付しているが、報告書では掲載を省略している

【 要支援・要介護認定者－疾病の状況(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	高血圧	脳卒中、 脳こうそく	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器系 の病気	消化器系 の病気	泌尿器系 の病気	筋肉や骨 の病気
全 体		958 (100.0)	387 (40.4)	120 (12.5)	158 (16.5)	161 (16.8)	77 (8.0)	74 (7.7)	74 (7.7)	124 (12.9)	280 (29.2)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	63 (46.3)	6 (4.4)	17 (12.5)	21 (15.4)	10 (7.4)	12 (8.8)	15 (11.0)	16 (11.8)	55 (40.4)
	要支援2	184 (100.0)	80 (43.5)	17 (9.2)	30 (16.3)	33 (17.9)	23 (12.5)	8 (4.3)	9 (4.9)	20 (10.9)	74 (40.2)
	要介護1	154 (100.0)	62 (40.3)	21 (13.6)	28 (18.2)	21 (13.6)	14 (9.1)	15 (9.7)	14 (9.1)	21 (13.6)	34 (22.1)
	要介護2	233 (100.0)	105 (45.1)	29 (12.4)	43 (18.5)	39 (16.7)	19 (8.2)	18 (7.7)	13 (5.6)	39 (16.7)	68 (29.2)
	要介護3	98 (100.0)	35 (35.7)	20 (20.4)	17 (17.3)	20 (20.4)	6 (6.1)	8 (8.2)	11 (11.2)	14 (14.3)	28 (28.6)
	要介護4	62 (100.0)	23 (37.1)	11 (17.7)	8 (12.9)	8 (12.9)	1 (1.6)	8 (12.9)	5 (8.1)	7 (11.3)	12 (19.4)
	要介護5	52 (100.0)	7 (13.5)	11 (21.2)	5 (9.6)	9 (17.3)	2 (3.8)	2 (3.8)	4 (7.7)	3 (5.8)	6 (11.5)
	無回答	39 (100.0)	12 (30.8)	5 (12.8)	10 (25.6)	10 (25.6)	2 (5.1)	3 (7.7)	3 (7.7)	4 (10.3)	3 (7.7)

要支援・ 要介護認定者 表 2		骨折や 外傷	がん	こころの 病気	目の 病気	耳の 病気	歯の 病気	その他	特に ない	無回答
全 体		80 (8.4)	77 (8.0)	110 (11.5)	229 (23.9)	112 (11.7)	181 (18.9)	91 (9.5)	37 (3.9)	38 (4.0)
要支援・要介護度別	要支援1	12 (8.8)	10 (7.4)	5 (3.7)	49 (36.0)	15 (11.0)	27 (19.9)	13 (9.6)	2 (1.5)	4 (2.9)
	要支援2	17 (9.2)	15 (8.2)	4 (2.2)	53 (28.8)	22 (12.0)	40 (21.7)	12 (6.5)	4 (2.2)	6 (3.3)
	要介護1	17 (11.0)	13 (8.4)	24 (15.6)	41 (26.6)	25 (16.2)	31 (20.1)	10 (6.5)	8 (5.2)	5 (3.2)
	要介護2	15 (6.4)	23 (9.9)	34 (14.6)	52 (22.3)	31 (13.3)	43 (18.5)	24 (10.3)	10 (4.3)	5 (2.1)
	要介護3	10 (10.2)	8 (8.2)	20 (20.4)	12 (12.2)	6 (6.1)	18 (18.4)	14 (14.3)	1 (1.0)	3 (3.1)
	要介護4	7 (11.3)	2 (3.2)	12 (19.4)	10 (16.1)	5 (8.1)	7 (11.3)	8 (12.9)	1 (1.6)	5 (8.1)
	要介護5	2 (3.8)	2 (3.8)	9 (17.3)	6 (11.5)	3 (5.8)	8 (15.4)	8 (15.4)	6 (11.5)	8 (15.4)
	無回答	0 (－)	4 (10.3)	2 (5.1)	6 (15.4)	5 (12.8)	7 (17.9)	2 (5.1)	5 (12.8)	2 (5.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無

〔認定を受けていない者：問 6②、要支援・要介護認定者：問 8②〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、かかりつけ医、かかりつけ歯科医を決めていますか。(あてはまるものすべてに○)

かかりつけ医、かかりつけ歯科医療機関の有無をみると、**認定を受けていない者**では、「かかりつけ医を決めている」82.2%、「かかりつけ歯科医を決めている」56.2%である。

要支援・要介護認定者では「かかりつけ医を決めている」は90.8%、「かかりつけ歯科医を決めている」43.5%である。

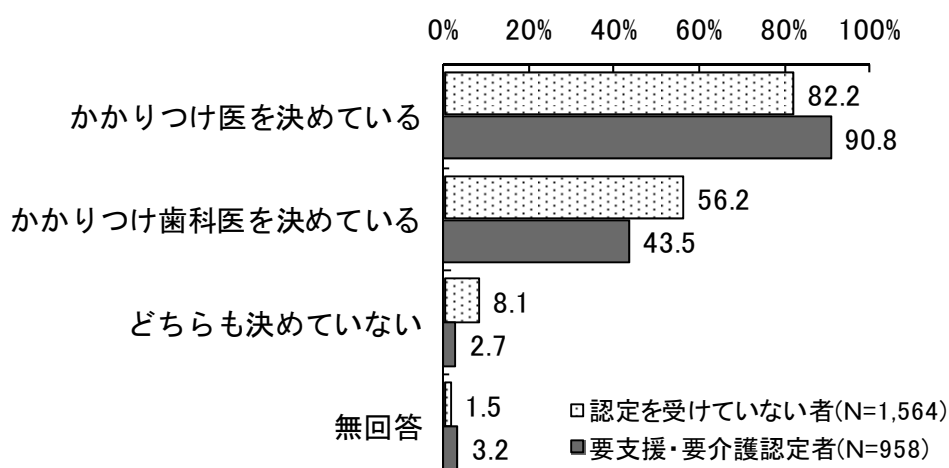
《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、「かかりつけ医を決めている」や「かかりつけ歯科医を決めている」は65～69歳において最も少ない。「どちらも決めている」は年齢があがるにしたがい少なくなっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護認定者について、要支援・要介護度別にみると、要介護5では「かかりつけ医を決めている」や「かかりつけ歯科医を決めている」が最も少なくなっている。

【 かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無(複数回答) 】



【 認定を受けていない者－かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無（年齢別） 】

認定を受けていない者		合計	かかりつけ医を決めている	かかりつけ歯科医を決めている	どちらも決めていない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	1,285 (82.2)	879 (56.2)	127 (8.1)	23 (1.5)
年齢別	65～69歳	401 (100.0)	301 (75.1)	204 (50.9)	47 (11.7)	6 (1.5)
	70～74歳	416 (100.0)	344 (82.7)	242 (58.2)	31 (7.5)	5 (1.2)
	75～79歳	378 (100.0)	325 (86.0)	224 (59.3)	27 (7.1)	4 (1.1)
	80～84歳	250 (100.0)	211 (84.4)	144 (57.6)	16 (6.4)	4 (1.6)
	85～89歳	84 (100.0)	74 (88.1)	44 (52.4)	5 (6.0)	1 (1.2)
	90歳以上	24 (100.0)	23 (95.8)	16 (66.7)	1 (4.2)	0 (－)
	無回答	11 (100.0)	7 (63.6)	5 (45.5)	0 (－)	3 (27.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－かかりつけ医、かかりつけ歯科医の有無（要支援・要介護度別） 】

要支援・要介護認定者		合計	かかりつけ医を決めている	かかりつけ歯科医を決めている	どちらも決めていない	無回答
全 体		958 (100.0)	870 (90.8)	417 (43.5)	26 (2.7)	31 (3.2)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	128 (94.1)	72 (52.9)	3 (2.2)	3 (2.2)
	要支援2	184 (100.0)	166 (90.2)	84 (45.7)	4 (2.2)	7 (3.8)
	要介護1	154 (100.0)	134 (87.0)	72 (46.8)	6 (3.9)	7 (4.5)
	要介護2	233 (100.0)	217 (93.1)	92 (39.5)	7 (3.0)	3 (1.3)
	要介護3	98 (100.0)	93 (94.9)	41 (41.8)	2 (2.0)	1 (1.0)
	要介護4	62 (100.0)	57 (91.9)	22 (35.5)	1 (1.6)	3 (4.8)
	要介護5	52 (100.0)	42 (80.8)	15 (28.8)	2 (3.8)	6 (11.5)
	無回答	39 (100.0)	33 (84.6)	19 (48.7)	1 (2.6)	1 (2.6)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3)医療機器の利用、医療処置の有無〔要支援・要介護認定者：問 9①〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在、次にあげるような医療機器を利用したり、処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

医療機器の利用、医療処置の有無をみると、**要支援・要介護認定者**では医療機器の利用や医療処置を受けている割合(100%から「以下の処置は受けていない」および「無回答」を引いた数値)は17.5%である。具体的な利用や処置では、「インシュリン注射」4.3%が最も多く、次いで「尿道カテーテル」2.6%、「ペースメーカー」2.6%、「床ずれの処置」2.4%などが続いている。

《要支援・要介護度別》

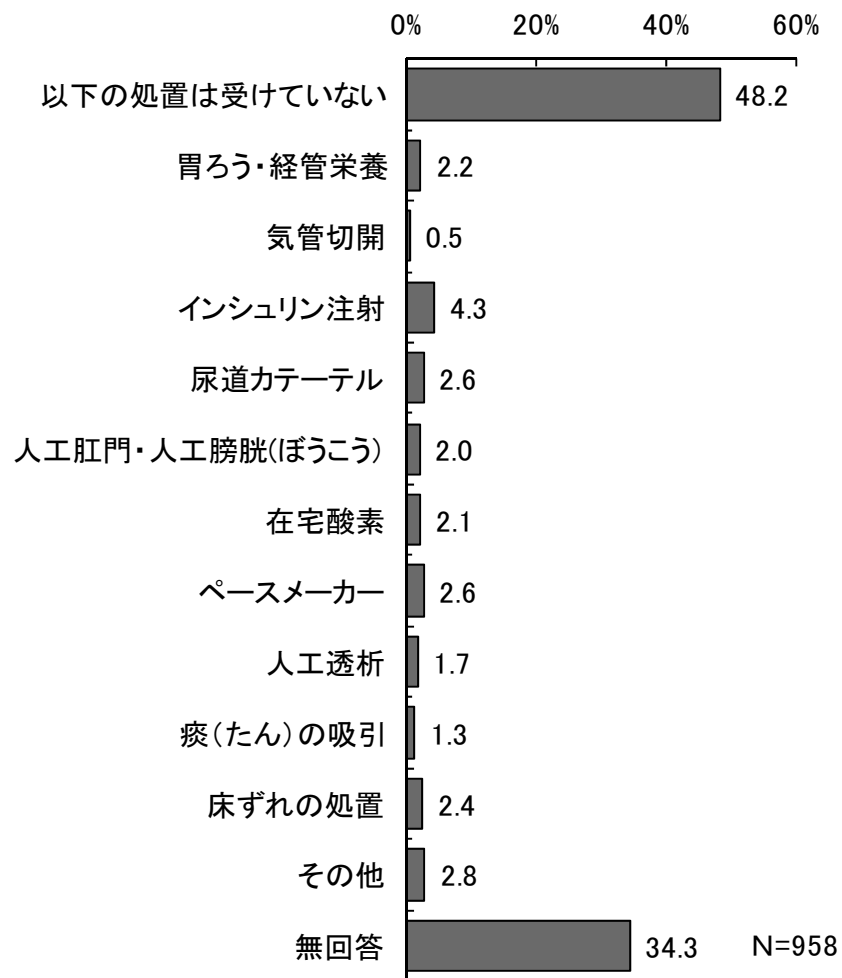
要支援・要介護度別にみると、要介護5では「胃ろう・経管栄養」「尿道カテーテル」「痰(たん)の吸引」「床ずれの処置」について、いずれも他の要支援・要介護度を上回って最も多くなっている。

また、要介護2では「インシュリン注射」「人工肛門・人工膀胱(ぼうこう)」、要介護4では「在宅酸素」「人工透析」が、要支援1では「ペースメーカー」「気管切開」が、それぞれ要支援・要介護度別にみて最も多くなっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「以下の処置は受けていない」(43.7%→48.2%)は増加している。具体的には、「床ずれの処置」(3.8%→2.4%)は減少、「ペースメーカー」(3.2%→2.6%)、「痰(たん)の吸引」(1.8%→1.3%)は微減となっている。

【 医療機器の利用、医療処置の有無(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－医療機器の利用、医療処置の有無（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	以下の処 置は受け ていない	胃ろう・ 経管栄養	気管切開	インシュ リン注射	尿道カテ ーテル	人工肛門 ・人工膀 胱（ぼう こう）
全 体		958 (100.0)	462 (48.2)	21 (2.2)	5 (0.5)	41 (4.3)	25 (2.6)	19 (2.0)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	64 (47.1)	3 (2.2)	2 (1.5)	6 (4.4)	5 (3.7)	4 (2.9)
	要支援2	184 (100.0)	83 (45.1)	1 (0.5)	1 (0.5)	6 (3.3)	2 (1.1)	3 (1.6)
	要介護1	154 (100.0)	82 (53.2)	1 (0.6)	0 (－)	5 (3.2)	3 (1.9)	1 (0.6)
	要介護2	233 (100.0)	119 (51.1)	4 (1.7)	1 (0.4)	16 (6.9)	5 (2.1)	8 (3.4)
	要介護3	98 (100.0)	58 (59.2)	2 (2.0)	1 (1.0)	3 (3.1)	1 (1.0)	0 (－)
	要介護4	62 (100.0)	29 (46.8)	1 (1.6)	0 (－)	2 (3.2)	3 (4.8)	1 (1.6)
	要介護5	52 (100.0)	15 (28.8)	9 (17.3)	0 (－)	1 (1.9)	5 (9.6)	0 (－)
	無回答	39 (100.0)	12 (30.8)	0 (－)	0 (－)	2 (5.1)	1 (2.6)	2 (5.1)

要支援・ 要介護認定者 表 2		在宅酸 素	ペース メーカー	人工透析	痰（たん） の吸引	床ずれの 処置	その他	無回答
全 体		20 (2.1)	25 (2.6)	16 (1.7)	12 (1.3)	23 (2.4)	27 (2.8)	329 (34.3)
要支援・要介護度別	要支援1	4 (2.9)	5 (3.7)	3 (2.2)	3 (2.2)	1 (0.7)	2 (1.5)	52 (38.2)
	要支援2	4 (2.2)	6 (3.3)	3 (1.6)	2 (1.1)	1 (0.5)	4 (2.2)	79 (42.9)
	要介護1	2 (1.3)	3 (1.9)	1 (0.6)	0 (－)	1 (0.6)	4 (2.6)	55 (35.7)
	要介護2	5 (2.1)	5 (2.1)	4 (1.7)	2 (0.9)	2 (0.9)	5 (2.1)	73 (31.3)
	要介護3	1 (1.0)	3 (3.1)	2 (2.0)	1 (1.0)	1 (1.0)	2 (2.0)	26 (26.5)
	要介護4	2 (3.2)	1 (1.6)	2 (3.2)	1 (1.6)	6 (9.7)	3 (4.8)	15 (24.2)
	要介護5	1 (1.9)	1 (1.9)	1 (1.9)	3 (5.8)	11 (21.2)	6 (11.5)	10 (19.2)
	無回答	1 (2.6)	1 (2.6)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	1 (2.6)	19 (48.7)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

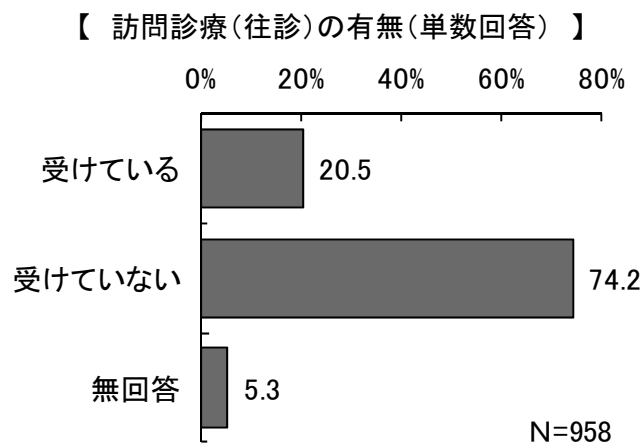
(4) 訪問診療(往診)の有無〔要支援・要介護認定者:問 9②〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在、訪問診療(往診)を受けていますか。
(1つに○)

訪問診療(往診)の有無をみると、**要支援・要介護認定者**では「受けている」20.5%、「受けていない」74.2%である。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援1から要介護3では「受けていない」が「受けている」を上回るが、要介護4以上になると「受けている」が「受けていない」を上回る。要介護4および要介護5では、5～6割台が訪問診療(往診)を「受けている」結果となっている。



【 要支援・要介護認定者－訪問診療(往診)の有無(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	受けてい る	受けてい ない	無回答
全 体		958 (100.0)	196 (20.5)	711 (74.2)	51 (5.3)
要支援・要 介護度別	要支援1	136 (100.0)	13 (9.6)	119 (87.5)	4 (2.9)
	要支援2	184 (100.0)	14 (7.6)	157 (85.3)	13 (7.1)
	要介護1	154 (100.0)	21 (13.6)	124 (80.5)	9 (5.8)
	要介護2	233 (100.0)	51 (21.9)	172 (73.8)	10 (4.3)
	要介護3	98 (100.0)	25 (25.5)	71 (72.4)	2 (2.0)
	要介護4	62 (100.0)	34 (54.8)	24 (38.7)	4 (6.5)
	要介護5	52 (100.0)	34 (65.4)	13 (25.0)	5 (9.6)
	無回答	39 (100.0)	4 (10.3)	31 (79.5)	4 (10.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

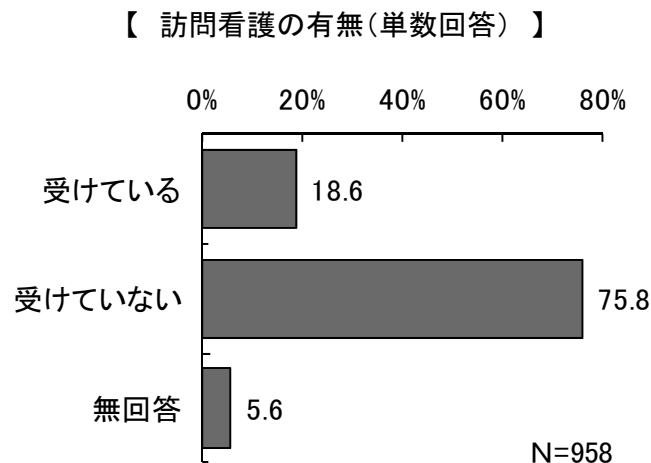
(5) 訪問看護の有無〔要支援・要介護認定者：問 9③〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在、訪問看護を受けていますか。(1つに○)

訪問看護の有無をみると、**要支援・要介護認定者**では「受けている」18.6%、「受けていない」75.8%である。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援1から要介護4では「受けていない」が「受けている」を上回るが、要介護5になると「受けている」が「受けていない」を上回る。要介護4では40.3%、要介護5では53.8%が訪問看護を「受けている」結果となっている。



【 要支援・要介護認定者－訪問看護の有無(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	受けてい る	受けてい ない	無回答
全 体		958 (100.0)	178 (18.6)	726 (75.8)	54 (5.6)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	9 (6.6)	123 (90.4)	4 (2.9)
	要支援2	184 (100.0)	20 (10.9)	153 (83.2)	11 (6.0)
	要介護1	154 (100.0)	20 (13.0)	120 (77.9)	14 (9.1)
	要介護2	233 (100.0)	50 (21.5)	170 (73.0)	13 (5.6)
	要介護3	98 (100.0)	23 (23.5)	74 (75.5)	1 (1.0)
	要介護4	62 (100.0)	25 (40.3)	33 (53.2)	4 (6.5)
	要介護5	52 (100.0)	28 (53.8)	18 (34.6)	6 (11.5)
	無回答	39 (100.0)	3 (7.7)	35 (89.7)	1 (2.6)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

6 要支援・要介護認定の申請経験と申請をしたことがない理由について

(1) 要支援・要介護申請経験〔認定を受けていない者：問 7〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、これまで要支援・要介護認定の申請をしたことがありますか。(1つに○)

認定を受けていない者について、要支援・要介護申請経験をみると、要支援・要介護認定の申請をしたことが「ある」割合は3.5%であり、94.5%はしたことが「ない」と回答している。

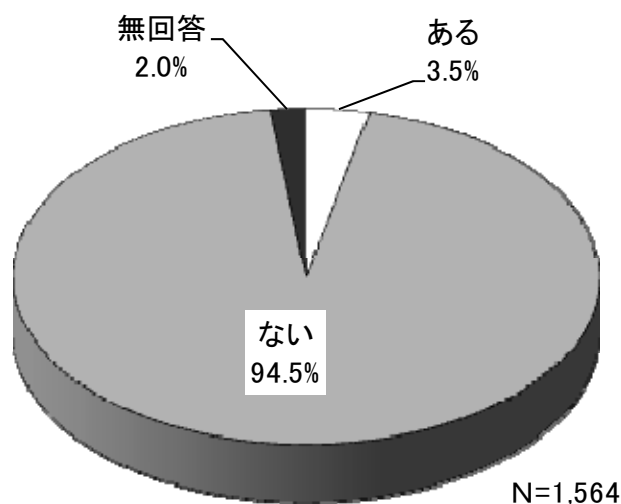
《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、要支援・要介護認定の申請をしたことが「ある」割合は74歳以下では1%台であるが、75～79歳では3.4%、80～84歳では7.6%、85～89歳では9.5%、90歳以上では8.3%となっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「ある」(2.7%→3.5%)は微増、「ない」(94.5%→94.5%)は横ばいである。

【 要支援・要介護申請経験(単数回答) 】



【 認定を受けていない者－要支援・要介護申請経験（年齢別） 】

認定を受けていない者		合計	ある	ない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	55 (3.5)	1,478 (94.5)	31 (2.0)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	7 (1.7)	387 (96.5)	7 (1.7)
	70～74歳	416 (100.0)	6 (1.4)	407 (97.8)	3 (0.7)
	75～79歳	378 (100.0)	13 (3.4)	360 (95.2)	5 (1.3)
	80～84歳	250 (100.0)	19 (7.6)	222 (88.8)	9 (3.6)
	85～89歳	84 (100.0)	8 (9.5)	72 (85.7)	4 (4.8)
	90歳以上	24 (100.0)	2 (8.3)	21 (87.5)	1 (4.2)
	無回答	11 (100.0)	0 (－)	9 (81.8)	2 (18.2)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 要支援・要介護申請をしたことがない理由〔認定を受けていない者：問 7-1〕

設問 あなた(あて名のご本人)が、要支援・要介護認定の申請をしたことがないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者について、申請をしたことがない理由をみると、「支援や介護は必要ではないから」が 88.0%で最も多く、次いで「手続きの方法がわからないから」3.7%、「支援や介護が必要だが、家族が介護してくれるから」3.2%、「支援や介護が必要だが、介護サービスの内容がわからないから」2.0%などが続いている。

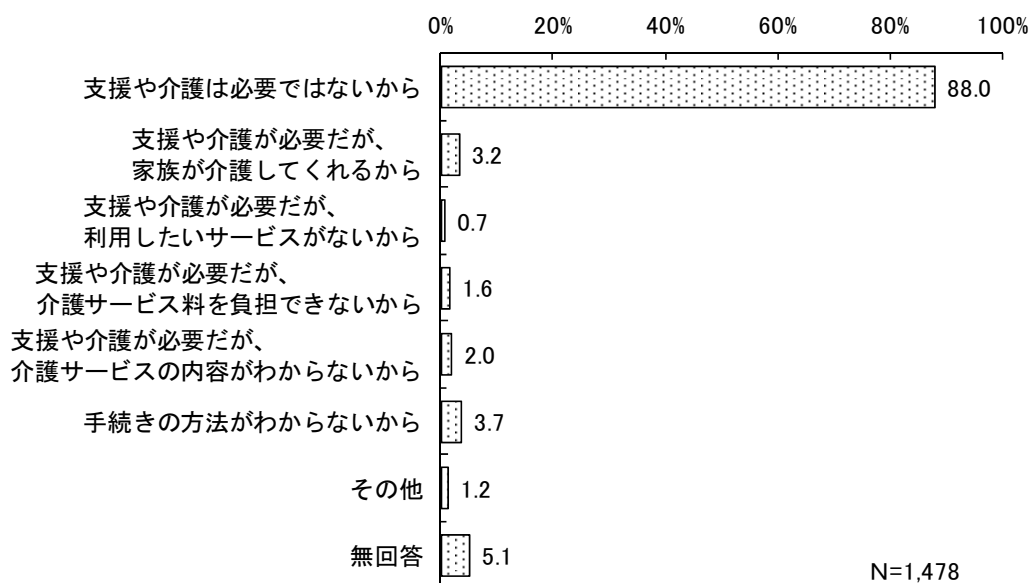
《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、79 歳以下では「支援や介護は必要ではないから」が 9 割台であるが、「支援や介護は必要ではないから」は年齢が高くなるにしたがい割合が減少している。85 歳以上になると、「支援や介護が必要だが、家族が介護してくれるから」という割合が 1～2 割台と多くなっている。85～89 歳では「手続きの方法がわからない」が 11.1%、90 歳以上では「支援や介護が必要だが、介護サービスの内容がわからないから」14.3%などが 1 割を超えている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「支援や介護は必要ではないから」(85.3%→88.0%)は増加している。

【 要支援・要介護申請をしたことがない理由(複数回答) 】



【 認定を受けていない者－要支援・要介護申請をしたことがない理由（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	支援や介護は必要ではないから	支援や介護が必要だが、家族が介護してくれるから	支援や介護が必要だが、利用したいサービスがないから	支援や介護が必要だが、介護サービス料を負担できないから
全 体		1,478 (100.0)	1,300 (88.0)	48 (3.2)	10 (0.7)	23 (1.6)
年 齢 別	65～69歳	387 (100.0)	355 (91.7)	2 (0.5)	3 (0.8)	7 (1.8)
	70～74歳	407 (100.0)	369 (90.7)	6 (1.5)	0 (－)	0 (－)
	75～79歳	360 (100.0)	327 (90.8)	14 (3.9)	2 (0.6)	6 (1.7)
	80～84歳	222 (100.0)	175 (78.8)	13 (5.9)	2 (0.9)	6 (2.7)
	85～89歳	72 (100.0)	54 (75.0)	8 (11.1)	3 (4.2)	3 (4.2)
	90歳以上	21 (100.0)	14 (66.7)	5 (23.8)	0 (－)	1 (4.8)
	無回答	9 (100.0)	6 (66.7)	0 (－)	0 (－)	0 (－)

認定を受けていない者 表 2		支援や介護が必要だが、介護サービスの内容がわからないから	手続きの方法がわからないから	その他	無回答
全 体		29 (2.0)	54 (3.7)	18 (1.2)	75 (5.1)
年 齢 別	65～69歳	7 (1.8)	11 (2.8)	6 (1.6)	14 (3.6)
	70～74歳	4 (1.0)	5 (1.2)	5 (1.2)	22 (5.4)
	75～79歳	6 (1.7)	12 (3.3)	3 (0.8)	12 (3.3)
	80～84歳	4 (1.8)	15 (6.8)	3 (1.4)	17 (7.7)
	85～89歳	5 (6.9)	8 (11.1)	1 (1.4)	7 (9.7)
	90歳以上	3 (14.3)	2 (9.5)	0 (－)	1 (4.8)
	無回答	0 (－)	1 (11.1)	0 (－)	2 (22.2)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

7 日常生活における自立について

(1) 基本的な動作〔認定を受けていない者：問 9①、要支援・要介護認定者：問 11①〕

設問 あなた(あて名のご本人)が一人でできない動作はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

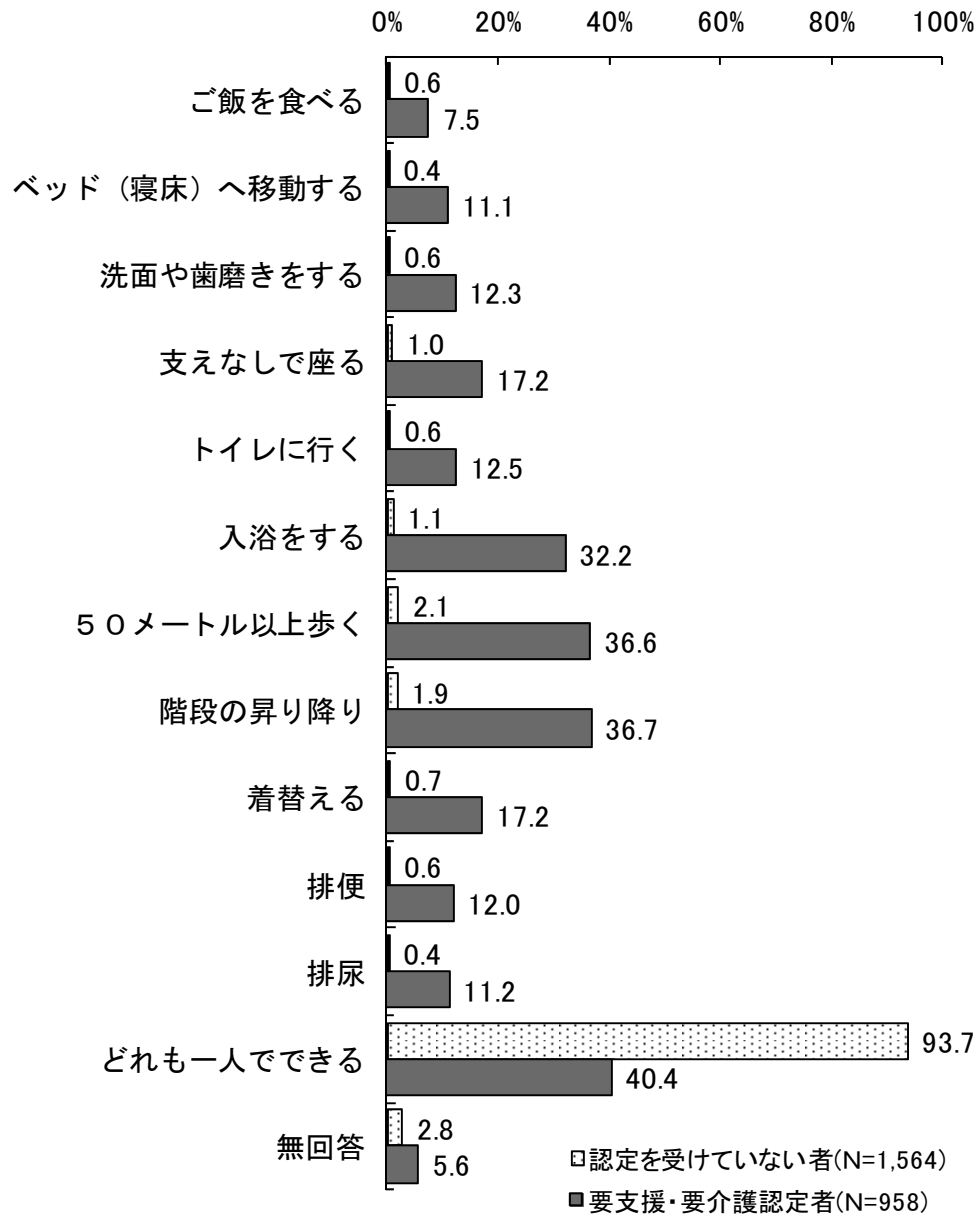
基本的な動作をみると、**認定を受けていない者**では「どれも一人でできる」が 93.7%で最も多い。具体的に一人でできない動作をみると、「50 メートル以上歩く」2.1%、「階段の昇り降り」1.9%、「入浴をする」1.1%、「支えなしで座る」1.0%などが 1%以上が一人でできないと回答した動作である。

要支援・要介護認定者では「階段の昇り降り」は 36.7%、「50 メートル以上歩く」は 36.6%、「入浴をする」は 32.2%が、一人でできないと回答している。また、「支えなしで座る」「着替える」も、約 17%が一人でできないと回答している。**要支援・要介護認定者**では「どれも一人でできる」は 40.4%であり、**認定を受けていない者**に比べて割合は少なくなっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「洗面や歯磨きをする」「入浴をする」「50 メートル以上歩く」「階段の昇り降り」「排尿」については、介護度があがるにしたがい「一人でできない」割合が多くなっている。要介護 5 では、「ご飯を食べる」以外の動作は 6 割以上が一人でできないと回答している。

【 一人でできない基本的な動作(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者一人でできない基本的な動作(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	ご飯を 食べる	ベッド (寝床) へ移動 する	洗面や 歯磨きを する	支えなし で座る	トイレに 行く	入浴を する
全 体		958 (100.0)	72 (7.5)	106 (11.1)	118 (12.3)	165 (17.2)	120 (12.5)	308 (32.2)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	2 (1.5)	4 (2.9)	3 (2.2)	9 (6.6)	3 (2.2)	11 (8.1)
	要支援2	184 (100.0)	6 (3.3)	5 (2.7)	5 (2.7)	16 (8.7)	6 (3.3)	24 (13.0)
	要介護1	154 (100.0)	3 (1.9)	4 (2.6)	7 (4.5)	11 (7.1)	5 (3.2)	28 (18.2)
	要介護2	233 (100.0)	13 (5.6)	17 (7.3)	20 (8.6)	40 (17.2)	16 (6.9)	85 (36.5)
	要介護3	98 (100.0)	10 (10.2)	13 (13.3)	20 (20.4)	20 (20.4)	20 (20.4)	64 (65.3)
	要介護4	62 (100.0)	7 (11.3)	21 (33.9)	21 (33.9)	25 (40.3)	26 (41.9)	46 (74.2)
	要介護5	52 (100.0)	29 (55.8)	39 (75.0)	38 (73.1)	40 (76.9)	40 (76.9)	42 (80.8)
	無回答	39 (100.0)	2 (5.1)	3 (7.7)	4 (10.3)	4 (10.3)	4 (10.3)	8 (20.5)

要支援・ 要介護認定者 表 2		50メー トル以上 歩く	階段の 昇り降り	着替える	排便	排尿	どれも 一人で できる	無回答
全 体		351 (36.6)	352 (36.7)	165 (17.2)	115 (12.0)	107 (11.2)	387 (40.4)	54 (5.6)
要支援・ 要介護度別	要支援1	15 (11.0)	26 (19.1)	3 (2.2)	2 (1.5)	2 (1.5)	96 (70.6)	4 (2.9)
	要支援2	39 (21.2)	38 (20.7)	10 (5.4)	6 (3.3)	5 (2.7)	106 (57.6)	9 (4.9)
	要介護1	42 (27.3)	37 (24.0)	7 (4.5)	4 (2.6)	5 (3.2)	76 (49.4)	11 (7.1)
	要介護2	103 (44.2)	93 (39.9)	31 (13.3)	16 (6.9)	16 (6.9)	73 (31.3)	12 (5.2)
	要介護3	61 (62.2)	62 (63.3)	37 (37.8)	21 (21.4)	19 (19.4)	12 (12.2)	2 (2.0)
	要介護4	43 (69.4)	45 (72.6)	32 (51.6)	26 (41.9)	22 (35.5)	0 (—)	7 (11.3)
	要介護5	41 (78.8)	43 (82.7)	40 (76.9)	36 (69.2)	34 (65.4)	0 (—)	8 (15.4)
	無回答	7 (17.9)	8 (20.5)	5 (12.8)	4 (10.3)	4 (10.3)	24 (61.5)	1 (2.6)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 日常生活に関わる動作

〔認定を受けていない者：問 9②、要支援・要介護認定者：問 11②〕

設問 あなた(あて名のご本人)が一人でできない動作はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

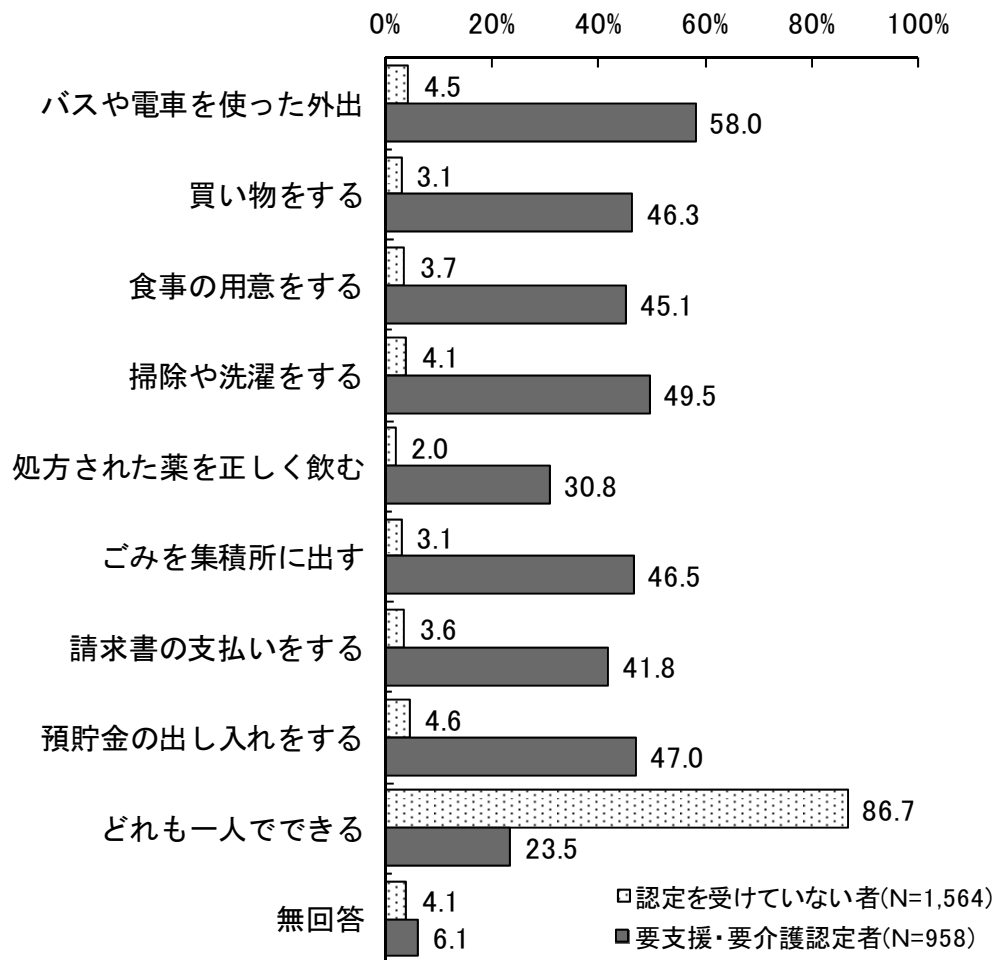
日常生活に関わる動作をみると、**認定を受けていない者**では「どれも一人でできる」が 86.7%で最も多くなっている。具体的に一人でできない動作をみると、「預金の出し入れをする」4.6%、「バスや電車を使った外出」4.5%、「掃除や洗濯をする」4.1%、「食事の用意をする」3.7%、「請求書の支払いをする」3.6%、「買い物をする」3.1%、「ごみを集積所に出す」3.1%などとなっている。

要支援・要介護認定者では「バスや電車を使った外出」は 58.0%が一人でできないと回答しており、他に比べて一人でできない割合が多くなっている。次いで「掃除や洗濯をする」49.5%、「預貯金の出し入れをする」47.0%、「ごみを集積所に出す」46.5%、「買い物をする」46.3%、「食事の用意をする」45.1%なども、45%以上が一人でできないと回答している。要支援・要介護認定者では「処方（しょう）された薬を正しく飲む」以外の動作は、いずれも 4 割以上ができないと回答している。また、「どれも一人でできる」は 23.5%であり、**認定を受けていない者**に比べて、**要支援・要介護認定者**では一人でできる割合は少なくなっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「どれも一人でできる」割合は要介護 3 から要介護 5 では 5%以下となっている。

【 一人でできない日常生活に関わる動作(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者一人でできない日常生活に関わる動作(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	バスや 電車を使 った外出	買い物を する	食事の 用意をする	掃除や 洗濯をする	処方(しよ ほう)され た薬を正 しく飲む
全 体		958 (100.0)	556 (58.0)	444 (46.3)	432 (45.1)	474 (49.5)	295 (30.8)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	32 (23.5)	22 (16.2)	20 (14.7)	29 (21.3)	11 (8.1)
	要支援2	184 (100.0)	85 (46.2)	45 (24.5)	42 (22.8)	62 (33.7)	26 (14.1)
	要介護1	154 (100.0)	84 (54.5)	57 (37.0)	60 (39.0)	69 (44.8)	44 (28.6)
	要介護2	233 (100.0)	169 (72.5)	144 (61.8)	136 (58.4)	137 (58.8)	83 (35.6)
	要介護3	98 (100.0)	80 (81.6)	73 (74.5)	74 (75.5)	73 (74.5)	50 (51.0)
	要介護4	62 (100.0)	52 (83.9)	50 (80.6)	50 (80.6)	51 (82.3)	34 (54.8)
	要介護5	52 (100.0)	42 (80.8)	42 (80.8)	41 (78.8)	41 (78.8)	40 (76.9)
	無回答	39 (100.0)	12 (30.8)	11 (28.2)	9 (23.1)	12 (30.8)	7 (17.9)

要支援・ 要介護認定者 表 2		ごみを 集積所に 出す	請求書の 支払いを する	預貯金の 出し入れ をする	どれも一人 でできる	無回答
全 体		445 (46.5)	400 (41.8)	450 (47.0)	225 (23.5)	58 (6.1)
要支援・要介護度別	要支援1	21 (15.4)	14 (10.3)	16 (11.8)	76 (55.9)	4 (2.9)
	要支援2	53 (28.8)	37 (20.1)	44 (23.9)	68 (37.0)	9 (4.9)
	要介護1	60 (39.0)	60 (39.0)	76 (49.4)	31 (20.1)	12 (7.8)
	要介護2	134 (57.5)	122 (52.4)	140 (60.1)	29 (12.4)	6 (2.6)
	要介護3	76 (77.6)	72 (73.5)	72 (73.5)	0 (－)	8 (8.2)
	要介護4	49 (79.0)	47 (75.8)	52 (83.9)	0 (－)	7 (11.3)
	要介護5	42 (80.8)	40 (76.9)	42 (80.8)	0 (－)	10 (19.2)
	無回答	10 (25.6)	8 (20.5)	8 (20.5)	21 (53.8)	2 (5.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3) 歩行や移動、転倒〔認定を受けていない者：問 10①、要支援・要介護認定者：問 12①〕

設問 あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

歩行や移動、転倒に関する設問の選択肢は、はじめの 5 つが歩行や移動、転倒に対する否定的な内容、続く 3 つが肯定的な内容になっている（次ページグラフ参照）。

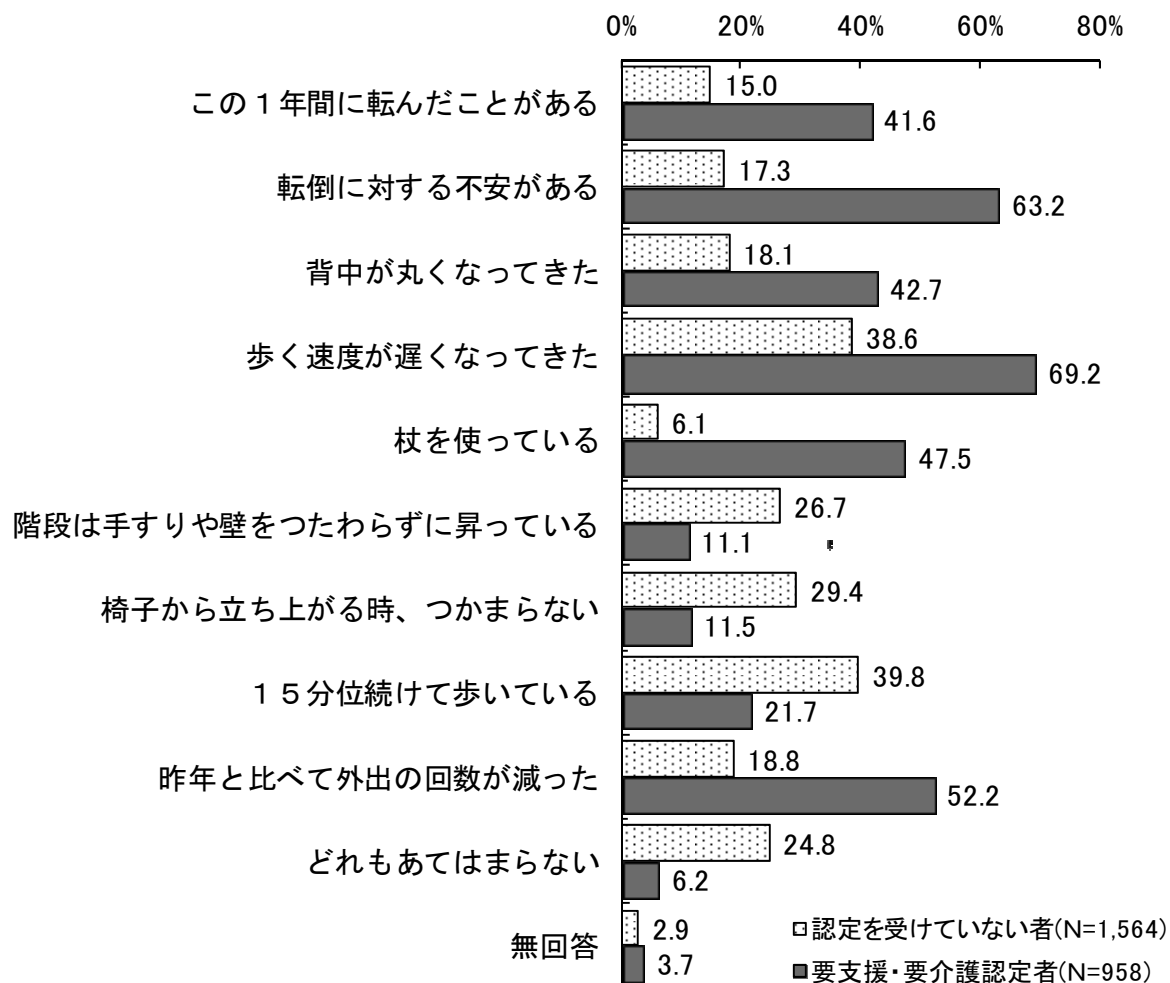
認定を受けていない者は、前半 5 つの否定的内容の中では「歩く速度が遅くなってきた」38.6%、後半 3 つ肯定的内容の中では「15 分位続けて歩いている」の 39.8%が最も多くなっている。肯定的内容である「階段は手すりや壁をつたわずに昇っている」は 26.7%、「椅子から立ち上がる時、つかまらない」も 29.4%となっている。

要支援・要介護認定者では、前半 5 つの否定的内容の中では「歩く速度が遅くなってきた」の 69.2%、「転倒に対する不安がある」の 63.2%などの割合が多い。後半 3 つの肯定的内容では「15 分位続けて歩いている」の 21.7%が最も多くなっている。**要支援・要介護認定者**は、総じて後半 3 つの肯定的内容は割合が少ない。また、「昨年と比べて外出の回数が減った」は、52.2%となっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「転倒に対する不安がある」は要介護 2 から要介護 4 において 7 割以上と多くなる。「階段は手すりや壁をつたわずに昇っている」は要支援 1 から要介護 2、「椅子から立ち上がる時、つかまらない」は要支援 1 から要介護 1 において他の介護度に比べて多い割合である。

【 歩行や移動、転倒(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者一歩行や移動、転倒(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	この1年間に 転んだこと がある	転倒に対 する不安 がある	背中が丸 くなってき た	歩く速度 が遅くなっ てきた	杖(つえ) を使ってい る
全 体		958 (100.0)	399 (41.6)	605 (63.2)	409 (42.7)	663 (69.2)	455 (47.5)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	41 (30.1)	78 (57.4)	45 (33.1)	104 (76.5)	53 (39.0)
	要支援2	184 (100.0)	75 (40.8)	109 (59.2)	76 (41.3)	130 (70.7)	104 (56.5)
	要介護1	154 (100.0)	67 (43.5)	104 (67.5)	61 (39.6)	109 (70.8)	71 (46.1)
	要介護2	233 (100.0)	108 (46.4)	164 (70.4)	124 (53.2)	176 (75.5)	141 (60.5)
	要介護3	98 (100.0)	54 (55.1)	75 (76.5)	55 (56.1)	68 (69.4)	45 (45.9)
	要介護4	62 (100.0)	32 (51.6)	46 (74.2)	29 (46.8)	38 (61.3)	19 (30.6)
	要介護5	52 (100.0)	11 (21.2)	13 (25.0)	11 (21.2)	10 (19.2)	5 (9.6)
	無回答	39 (100.0)	11 (28.2)	16 (41.0)	8 (20.5)	28 (71.8)	17 (43.6)

要支援・ 要介護認定者 表 2		階段は手 すりや壁 をつたわ らずに昇 っている	椅子から 立ち上が る時、つ かまらな い	15分位続 けて歩い ている	昨年と比 べて外出 の回数が 減った	どれもあ てはまら ない	無回答
全 体		106 (11.1)	110 (11.5)	208 (21.7)	500 (52.2)	59 (6.2)	35 (3.7)
要支援・ 要介護度別	要支援1	27 (19.9)	26 (19.1)	47 (34.6)	69 (50.7)	5 (3.7)	2 (1.5)
	要支援2	23 (12.5)	31 (16.8)	62 (33.7)	108 (58.7)	3 (1.6)	5 (2.7)
	要介護1	22 (14.3)	28 (18.2)	44 (28.6)	84 (54.5)	5 (3.2)	5 (3.2)
	要介護2	26 (11.2)	19 (8.2)	43 (18.5)	131 (56.2)	2 (0.9)	7 (3.0)
	要介護3	0 (—)	0 (—)	0 (—)	54 (55.1)	6 (6.1)	3 (3.1)
	要介護4	0 (—)	0 (—)	0 (—)	30 (48.4)	7 (11.3)	4 (6.5)
	要介護5	0 (—)	0 (—)	0 (—)	9 (17.3)	27 (51.9)	8 (15.4)
	無回答	8 (20.5)	6 (15.4)	12 (30.8)	15 (38.5)	4 (10.3)	1 (2.6)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(4) 食事・栄養、歯や口の健康

〔認定を受けていない者：問 10②、要支援・要介護認定者：問 12②〕

設問 あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

食事・栄養、歯や口の健康に関する設問の選択肢は、はじめの 5 つが食事・栄養、歯や口の健康に関する否定的な内容、続く 2 つが肯定的な内容になっている（次ページグラフ参照）。

認定を受けていない者は、前半 5 つの否定的内容の中では「口の渇（かわ）きが気になる」が 14.6%で最も多くなっている。後半 2 つの肯定的内容では、「歯磨きを毎日している」は 77.0%、「定期的に歯科検診を受けている」は 37.0%となっている。

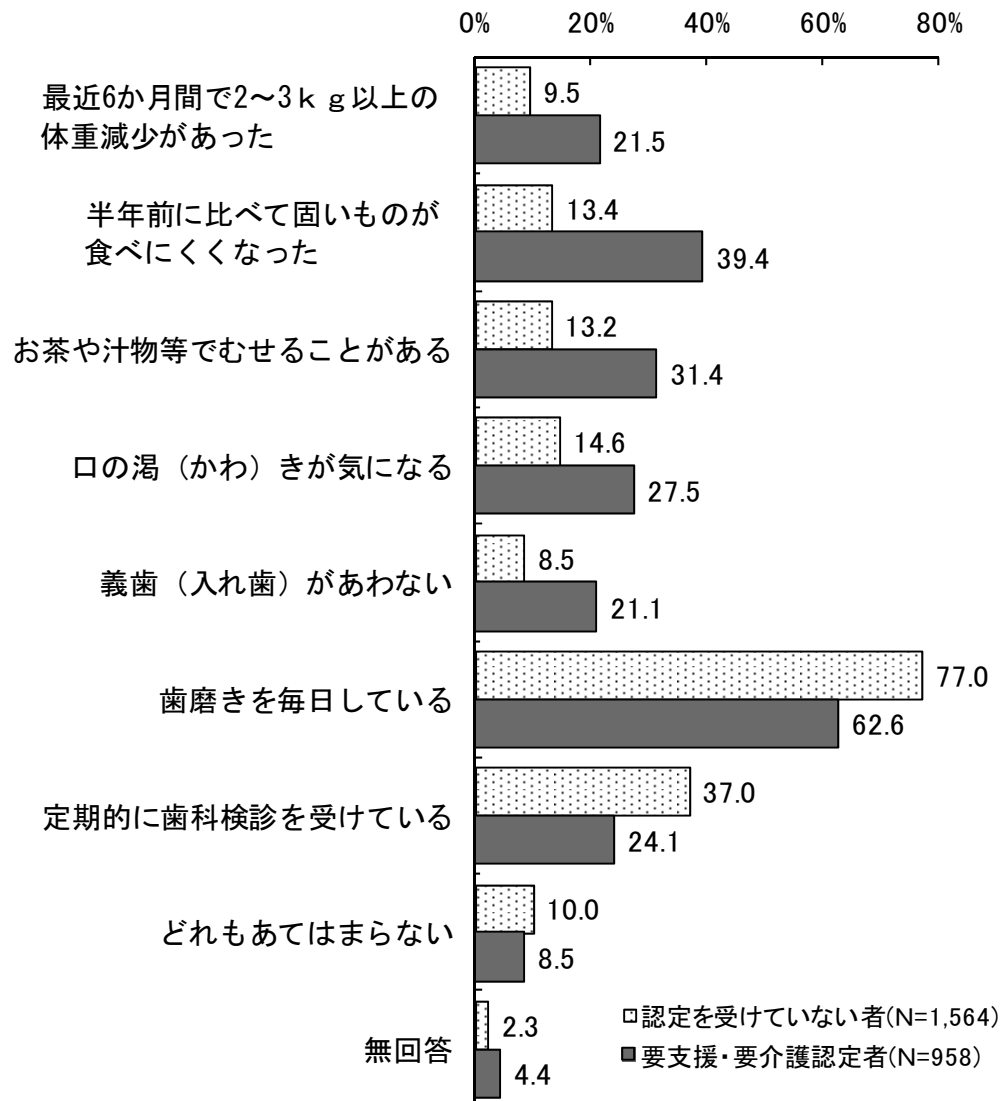
要支援・要介護認定者では、前半 5 つの否定的内容の中では「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」の 39.4%、「お茶や汁物等でむせることがある」の 31.4%が 3 割を超えている。後半 2 つの肯定的内容では、「歯磨きを毎日している」は 62.6%、「定期的に歯科検診を受けている」は 24.1%となっている。

前半 5 つの否定的内容は、**認定を受けていない者**が約 1 割台であるのに対し、**要支援・要介護認定者**はいずれも 2 割以上であり、**認定を受けていない者**に比べて**要支援・要介護認定者**の方が否定的な内容の割合は総じて多くなっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、否定的内容である「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」は要介護 2 から要介護 5 において 4 割以上、「お茶や汁物等でむせることがある」は要介護 1 から要介護 5 において 3 割以上、「最近 6 か月間で 2～3 kg 以上の体重減少があった」は要介護 4 において 3 割台、「口の渇（かわ）きが気になる」は要支援 1 から要介護 1 で 3 割台、「義歯（入れ歯）があわない」は要介護 1 から要介護 3 において 2 割台となっている。また、肯定的内容である「歯磨きを毎日している」や「定期的に歯科検診を受けている」は、要支援 1 や要支援 2 などにおいて割合が多くなっている。

【 食事・栄養、歯や口の健康(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－食事・栄養、歯や口の健康（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	最近6か月 間で2～3 kg以上の体 重減少があ った	半年前に比 べて固いも のが食べに くくなった	お茶や汁物 等でむせる ことがある	口の渇(か わ)きが気 になる
全 体		958 (100.0)	206 (21.5)	377 (39.4)	301 (31.4)	263 (27.5)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	22 (16.2)	40 (29.4)	28 (20.6)	43 (31.6)
	要支援2	184 (100.0)	39 (21.2)	67 (36.4)	50 (27.2)	56 (30.4)
	要介護1	154 (100.0)	29 (18.8)	57 (37.0)	49 (31.8)	49 (31.8)
	要介護2	233 (100.0)	57 (24.5)	100 (42.9)	76 (32.6)	69 (29.6)
	要介護3	98 (100.0)	23 (23.5)	51 (52.0)	47 (48.0)	21 (21.4)
	要介護4	62 (100.0)	19 (30.6)	30 (48.4)	26 (41.9)	12 (19.4)
	要介護5	52 (100.0)	12 (23.1)	21 (40.4)	20 (38.5)	8 (15.4)
	無回答	39 (100.0)	5 (12.8)	11 (28.2)	5 (12.8)	5 (12.8)

要支援・ 要介護認定者 表 2		義歯(入れ 歯)があわ ない	歯磨きを 毎日している	定期的に 歯科検診を 受けている	どれもあて はまらない	無回答
全 体		202 (21.1)	600 (62.6)	231 (24.1)	81 (8.5)	42 (4.4)
要支援・要介護度別	要支援1	24 (17.6)	101 (74.3)	38 (27.9)	12 (8.8)	2 (1.5)
	要支援2	34 (18.5)	137 (74.5)	51 (27.7)	8 (4.3)	7 (3.8)
	要介護1	36 (23.4)	97 (63.0)	40 (26.0)	15 (9.7)	6 (3.9)
	要介護2	54 (23.2)	143 (61.4)	42 (18.0)	16 (6.9)	12 (5.2)
	要介護3	25 (25.5)	56 (57.1)	21 (21.4)	6 (6.1)	3 (3.1)
	要介護4	12 (19.4)	30 (48.4)	17 (27.4)	6 (9.7)	3 (4.8)
	要介護5	8 (15.4)	16 (30.8)	11 (21.2)	11 (21.2)	7 (13.5)
	無回答	9 (23.1)	20 (51.3)	11 (28.2)	7 (17.9)	2 (5.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(5)社会活動や日常生活

〔認定を受けていない者：問 10③、要支援・要介護認定者：問 12③〕

設問 あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

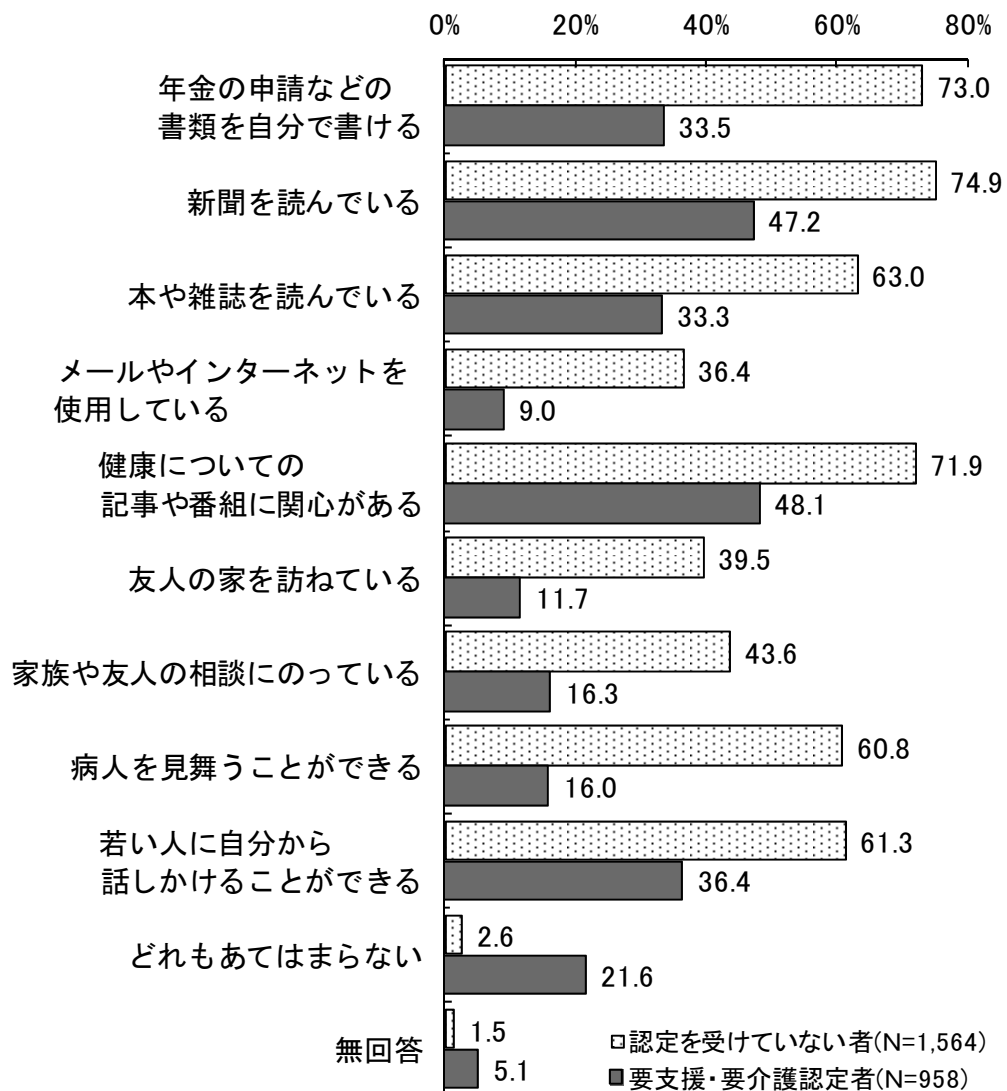
社会活動や日常生活をみると、**認定を受けていない者**は7割以上が「年金の申請などの書類を自分で書ける」「新聞を読んでいる」「健康についての記事や番組に関心がある」と回答している。続いて、6割以上が「本や雑誌を読んでいる」「病人を見舞うことができる」「若い人に自分から話しかけることができる」状況にある。最も少ない割合は、「メールやインターネットを使用している」の36.4%となっている。

要支援・要介護認定者では「健康についての記事や番組に関心がある」48.1%「新聞を読んでいる」47.2%などの割合が多いが、いずれも5割以下となっている。「病人を見舞うことができる」「家族や友人の相談にのっている」「友人の家を訪ねている」などは1割台、「メールやインターネットを使用している」は最も少ない9.0%となっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「年金の申請などの書類を自分で書ける」「新聞を読んでいる」「本や雑誌を読んでいる」「健康についての記事や番組に関心がある」は、介護度が上がるにしたがい割合は減少している。

【 社会活動や日常生活(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－社会活動や日常生活(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合 計	年金の申請 などの書類 を自分で書 ける	新聞を読 んでいる	本や雑誌 を読んでいる	メールやイ ンターネット を使用してい る	健康につい ての記事や 番組に関心 がある
全 体		958 (100.0)	321 (33.5)	452 (47.2)	319 (33.3)	86 (9.0)	461 (48.1)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	84 (61.8)	94 (69.1)	73 (53.7)	22 (16.2)	96 (70.6)
	要支援2	184 (100.0)	95 (51.6)	110 (59.8)	89 (48.4)	27 (14.7)	122 (66.3)
	要介護1	154 (100.0)	45 (29.2)	77 (50.0)	50 (32.5)	12 (7.8)	77 (50.0)
	要介護2	233 (100.0)	54 (23.2)	102 (43.8)	62 (26.6)	15 (6.4)	101 (43.3)
	要介護3	98 (100.0)	15 (15.3)	31 (31.6)	16 (16.3)	3 (3.1)	34 (34.7)
	要介護4	62 (100.0)	7 (11.3)	11 (17.7)	8 (12.9)	1 (1.6)	12 (19.4)
	要介護5	52 (100.0)	1 (1.9)	4 (7.7)	6 (11.5)	1 (1.9)	3 (5.8)
	無回答	39 (100.0)	20 (51.3)	23 (59.0)	15 (38.5)	5 (12.8)	16 (41.0)

要支援・ 要介護認定者 表 2		友人の家 を訪ねてい る	家族や友人 の相談にの っている	病人を見舞 うことが できる	若い人に 自分から 話しかけ ることがで きる	どれもあ てはまら ない	無回答
全 体		112 (11.7)	156 (16.3)	153 (16.0)	349 (36.4)	207 (21.6)	49 (5.1)
要支援・要介護度別	要支援1	28 (20.6)	37 (27.2)	47 (34.6)	60 (44.1)	7 (5.1)	4 (2.9)
	要支援2	29 (15.8)	44 (23.9)	40 (21.7)	82 (44.6)	10 (5.4)	9 (4.9)
	要介護1	27 (17.5)	26 (16.9)	30 (19.5)	65 (42.2)	28 (18.2)	7 (4.5)
	要介護2	19 (8.2)	30 (12.9)	24 (10.3)	82 (35.2)	49 (21.0)	8 (3.4)
	要介護3	0 (－)	6 (6.1)	0 (－)	22 (22.4)	41 (41.8)	5 (5.1)
	要介護4	0 (－)	6 (9.7)	0 (－)	15 (24.2)	29 (46.8)	7 (11.3)
	要介護5	0 (－)	1 (1.9)	0 (－)	8 (15.4)	36 (69.2)	6 (11.5)
	無回答	9 (23.1)	6 (15.4)	12 (30.8)	15 (38.5)	7 (17.9)	3 (7.7)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(6)外出の頻度〔認定を受けていない者：問 8、要支援・要介護認定者：問 10〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、どのくらい外出をしていますか。(1つに○)

外出の頻度をみると、**認定を受けていない者**では「ほぼ毎日」が 55.4%と過半数を占める。次いで「週 4～5 日」21.0%、「週 2～3 日」14.3%などの順に多い。「週 1 日」は 4.0%、「週 1 日未満」は 3.1%であり、いずれも 1 割以下となっている。

要支援・要介護認定者では「週 2～3 日」の 34.4%が最も多く、次いで「週 1 日未満」17.1%、「週 4～5 日」16.5%、「ほぼ毎日」15.8%が続く。

《要支援・要介護度別》

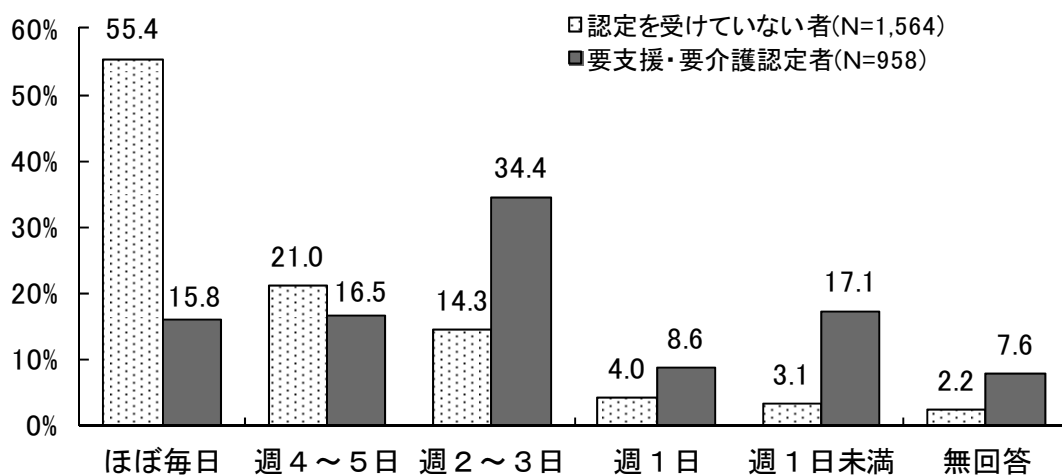
要支援・要介護度別にみると、要支援 1 から要介護 4 では「週 2～3 日」、要介護 5 では「週 1 日未満」の割合が最も多くなっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では「ほぼ毎日」(52.4%→55.4%)が増加、「週 4～5 日」(19.9%→21.0%)は増加している。

要支援・要介護認定者では「ほぼ毎日」(16.1%→15.8%)は横ばい、「週 4～5 日」(13.3%→16.5%)は増加、「週 2～3 日」(33.8%→34.4%)は微増、「週 1 日」(9.2%→8.6%)は微減、「週 1 日未満」(18.1%→17.1%)は減少となっている。

【 外出の頻度(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－外出の頻度（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	ほぼ毎日	週4～5日	週2～3日	週1日	週1日未満	無回答
全 体		958 (100.0)	151 (15.8)	158 (16.5)	330 (34.4)	82 (8.6)	164 (17.1)	73 (7.6)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	34 (25.0)	33 (24.3)	43 (31.6)	10 (7.4)	15 (11.0)	1 (0.7)
	要支援2	184 (100.0)	38 (20.7)	29 (15.8)	64 (34.8)	15 (8.2)	22 (12.0)	16 (8.7)
	要介護1	154 (100.0)	24 (15.6)	22 (14.3)	55 (35.7)	17 (11.0)	25 (16.2)	11 (7.1)
	要介護2	233 (100.0)	30 (12.9)	34 (14.6)	85 (36.5)	23 (9.9)	46 (19.7)	15 (6.4)
	要介護3	98 (100.0)	6 (6.1)	23 (23.5)	38 (38.8)	4 (4.1)	22 (22.4)	5 (5.1)
	要介護4	62 (100.0)	6 (9.7)	7 (11.3)	22 (35.5)	3 (4.8)	17 (27.4)	7 (11.3)
	要介護5	52 (100.0)	2 (3.8)	3 (5.8)	10 (19.2)	7 (13.5)	17 (32.7)	13 (25.0)
	無回答	39 (100.0)	11 (28.2)	7 (17.9)	13 (33.3)	3 (7.7)	0 (－)	5 (12.8)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(7)認知の状況〔認定を受けていない者：問 11、要支援・要介護認定者：問 13〕

設問 次のうち、あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

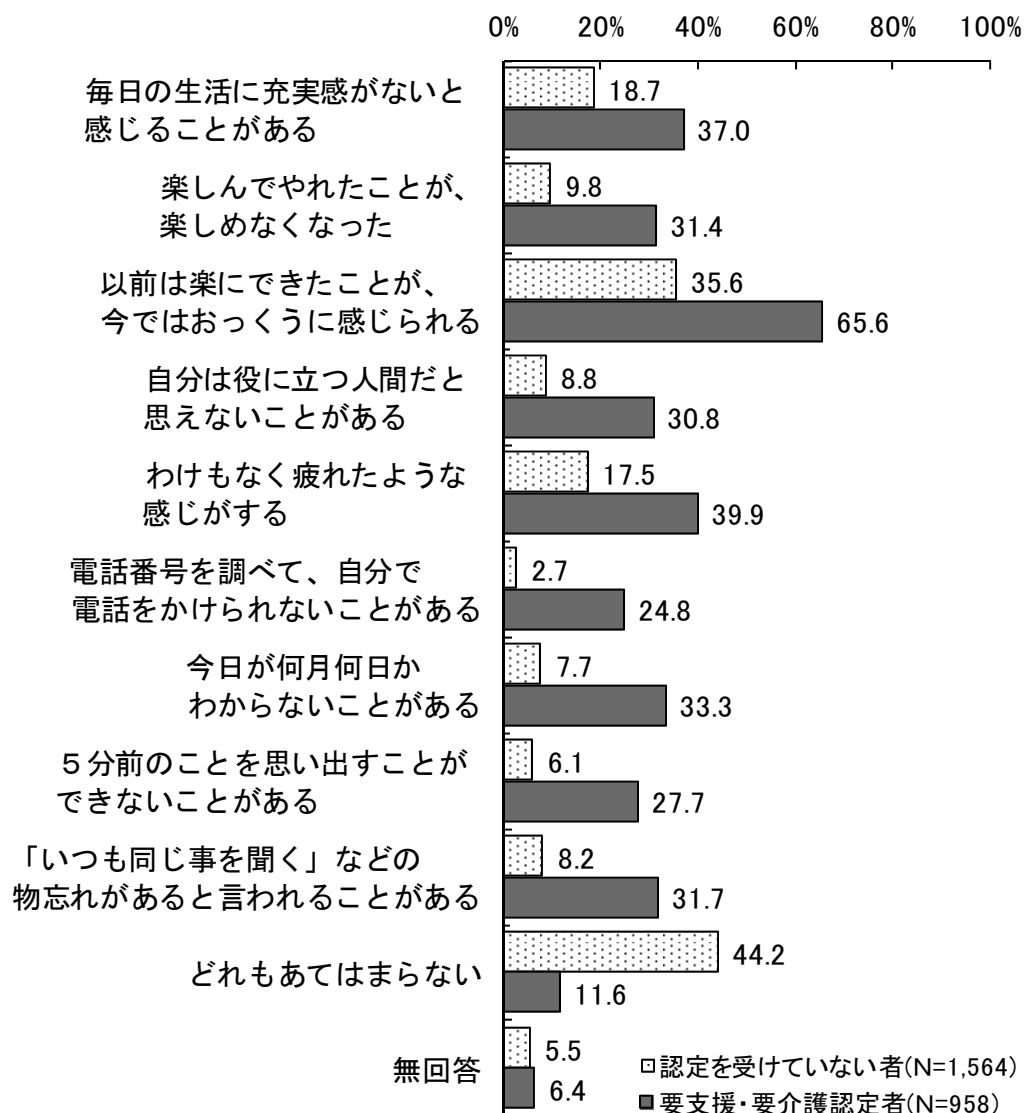
認定を受けていない者では「どれもあてはまらない」が 44.2%である。次いで「以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる」が 35.6%であり、「毎日の生活に充実感がないと感ずることがある」の 18.7%、「わけもなく疲れたような感じがする」の 17.5%などが 1 割を超えている。

要支援・要介護認定者では「以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる」の 65.6%が突出して多く、次いで「わけもなく疲れたような感じがする」39.9%、「毎日の生活に充実感がないと感ずることがある」37.0%、「今日が何月何日かわからないことがある」33.3%、「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされることある」31.7%、「楽しんでやれたことが、楽しめなくなった」31.4%、「自分は役に立つ人間だと思えないことがある」30.8%が 3 割を超えている。「どれもあてはまらない」は**認定を受けていない者**より少ない 11.6%である。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる」は要支援 1 から要介護 3 において 6 割以上と多くなっている。「わけもなく疲れたような感じがする」についても同様に、要支援 1 から要介護 3 において 3～4 割台であり、多い割合となっている。

【 認知の状況(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－認知の状況（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	毎日の生活 に充実感が ないと感じる ことがある	楽しんでや れたことが、 楽しめなくな った	以前は楽に できたこと が、今では おっくうに感 じられる	自分は役に 立つ人間だ と思えないこ とがある	わけもなく疲 れたような 感じがする
全 体		958 (100.0)	354 (37.0)	301 (31.4)	628 (65.6)	295 (30.8)	382 (39.9)
要支援・要 介護度別	要支援1	136 (100.0)	47 (34.6)	37 (27.2)	90 (66.2)	26 (19.1)	62 (45.6)
	要支援2	184 (100.0)	62 (33.7)	56 (30.4)	138 (75.0)	62 (33.7)	69 (37.5)
	要介護1	154 (100.0)	64 (41.6)	47 (30.5)	108 (70.1)	48 (31.2)	70 (45.5)
	要介護2	233 (100.0)	94 (40.3)	81 (34.8)	156 (67.0)	93 (39.9)	102 (43.8)
	要介護3	98 (100.0)	43 (43.9)	42 (42.9)	71 (72.4)	31 (31.6)	40 (40.8)
	要介護4	62 (100.0)	24 (38.7)	18 (29.0)	36 (58.1)	18 (29.0)	18 (29.0)
	要介護5	52 (100.0)	10 (19.2)	9 (17.3)	11 (21.2)	9 (17.3)	10 (19.2)
	無回答	39 (100.0)	10 (25.6)	11 (28.2)	18 (46.2)	8 (20.5)	11 (28.2)

要支援・ 要介護認定者 表 2		電話番号を 調べて、自 分で電話を かけられな いことがある	今日が何月 何日かわか らないこと がある	5分前のこと を思い出す ことができな いことがある	「いつも同じ 事を聞く」な どの物忘れが あると言われ ることがある	どれもあて はまらない	無回答
全 体		238 (24.8)	319 (33.3)	265 (27.7)	304 (31.7)	111 (11.6)	61 (6.4)
要支援・要 介護度別	要支援1	10 (7.4)	27 (19.9)	23 (16.9)	25 (18.4)	24 (17.6)	3 (2.2)
	要支援2	16 (8.7)	33 (17.9)	23 (12.5)	33 (17.9)	17 (9.2)	10 (5.4)
	要介護1	41 (26.6)	61 (39.6)	49 (31.8)	63 (40.9)	10 (6.5)	7 (4.5)
	要介護2	81 (34.8)	84 (36.1)	80 (34.3)	88 (37.8)	20 (8.6)	18 (7.7)
	要介護3	44 (44.9)	50 (51.0)	47 (48.0)	49 (50.0)	10 (10.2)	6 (6.1)
	要介護4	29 (46.8)	33 (53.2)	23 (37.1)	26 (41.9)	5 (8.1)	4 (6.5)
	要介護5	9 (17.3)	14 (26.9)	11 (21.2)	11 (21.2)	20 (38.5)	9 (17.3)
	無回答	8 (20.5)	17 (43.6)	9 (23.1)	9 (23.1)	5 (12.8)	4 (10.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(8)判断の状況〔認定を受けていない者:問 12、要支援・要介護認定者:問 14〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(1つに○)

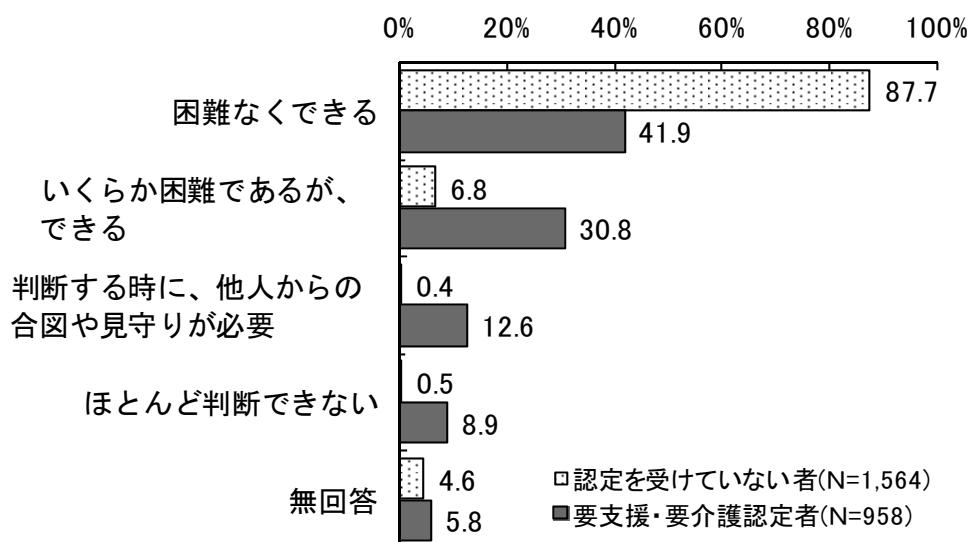
判断の状況をみると、**認定を受けていない者**では「困難なくできる」が87.7%を占め、「いくらか困難であるが、できる」の6.8%をあわせると、9割以上ができる状況にある。

要支援・要介護認定者では「困難なくできる」41.9%、「いくらか困難であるが、できる」30.8%であり、これらをあわせると72.7%ができると回答している。「判断する時に、他人からの合図や見守りが必要」12.6%と「ほとんど判断できない」8.9%をあわせた21.5%は支援が必要であったり、判断ができない状況にある。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「困難なくできる」は要支援1および要支援2において割合が多く、要介護1から介護度があがるにしたがい「ほとんど判断できない」割合が多くなっている。

【 判断の状況(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－判断の状況（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	困難なくで きる	いくらか 困難である が、できる	判断する時 に、他人か らの合図や 見守りが 必要	ほとんど 判断でき ない	無回答
全 体		958 (100.0)	401 (41.9)	295 (30.8)	121 (12.6)	85 (8.9)	56 (5.8)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	88 (64.7)	38 (27.9)	3 (2.2)	1 (0.7)	6 (4.4)
	要支援2	184 (100.0)	110 (59.8)	56 (30.4)	0 (－)	5 (2.7)	13 (7.1)
	要介護1	154 (100.0)	70 (45.5)	59 (38.3)	13 (8.4)	2 (1.3)	10 (6.5)
	要介護2	233 (100.0)	74 (31.8)	88 (37.8)	44 (18.9)	17 (7.3)	10 (4.3)
	要介護3	98 (100.0)	21 (21.4)	32 (32.7)	25 (25.5)	16 (16.3)	4 (4.1)
	要介護4	62 (100.0)	11 (17.7)	13 (21.0)	20 (32.3)	14 (22.6)	4 (6.5)
	要介護5	52 (100.0)	3 (5.8)	1 (1.9)	13 (25.0)	28 (53.8)	7 (13.5)
	無回答	39 (100.0)	24 (61.5)	8 (20.5)	3 (7.7)	2 (5.1)	2 (5.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(9)伝達の状況〔認定を受けていない者:問 13、要支援・要介護認定者:問 15〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)

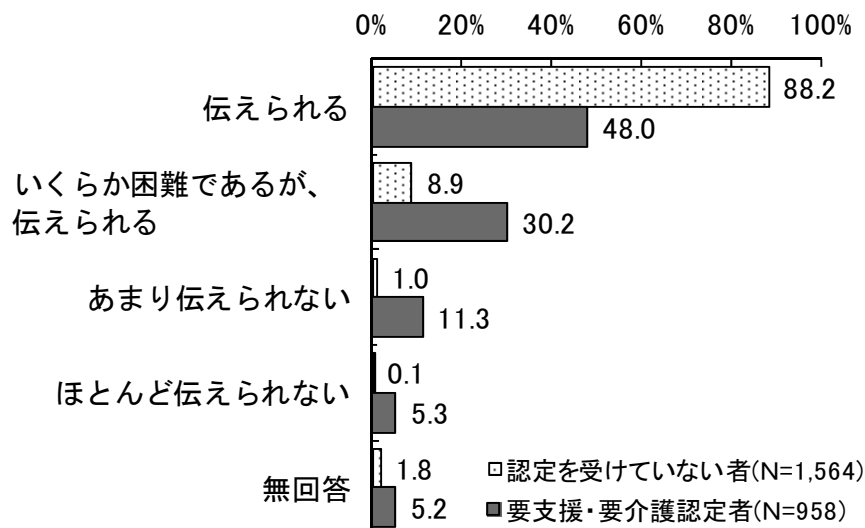
伝達の状況をみると、**認定を受けていない者**では「伝えられる」が 88.2%であり、「いくらか困難であるが、伝えられる」の 8.9%をあわせると、9 割以上ができる状況にある。

要支援・要介護認定者では「伝えられる」48.0%、「いくらか困難であるが、伝えられる」30.2%であり、これらをあわせると 78.2%が伝えられると回答している。「あまり伝えられない」は 11.3%、「ほとんど伝えられない」は 5.3%であり、これらをあわせた 16.6%は伝えることが困難な状況となっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援 1 および要支援 2 において 6 割以上が「伝えられる」と回答している。一方で、介護度 5 では 32.7%が「ほとんど伝えられない」となっている。

【 伝達の状況(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－伝達の状況（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	伝えられ る	いくらか 困難であ るが、伝 えられる	あまり伝え られない	ほとんど 伝えられ ない	無回答
全 体		958 (100.0)	460 (48.0)	289 (30.2)	108 (11.3)	51 (5.3)	50 (5.2)
要支援・要 介護度別	要支援1	136 (100.0)	89 (65.4)	31 (22.8)	11 (8.1)	0 (－)	5 (3.7)
	要支援2	184 (100.0)	120 (65.2)	46 (25.0)	7 (3.8)	2 (1.1)	9 (4.9)
	要介護1	154 (100.0)	68 (44.2)	57 (37.0)	17 (11.0)	4 (2.6)	8 (5.2)
	要介護2	233 (100.0)	99 (42.5)	86 (36.9)	24 (10.3)	10 (4.3)	14 (6.0)
	要介護3	98 (100.0)	38 (38.8)	29 (29.6)	21 (21.4)	10 (10.2)	0 (－)
	要介護4	62 (100.0)	16 (25.8)	21 (33.9)	14 (22.6)	7 (11.3)	4 (6.5)
	要介護5	52 (100.0)	7 (13.5)	11 (21.2)	11 (21.2)	17 (32.7)	6 (11.5)
	無回答	39 (100.0)	23 (59.0)	8 (20.5)	3 (7.7)	1 (2.6)	4 (10.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

8 就労について

(1)収入を伴う仕事の有無〔認定を受けていない者：問 16〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、ふだん収入を伴う仕事(パート・アルバイトを含む)をしていますか。1つに○をして、それぞれ理由もお答えください。

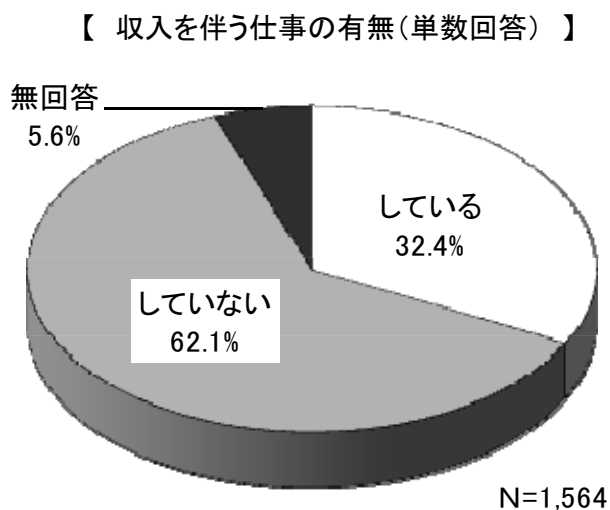
認定を受けていない者について、収入を伴う仕事の有無をみると、仕事を「している」は 32.4%、「していない」は 62.1%であり、「していない」が 6 割以上を占めている。

《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、仕事を「している」割合が最も多いのは 65～69 歳の 49.9%であり、次いで 70～74 歳では 38.2%が「している」状況にある。70 歳以上になると、「していない」割合が 5 割を超えている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「している」(32.5%→32.4%)は横ばい、「していない」(60.6%→62.1%)は増加している。



【 認定を受けていない者－収入を伴う仕事の有無（年齢別） 】

認定を受けていない者		合計	している	していない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	506 (32.4)	971 (62.1)	87 (5.6)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	200 (49.9)	189 (47.1)	12 (3.0)
	70～74歳	416 (100.0)	159 (38.2)	233 (56.0)	24 (5.8)
	75～79歳	378 (100.0)	101 (26.7)	258 (68.3)	19 (5.0)
	80～84歳	250 (100.0)	37 (14.8)	196 (78.4)	17 (6.8)
	85～89歳	84 (100.0)	5 (6.0)	70 (83.3)	9 (10.7)
	90歳以上	24 (100.0)	2 (8.3)	19 (79.2)	3 (12.5)
	無回答	11 (100.0)	2 (18.2)	6 (54.5)	3 (27.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2)働いている理由〔認定を受けていない者:問 16〕

認定を受けていない者について、収入を伴う仕事をしている理由をみると、「家計の維持・補助のため」が 56.1%と多くなっている。次いで「生きがいのため」16.2%、「健康維持のため」15.6%が続いている。

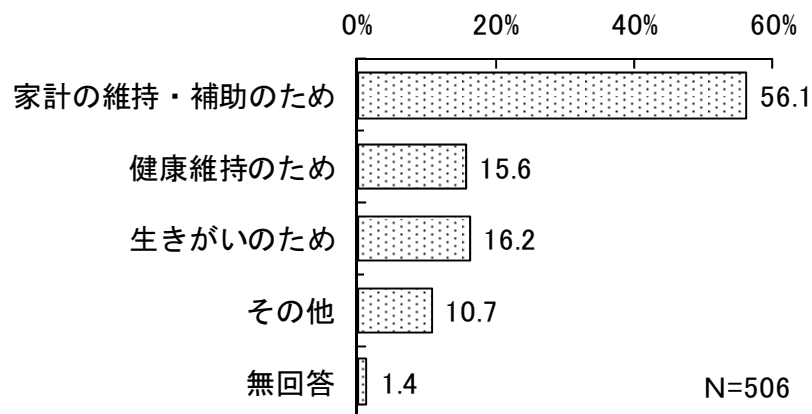
《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、84 歳以下では「家計の維持・補助のため」が最も多くなっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「家計の維持・補助のため」(56.4%→56.1%)は横ばい、「生きがいのため」(13.2%→16.2%)は増加、「健康維持のため」(18.4%→15.6%)は減少している。

【 働いている理由(単数回答) 】



【 認定を受けていない者－働いている理由（年齢別） 】

認定を受けていない者		合計	家計の維持・補助のため	健康維持のため	生きがいのため	その他	無回答
全 体		506 (100.0)	284 (56.1)	79 (15.6)	82 (16.2)	54 (10.7)	7 (1.4)
年齢別	65～69歳	200 (100.0)	122 (61.0)	30 (15.0)	29 (14.5)	19 (9.5)	0 (－)
	70～74歳	159 (100.0)	89 (56.0)	24 (15.1)	27 (17.0)	15 (9.4)	4 (2.5)
	75～79歳	101 (100.0)	53 (52.5)	15 (14.9)	16 (15.8)	15 (14.9)	2 (2.0)
	80～84歳	37 (100.0)	18 (48.6)	9 (24.3)	5 (13.5)	5 (13.5)	0 (－)
	85～89歳	5 (100.0)	1 (20.0)	0 (－)	3 (60.0)	0 (－)	1 (20.0)
	90歳以上	2 (100.0)	1 (50.0)	0 (－)	1 (50.0)	0 (－)	0 (－)
	無回答	2 100.0	0 (－)	1 50.0	1 50.0	0 (－)	0 (－)

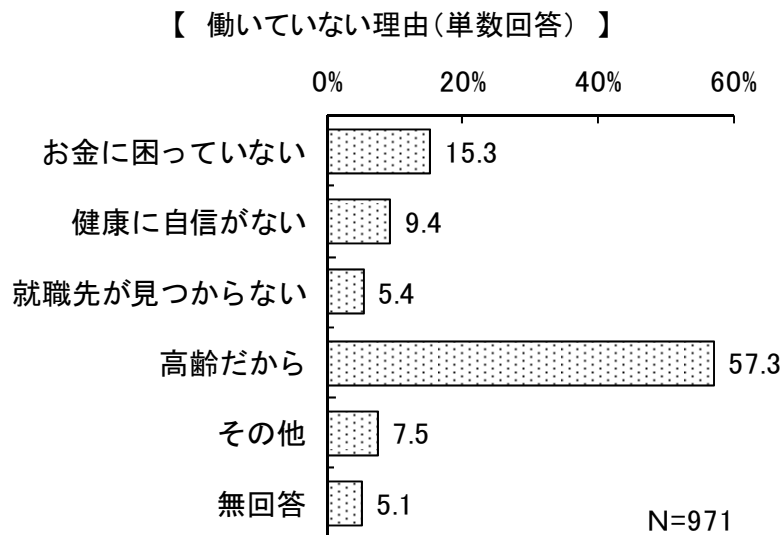
※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3)働いていない理由〔認定を受けていない者:問 16〕

認定を受けていない者について、収入を伴う仕事をしていない理由をみると、「高齢だから」が57.3%で最も多くなっている。次いで「お金に困っていない」15.3%、「健康に自信がない」9.4%、「就職先が見つからない」5.4%が続いている。

《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、「高齢だから」は70歳以上において5割を超えている。



【 認定を受けていない者－働いていない理由（年齢別） 】

認定を受けていない者		合計	お金に困っていない	健康に自信がない	就職先が見つからない	高齢だから	その他	無回答
全 体		971 (100.0)	149 (15.3)	91 (9.4)	52 (5.4)	556 (57.3)	73 (7.5)	50 (5.1)
年 齢 別	65～69歳	189 (100.0)	52 (27.5)	29 (15.3)	19 (10.1)	47 (24.9)	37 (19.6)	5 (2.6)
	70～74歳	233 (100.0)	37 (15.9)	21 (9.0)	17 (7.3)	126 (54.1)	17 (7.3)	15 (6.4)
	75～79歳	258 (100.0)	26 (10.1)	21 (8.1)	8 (3.1)	172 (66.7)	14 (5.4)	17 (6.6)
	80～84歳	196 (100.0)	17 (8.7)	12 (6.1)	5 (2.6)	149 (76.0)	5 (2.6)	8 (4.1)
	85～89歳	70 (100.0)	15 (21.4)	7 (10.0)	1 (1.4)	45 (64.3)	0 (－)	2 (2.9)
	90歳以上	19 (100.0)	1 (5.3)	1 (5.3)	0 (－)	14 (73.7)	0 (－)	3 (15.8)
	無回答	6 (100.0)	1 (16.7)	0 (－)	2 (33.3)	3 (50.0)	0 (－)	0 (－)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

9 社会参加について

(1)現在参加している生きがい・社会参加活動〔認定を受けていない者：問 17〕

設問 現在、あなた(あて名のご本人)は、以下のような生きがい・社会参加活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者について、現在参加している生きがい・社会参加活動をみると、「特に何も行っていない」が 37.6%であり、何らかの活動をしている（100%から「特に何も行っていない」および「無回答」を引いた数値）人の割合は 53.4%となっている。具体的な活動としては「趣味・楽しみのための活動に参加している」29.4%、「ジョギングやスポーツ活動を行っている」23.3%、「町会・自治会の活動に参加している」16.8%などの割合が多くなっている。

《年齢別》

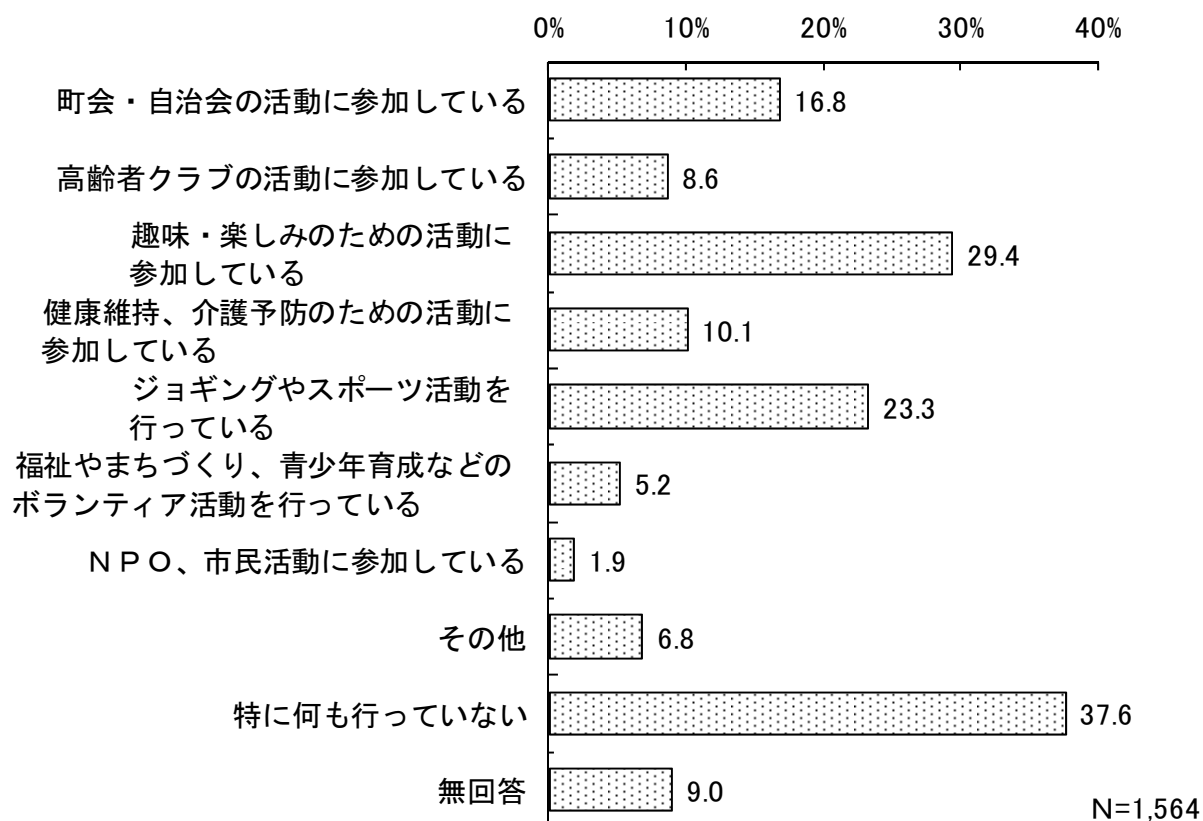
認定を受けていない者について、年齢別にみると、「趣味・楽しみのための活動に参加している」や「ジョギングやスポーツ活動を行っている」は 84 歳以下において、活動している割合が 2 割以上となっている。「高齢者クラブの活動に参加している」は、75～84 歳において、他の年齢にくらべて参加の割合が多い。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「町会・自治会の活動に参加している」（16.5%→16.8%）は横ばい、「趣味・楽しみのための活動に参加している」（26.5%→29.4%）、「健康維持、介護予防のための活動に参加している」（7.6%→10.1%）、「ジョギングやスポーツ活動を行っている」（20.1%→23.3%）、「福祉やまちづくり、青少年育成などのボランティア活動を行っている」（3.4%→5.2%）は増加している。

「特に何も行っていない」（45.5%→37.6%）は減少している。

【 現在参加している生きがい・社会参加活動(複数回答) 】



【 その他__上記以外に参加・活動している活動 】

具体的に記載されていた内容(抜粋、順不同)	
● シルバー人材センターでの就業 ● 民生委員活動 ● 消防団活動	● 各種の勉強会 ● 教室の講師 ● 各種団体の役員や代表等 など

【 特に何も行っていない理由 】

具体的に記載されていた内容(抜粋、順不同)	
● 関心がない ● 興味がない ● 健康・体力に自信がない ● 仕事をしているから ● 介護を行っているから ● 時間がない	● 情報がない ● 知っている人がいない ● 自分でやるから ● 面倒だから ● など

【 認定を受けていない者－現在参加している生きがい・社会参加活動（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	町会・自治会の活動に参加している	高齢者クラブの活動に参加している	趣味・楽しみのための活動に参加している	健康維持、介護予防のための活動に参加している	ジョギングやスポーツ活動を行っている
全 体		1,564 (100.0)	263 (16.8)	135 (8.6)	460 (29.4)	158 (10.1)	364 (23.3)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	69 (17.2)	16 (4.0)	112 (27.9)	35 (8.7)	112 (27.9)
	70～74歳	416 (100.0)	68 (16.3)	33 (7.9)	132 (31.7)	47 (11.3)	103 (24.8)
	75～79歳	378 (100.0)	71 (18.8)	40 (10.6)	126 (33.3)	41 (10.8)	85 (22.5)
	80～84歳	250 (100.0)	45 (18.0)	36 (14.4)	70 (28.0)	26 (10.4)	51 (20.4)
	85～89歳	84 (100.0)	7 (8.3)	6 (7.1)	15 (17.9)	7 (8.3)	9 (10.7)
	90歳以上	24 (100.0)	2 (8.3)	1 (4.2)	2 (8.3)	0 (－)	1 (4.2)
	無回答	11 (100.0)	1 (9.1)	3 (27.3)	3 (27.3)	2 (18.2)	3 (27.3)

認定を受けていない者 表 2		福祉やまちづくり、青少年育成などのボランティア活動を行っている	NPO、市民活動に参加している	その他	特に何も行っていない	無回答
全 体		81 (5.2)	29 (1.9)	107 (6.8)	588 (37.6)	140 (9.0)
年 齢 別	65～69歳	30 (7.5)	9 (2.2)	22 (5.5)	167 (41.6)	22 (5.5)
	70～74歳	22 (5.3)	7 (1.7)	25 (6.0)	146 (35.1)	32 (7.7)
	75～79歳	16 (4.2)	7 (1.9)	36 (9.5)	127 (33.6)	39 (10.3)
	80～84歳	9 (3.6)	5 (2.0)	15 (6.0)	99 (39.6)	24 (9.6)
	85～89歳	3 (3.6)	0 (－)	5 (6.0)	31 (36.9)	18 (21.4)
	90歳以上	0 (－)	0 (－)	1 (4.2)	16 (66.7)	3 (12.5)
	無回答	1 (9.1)	1 (9.1)	3 (27.3)	2 (18.2)	2 (18.2)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 今後参加したい生きがい・社会参加活動〔認定を受けていない者：問 18〕

設問 今後、あなた(あて名のご本人)は、以下のような生きがい・社会参加活動に参加・取り組みたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者について、今後参加したい生きがい・社会参加活動をみると、「特に参加したい活動はない」が 29.5%であり、何らかの活動をしたい割合(100%から「特に参加したい活動はない」および「無回答」を引いた数値)は 51.2%となっている。具体的に活動したい内容としては「趣味・楽しみのための活動」25.3%、「健康維持、介護予防のための活動」12.3%、「スポーツ活動」11.6%、「町会・自治会の活動」11.3%となっている。

現在参加している生きがい・社会参加活動(問 17)と比べて、今後参加したいという割合が多くなっている活動は、「高齢者クラブの活動」(問 17 の現在 8.6%→問 18 の今後 10.2%)、「健康維持、介護予防のための活動」(問 17 の現在 10.1%→問 18 の今後 12.3%)、である。

なお、「趣味・楽しみのための活動」「健康維持、介護予防のための活動」「スポーツ活動」「ボランティア活動」「NPO、市民活動」については、それぞれ具体的な内容があげられているが、以下がその代表的意見の抜粋である。

《年齢別》

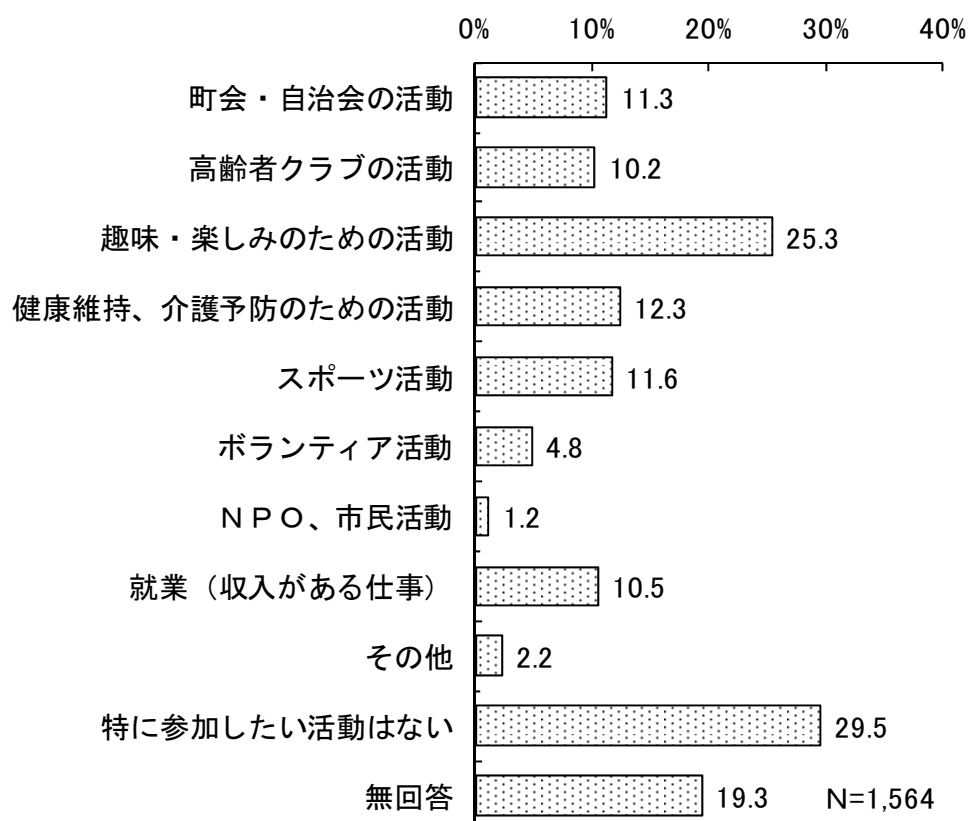
認定を受けていない者について、年齢別にみると、「町会・自治会の活動」への参加者は 65～69 歳、「高齢者クラブの活動」は 70～89 歳、「趣味・楽しみのための活動」および「健康維持、介護予防のための活動」は 65～84 歳、「スポーツ活動」は 65～79 歳、「ボランティア活動」および「就業(収入がある仕事)」は 65～74 歳の年齢において、他の年齢に比べて参加意向が多い。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「趣味・楽しみのための活動」(22.8%→25.3%)、「スポーツ活動」(10.1%→11.6%)は増加、「就業(収入がある仕事)」(10.1%→10.5%)「高齢者クラブの活動」(10.3%→10.2%)、「NPO、市民活動」(1.0%→1.2%)は横ばいであり、これら以外はすべて前回調査の割合を上回っている。

「特に参加したい活動はない」(45.6%→29.5%)は減少している。

【 今後参加したい生きがい・社会参加活動(複数回答) 】



【 具体的活動内容 】

選択肢	具体的に記載されていた内容(抜粋、順不同)
趣味・楽しみのための活動	インターネット、カラオケ、コーラス、ゴルフ、サイクリング、ダンス、釣り、ハイキング、ヨガ、囲碁、将棋、音楽、絵画、歌、絵手紙、楽器演奏、写真、山登り、語学、手芸、習字、俳句、編み物、茶道、華道、麻雀、民謡、旅行、野菜作り、詩吟、史跡散策、パソコン など
健康維持、介護予防のための活動	ウォーキング、筋トレ、ゴルフ、ジョギング、ストレッチ、体操、サイクリング、ラジオ体操 など
スポーツ活動	ゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク、スイミング、ストレッチ、ソフトボール、テニス、ダンス、ボーリング、ヨガ、バドミントン、太極拳、卓球、野球、スポーツジムに通う など
ボランティア活動	子どもの見守り、清掃活動、災害時の支援活動、話し相手、福祉施設慰問、介護のボランティア、音楽ボランティア、子ども食堂 など
NPO、市民活動	まちづくり、社会教育活動、NPO法人の理事 など

【 その他_上記以外に参加・活動したい活動 】

具体的に記載されていた内容(抜粋、順不同)	
● 資格取得のための勉強 ● 習い事 ● 負担の少ない活動 ● 宗教活動	● 自分の経験を活かせる活動 ● 外国人向けの活動 ● 軽作業や簡単な仕事 など

【 特に参加したい活動はない理由 】

具体的に記載されていた内容(抜粋、順不同)	
● 関心がない ● 興味がない ● 健康・体力に自信がない ● 体調が悪い、病気だから ● 高齢だから ● トイレに近い ● 仕事で忙しい ● 自営業だから ● 家事が忙しい	● 介護で時間がない ● 通院で忙しい ● 今の活動等で十分だから ● 時間がない ● 情報がない ● 知っている人がいない ● 面倒だから ● 人と関わりたくない など

【 認定を受けていない者－今後参加したい生きがい・社会参加活動（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	町会・自治会の活動	高齢者クラブの活動	趣味・楽しみのための活動	健康維持、介護予防のための活動	スポーツ活動
全 体		1,564 (100.0)	176 (11.3)	160 (10.2)	396 (25.3)	193 (12.3)	182 (11.6)
年齢別	65～69歳	401 (100.0)	55 (13.7)	26 (6.5)	112 (27.9)	59 (14.7)	62 (15.5)
	70～74歳	416 (100.0)	45 (10.8)	42 (10.1)	112 (26.9)	52 (12.5)	55 (13.2)
	75～79歳	378 (100.0)	39 (10.3)	46 (12.2)	89 (23.5)	40 (10.6)	38 (10.1)
	80～84歳	250 (100.0)	28 (11.2)	34 (13.6)	66 (26.4)	33 (13.2)	23 (9.2)
	85～89歳	84 (100.0)	9 (10.7)	9 (10.7)	12 (14.3)	7 (8.3)	4 (4.8)
	90歳以上	24 (100.0)	0 (－)	1 (4.2)	2 (8.3)	2 (8.3)	0 (－)
	無回答	11 (100.0)	0 (－)	2 (18.2)	3 (27.3)	0 (－)	0 (－)

認定を受けていない者 表 2		ボランティア活動	NPO、市民活動	就業(収入がある仕事)	その他	特に参加したい活動はない	無回答
全 体		75 (4.8)	18 (1.2)	164 (10.5)	35 (2.2)	461 (29.5)	302 (19.3)
年齢別	65～69歳	25 (6.2)	8 (2.0)	62 (15.5)	11 (2.7)	124 (30.9)	47 (11.7)
	70～74歳	26 (6.3)	1 (0.2)	55 (13.2)	15 (3.6)	106 (25.5)	78 (18.8)
	75～79歳	12 (3.2)	5 (1.3)	29 (7.7)	7 (1.9)	112 (29.6)	78 (20.6)
	80～84歳	9 (3.6)	2 (0.8)	13 (5.2)	1 (0.4)	70 (28.0)	62 (24.8)
	85～89歳	3 (3.6)	1 (1.2)	4 (4.8)	0 (－)	34 (40.5)	23 (27.4)
	90歳以上	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	12 (50.0)	9 (37.5)
	無回答	0 (－)	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	3 (27.3)	5 (45.5)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

10 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)について

(1) 高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度

〔認定を受けていない者:問 22、要支援・要介護認定者:問 18〕

設問 区では、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者やその家族を総合的に支援する相談窓口として、区内14か所に高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)や※出張相談窓口を設置しています。あなた(あて名のご本人)は、この高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)や出張相談窓口をごぞんじですか。(1つに○)

※葛飾区では、「地域包括支援センター」が高齢者の総合相談窓口であることが容易にわかるように、平成24年4月から、通称名として「高齢者総合相談センター」と呼んでいます。

認定を受けていない者について、高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度をみると、「知っているが、利用したことはない」52.4%、次いで「知らない、聞いたことがない」が36.9%、「知っているし、利用している(利用したことがある)」6.7%と続いている。高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の利用の有無にかかわらず、“知っている”は59.1%となっている。

要支援・要介護認定者では「知っているし、利用している(利用したことがある)」が43.8%で最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」26.2%、「知らない、聞いたことがない」24.9%となっている。高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の利用の有無にかかわらず、“知っている”は70.0%となっている。

認定を受けていない者に比べて、**要支援・要介護認定者**の方が“知っている”割合が多い。

《住まいの地域別》

認定を受けていない者について、住まいの地域別にみると、「知っているし、利用している(利用したことがある)」割合が最も多いのは亀有・青戸地域の8.1%、「知っているが、利用したことはない」は南綾瀬・お花茶屋・堀切地域の57.9%、“知っている”割合が最も多いのは亀有・青戸地域の65.5%である。

要支援・要介護認定者については「知っているし、利用している(利用したことがある)」割合が最も多いのは水元地域の55.3%、「知っているが、利用したことはない」は金町・新宿地域の29.9%、“知っている”割合が最も多いのは水元地域の80.0%、次いで金町・新宿地域および立石・東四つ木地域の72.9%である。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援 1 および要支援 2 において、「知っているし、利用している（利用したことがある）」割合が 5 割台となっている。

《経年比較》

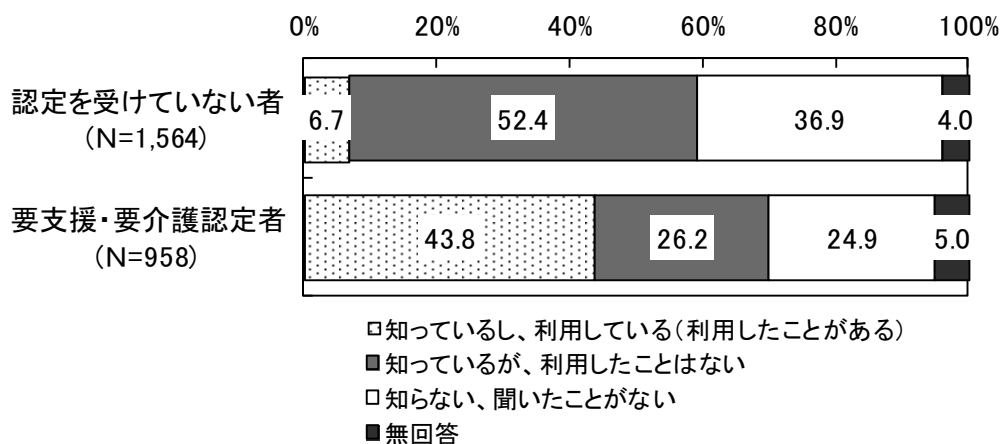
平成 25 年度の調査と比較すると、「知っているし、利用している（利用したことがある）」は、**認定を受けていない者**（6.0%→6.7%）は微増、**要支援・要介護認定者**（38.1%→43.8%）は増加している。

「知っているが、利用したことはない」は、**認定を受けていない者**（44.2%→52.4%）は増加、**要支援・要介護認定者**（26.0%→26.2%）は横ばいである。

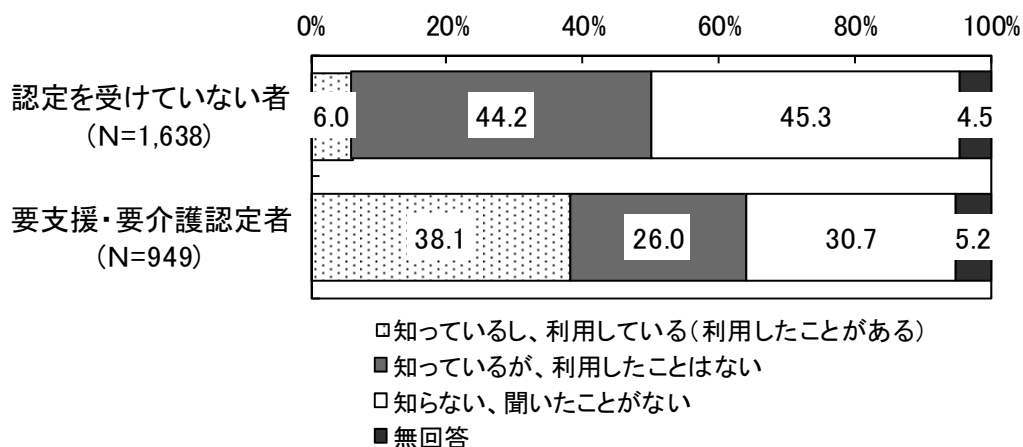
利用の有無にかかわらず“知っている”という割合は、**認定を受けていない者**（50.2%→59.1%）、**要支援・要介護認定者**（64.1%→70.0%）ともに増加している。

【 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の認知度（単数回答） 】

<今回調査>



<前回調査>



【 認定を受けていない者－高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度(住まいの地域別) 】

認定を受けていない者		合計	知っているし、 利用している (利用したことがある)	知っているが、利用し たことはない	知らない、 聞いたことがない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	105 (6.7)	819 (52.4)	577 (36.9)	63 (4.0)
住 ま い の 地 域 別	水元地域	150 (100.0)	11 (7.3)	77 (51.3)	59 (39.3)	3 (2.0)
	金町・新宿地域	206 (100.0)	15 (7.3)	114 (55.3)	71 (34.5)	6 (2.9)
	柴又・高砂地域	245 (100.0)	17 (6.9)	117 (47.8)	103 (42.0)	8 (3.3)
	亀有・青戸地域	197 (100.0)	16 (8.1)	113 (57.4)	64 (32.5)	4 (2.0)
	南綾瀬・お花茶屋 ・堀切地域	240 (100.0)	11 (4.6)	139 (57.9)	76 (31.7)	14 (5.8)
	立石・ 東四つ木地域	262 (100.0)	20 (7.6)	126 (48.1)	104 (39.7)	12 (4.6)
	奥戸・新小岩地域	241 (100.0)	14 (5.8)	120 (49.8)	95 (39.4)	12 (5.0)
	無回答	23 (100.0)	1 (4.3)	13 (56.5)	5 (21.7)	4 (17.4)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度(住まいの地域別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	知っているし、 利用している (利用したことがある)	知っているが、利用し たことはない	知らない、 聞いたことがない	無回答
全 体		958 (100.0)	420 (43.8)	251 (26.2)	239 (24.9)	48 (5.0)
住 ま い の 地 域 別	水元地域	85 (100.0)	47 (55.3)	21 (24.7)	17 (20.0)	0 (－)
	金町・新宿地域	107 (100.0)	46 (43.0)	32 (29.9)	25 (23.4)	4 (3.7)
	柴又・高砂地域	176 (100.0)	78 (44.3)	38 (21.6)	53 (30.1)	7 (4.0)
	亀有・青戸地域	133 (100.0)	50 (37.6)	37 (27.8)	34 (25.6)	12 (9.0)
	南綾瀬・お花茶屋 ・堀切地域	157 (100.0)	68 (43.3)	46 (29.3)	35 (22.3)	8 (5.1)
	立石・ 東四つ木地域	151 (100.0)	67 (44.4)	43 (28.5)	39 (25.8)	2 (1.3)
	奥戸・新小岩地域	119 (100.0)	55 (46.2)	29 (24.4)	29 (24.4)	6 (5.0)
	無回答	30 (100.0)	9 (30.0)	5 (16.7)	7 (23.3)	9 (30.0)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)の認知度(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	知っているし、 利用している (利用したこと がある)	知っている が、利用し たことは ない	知らない、 聞いたこと がない	無回答
全 体		958 (100.0)	420 (43.8)	251 (26.2)	239 (24.9)	48 (5.0)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	72 (52.9)	34 (25.0)	25 (18.4)	5 (3.7)
	要支援2	184 (100.0)	95 (51.6)	46 (25.0)	32 (17.4)	11 (6.0)
	要介護1	154 (100.0)	57 (37.0)	38 (24.7)	50 (32.5)	9 (5.8)
	要介護2	233 (100.0)	105 (45.1)	61 (26.2)	58 (24.9)	9 (3.9)
	要介護3	98 (100.0)	42 (42.9)	31 (31.6)	23 (23.5)	2 (2.0)
	要介護4	62 (100.0)	22 (35.5)	14 (22.6)	21 (33.9)	5 (8.1)
	要介護5	52 (100.0)	13 (25.0)	18 (34.6)	16 (30.8)	5 (9.6)
	無回答	39 (100.0)	14 (35.9)	9 (23.1)	14 (35.9)	2 (5.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

11 介護予防について

(1) 日常生活で行っている介護予防〔認定を受けていない者：問 23〕

設問 家族等の介護を受けなくても身の回りのことを自分でやり続けることができるようにするため、あなた(あて名のご本人)は、日常生活の中で、何か特に行っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者について、日常生活で行っている介護予防をみると、「散歩や軽い運動など、身体を動かすようにしている」が最も多く、75.9%が取り組んでいる。次いで「頭を使うように心がけている」62.5%、「人との会話を楽しむようにしている」48.7%などが続いている。「特に何もしていない」は9.9%で、何かをしている人の割合(100%から「特に何もしていない」および「無回答」を引いた数値)は87.3%となっている。

《年齢別》

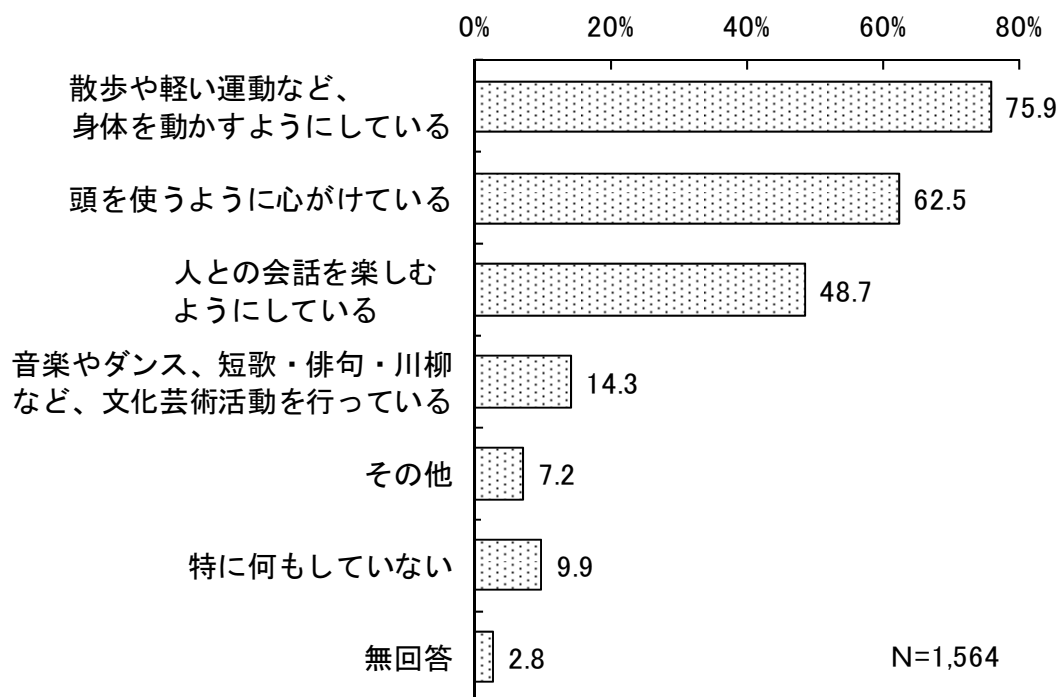
認定を受けていない者について、年齢別にみると、「散歩や軽い運動など、身体を動かすようにしている」は、89歳以下では7割以上が取り組んでいると回答しているが、90歳以上になると割合45.8%となっている。「頭を使うように心がけている」は、89歳以下において6割以上が取り組んでいると回答している。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「散歩や軽い運動など、身体を動かすようにしている」(73.9%→75.9%)、「頭を使うように心がけている」(57.6%→62.5%)、「人との会話を楽しむようにしている」(44.8%→48.7%)、「音楽やダンス、短歌・俳句・川柳など、文化芸術活動を行っている」(12.1%→14.3%)はいずれも増加している。

「特に何もしていない」(10.8%→9.9%)は微減している。

【 日常生活で行っている介護予防(複数回答) 】



【 認定を受けていない者－日常生活で行っている介護予防（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	散歩や軽い運動など、 身体を動かすようにしている	頭を使うように心がけている	人との会話を 楽しむようにしている
全 体		1,564 (100.0)	1,187 (75.9)	978 (62.5)	761 (48.7)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	294 (73.3)	246 (61.3)	175 (43.6)
	70～74歳	416 (100.0)	333 (80.0)	260 (62.5)	203 (48.8)
	75～79歳	378 (100.0)	286 (75.7)	239 (63.2)	204 (54.0)
	80～84歳	250 (100.0)	195 (78.0)	161 (64.4)	125 (50.0)
	85～89歳	84 (100.0)	60 (71.4)	53 (63.1)	40 (47.6)
	90歳以上	24 (100.0)	11 (45.8)	14 (58.3)	8 (33.3)
	無回答	11 (100.0)	8 (72.7)	5 (45.5)	6 (54.5)

認定を受けていない者 表 2		音楽やダンス、 短歌・俳句・川柳など、文化芸術活動を行っている	その他	特に何もしていない	無回答
全 体		223 (14.3)	113 (7.2)	155 (9.9)	44 (2.8)
年 齢 別	65～69歳	44 (11.0)	32 (8.0)	49 (12.2)	6 (1.5)
	70～74歳	63 (15.1)	28 (6.7)	38 (9.1)	9 (2.2)
	75～79歳	63 (16.7)	29 (7.7)	33 (8.7)	13 (3.4)
	80～84歳	37 (14.8)	12 (4.8)	21 (8.4)	10 (4.0)
	85～89歳	13 (15.5)	10 (11.9)	7 (8.3)	4 (4.8)
	90歳以上	1 (4.2)	1 (4.2)	6 (25.0)	1 (4.2)
	無回答	2 (18.2)	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 介護予防として興味のある活動〔認定を受けていない者：問 19〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、これから取り組みたい介護予防として、どのような活動に興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者について、介護予防として興味のある活動をみると、「筋力をつけ、体力の維持・向上をはかる」は 59.6%が興味があると回答している。次いで「適切な食事のとり方を知り、栄養の改善につなげる」38.1%、「楽しく食事をするために、歯や歯茎などの口の中の健康保持・増進を行う」36.6%、「外出の増加、人とのふれあいの機会をつくる」36.6%などについて、3 割以上が興味を持っている結果となっている。「上記のようなことには、興味はない」は 10.0%であり、反対に、何か興味がある人の割合（100%から「上記のようなことには、興味はない」および「無回答」を引いた数値）は 81.1%となっている。

《年齢別》

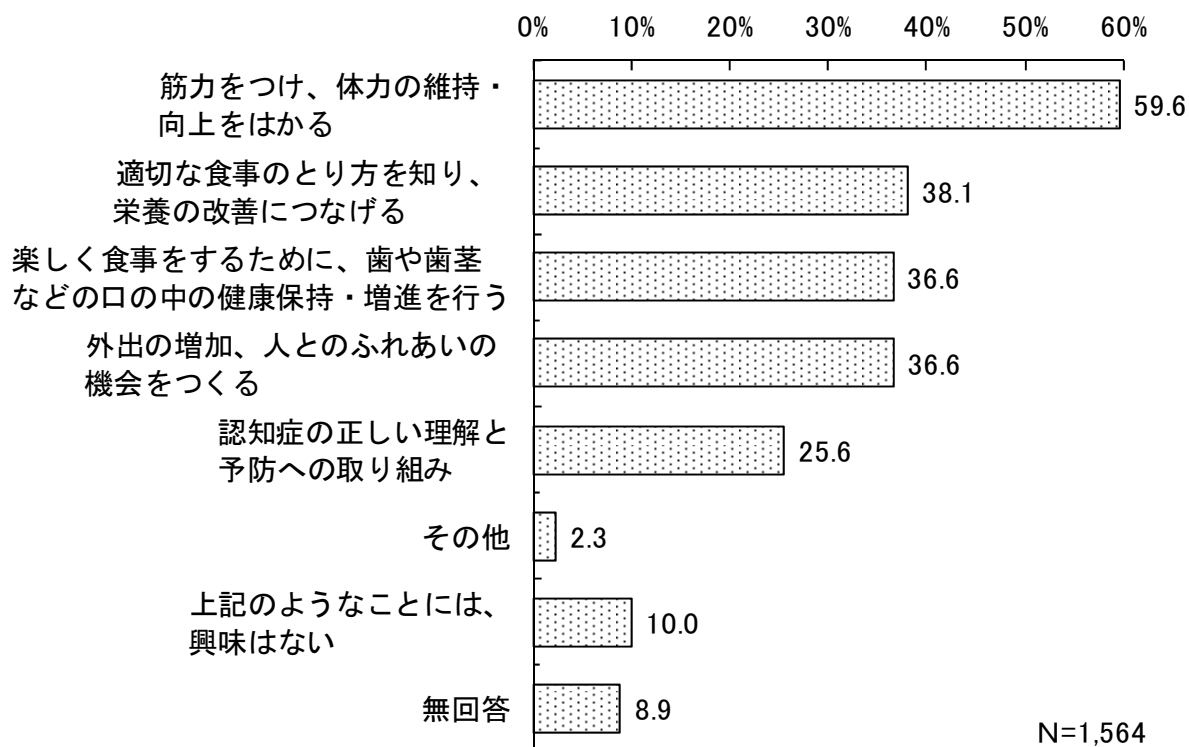
認定を受けていない者について、年齢別にみると、「筋力をつけ、体力の維持・向上をはかる」は、65～69 歳において興味のある割合が最も多い。90 歳以上になると、「上記のようなことには、興味はない」が 2 割以上となり、興味がない割合が多くなっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「筋力をつけ、体力の維持・向上をはかる」(56.7%→59.6%)、「適切な食事のとり方を知り、栄養の改善につなげる」(36.6%→38.1%)、「外出の増加、人とのふれあいの機会をつくる」(31.6%→36.6%)、「認知症の正しい理解と予防への取り組み」(21.7%→25.6%)は増加、「楽しく食事をするために、歯や歯茎などの口の中の健康保持・増進を行う」(36.4%→36.6%)は横ばいである。

「上記のようなことには興味はない」(15.1%→10.0%)は減少している。

【 介護予防として興味のある活動(複数回答) 】



【 認定を受けていない者－介護予防として興味のある活動（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	筋力をつけ、 体力の維持・ 向上をはかる	適切な食事 のとり方を知 り、栄養の改 善につなげる	楽しく食事をするために、 歯や歯茎な どの口の中 の健康保持・ 増進を行う	外出の増加、 人とのふれあ いの機会をつくる
全 体		1,564 (100.0)	932 (59.6)	596 (38.1)	572 (36.6)	573 (36.6)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	279 (69.6)	154 (38.4)	149 (37.2)	147 (36.7)
	70～74歳	416 (100.0)	269 (64.7)	167 (40.1)	160 (38.5)	156 (37.5)
	75～79歳	378 (100.0)	213 (56.3)	139 (36.8)	156 (41.3)	154 (40.7)
	80～84歳	250 (100.0)	127 (50.8)	96 (38.4)	76 (30.4)	87 (34.8)
	85～89歳	84 (100.0)	32 (38.1)	30 (35.7)	24 (28.6)	19 (22.6)
	90歳以上	24 (100.0)	7 (29.2)	5 (20.8)	4 (16.7)	6 (25.0)
	無回答	11 (100.0)	5 (45.5)	5 (45.5)	3 (27.3)	4 (36.4)

認定を受けていない者 表 2		認知症の 正しい理解と 予防への 取り組み	その他	上記のような ことには、 興味はない	無回答
全 体		400 (25.6)	36 (2.3)	157 (10.0)	139 (8.9)
年 齢 別	65～69歳	90 (22.4)	4 (1.0)	44 (11.0)	21 (5.2)
	70～74歳	100 (24.0)	7 (1.7)	38 (9.1)	29 (7.0)
	75～79歳	113 (29.9)	15 (4.0)	31 (8.2)	36 (9.5)
	80～84歳	66 (26.4)	4 (1.6)	25 (10.0)	30 (12.0)
	85～89歳	25 (29.8)	3 (3.6)	12 (14.3)	16 (19.0)
	90歳以上	2 (8.3)	0 (－)	6 (25.0)	5 (20.8)
	無回答	4 (36.4)	3 (27.3)	1 (9.1)	2 (18.2)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3) 介護予防事業の認知度〔認定を受けていない者：問 24〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、区が実施している「うんどう教室、運動習慣推進プラチナフィットネス、筋力向上トレーニング、回想法教室、ふれあい銭湯、シニア版ポニースクール」などの介護予防事業についてごぞんじですか。(1つに○)

認定を受けていない者について、介護予防事業の認知度をみると、「知っているが、利用したことはない」が45.7%を占め、次いで「知らない、聞いたことがない」が39.9%、「知っているし、利用している（利用したことがある）」が10.5%で続いている。介護予防事業の利用の有無にかかわらず、“知っている”という割合はあわせて56.2%となっている。

《住まいの地域別》

認定を受けていない者について、住まいの地域別にみると、「知っているし、利用している（利用したことがある）」割合が最も多いのは奥戸・新小岩地域の14.5%、「知っているが、利用したことはない」割合が最も多いのは水元地域の52.7%、“知っている”割合が最も多いのは水元地域の64.7%である。

《年齢別》

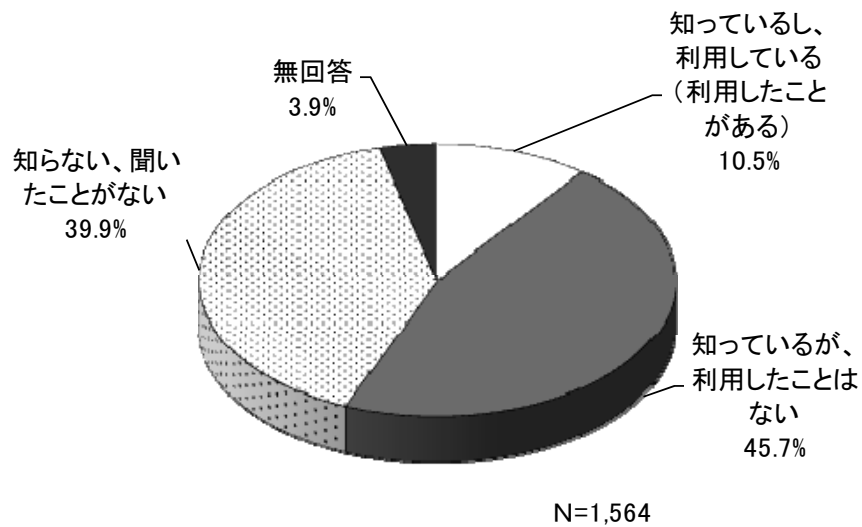
認定を受けていない者について、年齢別にみると、「知っているし、利用している（利用したことがある）」割合が最も多いのは75～79歳の14.8%、「知っているが、利用したことはない」割合が最も多いのは75～79歳の51.3%、“知っている”割合が最も多いのも75～79歳の66.1%である。

《経年比較》

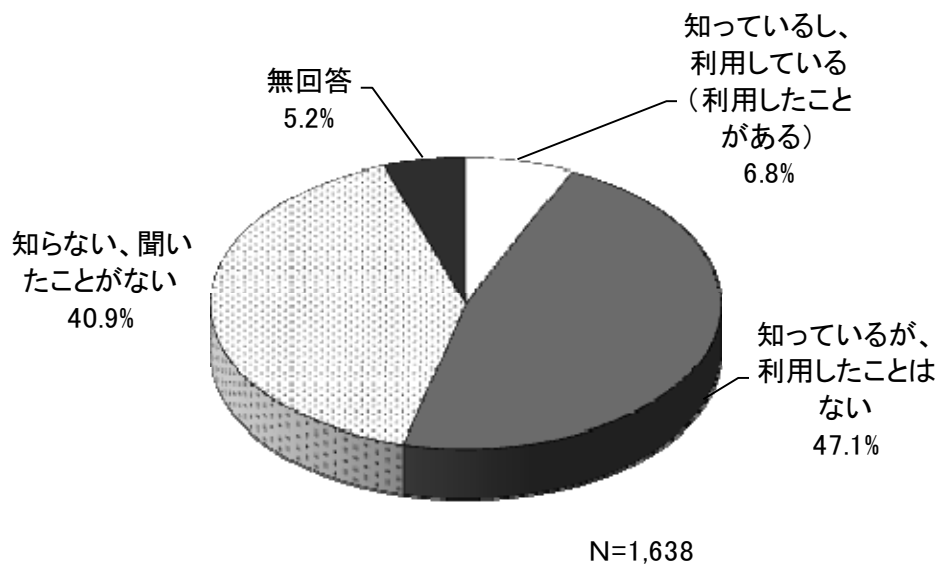
平成25年度の調査と比較すると、「知っているし、利用している（利用したことがある）」(6.8%→10.5%)は増加であり、「知っているが、利用したことはない」(47.1%→45.7%)、「知らない、聞いたことがない」(40.9%→39.9%)は減少している。

【 介護予防事業の認知度(単数回答) 】

<今回調査>



<前回調査>



【 知っているが、利用したことはない理由 】

具体的に記載されていた内容(抜粋、順不同)		
● スポーツクラブ等に通っている ● 体調が悪く (病気) で難しい ● 一人では行きにくい ● 自分で行っている ● 機会がない	● 関心がない ● 働いている ● 時間がない ● 必要ない ● 面倒である	● 場所が遠い ● 行きたいと思えない - など

【 認定を受けていない者－介護予防事業の認知度(住まいの地域別) 】

認定を受けていない者		合計	知っているし、 利用している (利用したことがある)	知っているが、利用した ことはない	知らない、 聞いたことがない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	164 (10.5)	715 (45.7)	624 (39.9)	61 (3.9)
住 ま い の 地 域 別	水元地域	150 (100.0)	18 (12.0)	79 (52.7)	50 (33.3)	3 (2.0)
	金町・新宿地域	206 (100.0)	20 (9.7)	105 (51.0)	74 (35.9)	7 (3.4)
	柴又・高砂地域	245 (100.0)	21 (8.6)	108 (44.1)	110 (44.9)	6 (2.4)
	亀有・青戸地域	197 (100.0)	25 (12.7)	86 (43.7)	84 (42.6)	2 (1.0)
	南綾瀬・お花茶屋 ・堀切地域	240 (100.0)	21 (8.8)	115 (47.9)	92 (38.3)	12 (5.0)
	立石・ 東四つ木地域	262 (100.0)	23 (8.8)	108 (41.2)	114 (43.5)	17 (6.5)
	奥戸・新小岩地域	241 (100.0)	35 (14.5)	104 (43.2)	91 (37.8)	11 (4.6)
	無回答	23 (100.0)	1 (4.3)	10 (43.5)	9 (39.1)	3 (13.0)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 認定を受けていない者－介護予防事業の認知度（年齢別） 】

認定を受けていない者		合計	知っているし、 利用している （利用したことがある）	知っている が、利用した ことはない	知らない、 聞いたことがない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	164 (10.5)	715 (45.7)	624 (39.9)	61 (3.9)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	30 (7.5)	161 (40.1)	200 (49.9)	10 (2.5)
	70～74歳	416 (100.0)	43 (10.3)	186 (44.7)	173 (41.6)	14 (3.4)
	75～79歳	378 (100.0)	56 (14.8)	194 (51.3)	109 (28.8)	19 (5.0)
	80～84歳	250 (100.0)	23 (9.2)	118 (47.2)	98 (39.2)	11 (4.4)
	85～89歳	84 (100.0)	10 (11.9)	40 (47.6)	30 (35.7)	4 (4.8)
	90歳以上	24 (100.0)	0 (－)	12 (50.0)	10 (41.7)	2 (8.3)
	無回答	11 (100.0)	2 (18.2)	4 (36.4)	4 (36.4)	1 (9.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

12 日常生活の支援について

(1) 身近な地域の生活の支援者

〔認定を受けていない者：問 14、要支援・要介護認定者：問 16〕

設問 あなた(あて名のご本人)の身近には、次のようなあなたを支えてくれる人(近所の人、友人、家族や親族、サービス事業者など)がいますか。
(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者について、身近な地域に生活の支援者がいるかをみると、「そのような人はいない」が 10.7%であり、何らかの支援者がいる割合(100%から「そのような人はいない」および「無回答」を引いた数値)は 84.6%となっている。具体的な支援者としては「具合が悪くなった時などに、連絡できる人」が 67.2%で最も多い。反対に最も少ない割合は、「災害時に避難を支援してくれる人」の 32.9%となっている。

要支援・要介護認定者について、身近な地域に生活の支援者がいるかをみると、「そのような人はいない」が 6.7%であり、何らかの支援者がいる割合(100%から「そのような人はいない」および「無回答」を引いた数値)は 86.9%となっている。具体的な支援者としては「具合が悪くなった時などに、連絡できる人」が 70.5%で最も多く、「災害時に避難を支援してくれる人」が 38.2%で最も少なくなっている。

認定を受けていない者と**要支援・要介護認定者**で差が大きかった選択肢は、「週 1 回以上、定期的に安否(あんぴ)を気遣ってくれる人」であり、**要支援・要介護認定者**の方が 17.1 ポイント割合が多くなっている。

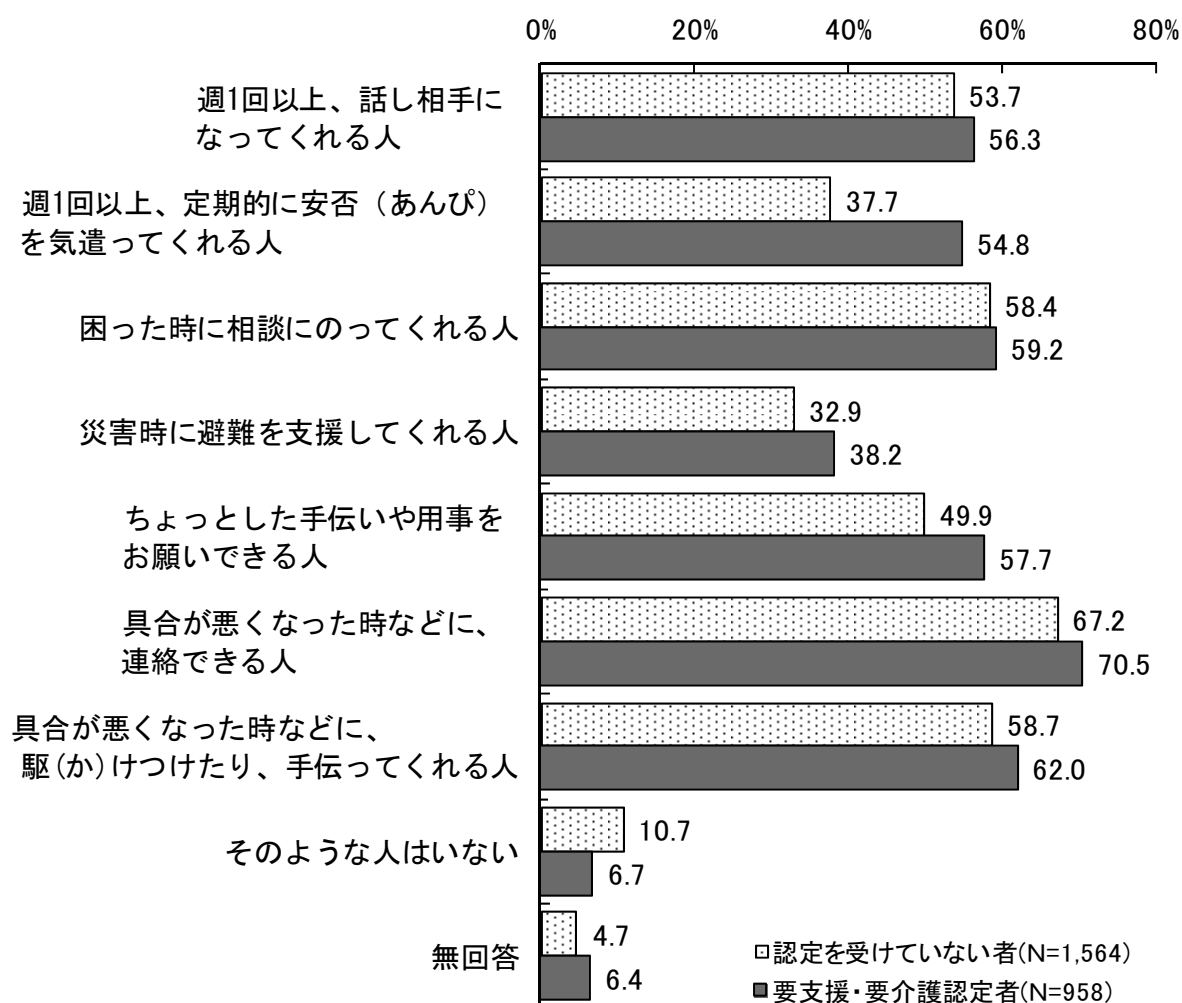
《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢にかかわらず、「具合が悪くなった時などに、連絡できる人」が最も割合が多くなっている。90 歳以上になると「ちょっとした手伝いや用事をお願いできる人」「具合が悪くなった時などに、駆(か)けついたり、手伝ってくれる人」も多くなっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、介護度にかかわらず、「具合が悪くなった時などに、連絡できる人」の割合が多くなっている。

【 身近な地域の生活の支援者(複数回答) 】



【 認定を受けていない者－身近な地域の生活の支援者（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	週1回以上、 話し相手になってくれる人	週1回以上、 定期的に 安否（あん ぴ）を気遣っ てくれる人	困った時に 相談にのって くれる人	災害時に 避難を支援し てくれる人
全 体		1,564 (100.0)	840 (53.7)	590 (37.7)	913 (58.4)	515 (32.9)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	238 (59.4)	164 (40.9)	260 (64.8)	145 (36.2)
	70～74歳	416 (100.0)	234 (56.3)	160 (38.5)	251 (60.3)	143 (34.4)
	75～79歳	378 (100.0)	181 (47.9)	119 (31.5)	203 (53.7)	109 (28.8)
	80～84歳	250 (100.0)	128 (51.2)	97 (38.8)	133 (53.2)	77 (30.8)
	85～89歳	84 (100.0)	44 (52.4)	34 (40.5)	51 (60.7)	27 (32.1)
	90歳以上	24 (100.0)	10 (41.7)	12 (50.0)	12 (50.0)	12 (50.0)
	無回答	11 (100.0)	5 (45.5)	4 (36.4)	3 (27.3)	2 (18.2)

認定を受けていない者 表 2		ちょっとした 手伝いや 用事をお願い できる人	具合が悪くな った時など に、連絡でき る人	具合が悪くな った時などに、駆 （か）けつけれ り、手伝ってく れる人	そのような人 はいない	無回答
全 体		781 (49.9)	1,051 (67.2)	918 (58.7)	167 (10.7)	73 (4.7)
年 齢 別	65～69歳	216 (53.9)	281 (70.1)	253 (63.1)	39 (9.7)	11 (2.7)
	70～74歳	210 (50.5)	282 (67.8)	242 (58.2)	42 (10.1)	16 (3.8)
	75～79歳	173 (45.8)	249 (65.9)	213 (56.3)	39 (10.3)	24 (6.3)
	80～84歳	122 (48.8)	155 (62.0)	136 (54.4)	40 (16.0)	15 (6.0)
	85～89歳	41 (48.8)	62 (73.8)	52 (61.9)	2 (2.4)	4 (4.8)
	90歳以上	15 (62.5)	17 (70.8)	17 (70.8)	2 (8.3)	3 (12.5)
	無回答	4 (36.4)	5 (45.5)	5 (45.5)	3 (27.3)	0 (－)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者一身近な地域の生活の支援者(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	週1回以上、 話し相手にな ってくれる人	週1回以上、 定期的に 安否(あん び)を気遣っ てくれる人	困った時に 相談にのって くれる人	災害時に 避難を支援し てくれる人
全 体		958 (100.0)	539 (56.3)	525 (54.8)	567 (59.2)	366 (38.2)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	54 (39.7)	45 (33.1)	67 (49.3)	30 (22.1)
	要支援2	184 (100.0)	95 (51.6)	92 (50.0)	101 (54.9)	57 (31.0)
	要介護1	154 (100.0)	99 (64.3)	97 (63.0)	98 (63.6)	64 (41.6)
	要介護2	233 (100.0)	144 (61.8)	147 (63.1)	142 (60.9)	106 (45.5)
	要介護3	98 (100.0)	62 (63.3)	57 (58.2)	68 (69.4)	40 (40.8)
	要介護4	62 (100.0)	40 (64.5)	41 (66.1)	41 (66.1)	34 (54.8)
	要介護5	52 (100.0)	28 (53.8)	30 (57.7)	33 (63.5)	23 (44.2)
	無回答	39 (100.0)	17 (43.6)	16 (41.0)	17 (43.6)	12 (30.8)

要支援・ 要介護認定者 表 2		ちょっとした 手伝いや 用事をお願い できる人	具合が悪くな った時など に、連絡でき る人	具合が悪くな った時などに、 駆(か)けつけれ たり、手伝って くれる人	そのような人 はいない	無回答
全 体		553 (57.7)	675 (70.5)	594 (62.0)	64 (6.7)	61 (6.4)
要支援・要介護度別	要支援1	59 (43.4)	83 (61.0)	68 (50.0)	17 (12.5)	8 (5.9)
	要支援2	101 (54.9)	135 (73.4)	105 (57.1)	8 (4.3)	12 (6.5)
	要介護1	94 (61.0)	112 (72.7)	101 (65.6)	12 (7.8)	8 (5.2)
	要介護2	152 (65.2)	171 (73.4)	157 (67.4)	11 (4.7)	13 (5.6)
	要介護3	63 (64.3)	75 (76.5)	69 (70.4)	4 (4.1)	4 (4.1)
	要介護4	39 (62.9)	45 (72.6)	44 (71.0)	4 (6.5)	4 (6.5)
	要介護5	26 (50.0)	34 (65.4)	32 (61.5)	2 (3.8)	8 (15.4)
	無回答	19 (48.7)	20 (51.3)	18 (46.2)	6 (15.4)	4 (10.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2)災害時の対応や避難等について

〔認定を受けていない者:問 15、要支援・要介護認定者:問 17〕

設問 災害時の対応や避難等について、困ることや不安なことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者では「寝室の家具の固定をしていない」が 36.3%で最も多く、次いで「災害時のための水や食料などの備蓄をしていない」の 32.4%が多くなっている。

要支援・要介護認定者では「避難所まで一人では避難できない」が 58.5%であり、他を大きく上回っている。「災害時のための水や食料などの備蓄をしていない」「災害時に情報を得ることができるかどうか心配である」「寝室の家具の固定をしていない」「避難時に電気のブレーカーを下（おろ）すことができない」「身体状況等から、通常の避難所では暮らせない」についても、4割以上があてはまると回答している。

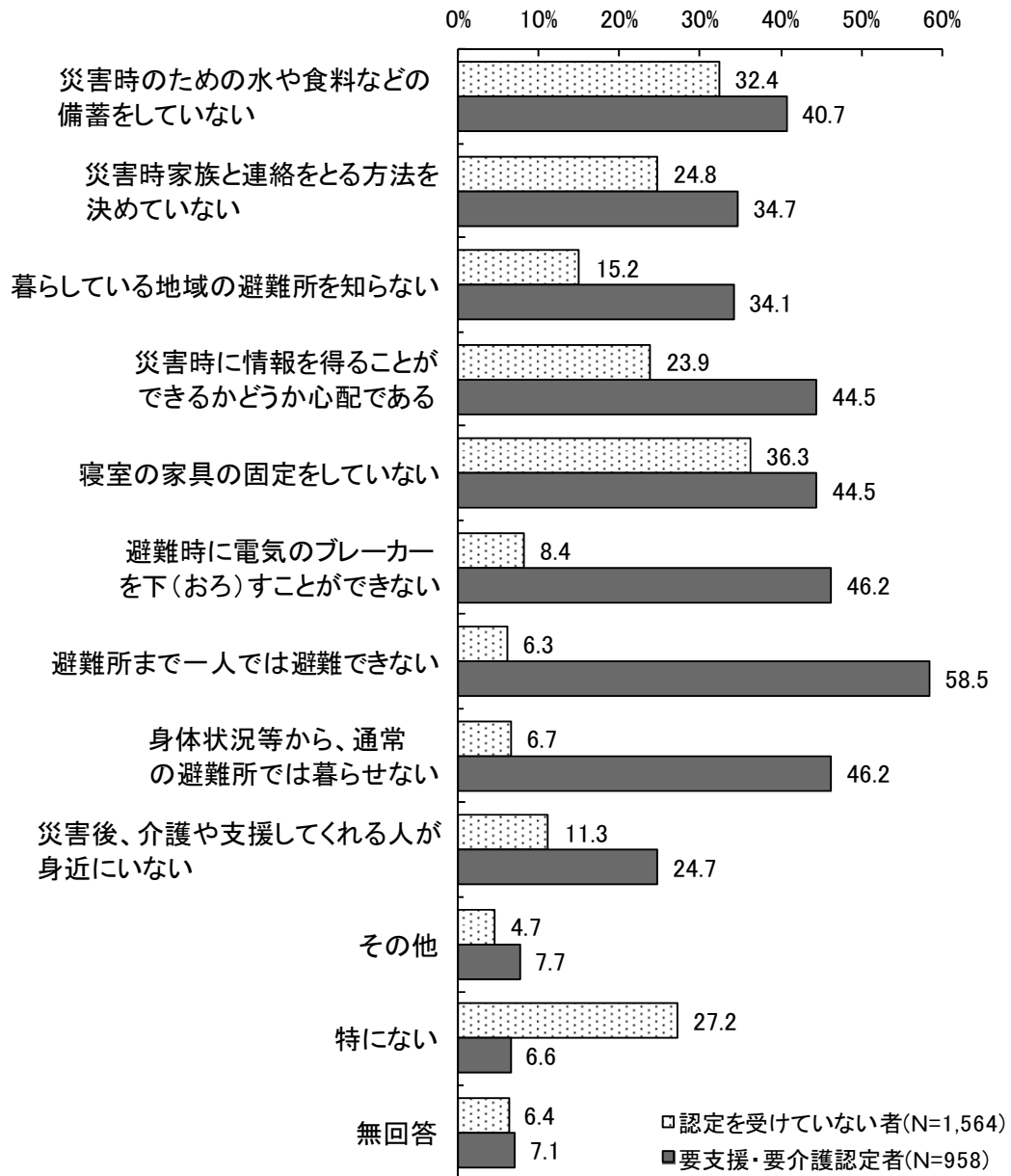
《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、年齢があがるにしたがい「避難時に電気のブレーカーを下（おろ）すことができない」「避難所まで一人では避難できない」「身体状況等から、通常の避難所では暮らせない」の割合が多くなっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要介護 1 から要介護 5 においては、「避難所まで一人では避難できない」割合が 5 割を超えている。また、要介護 3 から要介護 5 では「身体状況等から、通常の避難所では暮らせない」が 6 割以上となっている。

【 災害時の対応や避難等について(複数回答) 】



【 その他_具体的に困ること 】

具体的に記載されていた内容(抜粋、順不同)	
● 家が古く心配 ● 近所の人との付き合いがない ● 集団生活が苦手である ● ひとりの時に災害にあうと困る ● 病気があるため対応できない ● 障害があり対応できない ● 認知症のため対応が難しい ● ペットのことが心配	● 足が悪く歩けない(時間がかかる) ● 避難所まで歩けない、遠い、時間がかかる ● プライバシーが保てない避難所生活が困難 ● トイレが近くにあるか不安 ● 長時間座れない ● 耳が不自由 ● 薬が心配 ● など

【 認定を受けていない者－災害時の対応や避難等について(年齢別) 】

認定を受けていない者 表 1		合計	災害時のための水や食料などの備蓄をしていない	災害時家族と連絡をとる方法を決めていない	暮らしている地域の避難所を知らない	災害時に情報を得ることができるかどうか心配である	寝室の家具の固定をしていない	避難時に電気のブレーカーを下(おろ)すことができない
全 体		1,564 (100.0)	507 (32.4)	388 (24.8)	237 (15.2)	374 (23.9)	567 (36.3)	131 (8.4)
年齢別	65～69歳	401 (100.0)	126 (31.4)	98 (24.4)	49 (12.2)	92 (22.9)	160 (39.9)	17 (4.2)
	70～74歳	416 (100.0)	130 (31.3)	103 (24.8)	59 (14.2)	99 (23.8)	155 (37.3)	20 (4.8)
	75～79歳	378 (100.0)	129 (34.1)	95 (25.1)	62 (16.4)	81 (21.4)	124 (32.8)	38 (10.1)
	80～84歳	250 (100.0)	87 (34.8)	66 (26.4)	40 (16.0)	65 (26.0)	84 (33.6)	32 (12.8)
	85～89歳	84 (100.0)	25 (29.8)	21 (25.0)	23 (27.4)	28 (33.3)	32 (38.1)	16 (19.0)
	90歳以上	24 (100.0)	5 (20.8)	3 (12.5)	3 (12.5)	6 (25.0)	8 (33.3)	8 (33.3)
	無回答	11 (100.0)	5 (45.5)	2 (18.2)	1 (9.1)	3 (27.3)	4 (36.4)	0 (－)

認定を受けていない者 表 2		避難所まで一人では避難できない	身体状況等から、通常の避難所では暮らせない	災害後、介護や支援をしてくれる人が身近にいない	その他	特にない	無回答
全 体		98 (6.3)	105 (6.7)	177 (11.3)	74 (4.7)	426 (27.2)	100 (6.4)
年齢別	65～69歳	8 (2.0)	17 (4.2)	36 (9.0)	19 (4.7)	125 (31.2)	22 (5.5)
	70～74歳	13 (3.1)	20 (4.8)	45 (10.8)	21 (5.0)	122 (29.3)	18 (4.3)
	75～79歳	23 (6.1)	18 (4.8)	45 (11.9)	12 (3.2)	106 (28.0)	23 (6.1)
	80～84歳	28 (11.2)	29 (11.6)	33 (13.2)	13 (5.2)	54 (21.6)	25 (10.0)
	85～89歳	16 (19.0)	14 (16.7)	14 (16.7)	6 (7.1)	11 (13.1)	9 (10.7)
	90歳以上	9 (37.5)	6 (25.0)	2 (8.3)	3 (12.5)	4 (16.7)	2 (8.3)
	無回答	1 (9.1)	1 (9.1)	2 (18.2)	0 (－)	4 (36.4)	1 (9.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－災害時の対応や避難等について(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	災害時のた めの水や食 料などの備 蓄をしてい ない	災害時家 族と連絡 をとる方 法を決め ていない	暮らして いる地域 の避難所 を知らな い	災害時に情 報を得るこ とができる かどうか心 配である	寝室の家 具の固定 をしてい ない	避難時に電 気のブレーカ ーを下(おろ すことができ ない
全 体		958 (100.0)	390 (40.7)	332 (34.7)	327 (34.1)	426 (44.5)	426 (44.5)	443 (46.2)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	51 (37.5)	48 (35.3)	43 (31.6)	57 (41.9)	59 (43.4)	36 (26.5)
	要支援2	184 (100.0)	72 (39.1)	56 (30.4)	52 (28.3)	73 (39.7)	82 (44.6)	69 (37.5)
	要介護1	154 (100.0)	69 (44.8)	64 (41.6)	58 (37.7)	77 (50.0)	75 (48.7)	77 (50.0)
	要介護2	233 (100.0)	100 (42.9)	77 (33.0)	89 (38.2)	101 (43.3)	103 (44.2)	132 (56.7)
	要介護3	98 (100.0)	43 (43.9)	40 (40.8)	37 (37.8)	53 (54.1)	43 (43.9)	61 (62.2)
	要介護4	62 (100.0)	25 (40.3)	24 (38.7)	23 (37.1)	29 (46.8)	36 (58.1)	39 (62.9)
	要介護5	52 (100.0)	18 (34.6)	14 (26.9)	17 (32.7)	23 (44.2)	18 (34.6)	20 (38.5)
	無回答	39 (100.0)	12 (30.8)	9 (23.1)	8 (20.5)	13 (33.3)	10 (25.6)	9 (23.1)

要支援・ 要介護認定者 表 2		避難所ま で一人で は避難で きない	身体状況等 から、通常 の避難所で は暮らせな い	災害後、介 護や支援を してくれる 人が身近に いない	その他	特にない	無回答
全 体		560 (58.5)	443 (46.2)	237 (24.7)	74 (7.7)	63 (6.6)	68 (7.1)
要支援・要介護度別	要支援1	47 (34.6)	41 (30.1)	45 (33.1)	9 (6.6)	12 (8.8)	3 (2.2)
	要支援2	84 (45.7)	67 (36.4)	47 (25.5)	18 (9.8)	13 (7.1)	20 (10.9)
	要介護1	89 (57.8)	67 (43.5)	47 (30.5)	11 (7.1)	9 (5.8)	9 (5.8)
	要介護2	162 (69.5)	113 (48.5)	44 (18.9)	15 (6.4)	13 (5.6)	12 (5.2)
	要介護3	79 (80.6)	68 (69.4)	18 (18.4)	8 (8.2)	5 (5.1)	3 (3.1)
	要介護4	48 (77.4)	40 (64.5)	17 (27.4)	0 (－)	3 (4.8)	5 (8.1)
	要介護5	38 (73.1)	34 (65.4)	12 (23.1)	9 (17.3)	1 (1.9)	9 (17.3)
	無回答	13 (33.3)	13 (33.3)	7 (17.9)	4 (10.3)	7 (17.9)	7 (17.9)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3) 在宅生活の継続に必要な条件〔認定を受けていない者：問 21〕

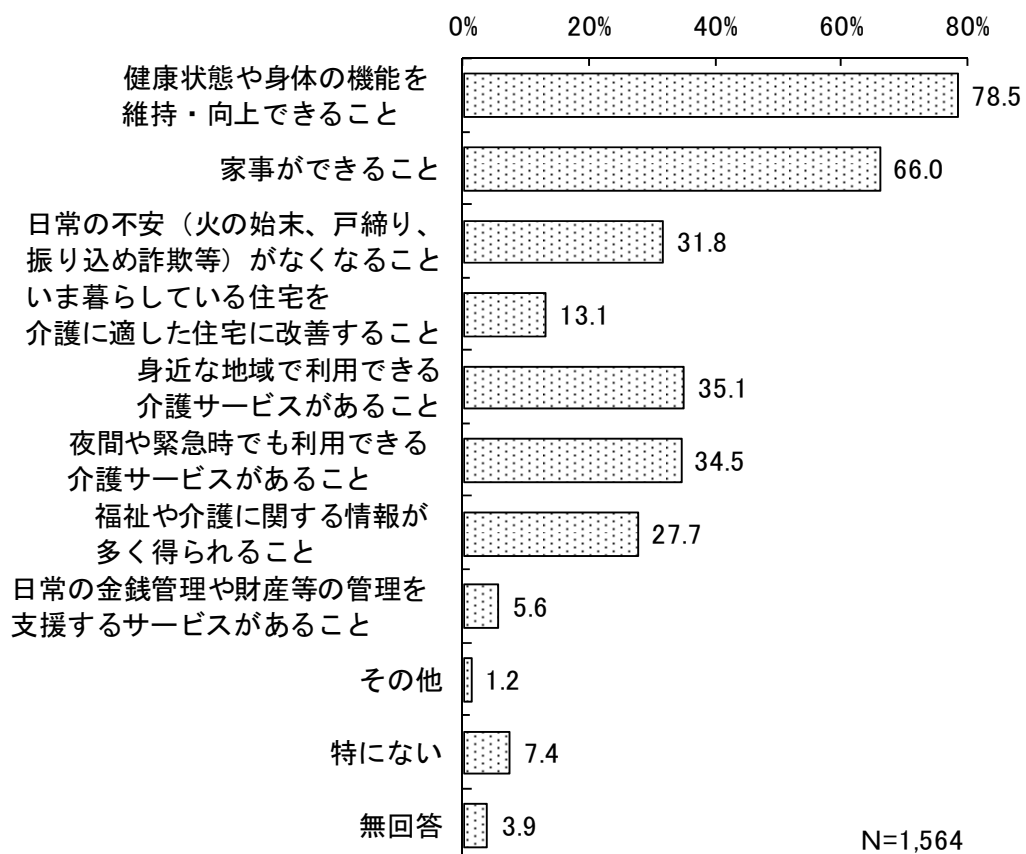
設問 あなた(あて名のご本人)が在宅生活を継続するためには、どのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

認定を受けていない者について、在宅生活の継続に必要な条件をみると、「健康状態や身体の機能を維持・向上できること」78.5%、「家事ができること」66.0%など、回答者自身に関する条件をあげた割合が6割を超えて多くなっている。次いで「身近な地域で利用できる介護サービスがあること」35.1%、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがあること」34.5%、「日常の不安（火の始末、戸締り、振り込め詐欺等）がなくなること」31.8%となり、“身近なサービス・緊急対応・日常の不安解消”などの支援体制について、3割以上が在宅生活の継続に必要な条件としてあげている。

《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、「健康状態や身体の機能を維持・向上できること」は89歳以下において、「家事ができること」は84歳以下において、6割以上が必要だと回答した条件となっている。

【在宅生活の継続に必要な条件(複数回答)】



【 認定を受けていない者－在宅生活の継続に必要な条件（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	健康状態や 身体の機能を維持・向上 できること	家事ができること	日常の不安 （火の始末、戸締り、 振り込め詐欺等）がなくなること	いま暮らしている住宅 を介護に適した住宅に 改善すること	身近な地域で利用できる 介護サービスがあること
全 体		1,564 (100.0)	1,227 (78.5)	1,033 (66.0)	497 (31.8)	205 (13.1)	549 (35.1)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	331 (82.5)	263 (65.6)	117 (29.2)	59 (14.7)	158 (39.4)
	70～74歳	416 (100.0)	341 (82.0)	283 (68.0)	130 (31.3)	49 (11.8)	163 (39.2)
	75～79歳	378 (100.0)	297 (78.6)	264 (69.8)	121 (32.0)	50 (13.2)	122 (32.3)
	80～84歳	250 (100.0)	180 (72.0)	158 (63.2)	82 (32.8)	34 (13.6)	72 (28.8)
	85～89歳	84 (100.0)	58 (69.0)	48 (57.1)	36 (42.9)	9 (10.7)	23 (27.4)
	90歳以上	24 (100.0)	12 (50.0)	11 (45.8)	7 (29.2)	2 (8.3)	8 (33.3)
	無回答	11 (100.0)	8 (72.7)	6 (54.5)	4 (36.4)	2 (18.2)	3 (27.3)

認定を受けていない者 表 2		夜間や緊急時でも利用できる 介護サービスがあること	福祉や介護に関する情報 が多く得られること	日常の金銭管理や財産 等の管理を支援するサ ービスがあること	その他	特にない	無回答
全 体		540 (34.5)	434 (27.7)	88 (5.6)	19 (1.2)	116 (7.4)	61 (3.9)
年 齢 別	65～69歳	151 (37.7)	121 (30.2)	27 (6.7)	4 (1.0)	32 (8.0)	10 (2.5)
	70～74歳	145 (34.9)	126 (30.3)	26 (6.3)	7 (1.7)	32 (7.7)	9 (2.2)
	75～79歳	129 (34.1)	102 (27.0)	21 (5.6)	4 (1.1)	26 (6.9)	20 (5.3)
	80～84歳	74 (29.6)	59 (23.6)	7 (2.8)	1 (0.4)	13 (5.2)	14 (5.6)
	85～89歳	32 (38.1)	17 (20.2)	6 (7.1)	2 (2.4)	9 (10.7)	5 (6.0)
	90歳以上	7 (29.2)	4 (16.7)	1 (4.2)	1 (4.2)	3 (12.5)	2 (8.3)
	無回答	2 (18.2)	5 (45.5)	0 (—)	0 (—)	1 (9.1)	1 (9.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

13 介護保険サービスについて(居宅)

(1)介護サービス、介護予防サービスの利用状況〔要支援・要介護認定者:問 19〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在介護サービス、介護予防サービスを利用していますか。(1つに○)

要支援・要介護認定者について、介護サービス、介護予防サービスの利用状況をみると、「利用している」が74.0%を占め、「利用していない」は19.5%となっている。

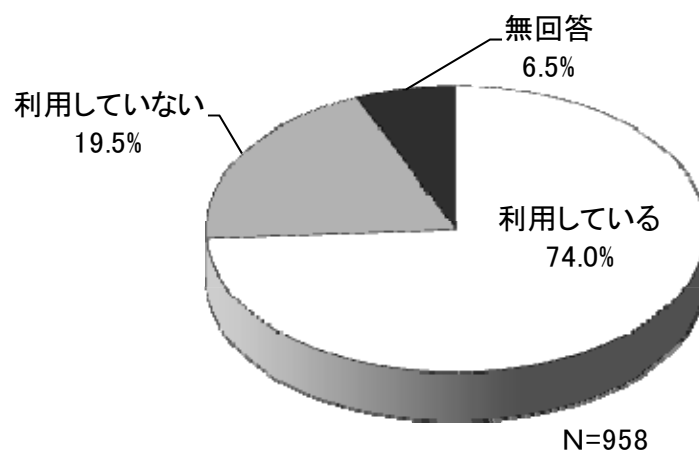
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援1では38.2%、要支援2では25.5%、要介護1では22.1%が「利用していない」と回答しており、これらは他の介護度に比べて利用していない割合が多くなっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「利用している」(77.9%→74.0%)は減少している。

【 介護サービス、介護予防サービスの利用状況(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－介護サービス、介護予防サービスの利用状況（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	利用して いる	利用して いない	無回答
全 体		958 (100.0)	709 (74.0)	187 (19.5)	62 (6.5)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	78 (57.4)	52 (38.2)	6 (4.4)
	要支援2	184 (100.0)	121 (65.8)	47 (25.5)	16 (8.7)
	要介護1	154 (100.0)	110 (71.4)	34 (22.1)	10 (6.5)
	要介護2	233 (100.0)	199 (85.4)	22 (9.4)	12 (5.2)
	要介護3	98 (100.0)	91 (92.9)	5 (5.1)	2 (2.0)
	要介護4	62 (100.0)	54 (87.1)	3 (4.8)	5 (8.1)
	要介護5	52 (100.0)	43 (82.7)	4 (7.7)	5 (9.6)
	無回答	39 (100.0)	13 (33.3)	20 (51.3)	6 (15.4)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2)介護サービス、介護予防サービスを利用していない理由

〔要支援・要介護認定者：問 19-1〕

設問 あなた(あて名のご本人)がサービスを利用していない理由は何ですか。
(主な理由1つに○)

要支援・要介護認定者について、介護サービス、介護予防サービスを利用していない理由をみると、「自分で身の回りのことをするよう努力しているため」が31.6%で最も多くなっている。次いで「今のところサービスを受ける必要がないため」が27.8%である。

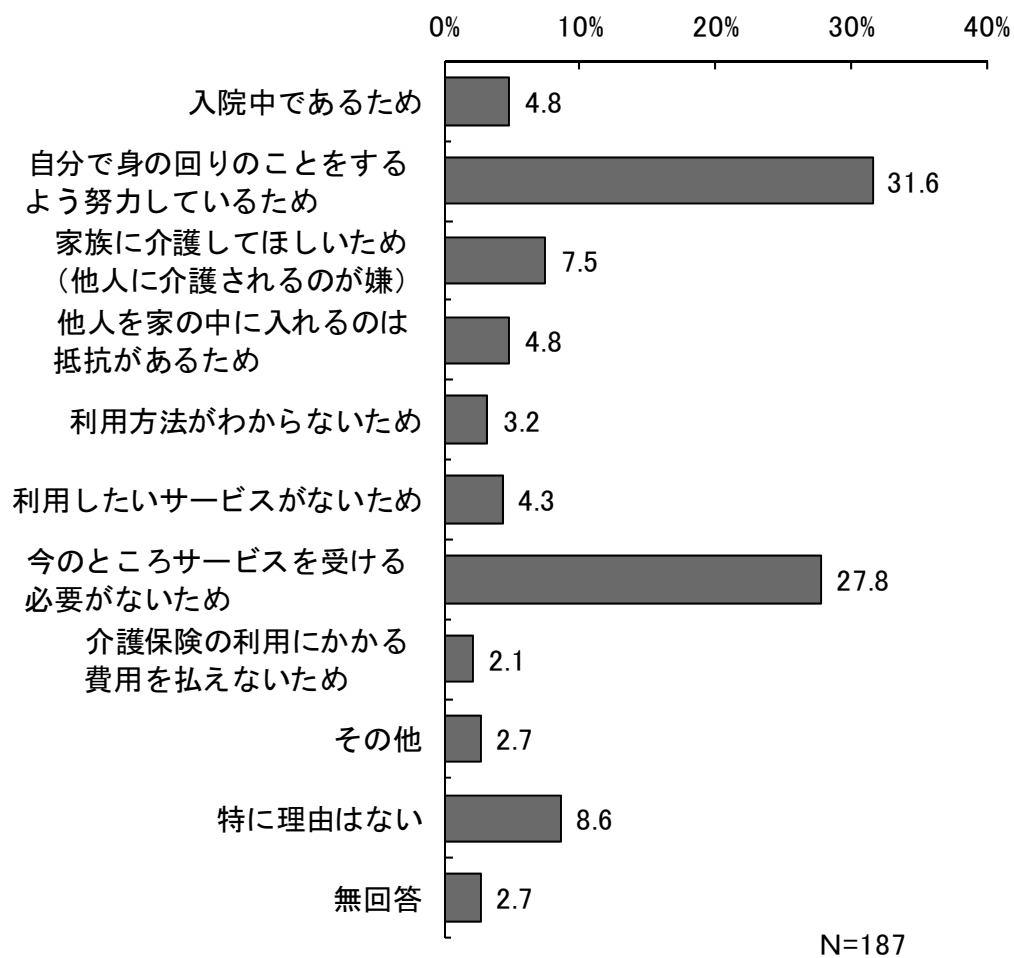
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「入院中であるため」は要介護4より高い介護度において割合が多くなっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「入院中であるため」(6.3%→4.8%)は減少、「自分で身の回りのことをするよう努力しているため」(27.5%→31.6%)、「今のところサービスを受ける必要がないため」(23.8%→27.8%)は増加している。

【 介護サービス、介護予防サービスを利用していない理由（単数回答） 】



【 要支援・要介護認定者一介護サービス、介護予防サービスを

利用していない理由(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	入院中であるため	自分で身の 回りのことを するよう努力 しているため	家族に介護し てほしいため (他人に介護 されるのが嫌)	他人を家の 中に入れる のは抵抗 があるため	利用方法 がわからな いため
全 体		187 (100.0)	9 (4.8)	59 (31.6)	14 (7.5)	9 (4.8)	6 (3.2)
要支援・要介護度別	要支援1	52 (100.0)	2 (3.8)	17 (32.7)	1 (1.9)	0 (—)	2 (3.8)
	要支援2	47 (100.0)	0 (—)	18 (38.3)	3 (6.4)	2 (4.3)	0 (—)
	要介護1	34 (100.0)	3 (8.8)	14 (41.2)	3 (8.8)	3 (8.8)	2 (5.9)
	要介護2	22 (100.0)	1 (4.5)	3 (13.6)	5 (22.7)	3 (13.6)	2 (9.1)
	要介護3	5 (100.0)	0 (—)	2 (40.0)	2 (40.0)	0 (—)	0 (—)
	要介護4	3 (100.0)	1 (33.3)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)
	要介護5	4 (100.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	0 (—)	0 (—)	0 (—)
	無回答	20 (100.0)	0 (—)	4 (20.0)	0 (—)	1 (5.0)	0 (—)

要支援・ 要介護認定者 表 2		利用したい サービスが ないため	今のところ サービスを受 ける必要が ないため	介護保険の 利用にかかる 費用を払 えないため	その他	特に理由 はない	無回答
全 体		8 (4.3)	52 (27.8)	4 (2.1)	5 (2.7)	16 (8.6)	5 (2.7)
要支援・要介護度別	要支援1	3 (5.8)	18 (34.6)	1 (1.9)	2 (3.8)	3 (5.8)	3 (5.8)
	要支援2	3 (6.4)	15 (31.9)	1 (2.1)	1 (2.1)	2 (4.3)	2 (4.3)
	要介護1	0 (—)	6 (17.6)	0 (—)	2 (5.9)	1 (2.9)	0 (—)
	要介護2	0 (—)	4 (18.2)	2 (9.1)	0 (—)	2 (9.1)	0 (—)
	要介護3	0 (—)	1 (20.0)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)
	要介護4	0 (—)	2 (66.7)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)
	要介護5	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	1 (25.0)	0 (—)
	無回答	2 (10.0)	6 (30.0)	0 (—)	0 (—)	7 (35.0)	0 (—)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3)ケアプランの満足度〔要支援・要介護認定者：問 20〕

設問 あなた(あて名のご本人)のケアプラン(介護予防プラン)は希望どおりですか。
(あてはまるものすべてに○)

要支援・要介護認定者で介護サービス、介護予防サービスを利用している人に、ケアプランの満足度をたずねたところ、「ケアプランは希望どおりである」が74.9%を占めている。ケアプランに何らかの不满がある人(100%から「ケアプランは希望どおりである」と「無回答」を引いた数値)は12.4%である。具体的な不満足の内容をみると、「希望するサービスが提供されていない」が4.4%で最も多く、次いで「サービスの利用時間が希望どおりではない」の3.4%などが続いている。

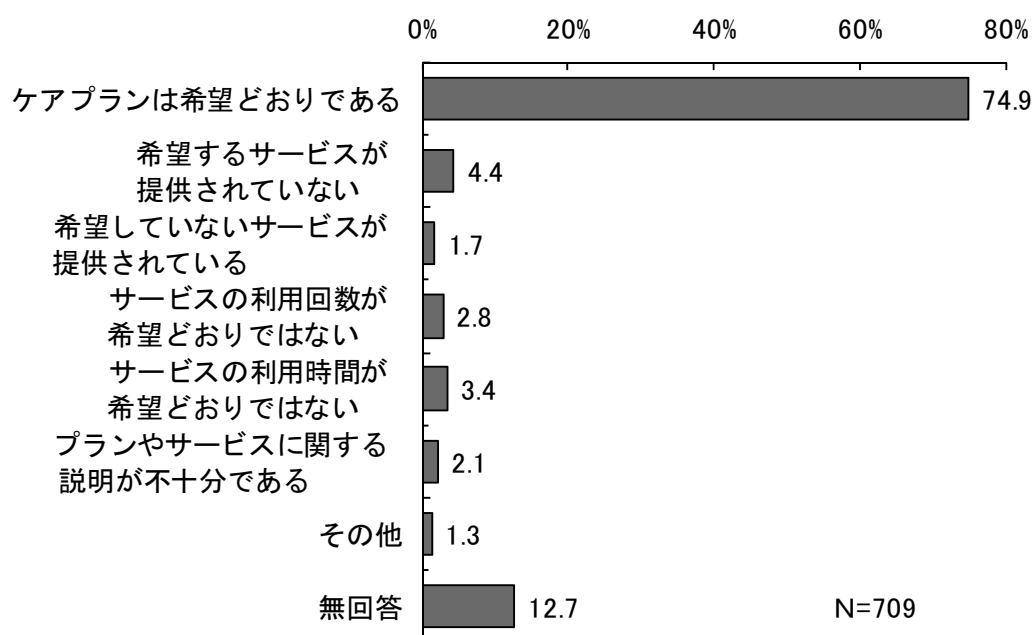
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「ケアプランは希望どおりである」割合が多いのは、要介護3から要介護5であり、8割台が希望どおりと回答している。反対に、要支援1は「ケアプランは希望どおりである」は59.0%であり、満足の割合が最も少ない。また、「希望するサービスが提供されていない」は要支援1および要介護1、要介護2で5%を超えている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「ケアプランは希望どおりである」(79.4%→74.9%)は減少している。

【 ケアプランの満足度(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－ケアプランの満足度（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	ケアプランは 希望どおり である	希望する サービスが 提供されてい ない	希望していな いサービスが 提供されてい る	サービスの 利用回数が 希望どおりで はない
全 体		709 (100.0)	531 (74.9)	31 (4.4)	12 (1.7)	20 (2.8)
要支援・ 要介護度別	要支援1	78 (100.0)	46 (59.0)	5 (6.4)	0 (－)	3 (3.8)
	要支援2	121 (100.0)	81 (66.9)	5 (4.1)	2 (1.7)	5 (4.1)
	要介護1	110 (100.0)	82 (74.5)	6 (5.5)	2 (1.8)	1 (0.9)
	要介護2	199 (100.0)	153 (76.9)	11 (5.5)	2 (1.0)	6 (3.0)
	要介護3	91 (100.0)	79 (86.8)	3 (3.3)	1 (1.1)	3 (3.3)
	要介護4	54 (100.0)	44 (81.5)	0 (－)	3 (5.6)	1 (1.9)
	要介護5	43 (100.0)	37 (86.0)	1 (2.3)	1 (2.3)	1 (2.3)
	無回答	13 (100.0)	9 (69.2)	0 (－)	1 (7.7)	0 (－)

要支援・ 要介護認定者 表 2		サービスの 利用時間が 希望どおりで はない	プランやサー ビスに関する 説明が不十分 である	その他	無回答
全 体		24 (3.4)	15 (2.1)	9 (1.3)	90 (12.7)
要支援・ 要介護度別	要支援1	2 (2.6)	2 (2.6)	0 (－)	22 (28.2)
	要支援2	4 (3.3)	3 (2.5)	0 (－)	23 (19.0)
	要介護1	5 (4.5)	5 (4.5)	2 (1.8)	10 (9.1)
	要介護2	8 (4.0)	5 (2.5)	4 (2.0)	22 (11.1)
	要介護3	0 (－)	0 (－)	1 (1.1)	5 (5.5)
	要介護4	4 (7.4)	0 (－)	1 (1.9)	2 (3.7)
	要介護5	1 (2.3)	0 (－)	1 (2.3)	3 (7.0)
	無回答	0 (－)	0 (－)	0 (－)	3 (23.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(4) 介護サービスの満足度〔要支援・要介護認定者：問 21〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、介護サービスについて、満足していますか。(あてはまるものすべてに○)

要支援・要介護認定者で介護サービス、介護予防サービスを利用している人に、介護サービスの満足度をたずねたところ、「介護サービスに満足している」は72.5%である。介護サービスに何らかの不満がある人(100%から「介護サービスに満足している」と「無回答」を引いた数値)は13.3%となっている。具体的な不満足の内容をみると、「サービスの内容に満足していない」が6.1%で最も多く、次いで「職員の技術や対応に満足していない」5.4%、「事業者に満足していない」3.5%が続いている。

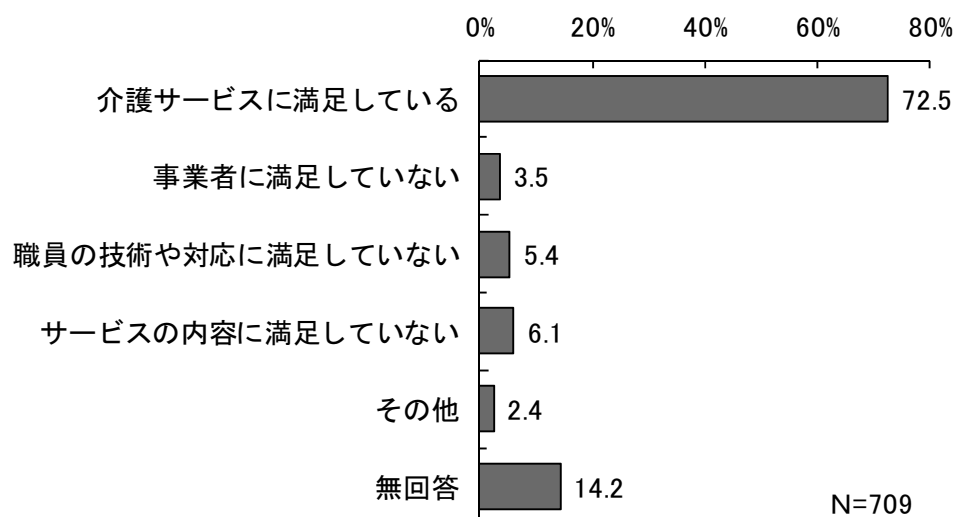
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要介護5では「介護サービスに満足している」割合が88.4%と多くなっている。「事業者に満足していない」は要支援1および要介護4、「職員の技術や対応に満足していない」は要介護3および要介護4、「サービスの内容に満足していない」は要支援1および要介護4において、他の介護度に比べて多くなっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「介護サービスに満足している」(73.3%→72.5%)は微減、「サービスの内容に満足していない」(5.1%→6.1%)は増加している。

【 介護サービスの満足度(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者一介護サービスの満足度(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	介護サ ービスに 満足して いる	事業 者に満 足して いない	職員の 技術や 対応に 満足して いない	サービ スの内 容に満 足してい ない	その他	無回答
全 体		709 (100.0)	514 (72.5)	25 (3.5)	38 (5.4)	43 (6.1)	17 (2.4)	101 (14.2)
要支援・要 介護度別	要支援1	78 (100.0)	50 (64.1)	4 (5.1)	5 (6.4)	10 (12.8)	1 (1.3)	13 (16.7)
	要支援2	121 (100.0)	85 (70.2)	3 (2.5)	4 (3.3)	4 (3.3)	0 (－)	27 (22.3)
	要介護1	110 (100.0)	79 (71.8)	4 (3.6)	2 (1.8)	6 (5.5)	6 (5.5)	13 (11.8)
	要介護2	199 (100.0)	148 (74.4)	9 (4.5)	9 (4.5)	14 (7.0)	5 (2.5)	26 (13.1)
	要介護3	91 (100.0)	71 (78.0)	1 (1.1)	7 (7.7)	4 (4.4)	5 (5.5)	8 (8.8)
	要介護4	54 (100.0)	34 (63.0)	3 (5.6)	10 (18.5)	5 (9.3)	0 (－)	7 (13.0)
	要介護5	43 (100.0)	38 (88.4)	0 (－)	1 (2.3)	0 (－)	0 (－)	4 (9.3)
	無回答	13 (100.0)	9 (69.2)	1 (7.7)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	3 (23.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(5) 自宅で生活する上で利用したいサービス〔要支援・要介護認定者：問 22〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、今後、ご自宅で生活する上で、どのようなサービスを利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

要支援・要介護認定者について、自宅で生活する上で利用したいサービスをみると、「訪問介護（ホームヘルプ）」が 28.2%で最も多くなっている。次いで「通所介護（デイサービス）」24.6%、「福祉用具貸与・特定福祉用具販売」23.7%、「通所リハビリテーション（デイケア）」20.1%などが 2 割を超えて利用意向が多いサービスとなっている。

利用意向が少ないサービスは「小規模多機能型居宅介護」5.5%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」8.1%、「認知症対応型通所介護」8.4%、「夜間対応型訪問介護」9.1%であり、これらの地域密着型サービスは利用意向が 1 割未満となっている。

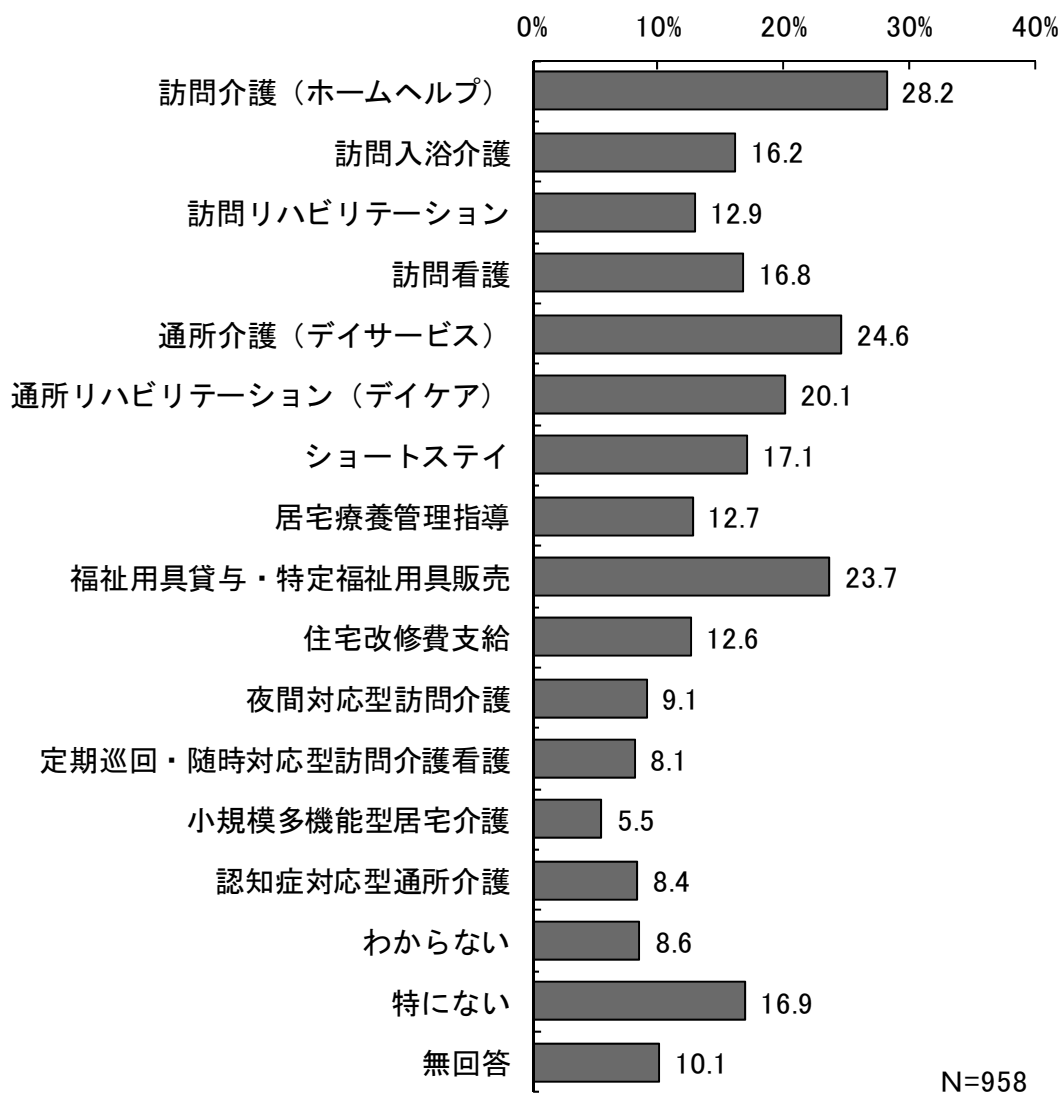
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、利用意向が高かった「訪問介護（ホームヘルプ）」は、要介護 3 以上において利用意向が多い。「通所介護（デイサービス）」は要介護 2 以上、「ショートステイ」は要介護 3 以上において利用意向が多くなっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「訪問介護（ホームヘルプ）」(32.0%→28.2%)、「通所介護（デイサービス）」(29.3%→24.6%) は減少、「福祉用具貸与・特定福祉用具販売」は (22.1%→23.7%) 増加となっている。

【 自宅で生活する上で利用したいサービス(複数回答) 】



※「通所介護 (デイサービス)」「ショートステイ」「居宅療養管理指導」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型通所介護」の選択肢は、調査票では () 書きで説明を付しているが、報告書では掲載を省略している

【 要支援・要介護認定者－自宅で生活する上で利用したいサービス(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	訪問介護 (ホーム ヘルプ)	訪問入浴 介護	訪問リハ ビリテー ション	訪問看護	通所介護 (デイサー ビス)	通所リハ ビリテー ション(デ イケア)	ショート ステイ	居宅療養 管理指導
全 体		958 (100.0)	270 (28.2)	155 (16.2)	124 (12.9)	161 (16.8)	236 (24.6)	193 (20.1)	164 (17.1)	122 (12.7)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	31 (22.8)	14 (10.3)	13 (9.6)	18 (13.2)	22 (16.2)	22 (16.2)	12 (8.8)	8 (5.9)
	要支援2	184 (100.0)	50 (27.2)	19 (10.3)	18 (9.8)	23 (12.5)	27 (14.7)	37 (20.1)	9 (4.9)	21 (11.4)
	要介護1	154 (100.0)	43 (27.9)	23 (14.9)	18 (11.7)	19 (12.3)	36 (23.4)	31 (20.1)	26 (16.9)	12 (7.8)
	要介護2	233 (100.0)	63 (27.0)	36 (15.5)	33 (14.2)	36 (15.5)	72 (30.9)	50 (21.5)	41 (17.6)	35 (15.0)
	要介護3	98 (100.0)	34 (34.7)	30 (30.6)	18 (18.4)	21 (21.4)	35 (35.7)	33 (33.7)	35 (35.7)	17 (17.3)
	要介護4	62 (100.0)	23 (37.1)	17 (27.4)	13 (21.0)	22 (35.5)	21 (33.9)	9 (14.5)	19 (30.6)	12 (19.4)
	要介護5	52 (100.0)	22 (42.3)	13 (25.0)	9 (17.3)	19 (36.5)	19 (36.5)	5 (9.6)	18 (34.6)	13 (25.0)
	無回答	39 (100.0)	4 (10.3)	3 (7.7)	2 (5.1)	3 (7.7)	4 (10.3)	6 (15.4)	4 (10.3)	4 (10.3)

要支援・ 要介護認定者 表 2		福祉用具 貸与・特 定福祉用 具販売	住宅改修 費支給	夜間対応 型訪問介 護	定期巡回・ 随時対応 型訪問介 護看護	小規模多 機能型居 宅介護	認知症対 応型通所 介護	わからない	特になし	無回答
全 体		227 (23.7)	121 (12.6)	87 (9.1)	78 (8.1)	53 (5.5)	80 (8.4)	82 (8.6)	162 (16.9)	97 (10.1)
要支援・要介護度別	要支援1	17 (12.5)	8 (5.9)	13 (9.6)	10 (7.4)	4 (2.9)	6 (4.4)	21 (15.4)	31 (22.8)	15 (11.0)
	要支援2	39 (21.2)	26 (14.1)	16 (8.7)	11 (6.0)	8 (4.3)	4 (2.2)	18 (9.8)	37 (20.1)	27 (14.7)
	要介護1	29 (18.8)	24 (15.6)	11 (7.1)	11 (7.1)	13 (8.4)	16 (10.4)	13 (8.4)	28 (18.2)	11 (7.1)
	要介護2	65 (27.9)	26 (11.2)	19 (8.2)	19 (8.2)	9 (3.9)	25 (10.7)	19 (8.2)	30 (12.9)	18 (7.7)
	要介護3	33 (33.7)	20 (20.4)	14 (14.3)	14 (14.3)	13 (13.3)	18 (18.4)	4 (4.1)	6 (6.1)	5 (5.1)
	要介護4	18 (29.0)	10 (16.1)	6 (9.7)	7 (11.3)	3 (4.8)	9 (14.5)	2 (3.2)	12 (19.4)	3 (4.8)
	要介護5	22 (42.3)	4 (7.7)	7 (13.5)	5 (9.6)	3 (5.8)	2 (3.8)	1 (1.9)	5 (9.6)	10 (19.2)
	無回答	4 (10.3)	3 (7.7)	1 (2.6)	1 (2.6)	0 (－)	0 (－)	4 (10.3)	13 (33.3)	8 (20.5)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(6)利用限度額に対する利用割合〔要支援・要介護認定者：問 23〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、介護保険で定められている利用限度額に対して、どのくらいの割合を利用していますか。(1つに○)

要支援・要介護認定者が介護保険で定められているサービス利用限度額に対して、どのくらいの割合を利用しているかをみると、「わからない」が24.4%で最も多く、次いで「上限いっぱい利用している」14.1%、「ほとんど利用していない」14.0%、「3割程度利用している」10.8%の順となっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援1から要介護2では「わからない」という割合が最も多く、要介護3以上になると2～3割台が「上限いっぱい利用している」状況にある。

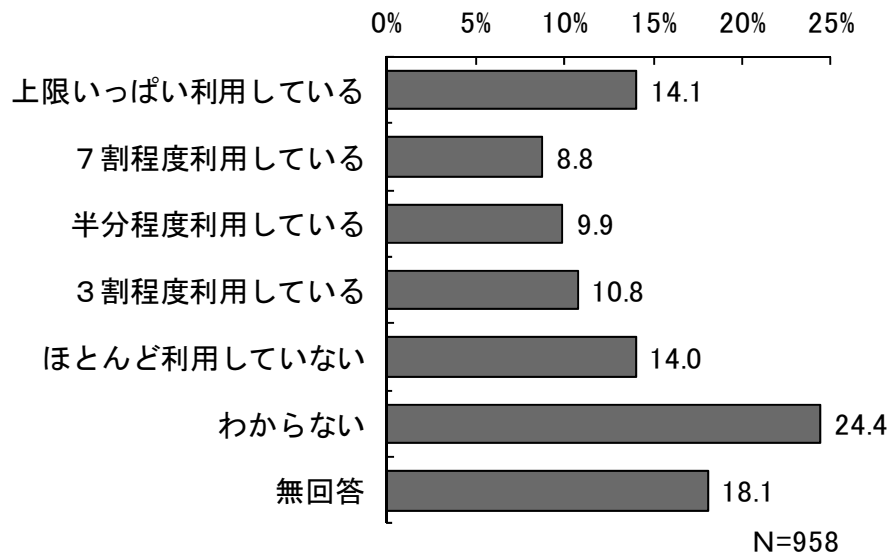
《介護保険料の所得段階別》

介護保険料の所得段階別にみると、「上限いっぱい利用している」割合が2割を超えている所得段階は、89,700円（第7段階）、147,108円（第10段階）となっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「わからない」(21.7%→24.4%)は増加、「上限いっぱい利用している」(15.1%→14.1%)、「ほとんど利用していない」(15.0%→14.0%)は減少している。

【 利用限度額に対する利用割合（単数回答） 】



【 要支援・要介護認定者－利用限度額に対する利用割合（要支援・要介護度別） 】

要支援・要介護認定者		合計	上限いっぱい利用している	7割程度利用している	半分程度利用している	3割程度利用している	ほとんど利用していない	わからない	無回答
全 体		958 (100.0)	135 (14.1)	84 (8.8)	95 (9.9)	103 (10.8)	134 (14.0)	234 (24.4)	173 (18.1)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	7 (5.1)	4 (2.9)	8 (5.9)	10 (7.4)	33 (24.3)	43 (31.6)	31 (22.8)
	要支援2	184 (100.0)	13 (7.1)	13 (7.1)	12 (6.5)	23 (12.5)	33 (17.9)	36 (19.6)	54 (29.3)
	要介護1	154 (100.0)	10 (6.5)	13 (8.4)	11 (7.1)	20 (13.0)	31 (20.1)	51 (33.1)	18 (11.7)
	要介護2	233 (100.0)	38 (16.3)	24 (10.3)	33 (14.2)	31 (13.3)	17 (7.3)	59 (25.3)	31 (13.3)
	要介護3	98 (100.0)	24 (24.5)	16 (16.3)	14 (14.3)	10 (10.2)	6 (6.1)	23 (23.5)	5 (5.1)
	要介護4	62 (100.0)	23 (37.1)	6 (9.7)	7 (11.3)	6 (9.7)	3 (4.8)	13 (21.0)	4 (6.5)
	要介護5	52 (100.0)	18 (34.6)	7 (13.5)	8 (15.4)	2 (3.8)	3 (5.8)	4 (7.7)	10 (19.2)
	無回答	39 (100.0)	2 (5.1)	1 (2.6)	2 (5.1)	1 (2.6)	8 (20.5)	5 (12.8)	20 (51.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－利用限度額に対する利用割合（介護保険料の所得段階別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	上限い っぱい利用 している	7割程度 利用して いる	半分程度 利用して いる	3割程度 利用して いる	ほとんど 利用して いない	わからな い	無回答
全 体		958 (100.0)	135 (14.1)	84 (8.8)	95 (9.9)	103 (10.8)	134 (14.0)	234 (24.4)	173 (18.1)
介護保 険料の 所得段 階別	28, 704円以下 (第1段階)	162 (100.0)	25 (15.4)	15 (9.3)	18 (11.1)	16 (9.9)	25 (15.4)	44 (27.2)	19 (11.7)
	43, 056円 (第2段階)	71 (100.0)	7 (9.9)	6 (8.5)	13 (18.3)	14 (19.7)	13 (18.3)	11 (15.5)	7 (9.9)
	53, 820円 (第3段階)	50 (100.0)	7 (14.0)	6 (12.0)	7 (14.0)	6 (12.0)	4 (8.0)	11 (22.0)	9 (18.0)
	64, 584円 (第4段階)	77 (100.0)	9 (11.7)	7 (9.1)	5 (6.5)	12 (15.6)	20 (26.0)	16 (20.8)	8 (10.4)
	71, 760円 (第5段階)	43 (100.0)	6 (14.0)	3 (7.0)	7 (16.3)	9 (20.9)	7 (16.3)	9 (20.9)	2 (4.7)
	78, 936円 (第6段階)	40 (100.0)	7 (17.5)	5 (12.5)	5 (12.5)	7 (17.5)	4 (10.0)	5 (12.5)	7 (17.5)
	89, 700円 (第7段階)	46 (100.0)	10 (21.7)	4 (8.7)	4 (8.7)	5 (10.9)	4 (8.7)	13 (28.3)	6 (13.0)
	107, 640円 (第8段階)	27 (100.0)	2 (7.4)	2 (7.4)	5 (18.5)	4 (14.8)	6 (22.2)	3 (11.1)	5 (18.5)
	114, 816円 (第9段階)	19 (100.0)	2 (10.5)	2 (10.5)	3 (15.8)	2 (10.5)	1 (5.3)	8 (42.1)	1 (5.3)
	147, 108円 (第10段階)	14 (100.0)	4 (28.6)	0 (－)	2 (14.3)	1 (7.1)	1 (7.1)	5 (35.7)	1 (7.1)
	172, 224円 (第11段階)	6 (100.0)	0 (－)	1 (16.7)	1 (16.7)	2 (33.3)	0 (－)	1 (16.7)	1 (16.7)
	190, 164円 (第12段階)	3 (100.0)	0 (－)	0 (－)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (－)	0 (－)
	208, 104円 (第13段階)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)
	229, 632円 (第14段階)	2 (100.0)	0 (－)	0 (－)	1 (50.0)	0 (－)	0 (－)	1 (50.0)	0 (－)
	251, 160円 (第15段階)	7 (100.0)	1 (14.3)	3 (42.9)	1 (14.3)	1 (14.3)	1 (14.3)	0 (－)	0 (－)
	無回答	391 (100.0)	55 (14.1)	30 (7.7)	22 (5.6)	23 (5.9)	47 (12.0)	107 (27.4)	107 (27.4)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(7)利用限度額まで利用しない理由〔要支援・要介護認定者:問 23-1〕

設問 限度額まで利用しない理由はなぜですか。(主なもの1つに○)

要支援・要介護認定者について、利用限度額まで利用しない理由をみると、「現状以上に利用する必要がないため」29.8%、「ケアマネジャーに任せてあるため」23.2%などの割合が多くなっている。「自己負担額が増加するため」は7.8%である。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援1から要介護2では「現状以上に利用する必要がないため」が第1位となっている。

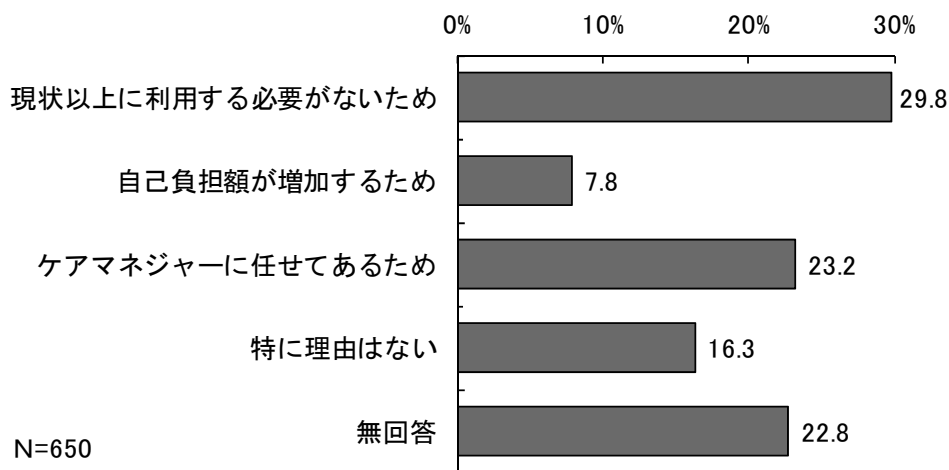
《利用限度額に対する利用割合別》

利用限度額に対する利用割合別にみると、7割程度利用している場合、わからない場合において、「ケアマネジャーに任せてあるため」が3割前後で最も多くなっている。半分程度利用、3割程度利用、ほとんど利用していない場合は、「現状以上に利用する必要がないため」が3～5割台となり、「ケアマネジャーに任せてあるため」という割合を上回っている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「現状以上に利用する必要がないため」(29.9%→29.8%)は横ばい、「ケアマネジャーに任せてあるため」(22.0%→23.2%)は増加、「特に理由はない」(18.7%→16.3%)は減少となっている。

【 利用限度額まで利用しない理由(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－利用限度額まで利用しない理由（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	現状以上 に利用す る必要が ないため	自己負担 額が増加 するため	ケアマネ ジャーに 任せてあ るため	特に理由 はない	無回答
全 体		650 (100.0)	194 (29.8)	51 (7.8)	151 (23.2)	106 (16.3)	148 (22.8)
要支援・要介護度別	要支援1	98 (100.0)	34 (34.7)	6 (6.1)	11 (11.2)	21 (21.4)	26 (26.5)
	要支援2	117 (100.0)	36 (30.8)	3 (2.6)	29 (24.8)	19 (16.2)	30 (25.6)
	要介護1	126 (100.0)	33 (26.2)	12 (9.5)	30 (23.8)	21 (16.7)	30 (23.8)
	要介護2	164 (100.0)	55 (33.5)	13 (7.9)	35 (21.3)	25 (15.2)	36 (22.0)
	要介護3	69 (100.0)	18 (26.1)	7 (10.1)	28 (40.6)	5 (7.2)	11 (15.9)
	要介護4	35 (100.0)	6 (17.1)	6 (17.1)	10 (28.6)	6 (17.1)	7 (20.0)
	要介護5	24 (100.0)	7 (29.2)	2 (8.3)	7 (29.2)	2 (8.3)	6 (25.0)
	無回答	17 (100.0)	5 (29.4)	2 (11.8)	1 (5.9)	7 (41.2)	2 (11.8)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－利用限度額まで利用しない理由（利用限度額に対する利用割合別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	現状以上 に利用す る必要が ないため	自己負担 額が増加 するため	ケアマネ ジャーに 任せてあ るため	特に理由 はない	無回答
全 体		650 (100.0)	194 (29.8)	51 (7.8)	151 (23.2)	106 (16.3)	148 (22.8)
利用限度額 に対する利用割合別	7割程度 利用している	84 (100.0)	23 (27.4)	8 (9.5)	25 (29.8)	10 (11.9)	18 (21.4)
	半分程度 利用している	95 (100.0)	32 (33.7)	9 (9.5)	30 (31.6)	16 (16.8)	8 (8.4)
	3割程度 利用している	103 (100.0)	52 (50.5)	8 (7.8)	15 (14.6)	9 (8.7)	19 (18.4)
	ほとんど利用 していない	134 (100.0)	53 (39.6)	8 (6.0)	9 (6.7)	27 (20.1)	37 (27.6)
	わからない	234 (100.0)	34 (14.5)	18 (7.7)	72 (30.8)	44 (18.8)	66 (28.2)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(8)介護保険にかかる費用の負担者〔要支援・要介護認定者：問 25・35〕

設問 介護保険の利用にかかる費用は、どなたが負担していますか。

(1つに○)

要支援・要介護認定者について、介護保険にかかる費用をだれが負担しているかをみると、「あなた（あて名のご本人）の負担」が62.2%で過半数を占める。次いで「あなた（あて名のご本人）と家族の両方の負担」12.3%となり、「家族の負担」は1割以下の7.9%となっている。

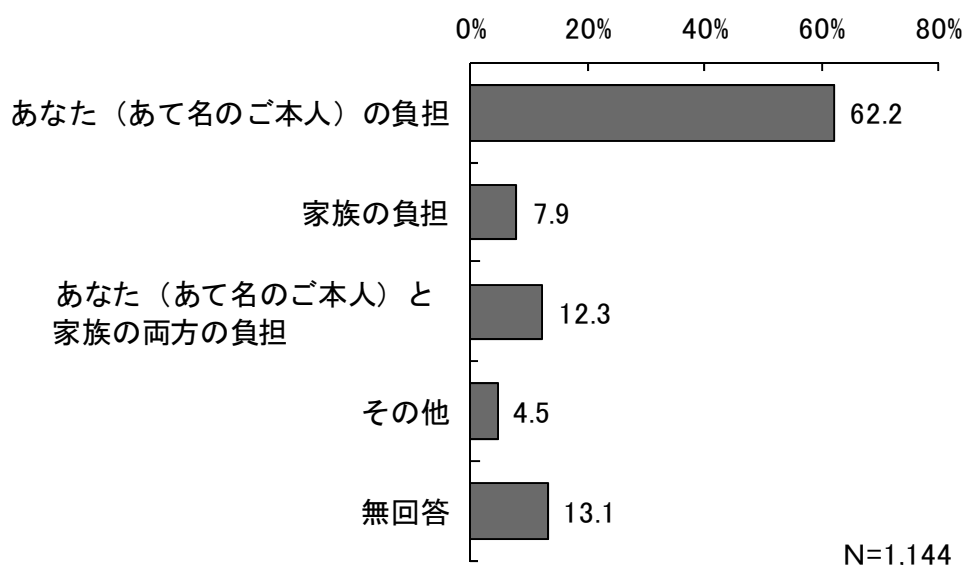
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、すべての介護度において「あなた（あて名のご本人）の負担」が最も多くなっている。「家族の負担」は要介護4より高い介護度において1割以上となっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「あなた（あて名のご本人）の負担」（61.5%→62.2%）は微増、「家族の負担」（9.5%→7.9%）「あなた（あて名のご本人）と家族の両方の負担」（13.4%→12.3%）は減少となっている。

【 介護保険にかかる費用の負担者（単数回答） 】



※上記は、問 25（要支援・要介護認定者で在宅の者）、問 35（要支援・要介護認定者で施設等入所の者）を合計して集計した結果である

【 要支援・要介護認定者－介護保険にかかる費用の負担者（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	あなた（あて 名のご本人） の負担	家族の負担	あなた（あて 名のご本人） と家族の 両方の負担	その他	無回答
全 体		1,144 (100.0)	712 (62.2)	90 (7.9)	141 (12.3)	51 (4.5)	150 (13.1)
要支援・要介護度別	要支援1	140 (100.0)	96 (68.6)	3 (2.1)	7 (5.0)	4 (2.9)	30 (21.4)
	要支援2	189 (100.0)	125 (66.1)	13 (6.9)	7 (3.7)	10 (5.3)	34 (18.0)
	要介護1	163 (100.0)	116 (71.2)	10 (6.1)	16 (9.8)	6 (3.7)	15 (9.2)
	要介護2	259 (100.0)	171 (66.0)	19 (7.3)	29 (11.2)	13 (5.0)	27 (10.4)
	要介護3	132 (100.0)	76 (57.6)	11 (8.3)	31 (23.5)	4 (3.0)	10 (7.6)
	要介護4	110 (100.0)	58 (52.7)	15 (13.6)	23 (20.9)	7 (6.4)	7 (6.4)
	要介護5	105 (100.0)	49 (46.7)	16 (15.2)	26 (24.8)	4 (3.8)	10 (9.5)
	無回答	46 (100.0)	21 (45.7)	3 (6.5)	2 (4.3)	3 (6.5)	17 (37.0)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

14 介護保険サービスについて(施設等)

(1)施設等での生活の満足度〔要支援・要介護認定者:問 33〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在の施設(ホーム)等での生活についてどのように感じていますか。(1つに○)

要支援・要介護認定者で施設等に入所している人について、施設等での生活の満足度をみると、「どちらかと言えば満足」の 43.5%が最も多く、次いで「満足」が 32.3%となり、あわせて 75.8%が“満足”と回答している。「どちらかと言えば不満」は 10.8%、「不満」は 2.7%であり、あわせて 13.5%が“不満足”な状況にある。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要介護 3、要介護 4 では 8 割以上が“満足”と回答しているが、要介護 1、要介護 2、要介護 4、要介護 5 は“不満足”の割合が 1 割を超えている。

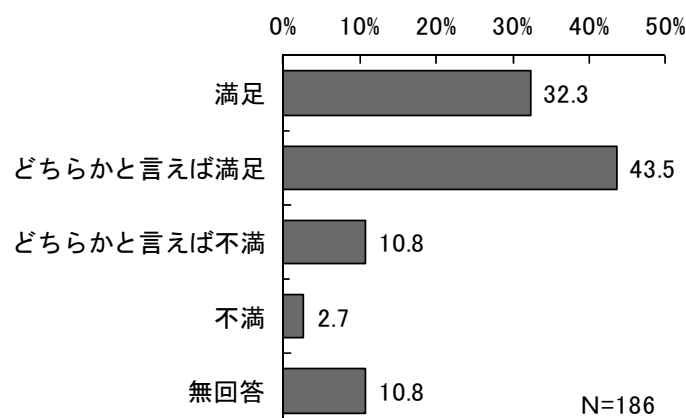
《現在生活している場所別》

現在生活している場所別にみると、特別養護老人ホーム、老人保健施設では 8 割台が“満足”、有料老人ホーム・ケアハウスでは 78.1%が“満足”と回答している。“不満足”の割合が高いのは、介護療養型医療施設、認知症高齢者グループホームで 2 割以上が“不満足”と回答している。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「満足」(29.8%→32.3%)は増加、「どちらかと言えば満足」(46.8%→43.5%)は減少、「どちらかと言えば不満」(7.8%→10.8%)は増加、「不満」(2.0%→2.7%)は微増となっている。

【 施設等での生活の満足度(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－施設等での生活の満足度(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	満足	どちらか と言えば 満足	どちらか と言えば 不満	不満	無回答
全 体		186 (100.0)	60 (32.3)	81 (43.5)	20 (10.8)	5 (2.7)	20 (10.8)
要支援・ 要介護度別	要支援1	4 (100.0)	0 (－)	3 (75.0)	0 (－)	0 (－)	1 (25.0)
	要支援2	5 (100.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	0 (－)	0 (－)	2 (40.0)
	要介護1	9 (100.0)	2 (22.2)	3 (33.3)	2 (22.2)	1 (11.1)	1 (11.1)
	要介護2	26 (100.0)	7 (26.9)	11 (42.3)	6 (23.1)	0 (－)	2 (7.7)
	要介護3	34 (100.0)	11 (32.4)	19 (55.9)	1 (2.9)	1 (2.9)	2 (5.9)
	要介護4	48 (100.0)	19 (39.6)	21 (43.8)	2 (4.2)	3 (6.3)	3 (6.3)
	要介護5	53 (100.0)	18 (34.0)	18 (34.0)	8 (15.1)	0 (－)	9 (17.0)
	無回答	7 (100.0)	2 (28.6)	4 (57.1)	1 (14.3)	0 (－)	0 (－)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－施設等での生活の満足度(現在生活している場所別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	満足	どちらか と言えば 満足	どちらか と言えば 不満	不満	無回答
全 体		186 (100.0)	60 (32.3)	81 (43.5)	20 (10.8)	5 (2.7)	20 (10.8)
現在生活 している 場所別	特別養護老人 ホーム	68 (100.0)	27 (39.7)	28 (41.2)	3 (4.4)	1 (1.5)	9 (13.2)
	老人保健施設	28 (100.0)	8 (28.6)	15 (53.6)	2 (7.1)	1 (3.6)	2 (7.1)
	介護療養型医 療施設	14 (100.0)	3 (21.4)	6 (42.9)	2 (14.3)	2 (14.3)	1 (7.1)
	認知症高齢者 グループホーム	22 (100.0)	11 (50.0)	4 (18.2)	5 (22.7)	1 (4.5)	1 (4.5)
	有料老人 ホーム・ケアハウス	41 (100.0)	9 (22.0)	23 (56.1)	6 (14.6)	0 (－)	3 (7.3)
	その他の施設	13 (100.0)	2 (15.4)	5 (38.5)	2 (15.4)	0 (－)	4 (30.8)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2)施設等に対する希望〔要支援・要介護認定者：問 34〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、現在の施設(ホーム)等に対する充実や改善の希望として、どのようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

要支援・要介護認定者で施設等に入所している方について、施設等に対する充実や改善の希望をみると、「特にない」が 30.6%であり、何らかの希望がある（100%から「特にない」および「無回答」を引いた数値）人の割合は 61.3%となっている。具体的な希望としては「施設職員の充実」28.5%、「話し相手などのボランティアの充実」25.8%、「リハビリテーション・機能訓練の充実」22.6%などが 2 割以上となっている。

《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要介護 2 では「施設職員の充実」、要介護 3 では「施設職員の充実」と「リハビリテーション・機能訓練の充実」、要介護 4 では「話し相手などのボランティアの充実」、要介護 5 では「施設職員の充実」が上位にあげられた希望である。

《現在生活している場所別》

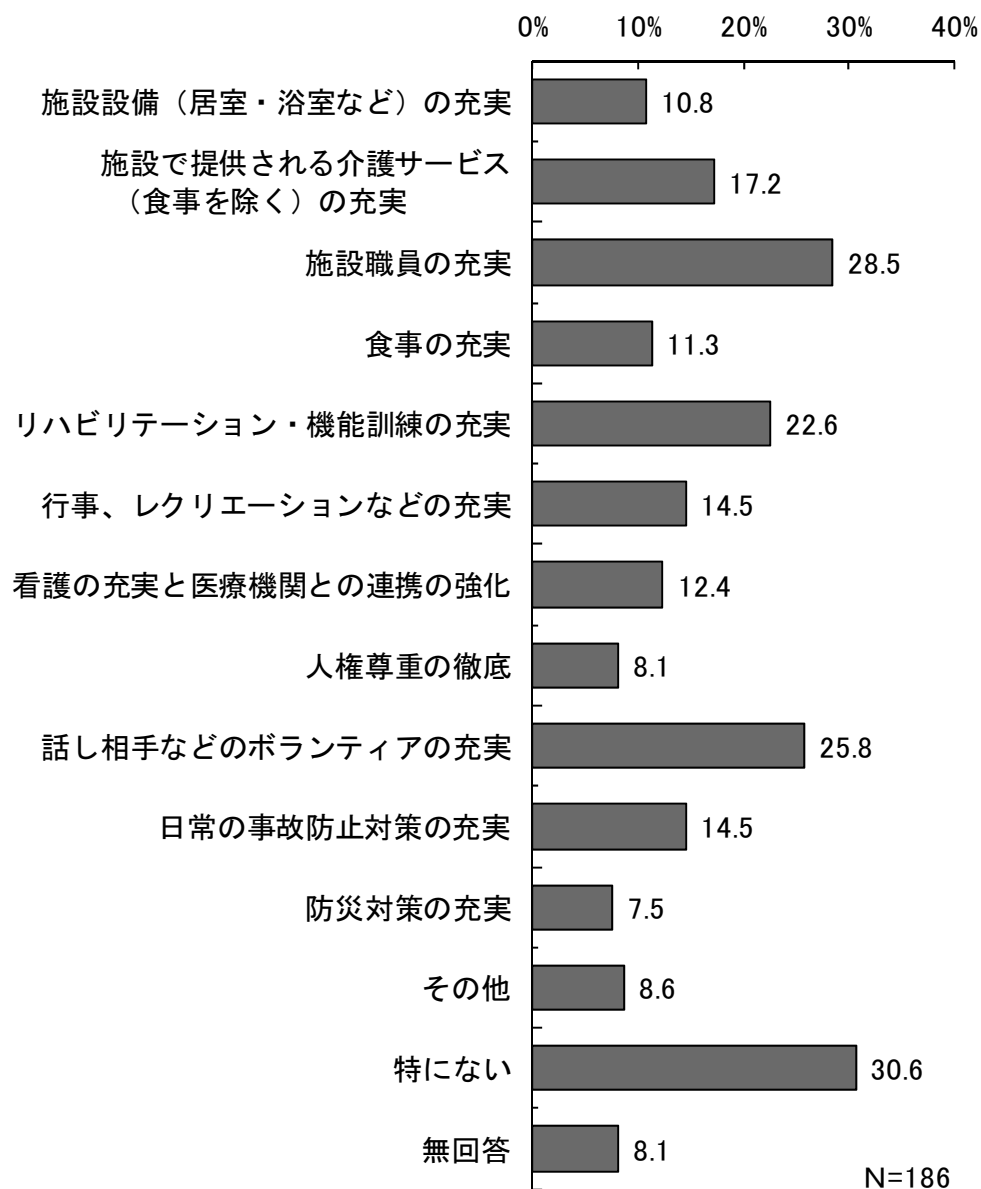
現在生活している場所別にみると、「特にない」は老人保健施設で 42.9%、認知症高齢者グループホームでは 50.0%であり、これらに「特にない」割合が多くなっている。

「特にない」を除いて、施設等に対する希望をみると、特別養護老人ホームでは「話し相手などのボランティアの充実」が、老人保健施設では「施設で提供される介護サービス（食事を除く）の充実」、介護療養型医療施設では「リハビリテーション・機能訓練の充実」が、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホーム・ケアハウスでは「施設職員の充実」が、最も多い充実や改善の希望となっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「施設職員の充実」（22.0%→28.5%）は増加、「話し相手などのボランティアの充実」（25.9%→25.8%）、「リハビリテーション・機能訓練の充実」（22.9%→22.6%）は横ばいとなっている。

【 施設(ホーム)等に対する希望(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－施設（ホーム）等に対する希望（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	施設設備 （居室・浴 室など） の充実	施設で提 供される介 護サービス （食事を除 く）の充実	施設職員 の充実	食事の 充実	リハビリ テーショ ン・機能 訓練の充 実	行事、 レクリエ ーション などの充 実	看護の充 実と医療 機関との 連携の 強化
全 体		186 (100.0)	20 (10.8)	32 (17.2)	53 (28.5)	21 (11.3)	42 (22.6)	27 (14.5)	23 (12.4)
要支援・要介護度別	要支援1	4 (100.0)	0 (－)	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (－)	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)
	要支援2	5 (100.0)	1 (20.0)	0 (－)	0 (－)	1 (20.0)	0 (－)	0 (－)	0 (－)
	要介護1	9 (100.0)	2 (22.2)	0 (－)	3 (33.3)	2 (22.2)	0 (－)	1 (11.1)	0 (－)
	要介護2	26 (100.0)	3 (11.5)	4 (15.4)	9 (34.6)	3 (11.5)	6 (23.1)	7 (26.9)	4 (15.4)
	要介護3	34 (100.0)	7 (20.6)	10 (29.4)	14 (41.2)	5 (14.7)	14 (41.2)	7 (20.6)	7 (20.6)
	要介護4	48 (100.0)	5 (10.4)	9 (18.8)	11 (22.9)	4 (8.3)	10 (20.8)	9 (18.8)	7 (14.6)
	要介護5	53 (100.0)	2 (3.8)	7 (13.2)	14 (26.4)	5 (9.4)	9 (17.0)	1 (1.9)	3 (5.7)
	無回答	7 (100.0)	0 (－)	1 (14.3)	1 (14.3)	1 (14.3)	1 (14.3)	1 (14.3)	1 (14.3)

要支援・ 要介護認定者 表 2		人権尊重 の徹底	話し相手な どのボラン ティアの 充実	日常の事 故防止対 策の充実	防災対策 の充実	その他	特にない	無回答
全 体		15 (8.1)	48 (25.8)	27 (14.5)	14 (7.5)	16 (8.6)	57 (30.6)	15 (8.1)
要支援・要介護度別	要支援1	0 (－)	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (－)	1 (25.0)	0 (－)	1 (25.0)
	要支援2	0 (－)	0 (－)	1 (20.0)	0 (－)	0 (－)	1 (20.0)	2 (40.0)
	要介護1	2 (22.2)	2 (22.2)	2 (22.2)	2 (22.2)	1 (11.1)	2 (22.2)	1 (11.1)
	要介護2	3 (11.5)	6 (23.1)	5 (19.2)	3 (11.5)	1 (3.8)	6 (23.1)	2 (7.7)
	要介護3	1 (2.9)	12 (35.3)	8 (23.5)	3 (8.8)	2 (5.9)	7 (20.6)	2 (5.9)
	要介護4	5 (10.4)	14 (29.2)	8 (16.7)	5 (10.4)	3 (6.3)	20 (41.7)	3 (6.3)
	要介護5	4 (7.5)	11 (20.8)	2 (3.8)	1 (1.9)	8 (15.1)	18 (34.0)	4 (7.5)
	無回答	0 (－)	2 (28.6)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	3 (42.9)	0 (－)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－施設（ホーム）等に対する希望（現在生活している場所別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	施設設備 （居室・浴 室など） の充実	施設で提 供される介 護サービス （食事を除 く）の充実	施設職員 の充実	食事の 充実	リハビリテ ーション・ 機能訓練 の充実	行事、レク リエーショ ンなどの 充実	看護の充 実と医療 機関との 連携の 強化
全 体		186 (100.0)	20 (10.8)	32 (17.2)	53 (28.5)	21 (11.3)	42 (22.6)	27 (14.5)	23 (12.4)
現在生活 している 場所別	特別養護老人 ホーム	68 (100.0)	4 (5.9)	11 (16.2)	19 (27.9)	3 (4.4)	18 (26.5)	8 (11.8)	7 (10.3)
	老人保健施設	28 (100.0)	3 (10.7)	7 (25.0)	6 (21.4)	5 (17.9)	6 (21.4)	2 (7.1)	5 (17.9)
	介護療養型医 療施設	14 (100.0)	2 (14.3)	3 (21.4)	3 (21.4)	3 (21.4)	5 (35.7)	2 (14.3)	3 (21.4)
	認知症高齢者 グループホーム	22 (100.0)	3 (13.6)	5 (22.7)	9 (40.9)	4 (18.2)	5 (22.7)	5 (22.7)	1 (4.5)
	有料老人 ホーム・ケアハウス	41 (100.0)	8 (19.5)	5 (12.2)	14 (34.1)	6 (14.6)	6 (14.6)	9 (22.0)	6 (14.6)
	その他の施設	13 (100.0)	0 (－)	1 (7.7)	2 (15.4)	0 (－)	2 (15.4)	1 (7.7)	1 (7.7)

要支援・ 要介護認定者 表 2		人権尊重 の徹底	話し相手な どのボラン ティアの 充実	日常の事 故防止対 策の充実	防災対策 の充実	その他	特にない	無回答
全 体		15 (8.1)	48 (25.8)	27 (14.5)	14 (7.5)	16 (8.6)	57 (30.6)	15 (8.1)
現在生活 している 場所別	特別養護老人 ホーム	5 (7.4)	21 (30.9)	8 (11.8)	6 (8.8)	9 (13.2)	15 (22.1)	5 (7.4)
	老人保健施設	1 (3.6)	6 (21.4)	5 (17.9)	2 (7.1)	1 (3.6)	12 (42.9)	2 (7.1)
	介護療養型医 療施設	2 (14.3)	3 (21.4)	1 (7.1)	0 (－)	0 (－)	4 (28.6)	2 (14.3)
	認知症高齢者 グループホーム	3 (13.6)	6 (27.3)	4 (18.2)	3 (13.6)	2 (9.1)	11 (50.0)	1 (4.5)
	有料老人 ホーム・ケアハウス	4 (9.8)	9 (22.0)	9 (22.0)	3 (7.3)	4 (9.8)	10 (24.4)	1 (2.4)
	その他の施設	0 (－)	3 (23.1)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	5 (38.5)	4 (30.8)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

15 今後の生活の希望について

(1) 認定を受けていない者が希望する今後の暮らし方〔認定を受けていない者：問 20〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、将来介護が必要になった場合、どのように暮らしたいと考えますか。(1つに○)

認定を受けていない者について、介護が必要となった場合の暮らし方をみると、「介護保険制度を利用しながら自宅で暮らしたい」41.8%、「家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」14.5%など、“自宅”で暮らしたいという希望があわせて56.3%となっている。次いで「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」9.0%、「高齢者専用の住宅等に住み替えて暮らしたい」7.1%、「病院に入院したい」2.1%、「有料老人ホームに入所したい」1.9%が続くが、「わからない」という意見も19.0%を占めている。

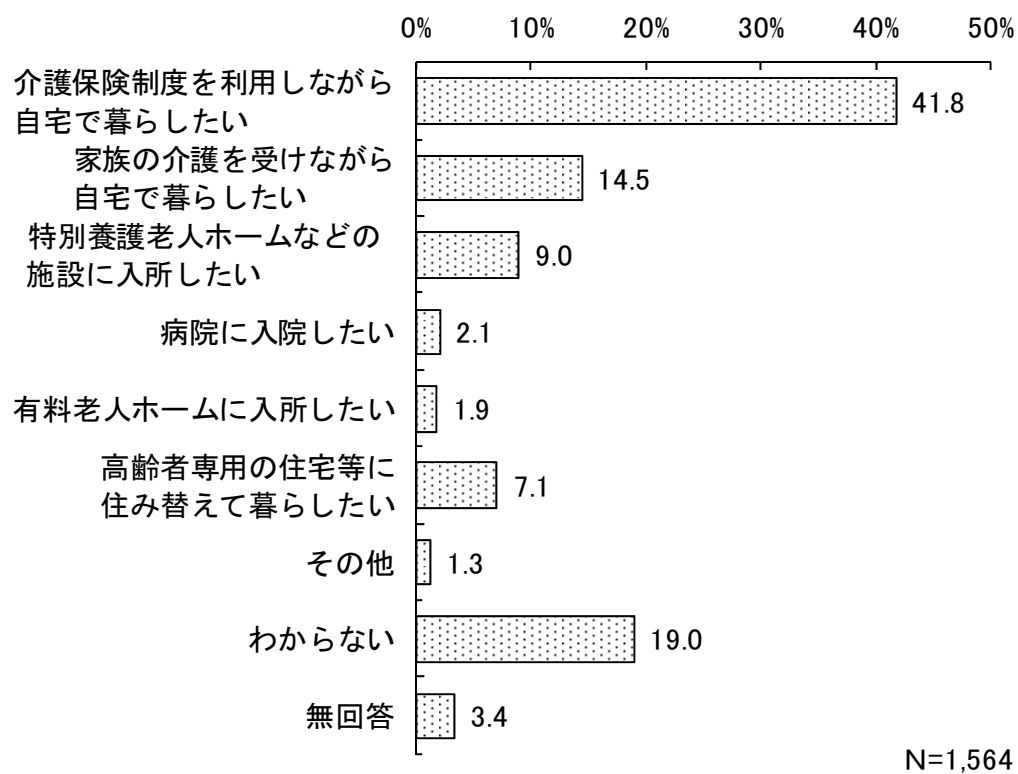
《年齢別》

認定を受けていない者について、年齢別にみると、85歳以上を除くすべての年齢において、「介護保険制度を利用しながら自宅で暮らしたい」という割合が最も多くなっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「介護保険制度を利用しながら自宅で暮らしたい」(40.5%→41.8%)、「家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」(13.2%→14.5%)は増加、「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」(8.4%→9.0%)は微増している。

【 認定を受けていない者が希望する今後の暮らし方(単数回答) 】



※「高齢者専用の住宅等に組み替えて暮らしたい」の選択肢は、調査票では（ ）書きで説明を付しているが、報告書では掲載を省略している

【 認定を受けていない者－認定を受けていない者が希望する今後の暮らし方（年齢別） 】

認定を受けていない者 表 1		合計	介護保険制度を利用しながら自宅で暮らしたい	家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームなどの施設に入所したい	病院に入院したい
全 体		1,564 (100.0)	654 (41.8)	226 (14.5)	141 (9.0)	33 (2.1)
年 齢 別	65～69歳	401 (100.0)	180 (44.9)	40 (10.0)	32 (8.0)	3 (0.7)
	70～74歳	416 (100.0)	165 (39.7)	57 (13.7)	48 (11.5)	7 (1.7)
	75～79歳	378 (100.0)	167 (44.2)	51 (13.5)	34 (9.0)	9 (2.4)
	80～84歳	250 (100.0)	106 (42.4)	44 (17.6)	21 (8.4)	9 (3.6)
	85～89歳	84 (100.0)	25 (29.8)	26 (31.0)	4 (4.8)	3 (3.6)
	90歳以上	24 (100.0)	6 (25.0)	8 (33.3)	1 (4.2)	2 (8.3)
	無回答	11 (100.0)	5 (45.5)	0 (－)	1 (9.1)	0 (－)

認定を受けていない者 表 2		有料老人ホームに入所したい	高齢者専用の住宅等に 住み替えて暮らしたい	その他	わからない	無回答
全 体		29 (1.9)	111 (7.1)	20 (1.3)	297 (19.0)	53 (3.4)
年 齢 別	65～69歳	9 (2.2)	33 (8.2)	9 (2.2)	82 (20.4)	13 (3.2)
	70～74歳	7 (1.7)	33 (7.9)	7 (1.7)	80 (19.2)	12 (2.9)
	75～79歳	4 (1.1)	26 (6.9)	3 (0.8)	69 (18.3)	15 (4.0)
	80～84歳	7 (2.8)	15 (6.0)	0 (－)	40 (16.0)	8 (3.2)
	85～89歳	0 (－)	2 (2.4)	1 (1.2)	18 (21.4)	5 (6.0)
	90歳以上	1 (4.2)	1 (4.2)	0 (－)	5 (20.8)	0 (－)
	無回答	1 (9.1)	1 (9.1)	0 (－)	3 (27.3)	0 (－)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 要支援・要介護認定者が希望する今後の暮らし方〔要支援・要介護認定者：問 24〕

設問 あなた(あて名のご本人)は、今後の生活について、どのような希望をお持ちですか。(1つに○)

要支援・要介護認定者について、希望する今後の暮らし方をみると、「介護サービスを主に利用し、現在の住まいで生活したい」の 48.7%が最も多く、次いで「家族の介護を主に受け、現在の住まい、家族の住まいで生活したい」が 19.4%となっている。これらをあわせた“現在の住まいで生活したい”という希望は 68.1%となるが、一方で、「わからない」という意見も 10.8%である。施設等で暮らしたいという意見では、「特別養護老人ホームで生活したい」4.2%、「高齢者専用の住宅等に組み替えて生活したい」2.9%などとなっている。

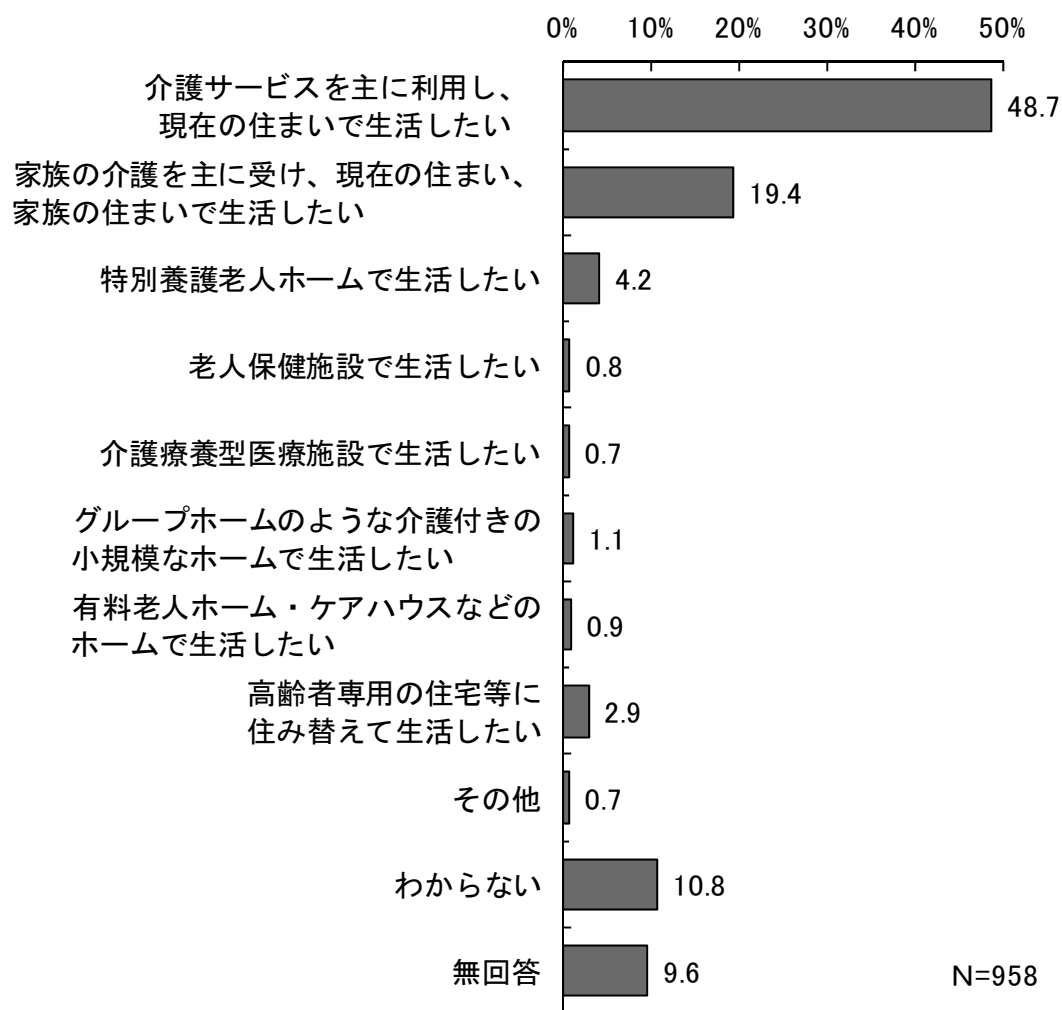
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、「特別養護老人ホームで生活したい」という希望は要介護 3 および要介護 5 において多くいる。要介護 1、要介護 2 では「介護サービスを主に利用し、現在の住まいで生活したい」という希望が 5 割を超えている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「介護サービスを主に利用し、現在の住まいで生活したい」(47.6%→48.7%)は増加、「家族の介護を主に受け、現在の住まい、家族の住まいで生活したい」(23.4%→19.4%)、「特別養護老人ホームで生活したい」(5.2%→4.2%)は減少している。

【 要支援・要介護認定者が希望する今後の暮らし方(単数回答) 】



※「高齢者専用の住宅等に組み替えて生活したい」の選択肢は、調査票では（ ）書きで説明を付しているが、報告書では掲載を省略している

【 要支援・要介護認定者－要支援・要介護認定者が希望する今後の暮らし方（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	介護サービス を主に利用し、 現在の住まい で生活したい	家族の介護を主 に受け、現在の 住まい、家族の 住まいで生活した い	特別養護老 人ホームで 生活したい	老人保健施 設で生活した い	介護療養型 医療施設で 生活したい
全 体		958 (100.0)	467 (48.7)	186 (19.4)	40 (4.2)	8 (0.8)	7 (0.7)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	62 (45.6)	13 (9.6)	5 (3.7)	1 (0.7)	1 (0.7)
	要支援2	184 (100.0)	89 (48.4)	24 (13.0)	7 (3.8)	3 (1.6)	1 (0.5)
	要介護1	154 (100.0)	86 (55.8)	32 (20.8)	4 (2.6)	1 (0.6)	0 (－)
	要介護2	233 (100.0)	123 (52.8)	52 (22.3)	6 (2.6)	2 (0.9)	3 (1.3)
	要介護3	98 (100.0)	48 (49.0)	26 (26.5)	10 (10.2)	1 (1.0)	1 (1.0)
	要介護4	62 (100.0)	26 (41.9)	16 (25.8)	2 (3.2)	0 (－)	1 (1.6)
	要介護5	52 (100.0)	21 (40.4)	17 (32.7)	4 (7.7)	0 (－)	0 (－)
	無回答	39 (100.0)	12 (30.8)	6 (15.4)	2 (5.1)	0 (－)	0 (－)

要支援・ 要介護認定者 表 2		グループホーム のような介護 付きの小規模 なホームで 生活したい	有料老人ホーム・ ケアハウス などのホーム で生活したい	高齢者専用 の住宅等に 住み替えて 生活したい	その他	わからない	無回答
全 体		11 (1.1)	9 (0.9)	28 (2.9)	7 (0.7)	103 (10.8)	92 (9.6)
要支援・要介護度別	要支援1	1 (0.7)	1 (0.7)	7 (5.1)	1 (0.7)	29 (21.3)	15 (11.0)
	要支援2	2 (1.1)	1 (0.5)	4 (2.2)	0 (－)	29 (15.8)	24 (13.0)
	要介護1	3 (1.9)	0 (－)	4 (2.6)	3 (1.9)	8 (5.2)	13 (8.4)
	要介護2	4 (1.7)	4 (1.7)	8 (3.4)	2 (0.9)	17 (7.3)	12 (5.2)
	要介護3	0 (－)	0 (－)	1 (1.0)	0 (－)	4 (4.1)	7 (7.1)
	要介護4	0 (－)	3 (4.8)	3 (4.8)	1 (1.6)	5 (8.1)	5 (8.1)
	要介護5	1 (1.9)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	2 (3.8)	7 (13.5)
	無回答	0 (－)	0 (－)	1 (2.6)	0 (－)	9 (23.1)	9 (23.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3)施設を利用したい理由〔要支援・要介護認定者：問 24-1〕

設問 あなた(あて名のご本人)が、施設を利用したい(している)理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

要支援・要介護認定者で今後の生活において施設を利用したいと回答した人について、その理由をみると、「家族では介護が困難だから」という理由が 43.6%で最も多く、次いで「24 時間介護やお世話が受けられるから」40.0%、「家族に迷惑をかけたくないから」34.5%、「専門的な介護やお世話が受けられるから」34.5%などの割合が多くなっている。

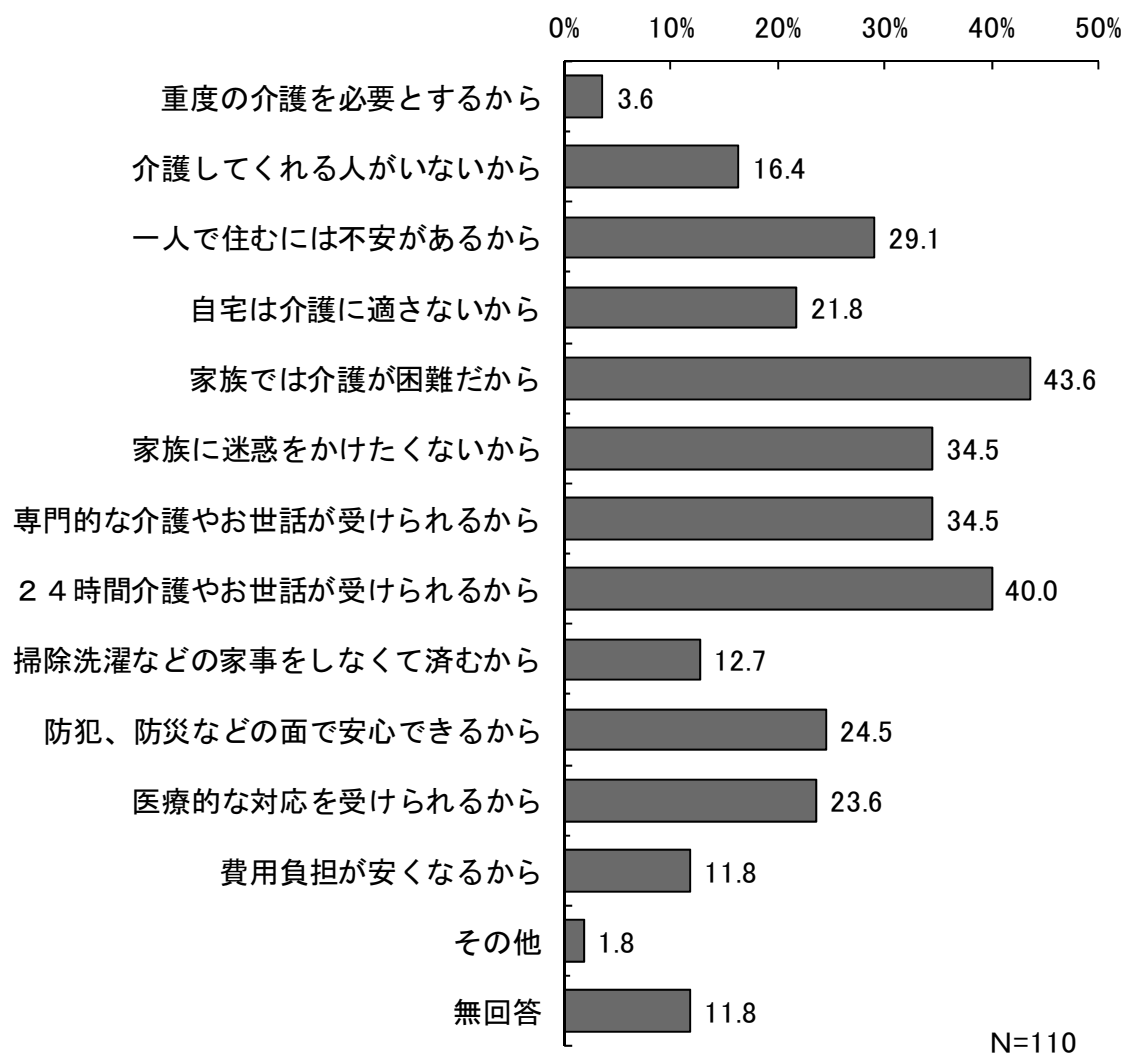
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護度別にみると、要支援 1 では「一人で住むには不安があるから」、要支援 2 では「一人で住むには不安があるから」と「24 時間介護やお世話が受けられるから」、要介護 1 では「専門的な介護やお世話が受けられるから」、要介護 2 では「24 時間介護やお世話が受けられるから」、要介護 3 では「家族では介護が困難だから」、要介護 4 では「家族では介護が困難だから」「24 時間介護やお世話が受けられるから」、要介護 5 では「24 時間介護やお世話が受けられるから」が施設を利用したい理由として最も多い割合になっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、「家族に迷惑をかけたくないから」(32.4%→34.5%)は増加、「24 時間介護やお世話が受けられるから」(40.7%→40.0%)は微減であるが、これ以外は「その他」を除きすべて減少している。

【 施設を利用したい理由(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－施設を利用したい理由（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	重度の介護を必要とするから	介護してくる人がいないから	一人で住むには不安があるから	自宅は介護に適さないから	家族では介護が困難だから	家族に迷惑をかけたくないから	専門的な介護やお世話が受けられるから
全 体		110 (100.0)	4 (3.6)	18 (16.4)	32 (29.1)	24 (21.8)	48 (43.6)	38 (34.5)	38 (34.5)
要支援・要介護度別	要支援1	17 (100.0)	0 (－)	4 (23.5)	9 (52.9)	3 (17.6)	6 (35.3)	5 (29.4)	3 (17.6)
	要支援2	18 (100.0)	0 (－)	6 (33.3)	9 (50.0)	7 (38.9)	6 (33.3)	6 (33.3)	7 (38.9)
	要介護1	15 (100.0)	0 (－)	4 (26.7)	3 (20.0)	3 (20.0)	6 (40.0)	5 (33.3)	7 (46.7)
	要介護2	29 (100.0)	1 (3.4)	3 (10.3)	7 (24.1)	4 (13.8)	9 (31.0)	10 (34.5)	8 (27.6)
	要介護3	13 (100.0)	1 (7.7)	1 (7.7)	3 (23.1)	4 (30.8)	11 (84.6)	5 (38.5)	6 (46.2)
	要介護4	10 (100.0)	1 (10.0)	0 (－)	0 (－)	2 (20.0)	7 (70.0)	4 (40.0)	4 (40.0)
	要介護5	5 (100.0)	1 (20.0)	0 (－)	1 (20.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	2 (40.0)
	無回答	3 (100.0)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)

要支援・ 要介護認定者 表 2		24時間介護やお世話が受けられるから	掃除洗濯などの家事をしなくて済むから	防犯、防災などの面で安心できるから	医療的な対応を受けられるから	費用負担が安くなるから	その他	無回答
全 体		44 (40.0)	14 (12.7)	27 (24.5)	26 (23.6)	13 (11.8)	2 (1.8)	13 (11.8)
要支援・要介護度別	要支援1	1 (5.9)	2 (11.8)	4 (23.5)	2 (11.8)	0 (－)	1 (5.9)	2 (11.8)
	要支援2	9 (50.0)	4 (22.2)	5 (27.8)	5 (27.8)	6 (33.3)	0 (－)	1 (5.6)
	要介護1	4 (26.7)	1 (6.7)	6 (40.0)	4 (26.7)	2 (13.3)	1 (6.7)	3 (20.0)
	要介護2	12 (41.4)	2 (6.9)	5 (17.2)	6 (20.7)	3 (10.3)	0 (－)	5 (17.2)
	要介護3	6 (46.2)	1 (7.7)	1 (7.7)	2 (15.4)	2 (15.4)	0 (－)	0 (－)
	要介護4	7 (70.0)	2 (20.0)	4 (40.0)	5 (50.0)	0 (－)	0 (－)	0 (－)
	要介護5	4 (80.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	0 (－)	0 (－)	0 (－)
	無回答	1 (33.3)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	2 (66.7)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

16 介護者の状況

(1) 介護者の続柄〔要支援・要介護認定者：問 32〕

設問 あなた(あて名のご本人)を主に介護している方はどなたですか。
(介護をしている方すべてに○、中心的に介護をしている主な方ひとりに◎)

要支援・要介護認定者について、あて名のご本人を介護している人の続柄をみると、介護者（介護に携わっている人：複数回答）は「息子・娘」「配偶者」「ホームヘルパー、介護職員などのサービス提供者」の割合が多く、「息子・娘」は 39.2%が介護にかかわっている結果となっている。

主な介護者（単数回答）になると、「息子・娘」24.7%、「配偶者」20.1%、「ホームヘルパー、介護職員などのサービス提供者」9.3%、「息子・娘の配偶者」4.4%となっており、家族や親族が主な介護者である割合（100%から「ホームヘルパー、介護職員などのサービス提供者」と「特にいない」と「無回答」を引いた数値）は 51.0%である。

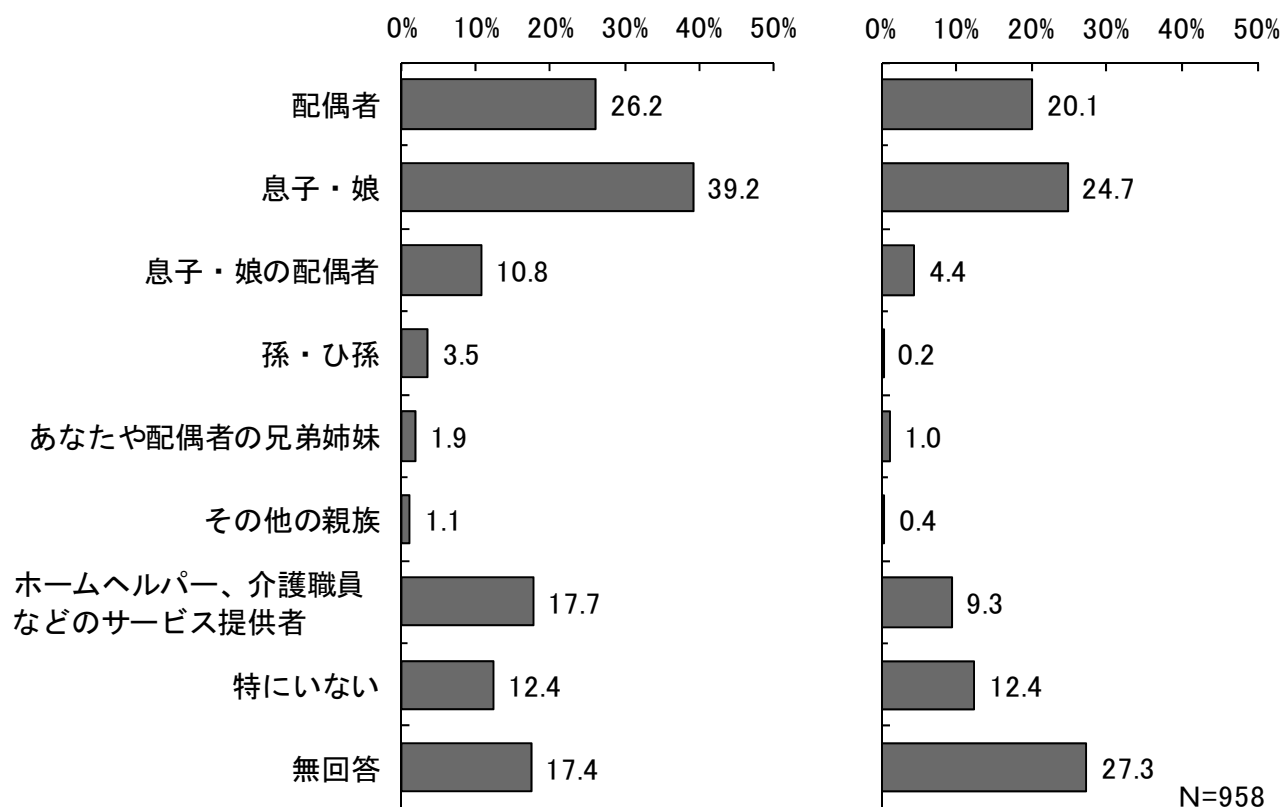
《要支援・要介護度別》

主な介護者について、要支援・要介護度別にみると、「特にいない」は要支援 1 および要支援 2 に 2～3 割台となっている。「配偶者」の割合が多いのは要介護 2 から要介護 4、「息子・娘」の割合が多いのは要介護 3 から要介護 5 である。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、主な介護者について、「配偶者」(24.9%→20.1%)、「息子・娘」(29.7%→24.7%) は減少となっている。

【 介護に携わっている人(複数回答) 】 【 主に介護している人(単数回答) 】



※左図：介護に携わっている人すべてをあらわしており、一人とは限らず複数選ぶことができる

※右図：介護に携わっている人のうち、主に介護している人

【 要支援・要介護認定者－介護者の続柄(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	配偶者	息子・ 娘	息子・娘 の配偶者	孫・ ひ孫	あなたや 配偶者 の兄弟 姉妹	その他の 親族	ホームヘルパ ー、介護 職員など のサービ ス提供者	特に いない	無回答
全 体		958 (100.0)	251 (26.2)	376 (39.2)	103 (10.8)	34 (3.5)	18 (1.9)	11 (1.1)	170 (17.7)	119 (12.4)	167 (17.4)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	19 (14.0)	22 (16.2)	7 (5.1)	0 (－)	0 (－)	2 (1.5)	11 (8.1)	45 (33.1)	41 (30.1)
	要支援2	184 (100.0)	35 (19.0)	52 (28.3)	9 (4.9)	2 (1.1)	1 (0.5)	3 (1.6)	26 (14.1)	37 (20.1)	45 (24.5)
	要介護1	154 (100.0)	45 (29.2)	69 (44.8)	18 (11.7)	5 (3.2)	6 (3.9)	2 (1.3)	27 (17.5)	16 (10.4)	16 (10.4)
	要介護2	233 (100.0)	75 (32.2)	109 (46.8)	34 (14.6)	13 (5.6)	5 (2.1)	1 (0.4)	50 (21.5)	9 (3.9)	29 (12.4)
	要介護3	98 (100.0)	34 (34.7)	52 (53.1)	14 (14.3)	6 (6.1)	2 (2.0)	1 (1.0)	25 (25.5)	1 (1.0)	7 (7.1)
	要介護4	62 (100.0)	23 (37.1)	34 (54.8)	12 (19.4)	7 (11.3)	1 (1.6)	2 (3.2)	18 (29.0)	2 (3.2)	5 (8.1)
	要介護5	52 (100.0)	14 (26.9)	31 (59.6)	6 (11.5)	1 (1.9)	1 (1.9)	0 (－)	11 (21.2)	0 (－)	10 (19.2)
	無回答	39 (100.0)	6 (15.4)	7 (17.9)	3 (7.7)	0 (－)	2 (5.1)	0 (－)	2 (5.1)	9 (23.1)	14 (35.9)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－主な介護者の続柄(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	配偶者	息子・ 娘	息子・娘 の配偶者	孫・ ひ孫	あなたや 配偶者 の兄弟 姉妹	その他の 親族	ホームヘルパ ー、介護 職員など のサービ ス提供者	特に いない	無回答
全 体		958 (100.0)	193 (20.1)	237 (24.7)	42 (4.4)	2 (0.2)	10 (1.0)	4 (0.4)	89 (9.3)	119 (12.4)	262 (27.3)
要支援・ 要介護度別	要支援1	136 (100.0)	17 (12.5)	17 (12.5)	3 (2.2)	0 (－)	0 (－)	2 (1.5)	7 (5.1)	45 (33.1)	45 (33.1)
	要支援2	184 (100.0)	26 (14.1)	40 (21.7)	4 (2.2)	0 (－)	0 (－)	1 (0.5)	20 (10.9)	37 (20.1)	56 (30.4)
	要介護1	154 (100.0)	35 (22.7)	45 (29.2)	7 (4.5)	1 (0.6)	2 (1.3)	1 (0.6)	15 (9.7)	16 (10.4)	32 (20.8)
	要介護2	233 (100.0)	58 (24.9)	63 (27.0)	15 (6.4)	1 (0.4)	3 (1.3)	0 (－)	24 (10.3)	9 (3.9)	60 (25.8)
	要介護3	98 (100.0)	28 (28.6)	30 (30.6)	7 (7.1)	0 (－)	1 (1.0)	0 (－)	12 (12.2)	1 (1.0)	19 (19.4)
	要介護4	62 (100.0)	16 (25.8)	13 (21.0)	4 (6.5)	0 (－)	1 (1.6)	0 (－)	9 (14.5)	2 (3.2)	17 (27.4)
	要介護5	52 (100.0)	9 (17.3)	24 (46.2)	1 (1.9)	0 (－)	1 (1.9)	0 (－)	1 (1.9)	0 (－)	16 (30.8)
	無回答	39 (100.0)	4 (10.3)	5 (12.8)	1 (2.6)	0 (－)	2 (5.1)	0 (－)	1 (2.6)	9 (23.1)	17 (43.6)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 主な介護者の年齢〔要支援・要介護認定者：問 32-1〕

設問 あて名のご本人を主に介護している方の年齢をお教えてください。

要支援・要介護認定者を主に介護している人の年齢をみると、「70 歳代」23.4%、「50 歳代」22.1%、「60 歳代」16.8%などの割合が多く、50～60 歳代である割合は全体の38.9%、50～70 歳代である割合は全体の62.3%を占めている。主な介護者の平均年齢は65.6 歳、最高年齢は92 歳となっている。

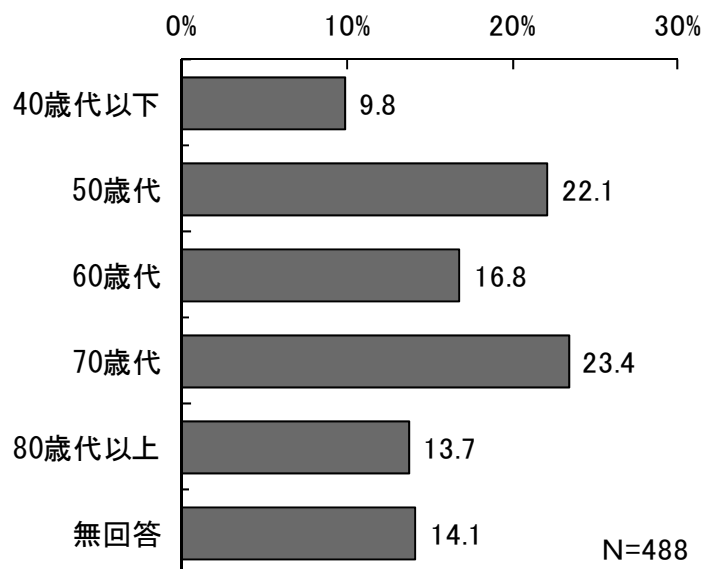
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護認定者を主に介護している人の平均年齢を要支援・要介護度別にみると、要支援1、要支援2では65 歳を下回るが、要介護1から要介護5では主な介護者の年齢は65 歳を超えている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、主な介護者の平均年齢は64.6 歳から65.6 歳にあがっている。

【 主な介護者の年齢(単数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－主な介護者の年齢(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	40 歳代 以下	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代 以上	無回答
全 体		488 (100.0)	48 (9.8)	108 (22.1)	82 (16.8)	114 (23.4)	67 (13.7)	69 (14.1)
要支援・ 要介護度別	要支援1	39 (100.0)	8 (20.5)	4 (10.3)	3 (7.7)	8 (20.5)	7 (17.9)	9 (23.1)
	要支援2	71 (100.0)	9 (12.7)	17 (23.9)	10 (14.1)	15 (21.1)	4 (5.6)	16 (22.5)
	要介護1	91 (100.0)	11 (12.1)	20 (22.0)	14 (15.4)	23 (25.3)	12 (13.2)	11 (12.1)
	要介護2	140 (100.0)	11 (7.9)	35 (25.0)	26 (18.6)	30 (21.4)	21 (15.0)	17 (12.1)
	要介護3	66 (100.0)	6 (9.1)	14 (21.2)	13 (19.7)	14 (21.2)	10 (15.2)	9 (13.6)
	要介護4	34 (100.0)	1 (2.9)	5 (14.7)	4 (11.8)	11 (32.4)	8 (23.5)	5 (14.7)
	要介護5	35 (100.0)	1 (2.9)	10 (28.6)	12 (34.3)	10 (28.6)	1 (2.9)	1 (2.9)
	無回答	12 (100.0)	1 (8.3)	3 (25.0)	0 (－)	3 (25.0)	4 (33.3)	1 (8.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－主な介護者の平均年齢(要支援・要介護度別) 】

平均年齢 全体	65.6 歳
要支援1	64.7 歳
要支援2	62.4 歳
要介護1	65.4 歳
要介護2	66.0 歳
要介護3	65.6 歳
要介護4	71.1 歳
要介護5	65.1 歳

(3) 主な介護者が困っていること〔要支援・要介護認定者：問 32-2〕

設問 主に介護をしている方がお困りのことはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

要支援・要介護認定者を主に介護している人が困っていることは、「精神的に疲れている」44.7%、「身体的に疲れている」42.6%、「自分の時間が少なくなった」40.8%が4割を超えて多い割合になっている。困っていることがあると回答した割合（100%から「特に困っていることはない」と「無回答」を引いた数値）は71.5%となっている。

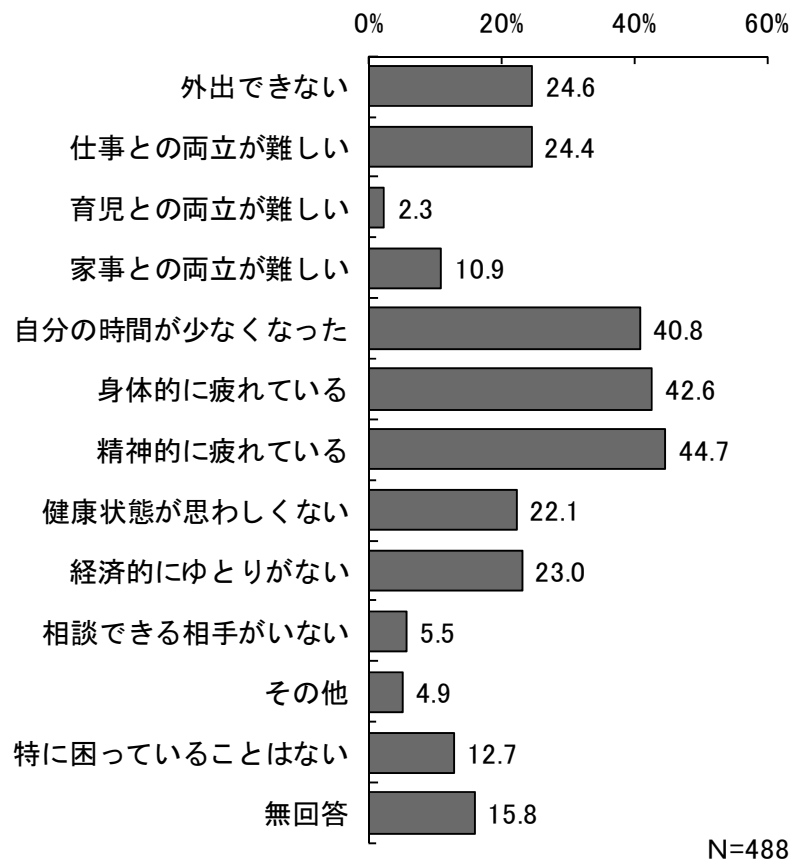
《要支援・要介護度別》

要支援・要介護認定者を主に介護している人が困っていることについて、要支援・要介護度別にみると、要支援1は「精神的に疲れている」「健康状態が思わしくない」「特に困っていることはない」、要介護1、要介護2、要介護4では「精神的に疲れている」、要介護3では「身体的に疲れている」、要支援2、要介護5では「自分の時間が少なくなった」が、それぞれ最も多くなっている。

《経年比較》

平成25年度の調査と比較すると、「仕事との両立が難しい」(22.1%→24.4%)、「特に困っていることはない」(11.5%→12.7%)が増加、「育児との両立が難しい」(2.2%→2.3%)横ばいとなっている。「外出できない」(35.1%→24.6%)、「家事との両立が難しい」(13.4%→10.9%)、「自分の時間が少なくなった」(43.0%→40.8%)、「身体的に疲れている」(45.2%→42.6%)、「精神的に疲れている」(47.5%→44.7%)、「健康状態が思わしくない」(26.8%→22.1%)、「相談できる相手がいない」(9.9%→5.5%)は減少している。「経済的にゆとりがない」(23.6%→23.0%)は微減である。

【 主な介護者が困っていること(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－主な介護者が困っていること（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	外出でき ない	仕事との 両立が 難しい	育児との 両立が 難しい	家事との 両立が 難しい	自分の時 間が少な くなった	身体的 に疲れ ている
全 体		488 (100.0)	120 (24.6)	119 (24.4)	11 (2.3)	53 (10.9)	199 (40.8)	208 (42.6)
要支援・ 要介護度別	要支援1	39 (100.0)	4 (10.3)	5 (12.8)	2 (5.1)	4 (10.3)	8 (20.5)	10 (25.6)
	要支援2	71 (100.0)	12 (16.9)	19 (26.8)	0 (－)	6 (8.5)	21 (29.6)	19 (26.8)
	要介護1	91 (100.0)	14 (15.4)	21 (23.1)	3 (3.3)	8 (8.8)	37 (40.7)	37 (40.7)
	要介護2	140 (100.0)	27 (19.3)	30 (21.4)	4 (2.9)	15 (10.7)	52 (37.1)	62 (44.3)
	要介護3	66 (100.0)	25 (37.9)	22 (33.3)	2 (3.0)	10 (15.2)	34 (51.5)	39 (59.1)
	要介護4	34 (100.0)	17 (50.0)	10 (29.4)	0 (－)	6 (17.6)	20 (58.8)	19 (55.9)
	要介護5	35 (100.0)	19 (54.3)	11 (31.4)	0 (－)	4 (11.4)	24 (68.6)	21 (60.0)
	無回答	12 (100.0)	2 (16.7)	1 (8.3)	0 (－)	0 (－)	3 (25.0)	1 (8.3)

要支援・ 要介護認定者 表 2		精神的 に疲れ ている	健康状態 が思わし くない	経済的 にゆとり がない	相談でき る相手 がいない	その他	特に困っ ているこ とはない	無回答
全 体		218 (44.7)	108 (22.1)	112 (23.0)	27 (5.5)	24 (4.9)	62 (12.7)	77 (15.8)
要支援・ 要介護度別	要支援1	11 (28.2)	11 (28.2)	8 (20.5)	4 (10.3)	2 (5.1)	11 (28.2)	7 (17.9)
	要支援2	17 (23.9)	6 (8.5)	12 (16.9)	3 (4.2)	3 (4.2)	11 (15.5)	17 (23.9)
	要介護1	44 (48.4)	23 (25.3)	24 (26.4)	5 (5.5)	4 (4.4)	9 (9.9)	15 (16.5)
	要介護2	64 (45.7)	31 (22.1)	30 (21.4)	6 (4.3)	7 (5.0)	19 (13.6)	20 (14.3)
	要介護3	37 (56.1)	19 (28.8)	17 (25.8)	2 (3.0)	2 (3.0)	6 (9.1)	7 (10.6)
	要介護4	22 (64.7)	10 (29.4)	12 (35.3)	2 (5.9)	2 (5.9)	2 (5.9)	4 (11.8)
	要介護5	21 (60.0)	5 (14.3)	7 (20.0)	3 (8.6)	4 (11.4)	3 (8.6)	3 (8.6)
	無回答	2 (16.7)	3 (25.0)	2 (16.7)	2 (16.7)	0 (－)	1 (8.3)	4 (33.3)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

17 介護保険料等について

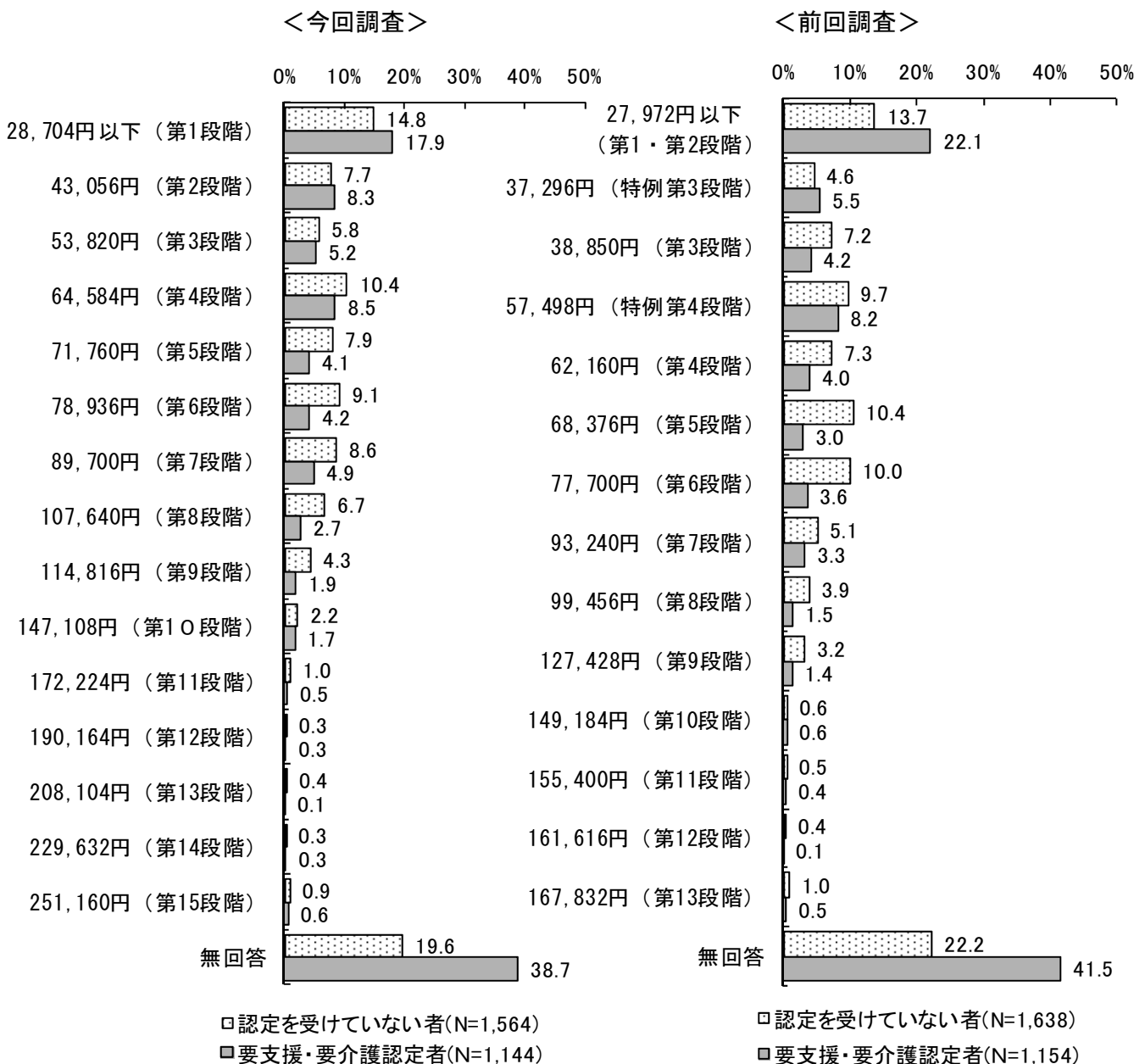
(1) 介護保険料の所得段階

[認定を受けていない者：問 25、要支援・要介護認定者：問 26・36]

設問 あなた(あて名のご本人)の、今年の介護保険料(1年間合計)はいくらですか。
(1つに○)

介護保険料の所得段階をみると、認定を受けていない者、要支援・要介護認定者のどちらも、「28,704 円以下（第1段階）」が最も多くなっている。

【 介護保険料の所得段階(単数回答) 】



※<今回調査>上記の要支援・要介護認定者の集計は、問 26 (要支援・要介護認定者で在宅の者)、問 36 (要支援・要介護認定者で施設等入所の者) を合計して集計した結果である

(2)介護保険料に関する考え方

〔認定を受けていない者：問 26、要支援・要介護認定者：問 27・37〕

設問 あなた(あて名のご本人)は葛飾区の介護保険料について、どのように思いますか。(1つに○)

認定を受けていない者について、介護保険料に関する考え方をみると、「高いと思う」が 44.0%を占めている。次いで「わからない」20.6%、「どちらとも言えない」17.1%の順に多くなっている。

要支援・要介護認定者では「わからない」の 31.6%が最も多く、次いで「高いと思う」23.3%、「どちらとも言えない」18.4%、「適当である」15.1%となっている。

認定を受けていない者、要支援・要介護認定者のどちらも、「安いと思う」は最も少ない割合である。「高いと思う」は、**要支援・要介護認定者**に比べて、**認定を受けていない者**が 20.7 ポイント上回っている。一方で、「適当である」「どちらとも言えない」「わからない」は**要支援・要介護認定者**が、**認定を受けていない者**を上回っている。

《介護保険料の所得段階別》

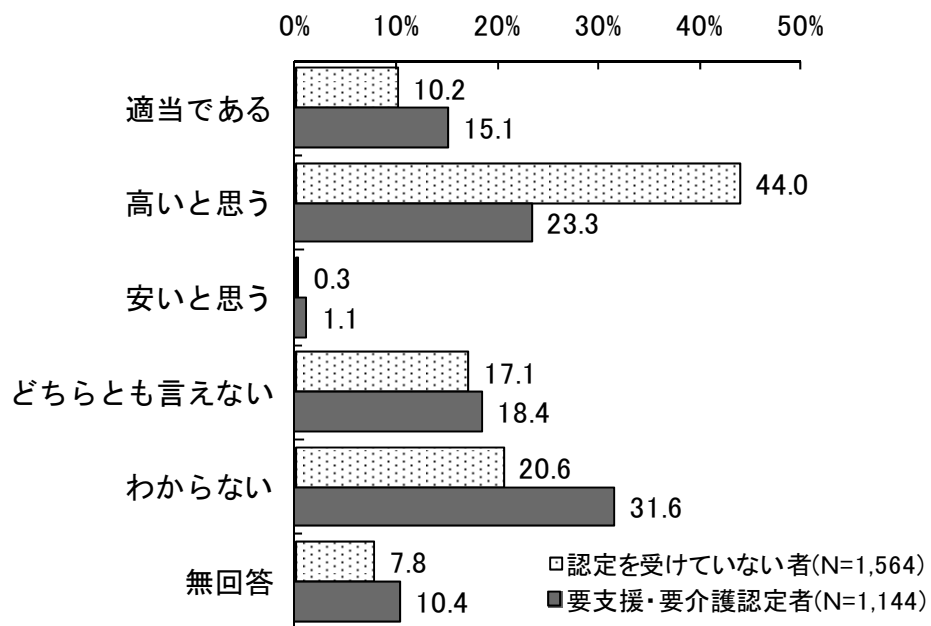
介護保険料に関する考え方を介護保険料の所得段階別にみると、**認定を受けていない者**で「適当である」という割合が多いのは 28,704 円以下(第1段階)、「高いと思う」という割合が多いのは 114,816 円(第9段階)である。**要支援・要介護認定者**においても、同様の結果となっている。(※それぞれの段階の回答数が2桁以上のものだけをコメント)

《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**について、「適当である」(7.8%→10.2%)は増加、「高いと思う」(45.7%→44.0%)、「わからない」(21.7%→20.6%)は減少、「どちらとも言えない」(17.0%→17.1%)、「安いと思う」(0.2%→0.3%)は横ばいとなっている。

要支援・要介護認定者では「高いと思う」(19.0%→23.3%)は増加、「安いと思う」(0.5%→1.1%)は微増、「わからない」(36.4%→31.6%)は減少、「適当である」(15.9%→15.1%)、「どちらとも言えない」(19.3%→18.4%)は微減となっている。

【 介護保険料に関する考え方(単数回答) 】



※上記の要支援・要介護認定者の集計は、問 27（要支援・要介護認定者で在宅の者）、問 37（要支援・要介護認定者で施設等入所の者）を合計して集計した結果である

【 認定を受けていない者－介護保険料に関する考え方（介護保険料の所得段階別） 】

認定を受けていない者		合計	適当である	高いと思う	安いと思う	どちらとも言えない	わからない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	159 (10.2)	688 (44.0)	5 (0.3)	268 (17.1)	322 (20.6)	122 (7.8)
介護保険料の所得段階別	28,704円以下 (第1段階)	231 (100.0)	49 (21.2)	60 (26.0)	2 (0.9)	46 (19.9)	71 (30.7)	3 (1.3)
	43,056円 (第2段階)	121 (100.0)	25 (20.7)	46 (38.0)	2 (1.7)	14 (11.6)	33 (27.3)	1 (0.8)
	53,820円 (第3段階)	90 (100.0)	10 (11.1)	43 (47.8)	0 (－)	19 (21.1)	15 (16.7)	3 (3.3)
	64,584円 (第4段階)	162 (100.0)	8 (4.9)	89 (54.9)	0 (－)	45 (27.8)	17 (10.5)	3 (1.9)
	71,760円 (第5段階)	124 (100.0)	8 (6.5)	62 (50.0)	0 (－)	33 (26.6)	18 (14.5)	3 (2.4)
	78,936円 (第6段階)	143 (100.0)	9 (6.3)	84 (58.7)	0 (－)	23 (16.1)	24 (16.8)	3 (2.1)
	89,700円 (第7段階)	135 (100.0)	13 (9.6)	87 (64.4)	0 (－)	22 (16.3)	12 (8.9)	1 (0.7)
	107,640円 (第8段階)	105 (100.0)	15 (14.3)	60 (57.1)	0 (－)	15 (14.3)	12 (11.4)	3 (2.9)
	114,816円 (第9段階)	68 (100.0)	3 (4.4)	44 (64.7)	0 (－)	12 (17.6)	6 (8.8)	3 (4.4)
	147,108円 (第10段階)	35 (100.0)	3 (8.6)	22 (62.9)	0 (－)	4 (11.4)	6 (17.1)	0 (－)
	172,224円 (第11段階)	15 (100.0)	1 (6.7)	8 (53.3)	0 (－)	2 (13.3)	4 (26.7)	0 (－)
	190,164円 (第12段階)	5 (100.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	0 (－)	0 (－)	1 (20.0)	0 (－)
	208,104円 (第13段階)	6 (100.0)	1 (16.7)	3 (50.0)	0 (－)	1 (16.7)	1 (16.7)	0 (－)
	229,632円 (第14段階)	4 (100.0)	0 (－)	4 (100.0)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)
	251,160円 (第15段階)	14 (100.0)	2 (14.3)	8 (57.1)	0 (－)	1 (7.1)	3 (21.4)	0 (－)
	無回答	306 (100.0)	10 (3.3)	66 (21.6)	1 (0.3)	31 (10.1)	99 (32.4)	99 (32.4)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者一介護保険料に関する考え方(介護保険料の所得段階別) 】

要支援・ 要介護認定者		合計	適当で ある	高いと 思う	安いと 思う	どちら とも言 えない	わから ない	無回答
全 体		1,144 (100.0)	173 (15.1)	267 (23.3)	13 (1.1)	211 (18.4)	361 (31.6)	119 (10.4)
介護保険料の 所得段階別	28, 704円以下 (第1段階)	205 (100.0)	54 (26.3)	33 (16.1)	5 (2.4)	37 (18.0)	70 (34.1)	6 (2.9)
	43, 056円 (第2段階)	95 (100.0)	20 (21.1)	25 (26.3)	1 (1.1)	23 (24.2)	23 (24.2)	3 (3.2)
	53, 820円 (第3段階)	60 (100.0)	10 (16.7)	22 (36.7)	0 (—)	11 (18.3)	16 (26.7)	1 (1.7)
	64, 584円 (第4段階)	97 (100.0)	14 (14.4)	39 (40.2)	1 (1.0)	20 (20.6)	19 (19.6)	4 (4.1)
	71, 760円 (第5段階)	47 (100.0)	8 (17.0)	12 (25.5)	0 (—)	14 (29.8)	9 (19.1)	4 (8.5)
	78, 936円 (第6段階)	48 (100.0)	8 (16.7)	16 (33.3)	0 (—)	9 (18.8)	13 (27.1)	2 (4.2)
	89, 700円 (第7段階)	56 (100.0)	9 (16.1)	19 (33.9)	1 (1.8)	9 (16.1)	11 (19.6)	7 (12.5)
	107, 640円 (第8段階)	31 (100.0)	3 (9.7)	8 (25.8)	1 (3.2)	8 (25.8)	8 (25.8)	3 (9.7)
	114, 816円 (第9段階)	22 (100.0)	1 (4.5)	10 (45.5)	0 (—)	6 (27.3)	5 (22.7)	0 (—)
	147, 108円 (第10段階)	20 (100.0)	2 (10.0)	8 (40.0)	0 (—)	5 (25.0)	5 (25.0)	0 (—)
	172, 224円 (第11段階)	6 (100.0)	0 (—)	5 (83.3)	0 (—)	0 (—)	1 (16.7)	0 (—)
	190, 164円 (第12段階)	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (—)	0 (—)	1 (33.3)	0 (—)
	208, 104円 (第13段階)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)	0 (—)
	229, 632円 (第14段階)	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (—)	1 (33.3)	0 (—)	0 (—)
	251, 160円 (第15段階)	7 (100.0)	1 (14.3)	2 (28.6)	0 (—)	1 (14.3)	3 (42.9)	0 (—)
	無回答	443 (100.0)	40 (9.0)	66 (14.9)	4 (0.9)	67 (15.1)	177 (40.0)	89 (20.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3) 介護保険料のあり方

〔認定を受けていない者：問 27、要支援・要介護認定者：問 28・38〕

設問 今後の介護保険サービスと介護保険料のあり方について、あなた(あて名のご本人)の意見に近いものはどれですか。(1つに○)

認定を受けていない者について、介護保険料のあり方をみると、「どちらとも言えない」が 38.0%を占め、次いで「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方がよい」19.6%、「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方がよい」17.3%、「わからない」16.4%の順になっている。

要支援・要介護認定者では、**認定を受けていない者**と同様に、「どちらとも言えない」が 37.0%を占めて最も多いが、次いで「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方がよい」21.0%、「わからない」17.1%、「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方がよい」14.8%となっている。

《介護保険料の所得段階別》

介護保険料のあり方を介護保険料の所得段階別にみると、**認定を受けていない者**では「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方がよい」という割合が多いのは 147,108 円（第 10 段階）、「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方がよい」という割合が多いのは 89,700 円（第 7 段階）である。（※それぞれの段階の回答数が 2 桁以上のものだけをコメント）

要支援・要介護認定者では「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方がよい」という割合が多いのは、107,640 円（第 8 段階）、「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方がよい」という割合が多いのは 78,936 円（第 6 段階）である。（※それぞれの段階の回答数が 2 桁以上のものだけをコメント）

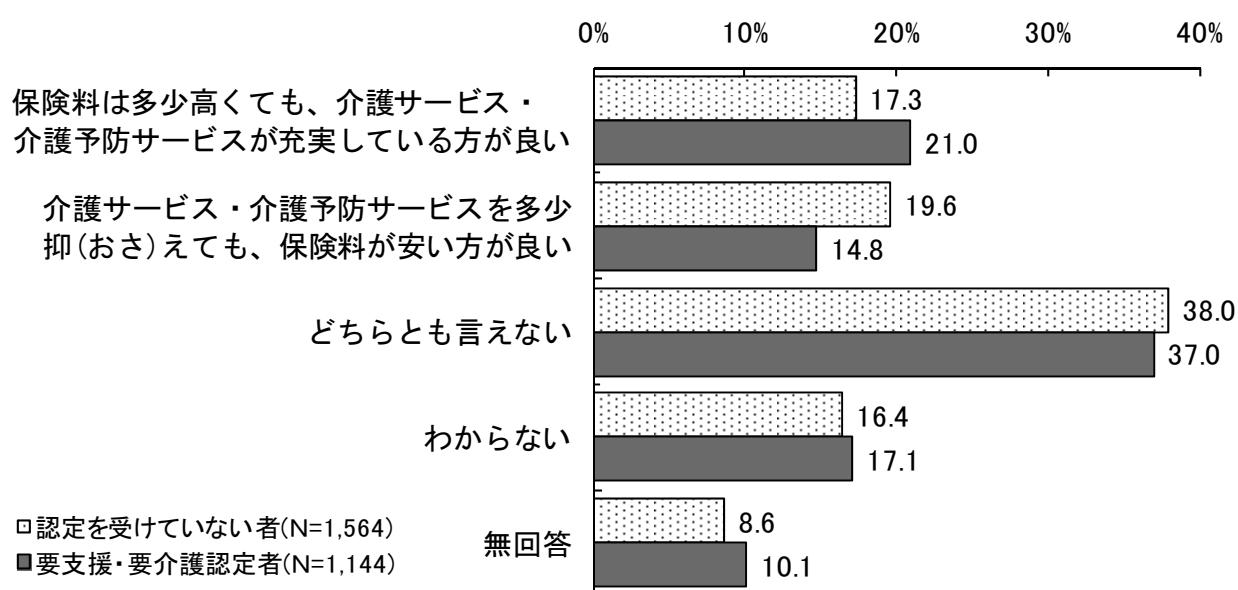
《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方がよい」（17.4%→17.3%）は横ばい、「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方がよい」（22.4%→19.6%）は減少、「どちらとも言えない」（35.7%→38.0%）は増加

している。

要支援・要介護認定者では「保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方が良い」（22.7%→21.0%）は減少、「介護サービス・介護予防サービスを多少抑（おさ）えても、保険料が安い方が良い」（12.4%→14.8%）は増加、「どちらとも言えない」（36.7%→37.0%）は横ばいである。

【 介護保険料のあり方(単数回答) 】



※上記の要支援・要介護認定者の集計は、問 28（要支援・要介護認定者で在宅の者）、問 38（要支援・要介護認定者で施設等入所の者）を合計して集計した結果である

【 認定を受けていない者－介護保険料のあり方(介護保険料の所得段階別) 】

認定を受けていない者		合計	保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方がよい	介護サービス・介護予防サービスを多少抑(おさ)えても、保険料が安い方がよい	どちらとも言えない	わからない	無回答
全 体		1,564 (100.0)	271 (17.3)	307 (19.6)	594 (38.0)	257 (16.4)	135 (8.6)
介護保険料の所得段階別	28,704円以下 (第1段階)	231 (100.0)	48 (20.8)	39 (16.9)	91 (39.4)	46 (19.9)	7 (3.0)
	43,056円 (第2段階)	121 (100.0)	19 (15.7)	23 (19.0)	52 (43.0)	24 (19.8)	3 (2.5)
	53,820円 (第3段階)	90 (100.0)	18 (20.0)	22 (24.4)	31 (34.4)	14 (15.6)	5 (5.6)
	64,584円 (第4段階)	162 (100.0)	25 (15.4)	27 (16.7)	84 (51.9)	19 (11.7)	7 (4.3)
	71,760円 (第5段階)	124 (100.0)	26 (21.0)	22 (17.7)	54 (43.5)	16 (12.9)	6 (4.8)
	78,936円 (第6段階)	143 (100.0)	23 (16.1)	33 (23.1)	62 (43.4)	21 (14.7)	4 (2.8)
	89,700円 (第7段階)	135 (100.0)	19 (14.1)	40 (29.6)	52 (38.5)	15 (11.1)	9 (6.7)
	107,640円 (第8段階)	105 (100.0)	19 (18.1)	23 (21.9)	44 (41.9)	17 (16.2)	2 (1.9)
	114,816円 (第9段階)	68 (100.0)	15 (22.1)	10 (14.7)	33 (48.5)	6 (8.8)	4 (5.9)
	147,108円 (第10段階)	35 (100.0)	14 (40.0)	8 (22.9)	9 (25.7)	4 (11.4)	0 (－)
	172,224円 (第11段階)	15 (100.0)	4 (26.7)	4 (26.7)	4 (26.7)	2 (13.3)	1 (6.7)
	190,164円 (第12段階)	5 (100.0)	2 (40.0)	0 (－)	2 (40.0)	1 (20.0)	0 (－)
	208,104円 (第13段階)	6 (100.0)	1 (16.7)	1 (16.7)	2 (33.3)	2 (33.3)	0 (－)
	229,632円 (第14段階)	4 (100.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	0 (－)	0 (－)
	251,160円 (第15段階)	14 (100.0)	3 (21.4)	2 (14.3)	6 (42.9)	2 (14.3)	1 (7.1)
無回答		306 (100.0)	33 (10.8)	52 (17.0)	67 (21.9)	68 (22.2)	86 (28.1)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

【 要支援・要介護認定者－介護保険料のあり方（介護保険料の所得段階別） 】

要支援・ 要介護認定者		合計	保険料は多少高く ても、介護サービ ス・介護予防サービ スが充実している 方がよい	介護サービス・介護 予防サービスを多 少抑（おさ）えても、 保険料が安い方が よい	どちらと も言え ない	わから ない	無回答
全 体		1,144 (100.0)	240 (21.0)	169 (14.8)	423 (37.0)	196 (17.1)	116 (10.1)
介護 保 険 料 の 所 得 段 階 別	28, 704円以下 (第1段階)	205 (100.0)	43 (21.0)	25 (12.2)	82 (40.0)	48 (23.4)	7 (3.4)
	43, 056円 (第2段階)	95 (100.0)	21 (22.1)	19 (20.0)	40 (42.1)	11 (11.6)	4 (4.2)
	53, 820円 (第3段階)	60 (100.0)	12 (20.0)	9 (15.0)	25 (41.7)	12 (20.0)	2 (3.3)
	64, 584円 (第4段階)	97 (100.0)	24 (24.7)	16 (16.5)	43 (44.3)	9 (9.3)	5 (5.2)
	71, 760円 (第5段階)	47 (100.0)	7 (14.9)	10 (21.3)	21 (44.7)	4 (8.5)	5 (10.6)
	78, 936円 (第6段階)	48 (100.0)	11 (22.9)	12 (25.0)	19 (39.6)	4 (8.3)	2 (4.2)
	89, 700円 (第7段階)	56 (100.0)	16 (28.6)	7 (12.5)	23 (41.1)	4 (7.1)	6 (10.7)
	107, 640円 (第8段階)	31 (100.0)	10 (32.3)	3 (9.7)	13 (41.9)	2 (6.5)	3 (9.7)
	114, 816円 (第9段階)	22 (100.0)	5 (22.7)	4 (18.2)	9 (40.9)	4 (18.2)	0 (－)
	147, 108円 (第10段階)	20 (100.0)	3 (15.0)	4 (20.0)	12 (60.0)	1 (5.0)	0 (－)
	172, 224円 (第11段階)	6 (100.0)	2 (33.3)	2 (33.3)	2 (33.3)	0 (－)	0 (－)
	190, 164円 (第12段階)	3 (100.0)	2 (66.7)	0 (－)	1 (33.3)	0 (－)	0 (－)
	208, 104円 (第13段階)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (－)	0 (－)	0 (－)	0 (－)
	229, 632円 (第14段階)	3 (100.0)	1 (33.3)	1 (33.3)	1 (33.3)	0 (－)	0 (－)
	251, 160円 (第15段階)	7 (100.0)	4 (57.1)	2 (28.6)	1 (14.3)	0 (－)	0 (－)
無回答		443 (100.0)	78 (17.6)	55 (12.4)	131 (29.6)	97 (21.9)	82 (18.5)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

18 区の高齢者施策等について

(1)福祉、介護の情報源

〔認定を受けていない者：問 28、要支援・要介護認定者：問 29〕

設問 あなた(あて名のご本人)は葛飾区の福祉や介護に関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

福祉、介護の情報源をみると、**認定を受けていない者**では「区の広報、回覧板、ポスター」の 67.3%が突出して多く、次いで「友人、知人」17.5%、「新聞」14.1%、「テレビ」11.6%が続いている。「特にどこからも得ていない」という人も 18.0%となっている。

要支援・要介護認定者では「ケアマネジャー」が 54.0%と 5 割を超えて多く、次いで「区の広報、回覧板、ポスター」39.6%、「家族」17.2%となっている。

認定を受けていない者が**要支援・要介護認定者**を上回ったものは、「テレビ」「ラジオ」「新聞」「区の広報、回覧板、ポスター」「友人、知人」「公共施設（区役所、区民事務所、図書館など）」「区のホームページなど」であり、反対に**要支援・要介護認定者**の方が多い割合であったのは、「家族」「民生委員」「ケアマネジャー」「高齢者総合相談センター、介護サービス事業所など」である。

《要支援・要介護度別》

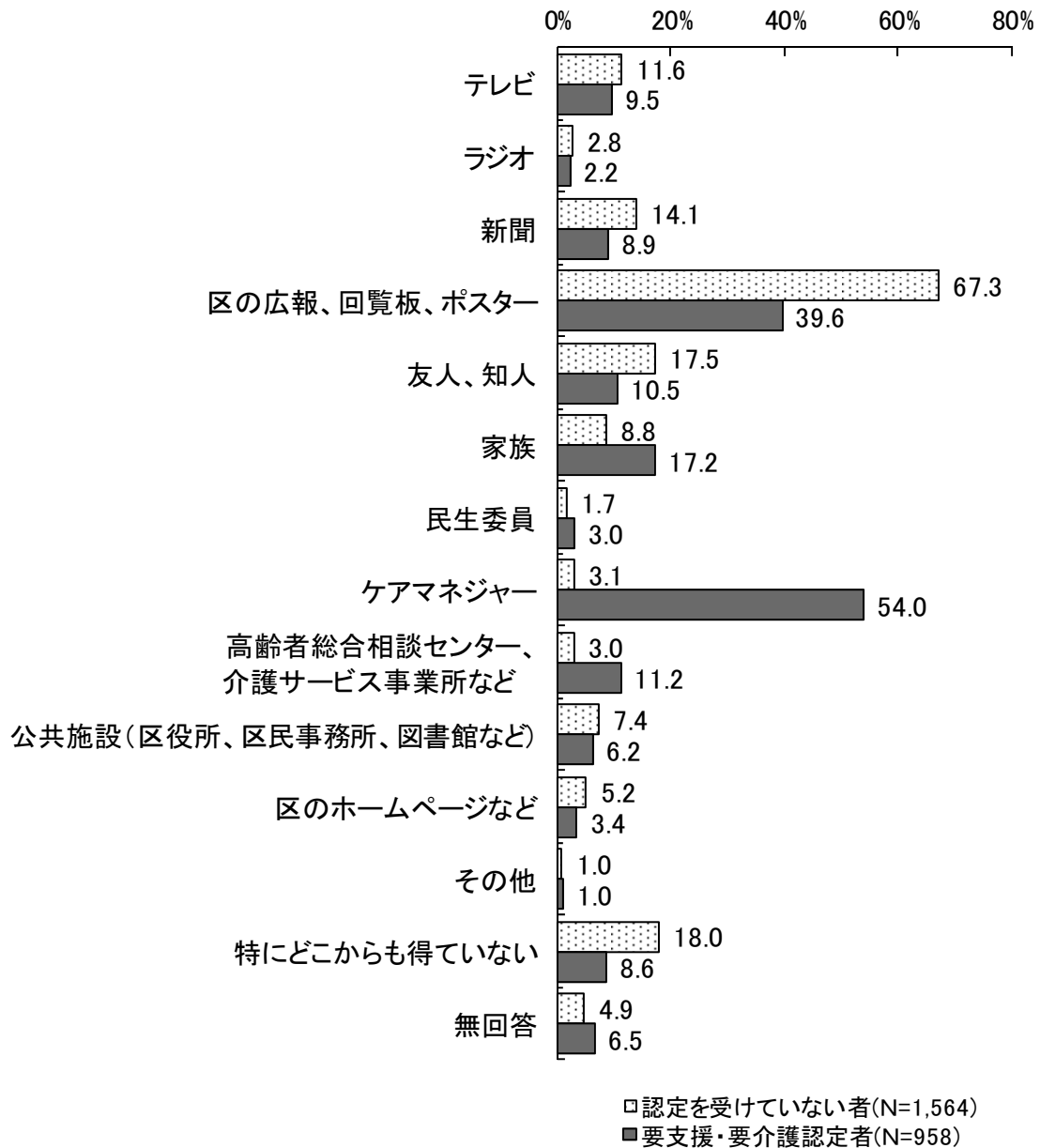
福祉、介護の情報源を要支援・要介護度別にみると、介護度が高い人に「ケアマネジャー」を情報源としている割合が多くなっている。

《経年比較》

平成 25 年度の調査と選択肢が同一ではないため参考までにとどめるが、**認定を受けていない者**で増加した選択肢は、「テレビ」(10.0%→11.6%)、「区の広報、回覧板、ポスター」(62.8%→67.3%)、「友人、知人」(15.8%→17.5%)、「ケアマネジャー」(2.1%→3.1%)、「公共施設（区役所、区民事務所、図書館など）」(3.5%→7.4%)、微増した選択肢は「区のホームページなど」(4.6%→5.2%)。「ラジオ」(2.3%→2.8%)は横ばいである。

要支援・要介護認定者で増加した選択肢は、「テレビ」(7.2%→9.5%)、「ラジオ」(1.2%→2.2%)、「区の広報、回覧板、ポスター」(35.2%→39.6%)、「民生委員」(1.8%→3.0%)、「公共施設（区役所、区民事務所、図書館など）」(1.5%→6.2%)。「新聞」(8.4%→8.9%)は横ばいである。

【 福祉、介護の情報源(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者－福祉、介護の情報源（要支援・要介護度別） 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	テレビ	ラジオ	新聞	区の広報、 回覧板、 ポスター	友人、 知人	家族	民生委員
全 体		958 (100.0)	91 (9.5)	21 (2.2)	85 (8.9)	379 (39.6)	101 (10.5)	165 (17.2)	29 (3.0)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	15 (11.0)	3 (2.2)	21 (15.4)	67 (49.3)	15 (11.0)	12 (8.8)	3 (2.2)
	要支援2	184 (100.0)	21 (11.4)	6 (3.3)	18 (9.8)	91 (49.5)	22 (12.0)	22 (12.0)	8 (4.3)
	要介護1	154 (100.0)	13 (8.4)	3 (1.9)	9 (5.8)	53 (34.4)	22 (14.3)	38 (24.7)	5 (3.2)
	要介護2	233 (100.0)	22 (9.4)	5 (2.1)	19 (8.2)	91 (39.1)	25 (10.7)	38 (16.3)	6 (2.6)
	要介護3	98 (100.0)	8 (8.2)	4 (4.1)	11 (11.2)	27 (27.6)	7 (7.1)	22 (22.4)	2 (2.0)
	要介護4	62 (100.0)	4 (6.5)	0 (－)	2 (3.2)	19 (30.6)	3 (4.8)	16 (25.8)	2 (3.2)
	要介護5	52 (100.0)	4 (7.7)	0 (－)	0 (－)	19 (36.5)	4 (7.7)	10 (19.2)	1 (1.9)
	無回答	39 (100.0)	4 (10.3)	0 (－)	5 (12.8)	12 (30.8)	3 (7.7)	7 (17.9)	2 (5.1)

要支援・ 要介護認定者 表 2		ケアマネ ジャー	高齢者総合相 談センター、介 護サービス事業 所など	公共施設 (区役所、 区民事務 所、図書 館など)	区のホーム ページ など	その他	特にどこ からも得 ていない	無回答
全 体		517 (54.0)	107 (11.2)	59 (6.2)	33 (3.4)	10 (1.0)	82 (8.6)	62 (6.5)
要支援・要介護度別	要支援1	54 (39.7)	19 (14.0)	13 (9.6)	5 (3.7)	2 (1.5)	16 (11.8)	7 (5.1)
	要支援2	92 (50.0)	19 (10.3)	8 (4.3)	8 (4.3)	0 (－)	12 (6.5)	14 (7.6)
	要介護1	75 (48.7)	22 (14.3)	11 (7.1)	1 (0.6)	2 (1.3)	20 (13.0)	8 (5.2)
	要介護2	143 (61.4)	21 (9.0)	7 (3.0)	8 (3.4)	1 (0.4)	16 (6.9)	15 (6.4)
	要介護3	68 (69.4)	9 (9.2)	7 (7.1)	6 (6.1)	3 (3.1)	4 (4.1)	2 (2.0)
	要介護4	43 (69.4)	12 (19.4)	8 (12.9)	1 (1.6)	1 (1.6)	2 (3.2)	3 (4.8)
	要介護5	34 (65.4)	1 (1.9)	2 (3.8)	0 (－)	0 (－)	3 (5.8)	7 (13.5)
	無回答	8 (20.5)	4 (10.3)	3 (7.7)	4 (10.3)	1 (2.6)	9 (23.1)	6 (15.4)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(2) 区に充実して欲しい高齢者施策

〔認定を受けていない者：問 29、要支援・要介護認定者：問 30〕

設問 高齢者に対する施策として、区に充実して欲しいと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

区に充実して欲しい高齢者施策をみると、**認定を受けていない者**では「自宅で利用できるサービスを充実させること」の 49.7%が最も多く、次いで「困った時に気軽に相談できる場所を整備すること」の 42.8%、「特別養護老人ホームなどの入所施設を整備すること」の 39.1%、「介護が必要になるのを防ぐため介護予防サービスを充実させること」の 36.6%が続いている。

要支援・要介護認定者では「自宅で利用できるサービスを充実させること」が 45.0%で最も多く、次いで「困った時に気軽に相談できる場所を整備すること」33.7%、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」31.3%、「特別養護老人ホームなどの入所施設を整備すること」31.1%が続いている。

「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」「公共機関や道路等のバリアフリー化を進めること」は、**要支援・要介護認定者**の割合が**認定を受けていない者**を上回った選択肢である。

《要支援・要介護度別》

区に充実して欲しい高齢者施策を要支援・要介護度別にみると、すべての介護度において、「自宅で利用できるサービスを充実させること」が第1位となっている。

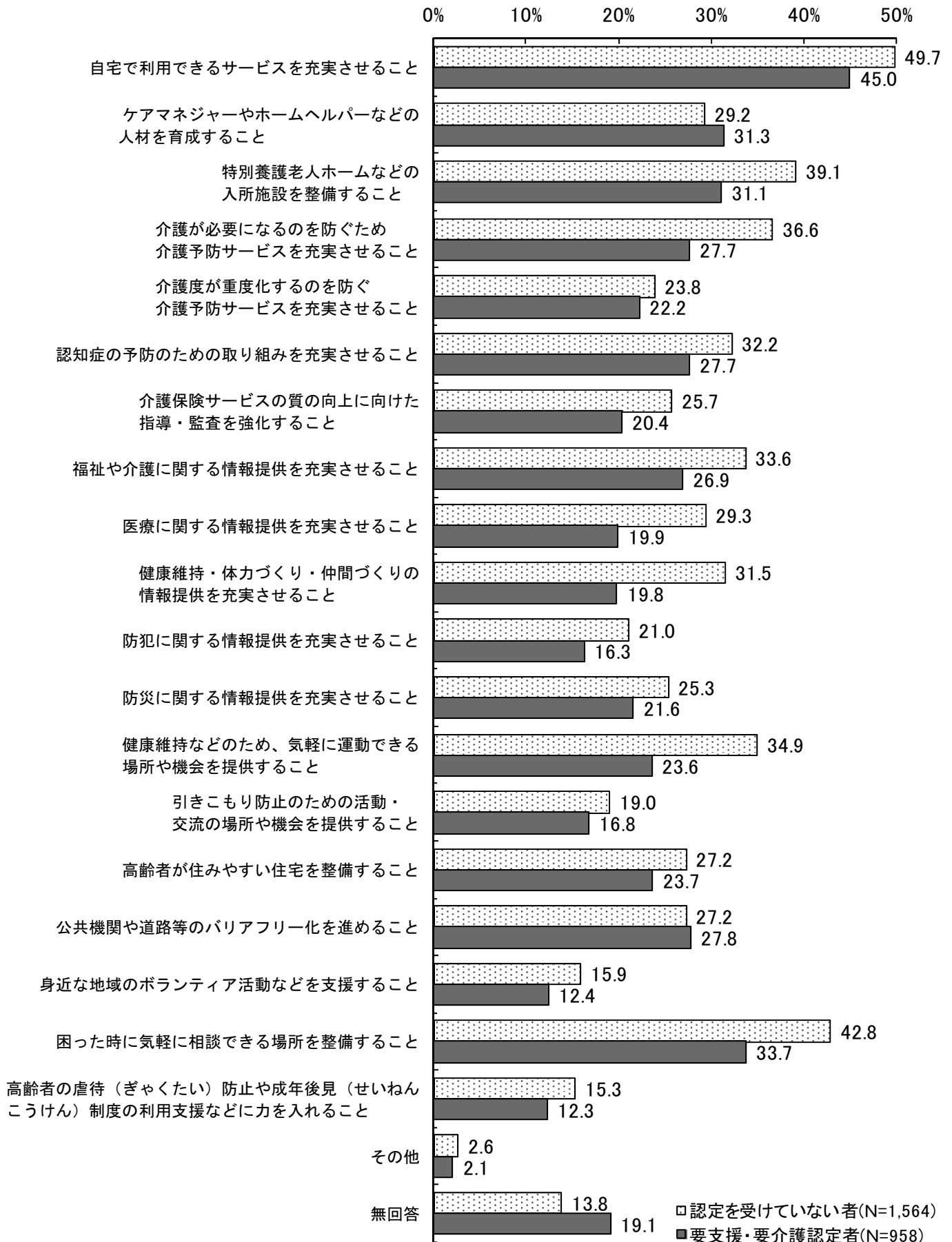
《経年比較》

平成 25 年度の調査と比較すると、**認定を受けていない者**では、「認知症の予防のための取り組みを充実させること」(29.2%→32.2%)、「自宅で利用できるサービスを充実させること」(47.4%→49.7%)、「福祉や介護に関する情報提供を充実させること」(31.7%→33.6%)、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」(27.4%→29.2%)、「介護が必要になるのを防ぐため介護予防サービスを充実させること」(34.9%→36.6%)、「身近な地域のボランティア活動などを支援すること」(14.5%→15.9%)、「困った時に気軽に相談できる場所を整備すること」(41.6%→42.8%)、「介護度が重度化するのを防ぐ介護予防サービスを充実させること」(22.7%→23.8%)、「公共機関や道路等のバリアフリー化を進めること」(26.2%→27.2%)などが増加している。

要支援・要介護認定者において増加した選択肢は、「健康維持などのため、気軽に運

動できる場所や機会を提供すること」(21.8%→23.6%)、「認知症の予防のための取り組みを充実させること」(26.3%→27.7%)、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」(30.2%→31.3%)、「困った時に気軽に相談できる場所を整備すること」(32.6%→33.7%)、「高齢者の虐待（ぎゃくたい）防止や成年後見（せいねんこうけん）制度の利用支援などに力を入れること」(11.2%→12.3%)、「介護が必要になるのを防ぐため介護予防サービスを充実させること」(26.6%→27.7%)である。

【 区に充実して欲しい高齢者施策(複数回答) 】



【 要支援・要介護認定者一區に充実して欲しい高齢者施策(要支援・要介護度別) 】

要支援・ 要介護認定者 表 1		合計	自宅で利用で きるサービス を充実させる こと	ケアマネジャ ーやホームヘル パーなどの 人材を育成す ること	特別養護老人 ホームなどの 入所施設を整 備すること	介護が必要に なるのを防ぐ ため介護予防 サービスを充 実させること	介護度が重度 化するのを防 ぐ介護予防サ ービスを充実 させること	認知症の予防 のための取り 組みを充実さ せること
全 体		958 (100.0)	431 (45.0)	300 (31.3)	298 (31.1)	265 (27.7)	213 (22.2)	265 (27.7)
要支援・要介護度別	要支援1	136 (100.0)	55 (40.4)	35 (25.7)	37 (27.2)	46 (33.8)	34 (25.0)	39 (28.7)
	要支援2	184 (100.0)	72 (39.1)	57 (31.0)	52 (28.3)	55 (29.9)	35 (19.0)	42 (22.8)
	要介護1	154 (100.0)	76 (49.4)	46 (29.9)	38 (24.7)	45 (29.2)	43 (27.9)	49 (31.8)
	要介護2	233 (100.0)	108 (46.4)	77 (33.0)	78 (33.5)	62 (26.6)	49 (21.0)	72 (30.9)
	要介護3	98 (100.0)	47 (48.0)	33 (33.7)	46 (46.9)	22 (22.4)	23 (23.5)	25 (25.5)
	要介護4	62 (100.0)	32 (51.6)	21 (33.9)	20 (32.3)	18 (29.0)	12 (19.4)	13 (21.0)
	要介護5	52 (100.0)	29 (55.8)	23 (44.2)	15 (28.8)	9 (17.3)	9 (17.3)	16 (30.8)
	無回答	39 (100.0)	12 (30.8)	8 (20.5)	12 (30.8)	8 (20.5)	8 (20.5)	9 (23.1)

要支援・ 要介護認定者 表 2		介護保険サー ビスの質の向 上に向けた指 導・監査を強 化すること	福祉や介護に 関する情報提 供を充実させ ること	医療に関する 情報提供を充 実させること	健康維持・体 力づくり・仲間 づくりの情報 提供を充実さ せること	防犯に関する 情報提供を充 実させること	防災に関する 情報提供を充 実させること	健康維持など のため、気軽 に運動できる 場所や機会を 提供すること
全 体		195 (20.4)	258 (26.9)	191 (19.9)	190 (19.8)	156 (16.3)	207 (21.6)	226 (23.6)
要支援・要介護度別	要支援1	36 (26.5)	32 (23.5)	31 (22.8)	34 (25.0)	22 (16.2)	31 (22.8)	46 (33.8)
	要支援2	26 (14.1)	41 (22.3)	35 (19.0)	40 (21.7)	31 (16.8)	33 (17.9)	41 (22.3)
	要介護1	26 (16.9)	47 (30.5)	32 (20.8)	39 (25.3)	28 (18.2)	32 (20.8)	39 (25.3)
	要介護2	48 (20.6)	59 (25.3)	46 (19.7)	39 (16.7)	42 (18.0)	58 (24.9)	61 (26.2)
	要介護3	25 (25.5)	31 (31.6)	20 (20.4)	19 (19.4)	16 (16.3)	20 (20.4)	13 (13.3)
	要介護4	15 (24.2)	23 (37.1)	13 (21.0)	5 (8.1)	5 (8.1)	13 (21.0)	9 (14.5)
	要介護5	12 (23.1)	16 (30.8)	10 (19.2)	7 (13.5)	5 (9.6)	11 (21.2)	9 (17.3)
	無回答	7 (17.9)	9 (23.1)	4 (10.3)	7 (17.9)	7 (17.9)	9 (23.1)	8 (20.5)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

要支援・要介護認定者 表 3		引きこもり防止のための活動・交流の場所や機会を提供すること	高齢者が住みやすい住宅を整備すること	公共機関や道路等のバリアフリー化を進めること	身近な地域のボランティア活動などを支援すること	困った時に気軽に相談できる場所を整備すること	高齢者の虐待(ぎゃくたい)防止や成年後見(せいねんこうけん)制度の利用支援などに力を入れること	その他	無回答
全 体		161 (16.8)	227 (23.7)	266 (27.8)	119 (12.4)	323 (33.7)	118 (12.3)	20 (2.1)	183 (19.1)
要支援・要介護度別	要支援1	24 (17.6)	34 (25.0)	28 (20.6)	16 (11.8)	51 (37.5)	17 (12.5)	4 (2.9)	29 (21.3)
	要支援2	30 (16.3)	32 (17.4)	46 (25.0)	22 (12.0)	62 (33.7)	19 (10.3)	3 (1.6)	47 (25.5)
	要介護1	30 (19.5)	42 (27.3)	49 (31.8)	20 (13.0)	57 (37.0)	19 (12.3)	4 (2.6)	22 (14.3)
	要介護2	45 (19.3)	50 (21.5)	65 (27.9)	35 (15.0)	76 (32.6)	28 (12.0)	5 (2.1)	38 (16.3)
	要介護3	17 (17.3)	28 (28.6)	33 (33.7)	9 (9.2)	28 (28.6)	15 (15.3)	0 (—)	13 (13.3)
	要介護4	6 (9.7)	18 (29.0)	20 (32.3)	5 (8.1)	20 (32.3)	7 (11.3)	2 (3.2)	8 (12.9)
	要介護5	5 (9.6)	13 (25.0)	15 (28.8)	6 (11.5)	16 (30.8)	7 (13.5)	1 (1.9)	12 (23.1)
	無回答	4 (10.3)	10 (25.6)	10 (25.6)	6 (15.4)	13 (33.3)	6 (15.4)	1 (2.6)	14 (35.9)

※上段：実数（人）、下段：割合（％）

(3) 自由記述

①介護保険制度について

①ー1 介護保険制度に関する情報 (認定を受けていない者：7件) (要支援・要介護認定者【在宅】：4件) (要支援・要介護認定者【入所者】：3件)	◆介護事業者(ケアマネジャー)や介護保険サービスの内容をわかりやすく情報提供してほしい。 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2件) (要支援・要介護認定者【入所者】：2件)
	◆制度がわからない。 (認定を受けていない者：4件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
①ー2 介護保険サービス (認定を受けていない者：7件) (要支援・要介護認定者【在宅】：9件) (要支援・要介護認定者【入所者】：4件)	◆介護サービスはそれぞれの利用者にあったものを、臨機応変に受けられたら良いと思う。 (認定を受けていない者：2件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
	◆介護保険料に見合った介護サービスを受けたい(満足を得られるサービス)。 (認定を受けていない者：2件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
	◆いつでも介護保険サービスが利用できるようにしてほしい(時間・内容を気にしないで)。 (要支援・要介護認定者【在宅】：5件)
	◆必要になった時に使えるかが心配。 (認定を受けていない者：1件)
	◆期待していない。 (認定を受けていない者：1件)
	◆入院時、寝たきりや認知症を防ぐためのサービスを提供してほしい。 (認定を受けていない者：1件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
	◆心のケアをするカウンセリング等のサービスがあるといい。 (要支援・要介護認定者【在宅】：1件)

	◆色々な分野とスムーズに連携をとってほしい。 (要支援・要介護認定者【在宅】：1件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
①－3 介護保険料 (認定を受けていない者：25件) (要支援・要介護認定者【在宅】：8件) (要支援・要介護認定者【入所者】：8件)	◆介護保険料が高い。負担が大きい。 (認定を受けていない者：12件) (要支援・要介護認定者【在宅】：1件) (要支援・要介護認定者【入所者】：3件)
	◆介護保険料がどのように使われているか詳しく知りたい。 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：1件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
	◆介護保険を利用していない高齢者の保険料を下げるなどしてほしい。 (認定を受けていない者：2件) (要支援・要介護認定者【在宅】：1件) (要支援・要介護認定者【入所者】：2件)
	◆介護保険料を上げないでほしい。施策によって上がるのは困る。 (認定を受けていない者：1件) (要支援・要介護認定者【在宅】：1件)
	◆介護保険料を安くして、サービスの充実を図ってほしい。 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2件)
	◆保険料のいらぬ社会づくりをして欲しい。 (認定を受けていない者：1件)
	◆介護保険料はもっと所得や資産に応じて徴収してほしい。 (要支援・要介護認定者【在宅】：1件) (要支援・要介護認定者【入所者】：2件)
	◆介護保険料をとってはいけない。 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：1件)

①ー4 利用者負担 (認定を受けていない者：2 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：2 件)	◆介護保険のサービスを利用するために必要な利用者負担を払うのが大変である。 (認定を受けていない者：1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆介護保険のサービスの枠を超えて利用する場合の、支払いが大変である。 (要支援・要介護認定者【在宅】：1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆若い人への負担が重過ぎるので、利用者負担が増えるのは仕方がない。 (認定を受けていない者：1 件)
	◆負担が不公平である。 (要支援・要介護認定者【在宅】：1 件)
①ー5 介護予防について (認定を受けていない者：19 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：11 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：5 件)	◆介護が必要になるのを防ぐため、介護予防サービス事業を充実させてほしい。 (認定を受けていない者：5 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆介護が必要になるのを防ぐため努力をしている。すべきである。 (認定を受けていない者：4 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2 件)
	◆体育・スポーツ事業への助成や振興、健康促進事業を充実してほしい。 (認定を受けていない者：6 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2 件)
	◆介護度が進まないためのサービス。 (要支援・要介護認定者【在宅】：1 件)

①ー6 施設の充実 (認定を受けていない者：28 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：13 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：24 件)	◆特別養護老人ホームやグループホーム、有料老人ホームなど、すぐに入所できるようにしてほしい。 (認定を受けていない者：10 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：8 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：7 件)
	◆介護療養型医療施設を増やしてほしい。 (要支援・要介護認定者【入所者】：2 件)
	◆安い施設を増やしてほしい。 (認定を受けていない者：12 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：7 件)
	◆介護サービスを提供する施設を増やしてほしい。 (認定を受けていない者：3 件)
	◆入所の条件が色々あり、入れない。 (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆十分に介護が行き届いていない。スタッフの充実を願う。 (認定を受けていない者：1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆施設についての詳しい情報がほしい。 (認定を受けていない者：1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆内部のチェックをしてほしい(不正・暴力・虐待など)。 (認定を受けていない者：1 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：1 件)
	◆短時間・短期間のデイサービスがほしい (要支援・要介護認定者【在宅】：1 件)
	◆衛生面の配慮が必要。 (要支援・要介護認定者【在宅】：1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)

	◆食事を充実してほしい。 (要支援・要介護認定者【入所者】：2件)
	◆入所者が楽しめる施設にしてほしい。 (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
	◆安全への配慮をしてほしい。 (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
①ー7 制度の適切な運営 (認定を受けていない者：6件) (要支援・要介護認定者【在宅】：6件) (要支援・要介護認定者【入所者】：2件)	◆介護認定が不適切ではないか。本当に困っている人を助けてほしい。 (認定を受けていない者：1件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
	◆気軽に相談できる場所を増やし、教えてほしい。 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：4件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1件)
	◆介護認定が遅すぎる。 (認定を受けていない者：1件)
	◆手続きが大変。 (認定を受けていない者：1件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2件)

②介護者の支援について

②-1 介護者の支援 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：6件) (要支援・要介護認定者【入所者】：4件)	◆介護者への支援を充実させてほしい。 (認定を受けていない者：1件) (要支援・要介護認定者【在宅】：3件) (要支援・要介護認定者【入所者】：2件)
	◆老老介護の不安。 (認定を受けていない者：2件) (要支援・要介護認定者【在宅】：3件) (要支援・要介護認定者【入所者】：2件)

③人材の育成・確保について

③-1 介護・福祉に携わる人材の育成と確保 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：5件) (要支援・要介護認定者【入所者】：16件)	◆介護に携わる人の給与や待遇面などの環境を整えることが大切である。 (認定を受けていない者：2件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2件) (要支援・要介護認定者【入所者】：3件)
	◆介護職員やヘルパーの質の向上。 (認定を受けていない者：1件) (要支援・要介護認定者【在宅】：3件) (要支援・要介護認定者【入所者】：8件)
	◆人手不足を感じる。 (要支援・要介護認定者【入所者】：5件)

④地域での見守りについて

④-1 地域での支援 (認定を受けていない者：8件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2件)	◆高齢者に対して声かけや見回りをしてほしい。 (認定を受けていない者：3件) (要支援・要介護認定者【在宅】：1件)
	◆地域で相談にのってくれると心強い。 (認定を受けていない者：2件)
	◆共助、助け合いの精神を育成。 (認定を受けていない者：3件)

	◆防犯対策を充実してほしい。 （要支援・要介護認定者【在宅】：1件）
--	---

⑤社会参加の促進について

⑤－1 バリアフリーの促進 （認定を受けていない者：1件） （要支援・要介護認定者【在宅】：1件）	◆道路や歩道に危険な場所が多いので、整備してほしい。 （要支援・要介護認定者【在宅】：1件）
	◆「バリアフリー」の考え方について。 （認定を受けていない者：1件）
⑤－2 公共施設の整備促進 （認定を受けていない者：11件） （要支援・要介護認定者【在宅】：2件） （要支援・要介護認定者【入所者】：1件）	◆気軽に運動できる場所を増やしてほしい。 （認定を受けていない者：1件）
	◆道路の安全確保（ルール）。 （認定を受けていない者：5件） （要支援・要介護認定者【在宅】：1件）
	◆シニアセンターについて。 （認定を受けていない者：1件）
	◆足湯、お茶会などコミュニケーションのとれる施設がほしい。 （認定を受けていない者：2件） （要支援・要介護認定者【入所者】：1件）
	◆広い公園がほしい。 （認定を受けていない者：1件）
	◆総合病院が近くにほしい。 （認定を受けていない者：1件）
	◆カルチャーセンター的な施設がほしい。 （要支援・要介護認定者【在宅】：1件）

⑤－３ 移動支援 (認定を受けていない者：２件) (要支援・要介護認定者【在宅】：１件)	◆通院のためのタクシーの補助をしてほしい。 (認定を受けていない者：２件)
	◆家から出かけるための交通手段がほしい (送迎バス・タクシーなど) (要支援・要介護認定者【在宅】：１件)
⑤－４ 活動の支援 (認定を受けていない者：３件) (要支援・要介護認定者【在宅】：１件) (要支援・要介護認定者【入所者】：１件)	◆気軽に楽しく遊べる場所の提供。 (要支援・要介護認定者【在宅】：１件)
	◆いろいろな世代との交流ができる場所があると良いと思う。 (認定を受けていない者：３件)
	◆施設でボランティア活動を積極的に受け入れてもらいたい。 (要支援・要介護認定者【入所者】：１件)

⑥区への要望・意見

⑥ー1 認定を受けていない者:47 件 (要支援・要介護認定者【在宅】:14 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:13 件)	◆諸施策の質的向上・充実を希望する。 (認定を受けていない者:14 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:2 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆高齢者の生活に不安がある。 (認定を受けていない者:9 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:3 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:5 件)
	◆年金生活では家賃の支払いが大変である。 補助してほしい。 (認定を受けていない者:7 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:4 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆災害の対応や避難等の施策の充実をお願いしたい。 (要支援・要介護認定者【在宅】:2 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆急病等、緊急時の支援をしてほしい。 (認定を受けていない者:1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:3 件)
	◆行政が高齢者の実態を把握してほしい。 (認定を受けていない者:9 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆高齢者に対する情報は、きちんとわかりやすく、読みやすく伝えてほしい。 (認定を受けていない者:4 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:2 件)
	◆施策としては充実している。 (認定を受けていない者:1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆施策は必ず実行してほしい。 (認定を受けていない者:2 件)
	◆サービスや情報提供を訪問して伝えてほしい。 (要支援・要介護認定者【在宅】:1 件)

⑦その他の意見

⑦ー1 認定を受けていない者:44 件 (要支援・要介護認定者【在宅】:16 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:17 件)	◆安心して生活できるよう、お願いしたい。 (認定を受けていない者:6 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:3 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆感謝している。 (認定を受けていない者:6 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:6 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:3 件)
	◆今回の調査で勉強になり、考えさせられた。 (認定を受けていない者:2 件)
	◆アンケートが難しい。 (認定を受けていない者:3 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:5 件)
	◆医療費の負担が大きい。 (認定を受けていない者:3 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆生きがい、仕事はほしい。 (認定を受けていない者:2 件)
	◆現在の生活が充実している。 (認定を受けていない者:9 件) (要支援・要介護認定者【在宅】:3 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:4 件)
	◆若い世代への負担が心配。 (認定を受けていない者:2 件)
	◆税金が高い。 (認定を受けていない者:4 件) (要支援・要介護認定者【入所者】:1 件)
	◆調査結果が知りたい。 (認定を受けていない者:1 件)

	◆難病患者や障害者への支援を充実してほしい。 (認定を受けていない者：1 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆紙おむつ・パッドを無料・補助してほしい。 (認定を受けていない者：1 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：3 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆生活保護に関して知りたい。 (認定を受けていない者：2 件)
	◆様々な無駄遣いがある。 (認定を受けていない者：2 件)
	◆わからない。 (認定を受けていない者：10 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：2 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：1 件)
	◆特にない。 (認定を受けていない者：20 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：4 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：3 件)
	◆分類できないこと。 (認定を受けていない者：18 件) (要支援・要介護認定者【在宅】：4 件) (要支援・要介護認定者【入所者】：9 件)

◆ 資料編（アンケート調査票） ◆

- ・ 図表中の「N」は、設問への回答者数を示す。
- ・ 選択肢に記載された数値は、単純集計結果（%）を示す。
- ・ 各回答の割合（%）は、すべて小数点以下第 2 位を四捨五入した数値であるため、各回答の割合（%）の合計が 100%にならない場合がある。

高齢者の生活に関する調査票
認定を受けていない者

日ごろの生活のご様子やご要望をお聞かせください

～高齢者の生活に関する調査のお願い～

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

皆様には、日ごろから葛飾区の行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
ございます。

さて葛飾区では、来年度、高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画（平成30～32年度）を策定するにあたり、高齢者の皆様の生活のご様子やご要望をおうかがいする調査を行うことにいたしました。

お忙しいところ大変申し訳ございませんが、今後の区のよりよい施策につなげるための調査でございますので、是非ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査票は、介護保険台帳をもとに、要支援・要介護の認定を受けていない65歳以上の方々（平成28年10月1日現在）の中から無作為に選んで送付させていただきました。介護保険台帳から選んだ日時以降に要支援・要介護の認定を受けられたなどによりまして、本調査の対象とならない方あてに本調査票が送られた場合は、なにとぞ ようしゃ 何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

ご記入いただいた内容につきましては、すべて統計的に処理するため、個人が特定されることは一切いっさいございません。皆様の率直なご意見やお考えをお聞かせください。

**回収方法：ご記入いただきました調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）
に入れ、ご返送ください。**

回答期限：平成28年11月18日（金）までに郵便ポストへご投函とうかんください。

なお、本調査票の集計および分析につきましては、葛飾区が株式会社コモン計画研究所に業務を委託しております。

□□ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください□□

葛飾区福祉部 高齢者支援課（電話）5654-8256

福祉管理課（電話）5654-8243

〒124-8555 東京都葛飾区立石五丁目13番1号

〔 高齢者の生活に関する調査 〕

（ 在 宅 高 齢 者 ）

－記入にあたっての留意点－

- ◇質問への回答は、１０月１日現在の状況についてお答えください。
- ◇あて名のご本人がお答えください。
- ◇あて名のご本人がお答えになれない場合、ご家族の方などが、ご本人に代わり、ご記入ください。
- ◇無記名方式ですので、お答えいただいた内容でご迷惑をおかけすることはありません。ありのままをお答えください。

◆はじめにおうかがいします

問１ この調査票に記入される方はどなたですか。（１つに○）

N＝1,564

1. あて名のご本人	90.3
2. あて名の方のご家族	5.4
3. その他の人（具体的に	0.3

無回答 4.0

◆あなたご自身についておうかがいします

問２ あなた（あて名のご本人）の性別、平成２８年１０月１日現在の満年齢をお答えください。

N＝1,564

1. 男性	43.4	1. 65～69 歳	25.6
2. 女性	55.7	2. 70～74 歳	26.6
		3. 75～79 歳	24.2
		4. 80～84 歳	16.0
		5. 85～89 歳	5.4
		6. 90 歳以上	1.5

無回答 0.9

無回答 0.7

◆家族や住まいについておうかがいします

問3 あなた(あて名のご本人)は、現在どなたと一緒に住まいですか。

N=1,564

1. ひとり暮らし 15.9



次ページの問4へ

同居している場合は、
同居している方すべてに○

2. 配偶者 55.9

3. 息子・娘 32.1

4. 息子・娘の配偶者 6.5

5. 孫・ひ孫 8.8

6. あなたや配偶者の兄弟姉妹 3.0

7. その他 () 3.5

問3-1、問3-2に進んでください 無回答 10.3

問3-1 <2~7に○をつけた方>同居の方がいる場合、同居の方は皆さん 65歳以上ですか。
(1つに○)N=1,155

1. はい 47.3 2. いいえ 48.4

無回答 4.3

問3-2 同居している方が仕事などで外出し、日中または夜間、半日以上にわたって、自宅でひとり
になることがどのくらいありますか。(1つに○) N=1,155

1. 週4日以上 17.2

2. 週2~3日 11.5

3. 週1日程度 11.9

4. 半日以上ひとりになることはほとんどない 52.2

5. その他 () 3.4

無回答 3.8

問4 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいについて教えてください。

① お住まいは一戸建てですか、集合住宅ですか。(1つに○) N=1,564

1. 一戸建て	62.1
2. 集合住宅 (マンション、アパート、区営、都営、公社、 UR都市機構 (旧公団)、サービス付き高齢者向け住宅 [※] 等)	33.1
3. その他 ()	0.6

無回答 4.3

※:集合住宅であるが個室利用であり、トイレや浴室、キッチンなどが備わっています。手すり設置、段差がないなどの特徴があるとともに、安否確認と生活相談のサービスが必ず提供され、食事や洗濯・掃除などの生活支援サービス(有料)や、介護保険の在宅サービスを利用することもできます。

② お住まいは持ち家ですか、賃貸住宅ですか。(1つに○) N=1,564

1. 持ち家	72.6
2. 民間の賃貸住宅 (マンション、アパート、サービス付き高齢者向け住宅等)	10.5
3. 公営の賃貸住宅 (区営、都営、公社、UR都市機構 (旧公団) 等)	10.2
4. 借 間	1.0
5. その他 ()	1.0

無回答 4.7

③ 住居、あるいは主に生活している部屋は、2階以上にありますか。(1つに○) N=1,564

1. は い 61.6 ⇒ (① 2階 32.7 ② 3階 7.6 ③ 4階以上 10.4 階は不明 10.9)
2. いいえ 33.2

無回答 5.1

④ お住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○) N=1,564

1. あ る 23.5	2. な い 71.4
-------------	-------------

無回答 5.1

問5 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいの地域はどこですか。記入例を参考に記入してください。 N=1,564

葛飾区(町名:)	()丁目
記入例 葛飾区(町名: 立石)	(1)丁目

1. 水元地域	9.6	5. 南綾瀬・お花茶屋・堀切地域	15.3
2. 金町・新宿地域	13.2	6. 立石・東四つ木地域	16.8
3. 柴又・高砂地域	15.7	7. 奥戸・新小岩地域	15.4
4. 亀有・青戸地域	12.6	無回答	1.5

◆あなたの健康についておうかがいします

問6 現在のご病気等の状況について、以下の①②のどちらにも回答してください。

① あなた(あて名のご本人)は、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。 N=1,564

1. 高血圧	43.0	10. 骨折や外傷	2.0
2. 脳卒中、脳こうそく	2.2	11. が ん	4.0
3. 心臓病	9.7	12. こころの病気(うつ、認知症等)	2.2
4. 糖尿病	11.4	13. 目の病気(白内障・緑内障等)	19.4
5. 高脂血症	13.2	14. 耳の病気(難聴等)	7.2
6. 呼吸器系の病気(肺・気管支等)	5.1	15. 歯の病気(歯周病、義歯調整等)	21.2
7. 消化器系の病気(胃腸等)	6.3	16. その他()	4.3
8. 泌尿器系の病気(腎臓・前立腺等)	8.1	あてはまるもの すべてに○	
9. 筋肉や骨の病気(関節炎、骨粗しょう症等)	15.0		16.3
		17. 特にない	

無回答 2.4

② あなた(あて名のご本人)は、かかりつけ医、かかりつけ歯科医を決めていますか。 N=1,564

1. かかりつけ医を決めている	あてはまるもの すべてに○	82.2
2. かかりつけ歯科医を決めている		56.2
3. どちらも決めていない		8.1

無回答 1.5

問7 あなた(あて名のご本人)は、これまで要支援・要介護認定の申請をしたことがありますか。
(1つに○)N=1,564

- | | |
|-----------|------|
| 1. ある→問8へ | 3.5 |
| 2. ない | 94.5 |

無回答 2.0

問7-1 <2. ないに○をした方>にお聞きます。あなた(あて名のご本人)が、要支援・要介護認定の申請をしたことがないのはなぜですか。 N=1,478

- | | | |
|---------------------------------|------------------|------|
| 1. 支援や介護は必要ではないから | あてはまるもの
すべてに○ | 88.0 |
| 2. 支援や介護が必要だが、家族が介護してくれるから | | 3.2 |
| 3. 支援や介護が必要だが、利用したいサービスがないから | | 0.7 |
| 4. 支援や介護が必要だが、介護サービス料を負担できないから | | 1.6 |
| 5. 支援や介護が必要だが、介護サービスの内容がわからないから | | 2.0 |
| 6. 手続きの方法がわからないから | | 3.7 |
| 7. その他 () | | 1.2 |

無回答 5.1

◆あなたの日常生活についておうかがいします

問8 あなた(あて名のご本人)は、どのくらい外出をしていますか。(1つに○) N=1,564

- | | |
|----------|------|
| 1. ほぼ毎日 | 55.4 |
| 2. 週4～5日 | 21.0 |
| 3. 週2～3日 | 14.3 |
| 4. 週1日 | 4.0 |
| 5. 週1日未満 | 3.1 |

無回答 2.2

問9 あなた(あて名のご本人)が一人でできない動作はありますか。

① ②のどちらにも回答してください。

①基本的動作 N=1,564	② 日常生活上の動作 N=1,564
一人でできない動作について、あてはまるものすべてに○ - ご飯を食べる 0.6 - ベッド(寝床)へ移動する 0.4 - 洗面や歯磨きをする 0.6 - 支えなしで座る 1.0 - トイレに行く 0.6 - 入浴をする 1.1 50メートル以上歩く 2.1 - 階段の昇り降り 1.9 - 着替える 0.7 - 排便 0.6 - 排尿 0.4 - どれも一人でできる 93.7	一人でできない動作について、あてはまるものすべてに○ - バスや電車を使った外出 4.5 - 買い物をする 3.1 - 食事の用意をする 3.7 - 掃除や洗濯をする 4.1 しょうほう処方された薬を正しく飲む 2.0 - ごみを集積所に出す 3.1 - 請求書の支払いをする 3.6 - 預貯金のおし入れをする 4.6 - どれも一人でできる 86.7

無回答 2.8

無回答 4.1

問10 以下の①②③のすべてについて、あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。

① 歩行や移動、転倒

N=1,564

- この1年間に転んだことがある - 転倒に対する不安がある - 背中が丸くなってきた - 歩く速度が遅くなってきた - 杖を使っている - 階段は手すりや壁をつたわずに昇っている - 椅子から立ち上がる時、つかまらない 15分位続けて歩いている - 昨年と比べて外出の回数が減った - どれもあてはまらない	あてはまるものすべてに○ 15.0 17.3 18.1 38.6 6.1 26.7 29.4 39.8 18.8 24.8
---	--

無回答 2.9

② 食事・栄養、歯や口の健康

N=1,564

1. 最近 6 か月間で 2 ～ 3 k g 以上の体重減少があった	9.5
2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった	13.4
3. お茶や汁物等でむせることがある	13.2
4. 口の ^{かわ} 渇きが気になる	14.6
5. 義歯（入れ歯）があわない	8.5
6. 歯磨きを毎日している	77.0
7. 定期的に歯科検診を受けている	37.0
8. どれもあてはまらない	10.0

あてはまるもの
すべてに○

無回答 2.3

③ 社会活動や日常生活

N=1,564

1. 年金の申請などの書類を自分で書ける	73.0
2. 新聞を読んでいる	74.9
3. 本や雑誌を読んでいる	63.0
4. メールやインターネットを使用している	36.4
5. 健康についての記事や番組に関心がある	71.9
6. 友人の家を訪ねている	39.5
7. 家族や友人の相談にのっている	43.6
8. 病人を見舞うことができる	60.8
9. 若い人に自分から話しかけることができる	61.3
10. どれもあてはまらない	2.6

あてはまるもの
すべてに○

無回答 1.5

問11 次のうち、あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。

N=1,564

1. 毎日の生活に充実感がないとすることがある	あてはまるもの すべてに○	18.7
2. 楽しんでやれたことが、楽しめなくなった		9.8
3. 以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる		35.6
4. 自分は役に立つ人間だと思えないことがある		8.8
5. わけもなく疲れたような感じがする		17.5
6. 電話番号を調べて、自分で電話をかけられないことがある		2.7
7. 今日が何月何日かわからないことがある		7.7
8. 5分前のことを思い出すことができないことがある		6.1
9. 「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとと言われることがある		8.2
10. どれもあてはまらない		44.2

無回答 5.5

問12 あなた(あて名のご本人)は、その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(1つに○)

N=1,564

1. 困難なくできる	87.7
2. いくらか困難であるが、できる	6.8
3. 判断する時に、他人からの合図や見守りが必要	0.4
4. ほとんど判断できない	0.5

無回答 4.6

問13 あなた(あて名のご本人)は、自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)

N=1,564

1. 伝えられる	88.2
2. いくらか困難であるが、伝えられる	8.9
3. あまり伝えられない	1.0
4. ほとんど伝えられない	0.1

無回答 1.8

問14 あなた(あて名のご本人)の身近には、次のようなあなたを支えてくれる人(近所の人、友人、家族や親族、サービス事業者など)がいますか。 N=1,564

1. 週1回以上、話し相手になってくれる人	あてはまるもの すべてに○	53.7
2. 週1回以上、定期的に安否を気遣 ^{あんび} ってくれる人		37.7
3. 困った時に相談にのってくれる人		58.4
4. 災害時に避難を支援してくれる人		32.9
5. ちょっとした手伝いや用事をお願いできる人		49.9
6. 具合が悪くなった時などに、連絡できる人		67.2
7. 具合が悪くなった時などに、駆けつけ ^か たり、手伝ってくれる人		58.7
8. そのような人はいない		10.7

無回答 4.7

問15 災害時の対応や避難等について、困ることや不安なことはありますか。 N=1,564

1.	災害時のための水や食料などの備蓄をしていない	あてはまるもの すべてに○	32.4
2.	災害時家族と連絡をとる方法を決めていない		24.8
3.	暮らしている地域の避難所を知らない		15.2
4.	災害時に情報を得ることができるかどうか心配である		23.9
5.	寝室の家具の固定をしていない		36.3
6.	避難時に電気のブレーカーを下 ^{おろ} すことができない		8.4
7.	避難所まで一人では避難できない		6.3
8.	身体状況等から、通常の避難所では暮らせない		6.7
9.	災害後、介護や支援してくれる人が身近にいない		11.3
10.	その他 ※具体的にご記入ください		4.7
	[]		
11.	特にない		27.2

無回答 6.4

◆就労・社会参加・健康づくりについておうかがいします

問16 あなた(あて名のご本人)は、ふだん収入を伴う仕事(パート・アルバイトを含む)をしていますか。1つに○をして、それぞれ理由もお答えください。 N=1,564

1. している	32.4	2. していない	62.1
		無回答 5.6	
↓ (主な理由 1 つに○) N=506		↓ (主な理由 1 つに○) N=971	
1. 家計の維持・補助のため	56.1	1. お金に困っていない	15.3
2. 健康維持のため	15.6	2. 健康に自信がない	9.4
3. 生きがいのため	16.2	3. 就職先が見つからない	5.4
4. その他 ()	10.7	4. 高齢だから	57.3
		5. その他 ()	7.5
無回答 1.4		無回答 5.1	

問17 現在、あなた(あて名のご本人)は、以下のような生きがい・社会参加活動に参加していますか。 N=1,564

1. 町会・自治会の活動に参加している	16.8
2. 高齢者クラブの活動に参加している	8.6
3. 趣味・楽しみのための活動に参加している	29.4
4. 健康維持、介護予防のための活動に参加している	10.1
5. ジョギングやスポーツ活動を行っている	23.3
6. 福祉やまちづくり、青少年育成などのボランティア活動を行っている	5.2
7. NPO、市民活動に参加している	1.9
8. その他 ※上記以外に参加・活動している活動をご記入ください	6.8
あてはまるものすべてに○ 例：健康・体力に自信がない、興味・関心がない、知っている人がいない、情報がないなど	
9. 特に何も行っていない ※その理由もご記入ください	37.6

無回答 9.0

問18 今後、あなた(あて名のご本人)は、以下のような生きがい・社会参加活動に参加・取り組みたいと考えていますか。 N=1,564

1. 町会・自治会の活動	あてはまるもの すべてに○	11.3
2. 高齢者クラブの活動		10.2
3. 趣味・楽しみのための活動 (具体的に：)		25.3
4. 健康維持、介護予防のための活動 (具体的に：)		12.3
5. スポーツ活動 (具体的に：)		11.6
6. ボランティア活動 (具体的に：)		4.8
7. NPO、市民活動 (具体的に：)		1.2
8. 就業(収入がある仕事)		10.5
9. その他 ※上記以外に参加・活動したい活動をご記入ください ()		2.2
例：健康・体力に自信がない、興味・関心がない、知っている人がいない、情報がないなど		
10. 特に参加したい活動はない ※その理由もご記入ください ()		29.5

無回答 19.3

問19 あなた(あて名のご本人)は、これから取り組みたい介護予防として、どのような活動に興味がありますか。 N=1,564

1. 筋力をつけ、体力の維持・向上をはかる	あてはまるもの すべてに○	59.6
2. 適切な食事のとり方を知り、栄養の改善につなげる		38.1
3. 楽しく食事をするために、歯や歯茎などの口の中の健康保持・増進を行う		36.6
4. 外出の増加、人とのふれあいの機会をつくる		36.6
5. 認知症の正しい理解と予防への取り組み		25.6
6. その他 ()		2.3
7. 上記のようなことには、興味はない		10.0

無回答 8.9

◆今後の生活の希望についておうかがいします

問20 あなた(あて名のご本人)は、将来介護が必要になった場合、どのように暮らしたいと考えますか。(1つに○) N=1,564

- | | |
|--|------|
| 1. 介護保険制度を利用しながら自宅で暮らしたい | 41.8 |
| 2. 家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい | 14.5 |
| 3. 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい | 9.0 |
| 4. 病院に入院したい | 2.1 |
| 5. 有料老人ホームに入所したい | 1.9 |
| 6. 高齢者専用の住宅等（サービス付き高齢者向け住宅 [※] 等を含む）に住み替えて暮らしたい | 7.1 |
| 7. その他（ ） | 1.3 |
| 8. わからない | 19.0 |

無回答 3.4

※:集合住宅であるが個室利用であり、トイレや浴室、キッチンなどが備わっています。手すり設置、段差がないなどの特徴があるとともに、安否確認と生活相談のサービスが必ず提供され、食事や洗濯・掃除などの生活支援サービス(有料)や、介護保険の在宅サービスを利用することもできます。

問21 あなた(あて名のご本人)が在宅生活を継続するためには、どのようなことが必要だと考えますか。 N=1,564

- | | | |
|-----------------------------------|--------------------------|------|
| 1. 健康状態や身体の機能を維持・向上できること | あてはまるもの
すべてに○ | 78.5 |
| 2. 家事ができること | | 66.0 |
| 3. 日常の不安（火の始末、戸締り、振り込め詐欺等）がなくなること | | 31.8 |
| 4. いま暮らしている住宅を介護に適した住宅に改善すること | | 13.1 |
| 5. 身近な地域で利用できる介護サービスがあること | | 35.1 |
| 6. 夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがあること | | 34.5 |
| 7. 福祉や介護に関する情報が多く得られること | | 27.7 |
| 8. 日常の金銭管理や財産等の管理を支援するサービスがあること | | 5.6 |
| 9. その他（ ） | | 1.2 |
| 10. 特にない | | 7.4 |

無回答 3.9

◆高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)および介護予防についておうかがいします

問22 区では、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者やその家族を総合的に支援する相談窓口として、区内14か所に高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)*や出張相談窓口を設置しています。あなた(あて名のご本人)は、この高齢者総合相談センター(地域包括支援センター)や出張相談窓口をごぞんじですか。(1つに○) N=1,564

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 知っているし、利用している(利用したことがある) | 6.7 |
| 2. 知っているが、利用したことはない | 52.4 |
| 3. 知らない、聞いたことがない | 36.9 |

無回答 4.0

※:葛飾区では、「地域包括支援センター」が高齢者の総合相談窓口であることが容易にわかるように、平成24年4月から、通称名として「高齢者総合相談センター」と呼んでいます。

問23 家族等の介護を受けなくても身の回りのことを自分でやり続けることができるようにするため、あなた(あて名のご本人)は、日常生活の中で、何か特に行っていることがありますか。

N=1,564

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1. 散歩や軽い運動など、身体を動かすようにしている | 75.9 |
| 2. 頭を使うように心がけている | 62.5 |
| 3. 人との会話を楽しむようにしている | 48.7 |
| 4. 音楽やダンス、短歌・俳句・川柳など、文化芸術活動を行っている | 14.3 |
| 5. その他() | 7.2 |
| 6. 特に何もしていない | 9.9 |

あてはまるもの
すべてに○

無回答 2.8

問24 あなた(あて名のご本人)は、区が実施している「うんどう教室、運動習慣推進プラチナ・フィットネス、筋力向上トレーニング、回想法教室、ふれあい銭湯、シニア版ポニースクール」などの介護予防事業についてごぞんじですか。(1つに○) N=1,564

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 知っているし、利用している(利用したことがある) | 10.5 |
| 2. 知っているが、利用したことはない | 45.7 |
| (理由:) | |
| 3. 知らない、聞いたことがない | 39.9 |

無回答 3.9

◆介護保険料および経済状況についておうかがいします

問25 あなた(あて名ご本人)の、今年の介護保険料(1年間合計)はいくらですか。(1つに○)

N=1,564

1.	28,704円以下(第1段階)	14.8
2.	43,056円(第2段階)	7.7
3.	53,820円(第3段階)	5.8
4.	64,584円(第4段階)	10.4
5.	71,760円(第5段階)	7.9
6.	78,936円(第6段階)	9.1
7.	89,700円(第7段階)	8.6
8.	107,640円(第8段階)	6.7
9.	114,816円(第9段階)	4.3
10.	147,108円(第10段階)	2.2
11.	172,224円(第11段階)	1.0
12.	190,164円(第12段階)	0.3
13.	208,104円(第13段階)	0.4
14.	229,632円(第14段階)	0.3
15.	251,160円(第15段階)	0.9

※介護保険料は、皆様に送付されている介護保険料納入通知書に記載されています。

無回答 19.6

問26 あなた(あて名のご本人)は葛飾区の介護保険料について、どのように思いますか。

(1つに○) N=1,564

1.	適当である	10.2
2.	高いと思う	44.0
3.	安いと思う	0.3
4.	どちらとも言えない	17.1
5.	わからない	20.6

無回答 7.8

問27 今後の介護保険サービスと介護保険料のあり方について、あなた(あて名のご本人)の意見に近いものはどれですか。(1つに○) N=1,564

- | | |
|--|------|
| 1. 保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方が良い | 17.3 |
| 2. 介護サービス・介護予防サービスを多少抑えても、保険料が安い方が良い | 19.6 |
| 3. どちらとも言えない | 38.0 |
| 4. わからない | 16.4 |

無回答 8.6

◆区の高齢者施策についておうかがいします

問28 あなた(あて名のご本人)は葛飾区の福祉や介護に関する情報をどこから得ていますか。

N=1,564

- | | | |
|----------------------------|--------------------------|------|
| 1. テレビ | あてはまるもの
すべてに○ | 11.6 |
| 2. ラジオ | | 2.8 |
| 3. 新聞 | | 14.1 |
| 4. 区の広報、回覧板、ポスター | | 67.3 |
| 5. 友人、知人 | | 17.5 |
| 6. 家族 | | 8.8 |
| 7. 民生委員 | | 1.7 |
| 8. ケアマネジャー | | 3.1 |
| 9. 高齢者総合相談センター、介護サービス事業所など | | 3.0 |
| 10. 公共施設(区役所、区民事務所、図書館など) | | 7.4 |
| 11. 区のホームページなど | | 5.2 |
| 12. その他() | | 1.0 |
| 13. 特にどこからも得ていない | | 18.0 |

無回答 4.9

問29 高齢者に対する施策として、区に充実して欲しいと思うことは何ですか。

N=1,564

あてはまるもの
すべてに○

- | | |
|---|------|
| 1. 自宅で利用できるサービスを充実させること | 49.7 |
| 2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること | 29.2 |
| 3. 特別養護老人ホームなどの入所施設を整備すること | 39.1 |
| 4. 介護が必要になるのを防ぐため介護予防サービスを充実させること | 36.6 |
| 5. 介護度が重度化するのを防ぐ介護予防サービスを充実させること | 23.8 |
| 6. 認知症の予防のための取り組みを充実させること | 32.2 |
| 7. 介護保険サービスの質の向上に向けた指導・監査を強化すること | 25.7 |
| 8. 福祉や介護に関する情報提供を充実させること | 33.6 |
| 9. 医療に関する情報提供を充実させること | 29.3 |
| 10. 健康維持・体力づくり・仲間づくりの情報提供を充実させること | 31.5 |
| 11. 防犯に関する情報提供を充実させること | 21.0 |
| 12. 防災に関する情報提供を充実させること | 25.3 |
| 13. 健康維持などのため、気軽に運動できる場所や機会を提供すること | 34.9 |
| 14. 引きこもり防止のための活動・交流の場所や機会を提供すること | 19.0 |
| 15. 高齢者が住みやすい住宅を整備すること | 27.2 |
| 16. 公共機関や道路等のバリアフリー化を進めること | 27.2 |
| 17. 身近な地域のボランティア活動などを支援すること | 15.9 |
| 18. 困った時に気軽に相談できる場所を整備すること | 42.8 |
| 19. 高齢者の ^{ぎゃくたい} 虐待防止や成年後見 ^{せいねんこうけん} 制度の利用支援などに力を入れること | 15.3 |
| 20. その他（ ） | 2.6 |

無回答 13.8

問30 区の高齢者施策(介護保険制度を含む)について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

とうかん

★返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

★ご協力ありがとうございました。

高齢者の生活に関する調査票
要支援・要介護認定者

日ごろの生活のご様子やご要望をお聞かせください

～高齢者の生活に関する調査のお願い～

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

皆様には、日ごろから葛飾区の行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて葛飾区では、来年度、高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画（平成30～32年度）を策定するにあたり、高齢者の皆様の生活のご様子や介護保険サービスの利用状況などをおうかがいする調査を行うことにいたしました。

お忙しいところ大変申し訳ございませんが、今後の区のよりよい施策につなげるための調査でございますので、是非ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査票は、介護保険台帳をもとに、要支援・要介護の認定を受けている65歳以上の方々（平成28年10月1日現在）の中から無作為に選んで送付させていただきました。介護保険台帳から選んだ日時以降に要支援・要介護認定者でなくなったなどによりまして、本調査の対象とならない方あてに本調査票が送られた場合は、なにとぞ ようしゃ 何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

ご記入いただいた内容につきましては、すべて統計的に処理するため、個人が特定されることは一切いっさいございません。皆様の率直なご意見やお考えをお聞かせください。

回収方法：ご記入いただきました調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、ご返送ください。

回答期限：平成28年11月18日（金）までに郵便ポストへご投函とうかんください。

なお、本調査票の集計および分析につきましては、葛飾区が株式会社コモン計画研究所に業務を委託しております。

□□ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください□□

葛飾区福祉部 介護保険課（電話）5654-8246
福祉管理課（電話）5654-8243

〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1

〔 高齢者の生活に関する調査 〕

（ 要支援・要介護認定者 ）

－記入にあたっての留意点－

- ◇質問への回答は、１０月１日現在の状況についてお答えください。
- ◇あて名のご本人がお答えください。
- ◇あて名のご本人がお答えになれない場合、ご家族の方などが、ご本人に代わり、ご記入ください。
- ◇無記名方式ですので、お答えいただいた内容でご迷惑をおかけすることはありません。ありのままをお答えください。

◆はじめにおうかがいします

問１ この調査票に記入される方はどなたですか。（１つに○）

N=1,158

1. あて名のご本人	47.1	3. サービス提供者、施設の職員	3.1
2. あて名の方のご家族	45.3	4. その他の人（具体的に	0.6

無回答 4.0

◆あなたご自身についておうかがいします

問２ あなた（あて名のご本人）の性別、平成２８年１０月１日現在の満年齢をお答えください。

N=1,158

1. 男性	34.8	1. 65～69 歳	5.2
2. 女性	63.6	2. 70～74 歳	8.2
		3. 75～79 歳	15.5
		4. 80～84 歳	25.3
		5. 85～89 歳	25.0
		6. 90 歳以上	17.8

無回答 1.6

無回答 2.9

問３ あなた（あて名のご本人）の現在の要介護度をお答えください。（１つに○）

N=1,158

1. 要支援 1	12.3	3. 要介護 1	14.2	6. 要介護 4	9.7
2. 要支援 2	16.3	4. 要介護 2	22.6	7. 要介護 5	9.2
		5. 要介護 3	11.7		

※要介護度は、介護保険証に記載されています。

無回答 4.1

問4 あなた(あて名のご本人)は、現在どこで生活していますか。(1つに○) N=1,158

1. 特別養護老人ホーム	5.9
2. 老人保健施設(機能訓練や介護を行う施設)	2.4
3. 介護療養型医療施設(長期療養患者に介護を行う施設)	1.2
4. 認知症高齢者グループホーム	1.9
5. 有料老人ホーム・ケアハウス	3.5
6. その他の施設(具体的に)	1.1
7. 自宅(持ち家・賃貸を問いません、サービス付き高齢者向け住宅*を含みます)	80.8
8. その他()	1.9
無回答 1.2	

18
ページに進んでください

※:集合住宅であるが個室利用であり、トイレや浴室、キッチンなどが備わっています。手すり設置、段差がないなどの特徴があるとともに、安否確認と生活相談のサービスが必ず提供され、食事や洗濯・掃除などの生活支援サービス(有料)や、介護保険の在宅サービスを利用することもできます。

◆家族や住まいについておうかがいします

問5 あなた(あて名のご本人)は、現在どなたと一緒に住まいですか。 N=958

1. ひとり暮らし 24.5	2. 配偶者 37.8
↓	3. 息子・娘 33.3
次ページの問6へ	4. 息子・娘の配偶者 12.3
同居している場合は、同居している方すべてに○	5. 孫・ひ孫 11.2
	6. あなたや配偶者の兄弟姉妹 1.6
	7. その他() 1.4

問5-1、問5-2に進んでください 無回答 10.3

問5-1 <2~7に○をつけた方>同居の方がいる場合、同居の方は皆さん 65歳以上ですか。(1つに○) N=624

1. はい 43.4	2. いいえ 51.8
------------	-------------

無回答 4.8

問5-2 同居している方が仕事などで外出し、日中または夜間、半日以上にわたって、自宅でひとりになることがどのくらいありますか。(1つに○) N=624

1. 週4日以上 19.7	4. 半日以上ひとりになることはほとんどない 49.2
2. 週2~3日 14.6	5. その他() 2.7
3. 週1日程度 7.2	

無回答 6.6

問6 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいについて教えてください。

① お住まいは一戸建てですか、集合住宅ですか。(1つに○)		N=958
1. 一戸建て		59.6
2. 集合住宅 (マンション、アパート、区営、都営、公社、 UR都市機構 (旧公団)、サービス付き高齢者向け住宅等)		36.4
3. その他 ()		0.5
		無回答 3.4

② お住まいは持ち家ですか、賃貸住宅ですか。(1つに○)		N=958
1. 持ち家		66.4
2. 民間の賃貸住宅 (マンション、アパート、サービス付き高齢者向け住宅等)		13.2
3. 公営の賃貸住宅 (区営、都営、公社、UR都市機構 (旧公団) 等)		14.6
4. 借 間		1.3
5. その他 ()		0.6
		無回答 4.0

③ 住居、あるいは主に生活している部屋は、2階以上にありますか。(1つに○)		N=958
1. はい	49.2	⇒ (① 2階 23.8 ② 3階 7.3 ③ 4階以上 9.3 階は不明 8.8)
2. いいえ	46.6	
		無回答 4.3

④ お住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)		N=958
1. あ る	25.1	2. な い 69.3
		無回答 5.6

問7 あなた(あて名のご本人)の現在のお住まいの地域はどこですか。記入例を参考に記入してください。

葛飾区 (町名 :)		() 丁目
記入例 葛飾区 (町名 : 立 石)		(1) 丁目
1. 水元地域	8.9	5. 南綾瀬・お花茶屋・堀切地域 16.4
2. 金町・新宿地域	11.2	6. 立石・東四つ木地域 15.8
3. 柴又・高砂地域	18.4	7. 奥戸・新小岩地域 12.4
4. 亀有・青戸地域	13.9	無回答 3.1

◆あなたの健康についておうかがいします

問8 現在のご病気等の状況について、以下の①②のどちらにも回答してください。

① あなた(あて名のご本人)は、現在かかっている、または治療中の病気がありますか。 N=958

1. 高血圧	40.4	10. 骨折や外傷	あてはまるもの すべてに○	8.4
2. 脳卒中、脳こうそく	12.5	11. が ん		8.0
3. 心臓病	16.5	12. こころの病気(うつ、認知症等)		11.5
4. 糖尿病	16.8	13. 目の病気(白内障・緑内障等)		23.9
5. 高脂血症	8.0	14. 耳の病気(難聴等)		11.7
6. 呼吸器系の病気(肺・気管支等)	7.7	15. 歯の病気(歯周病、義歯調整等)		18.9
7. 消化器系の病気(胃腸等)	7.7	16. その他 ()		9.5
8. 泌尿器系の病気(腎臓・前立腺等)	12.9			
9. 筋肉や骨の病気(関節炎、骨粗しょう症等)	29.2	17. 特にない		3.9

無回答 4.0

② あなた(あて名のご本人)は、かかりつけ医、かかりつけ歯科医を決めていますか。 N=958

1. かかりつけ医を決めている	あてはまるもの すべてに○	90.8
2. かかりつけ歯科医を決めている		43.5
3. どちらも決めていない		2.7

無回答 3.2

問9 医療の状況について、以下の①②③のすべてに回答してください。

① あなた(あて名のご本人)は、現在、次にあげるような医療機器を利用したり、処置を受けたりしていますか。 N=958

1. 以下の処置は受けていない	48.2	7. 在宅酸素	あてはまるもの すべてに○	2.1
2. 胃ろう・経管栄養	2.2	8. ペースメーカー		2.6
3. 気管切開	0.5	9. 人工透析		1.7
4. インシュリン注射	4.3	10. 痰の吸引 ^{たん}		1.3
5. 尿道カテーテル	2.6	11. 床ずれの処置		2.4
6. 人工肛門・人工膀胱 ^{ぼうこう}	2.0	12. その他 ()		2.8

無回答 34.3

② あなた(あて名のご本人)は、現在、訪問診療(往診)を受けていますか。(1つに○) N=958

1. 受けている	20.5	2. 受けていない	74.2
----------	------	-----------	------

無回答 5.3

③ あなた(あて名のご本人)は、現在、訪問看護を受けていますか。(1つに○) N=958

1. 受けている	18.6	2. 受けていない	75.8
----------	------	-----------	------

無回答 5.6

◆あなたの日常生活についておうかがいします

問10 あなた(あて名のご本人)は、どのくらい外出をしていますか。(1つに○) N=958

1. ほぼ毎日	15.8	4. 週1日	8.6
2. 週4～5日	16.5	5. 週1日未満	17.1
3. 週2～3日	34.4		

無回答 7.6

問11 あなた(あて名のご本人)が一人でできない動作はありますか。

①②のどちらにも回答してください。

① 基本的動作 N=958	② 日常生活上の動作 N=958																																										
一人でできない動作について、あてはまるものすべてに○ <table> <tr><td>1. ご飯を食べる</td><td>7.5</td></tr> <tr><td>2. ベッド(寝床)へ移動する</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>3. 洗面や歯磨きをする</td><td>12.3</td></tr> <tr><td>4. 支えなしで座る</td><td>17.2</td></tr> <tr><td>5. トイレに行く</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>6. 入浴をする</td><td>32.2</td></tr> <tr><td>7. 50メートル以上歩く</td><td>36.6</td></tr> <tr><td>8. 階段の昇り降り</td><td>36.7</td></tr> <tr><td>9. 着替える</td><td>17.2</td></tr> <tr><td>10. 排便</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>11. 排尿</td><td>11.2</td></tr> <tr><td>12. どれも一人でできる</td><td>40.4</td></tr> </table>	1. ご飯を食べる	7.5	2. ベッド(寝床)へ移動する	11.1	3. 洗面や歯磨きをする	12.3	4. 支えなしで座る	17.2	5. トイレに行く	12.5	6. 入浴をする	32.2	7. 50メートル以上歩く	36.6	8. 階段の昇り降り	36.7	9. 着替える	17.2	10. 排便	12.0	11. 排尿	11.2	12. どれも一人でできる	40.4	一人でできない動作について、あてはまるものすべてに○ <table> <tr><td>1. バスや電車を使った外出</td><td>58.0</td></tr> <tr><td>2. 買い物をする</td><td>46.3</td></tr> <tr><td>3. 食事の用意をする</td><td>45.1</td></tr> <tr><td>4. 掃除や洗濯をする</td><td>49.5</td></tr> <tr><td>5. 処方された薬を正しく飲む^{しょうほう}</td><td>30.8</td></tr> <tr><td>6. ごみを集積所に出す</td><td>46.5</td></tr> <tr><td>7. 請求書の支払いをする</td><td>41.8</td></tr> <tr><td>8. 預貯金のおし入れをする</td><td>47.0</td></tr> <tr><td>9. どれも一人でできる</td><td>23.5</td></tr> </table>	1. バスや電車を使った外出	58.0	2. 買い物をする	46.3	3. 食事の用意をする	45.1	4. 掃除や洗濯をする	49.5	5. 処方された薬を正しく飲む ^{しょうほう}	30.8	6. ごみを集積所に出す	46.5	7. 請求書の支払いをする	41.8	8. 預貯金のおし入れをする	47.0	9. どれも一人でできる	23.5
1. ご飯を食べる	7.5																																										
2. ベッド(寝床)へ移動する	11.1																																										
3. 洗面や歯磨きをする	12.3																																										
4. 支えなしで座る	17.2																																										
5. トイレに行く	12.5																																										
6. 入浴をする	32.2																																										
7. 50メートル以上歩く	36.6																																										
8. 階段の昇り降り	36.7																																										
9. 着替える	17.2																																										
10. 排便	12.0																																										
11. 排尿	11.2																																										
12. どれも一人でできる	40.4																																										
1. バスや電車を使った外出	58.0																																										
2. 買い物をする	46.3																																										
3. 食事の用意をする	45.1																																										
4. 掃除や洗濯をする	49.5																																										
5. 処方された薬を正しく飲む ^{しょうほう}	30.8																																										
6. ごみを集積所に出す	46.5																																										
7. 請求書の支払いをする	41.8																																										
8. 預貯金のおし入れをする	47.0																																										
9. どれも一人でできる	23.5																																										

無回答 5.6

無回答 6.1

問12 以下の①②③のすべてについて、あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。

① 歩行や移動、転倒

N=958

1.	この1年間に転んだことがある	あてはまるもの すべてに○	41.6
2.	転倒に対する不安がある		63.2
3.	背中が丸くなってきた		42.7
4.	歩く速度が遅くなってきた		69.2
5.	つえ 杖を使っている		47.5
6.	階段は手すりや壁をつたわずに昇っている		11.1
7.	椅子から立ち上がる時、つかまらない		11.5
8.	15分位続けて歩いている		21.7
9.	昨年と比べて外出の回数が減った		52.2
10.	どれもあてはまらない		6.2

無回答 3.7

② 食事・栄養、歯や口の健康

N=958

1.	最近6か月間で2～3kg以上の体重減少があった	あてはまるもの すべてに○	21.5
2.	半年前に比べて固いものが食べにくくなった		39.4
3.	お茶や汁物等でむせることがある		31.4
4.	かわ 口の渇きが気になる		27.5
5.	義歯(入れ歯)があわない		21.1
6.	歯磨きを毎日している		62.6
7.	定期的に歯科検診を受けている		24.1
8.	どれもあてはまらない		8.5

無回答 4.4

③ 社会活動や日常生活

N=958

1.	年金の申請などの書類を自分で書ける	あてはまるもの すべてに○	33.5
2.	新聞を読んでいる		47.2
3.	本や雑誌を読んでいる		33.3
4.	メールやインターネットを使用している		9.0
5.	健康についての記事や番組に関心がある		48.1
6.	友人の家を訪ねている		11.7
7.	家族や友人の相談にのっている		16.3
8.	病人を見舞うことができる		16.0
9.	若い人に自分から話しかけることができる		36.4
10.	どれもあてはまらない		21.6

無回答 5.1

問13 次のうち、あなた(あて名のご本人)にあてはまるものはありますか。

N=958

1.	毎日の生活に充実感がないと感ずることがある	あてはまるもの すべてに○	37.0
2.	楽しんでやれたことが、楽しめなくなった		31.4
3.	以前は楽にできたことが、今ではおっくうに感じられる		65.6
4.	自分は役に立つ人間だと思えないことがある		30.8
5.	わけもなく疲れたような感じがする		39.9
6.	電話番号を調べて、自分で電話をかけられないことがある		24.8
7.	今日が何月何日かわからないことがある		33.3
8.	5分前のことを思い出すことができないことがある		27.7
9.	「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとと言われることがある		31.7
10.	どれもあてはまらない		11.6

無回答 6.4

問14 あなた(あて名のご本人)は、その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。(1つに○)

N=958

1.	困難なくできる	41.9
2.	いくらか困難であるが、できる	30.8
3.	判断する時に、他人からの合図や見守りが必要	12.6
4.	ほとんど判断できない	8.9

無回答 5.8

問15 あなた(あて名のご本人)は、自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○) N=958

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 伝えられる | 48.0 |
| 2. いくらか困難であるが、伝えられる | 30.2 |
| 3. あまり伝えられない | 11.3 |
| 4. ほとんど伝えられない | 5.3 |

無回答 5.2

問16 あなた(あて名のご本人)の身近には、次のようなあなたを支えてくれる人(近所の人、友人、家族や親族、サービス事業者など)がいますか。 N=958

- | | |
|--|------|
| 1. 週1回以上、話し相手になってくれる人 | 56.3 |
| 2. 週1回以上、定期的 ^{あんび} に安否を気遣ってくれる人 | 54.8 |
| 3. 困った時に相談にのってくれる人 | 59.2 |
| 4. 災害時に避難を支援してくれる人 | 38.2 |
| 5. ちょっとした手伝いや用事をお願いできる人 | 57.7 |
| 6. 具合が悪くなった時などに、連絡できる人 | 70.5 |
| 7. 具合が悪くなった時などに、駆けつけたり、手伝ってくれる人 ^か | 62.0 |
| 8. そのような人はいない | 6.7 |

あてはまるもの
すべてに○

無回答 6.4

問17 災害時の対応や避難等について、困ることや不安なことはありますか。 N=958

- | | |
|--|------|
| 1. 災害時のための水や食料などの備蓄をしていない | 40.7 |
| 2. 災害時家族と連絡をとる方法を決めていない | 34.7 |
| 3. 暮らしている地域の避難所を知らない | 34.1 |
| 4. 災害時に情報を得ることができるかどうか心配である | 44.5 |
| 5. 寝室の家具の固定をしていない | 44.5 |
| 6. 避難時に電気のブレーカーを下 ^{おろ} すことができない | 46.2 |
| 7. 避難所まで一人では避難できない | 58.5 |
| 8. 身体状況等から、通常の避難所では暮らせない | 46.2 |
| 9. 災害後、介護や支援してくれる人が身近にいない | 24.7 |
| 10. その他 ※具体的にご記入ください | 7.7 |
| 11. 特にない | 6.6 |

あてはまるもの
すべてに○

無回答 7.1

◆介護保険サービス等についておうかがいします

問18 区では、高齢者が住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者やその家族を総合的に支援する相談窓口として区内14か所に高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）※や出張相談窓口を設置しています。あなた（あて名のご本人）は、この高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）や出張相談窓口をごぞんじですか。（1つに○） N=958

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 知っているし、利用している（利用したことがある） | 43.8 |
| 2. 知っているが、利用したことはない | 26.2 |
| 3. 知らない、聞いたことがない | 24.9 |

無回答 5.0

※：葛飾区では、「地域包括支援センター」が高齢者の総合相談窓口であることが容易にわかるように、平成24年4月から、通称名として「高齢者総合相談センター」と呼んでいます。

問19 あなた（あて名のご本人）は、現在介護サービス、介護予防サービスを利用していますか。（1つに○） N=958

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. 利用している → 次ページの問20へ | 74.0 |
| 2. 利用していない | 19.5 |

無回答 6.5

問19-1 <2. 利用していないに○をした方>にお聞きます。あなた（あて名のご本人）がサービスを利用していない理由は何ですか。（主な理由1つに○） N=187

- | | |
|------------------------------|------|
| 1. 入院中であるため | 4.8 |
| 2. 自分で身の回りのことをするよう努力しているため | 31.6 |
| 3. 家族に介護してほしいため（他人に介護されるのが嫌） | 7.5 |
| 4. 他人を家の中に入れるのは抵抗があるため | 4.8 |
| 5. 利用方法がわからないため | 3.2 |
| 6. 利用したいサービスがないため | 4.3 |
| 7. 今のところサービスを受ける必要がないため | 27.8 |
| 8. 介護保険の利用にかかる費用を払えないため | 2.1 |
| 9. その他（ ） | 2.7 |
| 10. 特に理由はない | 8.6 |

無回答 2.7

↓
11ページの問22へ

問20 <問19で1. に○をした方>にお聞きします。あなた(あて名のご本人)のケアプラン(介護予防プラン)は希望どおりですか。 N=709

1. ケアプランは希望どおりである	あてはまるもの すべてに○	74.9
2. 希望するサービスが提供されていない	希望どおり ではない	4.4
3. 希望していないサービスが提供されている		1.7
4. サービスの利用回数が希望どおりではない		2.8
5. サービスの利用時間が希望どおりではない		3.4
6. プランやサービスに関する説明が不十分である		2.1
7. その他 ()		1.3

無回答 12.7

問21 <問19で1. に○をした方>にお聞きします。あなた(あて名のご本人)は、介護サービスについて、満足していますか。 N=709

1. 介護サービスに満足している	あてはまるもの すべてに○	72.5
2. 事業者には満足していない	満足して いない	3.5
3. 職員の技術や対応に満足していない		5.4
4. サービスの内容に満足していない		6.1
5. その他 ()		2.4

無回答 14.2

◆ここからは、全員におうかがいします

問22 あなた(あて名のご本人)は、今後、ご自宅で生活する上で、どのようなサービスを利用したい
と思いますか。 N=958

1. 訪問介護（ホームヘルプ）	あてはまるもの すべてに○	28.2
2. 訪問入浴介護		16.2
3. 訪問リハビリテーション		12.9
4. 訪問看護		16.8
5. 通所介護（デイサービス（地域密着型通所介護を含む））		24.6
6. 通所リハビリテーション（デイケア）		20.1
7. ショートステイ（短期入所生活介護・短期入所療養介護）		17.1
8. 居宅療養管理指導（医師・歯科医師・薬剤師による訪問指導）		12.7
9. 福祉用具貸与・特定福祉用具販売		23.7
10. 住宅改修費支給		12.6
11. 夜間対応型訪問介護		9.1
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（定期・随時の介護及び看護）		8.1
13. 小規模多機能型居宅介護（通い・泊り・訪問の複合サービス）		5.5
14. 認知症対応型通所介護（認知症の方のデイサービス）		8.4
15. わからない		8.6
16. 特にない		16.9

無回答 10.1

※選択肢11:夜間または早朝の定期的な巡回訪問やコールボタン(通報装置)でヘルパーを呼び出して、排泄介助などのサービスが利用できます。利用料は、定額の月額料金のほか、利用した回数分(サービスによって異なります)を負担します。

※選択肢12:定期巡回または通報によって24時間の訪問介護と訪問看護が利用できます。利用料は、利用回数に関わらず毎月定額を負担します。

問23 あなた(あて名のご本人)は、介護保険で定められている利用限度額に対して、どのくらいの割合を利用していますか。(1つに○) N=958

1. 上限いっぱい 利用している 14.1	2. 7割程度利用している 8.8
↓	3. 半分程度利用している 9.9
次ページの問24へ	4. 3割程度利用している 10.8
	5. ほとんど利用していない 14.0
	6. わからない 24.4

無回答 18.1

【参考 目安の月額金額：必要に応じて適用されるサービスにおける自己負担額の上限】

	1割負担の方	2割負担の方
要支援1の方	5,504円	11,007円
要支援2の方	11,521円	23,041円

	1割負担の方	2割負担の方
要介護1の方	18,362円	36,723円
要介護2の方	21,578円	43,156円
要介護3の方	29,625円	59,249円
要介護4の方	33,887円	67,774円
要介護5の方	39,672円	79,343円

次ページへ

N=650

無回答 22.8

(1つに○) N=958

無回答 9.6

特別養護老人ホーム	常時介護が必要で、家庭での生活が困難な場合に入所して生活する施設
老人保健施設	病状が安定し、リハビリを中心とする医療ケアと介護を必要とする場合に入所する施設
介護療養型医療施設	比較的長期にわたって、療養を必要とする場合に入院して利用する医療施設
グループホーム	認知症の方が少数で共同生活をおくりながら、介護を受ける施設
有料老人ホーム	食事の提供など、日常生活に必要なサービスが提供される民間の老人ホーム
ケアハウス	身体機能の低下などから独立して生活することが不安な方が入居し、食事や入浴などのサービスが受けられる施設。要介護の方が入居し、特養レベルのケアが受けられる介護専用型と、自立している方が入居し、要介護となった時に施設外の居宅サービスが受けられる従来型の２種類がある
サービス付き高齢者向け住宅	集合住宅で、段差がない等の特徴があり、安否確認と生活相談のサービスが提供され、食事(有料)等や在宅サービスを利用することもできる

要支援・要介護認定者 調査票 12

→ 問24-1 <問24で3～9に○をした方>にお聞きします。あなた(あて名のご本人)が、施設を利用したい(している)理由は何ですか。 N=110

1. 重度の介護を必要とするから	3.6
2. 介護してくれる人がいないから	16.4
3. 一人で住むには不安があるから	29.1
4. 自宅は介護に適さないから	21.8
5. 家族では介護が困難だから	43.6
6. 家族に迷惑をかけたくないから	34.5
7. 専門的な介護やお世話が受けられるから	34.5
8. 24時間介護やお世話が受けられるから	40.0
9. 掃除洗濯などの家事をしなくて済むから	12.7
10. 防犯、防災などの面で安心できるから	24.5
11. 医療的な対応を受けられるから	23.6
12. 費用負担が安くなるから	11.8
13. その他 ()	1.8

あてはまるもの
すべてに○

無回答 11.8

◆利用にかかる費用、介護保険料、経済状況についておうかがいします

問25 介護保険の利用にかかる費用は、どなたが負担していますか。(1つに○) N=958

1. あなた(あて名のご本人)の負担	63.7	3. あなた(あて名のご本人)と家族の両方の負担	10.1
2. 家族の負担	7.5	4. その他 ()	4.2

無回答 14.5

問26 あなた(あて名ご本人)の、今年の介護保険料(1年間合計)はいくらですか。(1つに○)

N=958

※介護保険料は、皆様に送付されている介護保険料納入通知書に記載されています。

1. 28,704円以下(第1段階)	16.9	9. 114,816円(第9段階)	2.0
2. 43,056円(第2段階)	7.4	10. 147,108円(第10段階)	1.5
3. 53,820円(第3段階)	5.2	11. 172,224円(第11段階)	0.6
4. 64,584円(第4段階)	8.0	12. 190,164円(第12段階)	0.3
5. 71,760円(第5段階)	4.5	13. 208,104円(第13段階)	0.0
6. 78,936円(第6段階)	4.2	14. 229,632円(第14段階)	0.2
7. 89,700円(第7段階)	4.8	15. 251,160円(第15段階)	0.7
8. 107,640円(第8段階)	2.8		

無回答 40.8

問27 あなた(あて名のご本人)は葛飾区の介護保険料について、どのように思いますか。
(1つに○) N=958

1. 適当である	14.3	4. どちらとも言えない	17.4
2. 高いと思う	24.7	5. わからない	32.0
3. 安いと思う	0.9		

無回答 10.5

問28 今後の介護保険サービスと介護保険料のあり方について、あなた(あて名のご本人)の意見に近いものはどれですか。(1つに○) N=958

1. 保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方が良い	20.7
2. 介護サービス・介護予防サービスを多少抑えても、保険料が安い方が おさ 良い	15.1
3. どちらとも言えない	37.4
4. わからない	16.9

無回答 9.9

◆区の高齢者施策についておうかがいします

問29 あなた(あて名のご本人)は葛飾区の福祉や介護に関する情報をどこから得ていますか。

N=958

1. テレビ	あてはまるもの すべてに○	9.5
2. ラジオ		2.2
3. 新聞		8.9
4. 区の広報、回覧板、ポスター		39.6
5. 友人、知人		10.5
6. 家族		17.2
7. 民生委員		3.0
8. ケアマネジャー		54.0
9. 高齢者総合相談センター、介護サービス事業所など		11.2
10. 公共施設(区役所、区民事務所、図書館など)		6.2
11. 区のホームページなど		3.4
12. その他()		1.0
13. 特にどこからも得ていない		8.6

無回答 6.5

問30 高齢者に対する施策として、区に充実して欲しいと思うことは何ですか。

N=958

あてはまるもの
すべてに○

- | | |
|------------------------------------|------|
| 1. 自宅で利用できるサービスを充実させること | 45.0 |
| 2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること | 31.3 |
| 3. 特別養護老人ホームなどの入所施設を整備すること | 31.1 |
| 4. 介護が必要になるのを防ぐため介護予防サービスを充実させること | 27.7 |
| 5. 介護度が重度化するのを防ぐ介護予防サービスを充実させること | 22.2 |
| 6. 認知症の予防のための取り組みを充実させること | 27.7 |
| 7. 介護保険サービスの質の向上に向けた指導・監査を強化すること | 20.4 |
| 8. 福祉や介護に関する情報提供を充実させること | 26.9 |
| 9. 医療に関する情報提供を充実させること | 19.9 |
| 10. 健康維持・体力づくり・仲間づくりの情報提供を充実させること | 19.8 |
| 11. 防犯に関する情報提供を充実させること | 16.3 |
| 12. 防災に関する情報提供を充実させること | 21.6 |
| 13. 健康維持などのため、気軽に運動できる場所や機会を提供すること | 23.6 |
| 14. 引きこもり防止のための活動・交流の場所や機会を提供すること | 16.8 |
| 15. 高齢者が住みやすい住宅を整備すること | 23.7 |
| 16. 公共機関や道路等のバリアフリー化を進めること | 27.8 |
| 17. 身近な地域のボランティア活動などを支援すること | 12.4 |
| 18. 困った時に気軽に相談できる場所を整備すること | 33.7 |
| 19. 高齢者の虐待防止や成年後見制度の利用支援などに力を入れること | 12.3 |
| 20. その他（ ） | 2.1 |

無回答 19.1

問31 区の高齢者施策(介護保険制度を含む)について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

◆介護の状況についておうかがいします

問32 あなた(あて名のご本人)を主に介護している方はどなたですか。

N=958

介護をしている方すべてに○、
中心的に介護をしている主な方ひとりに◎

	【介護者】	【主な介護者】
1. 配偶者	26.2	20.1
2. 息子・娘	39.2	24.7
3. 息子・娘の配偶者	10.8	4.4
4. 孫・ひ孫	3.5	0.2
5. あなたや配偶者の兄弟姉妹	1.9	1.0
6. その他の親族（ とうかん ）	1.1	0.4
7. ホームヘルパー、介護職員などのサービス提供者	17.7	9.3
8. 特にいない	12.4	12.4

無回答 17.4

無回答 27.3

★施設などに入所されていない方の調査は、ここで終わります。

★返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

★ご協力ありがとうございました。

★以降は、＜1～6に○をした方＞にお聞きします。

★介護をしている方がお答えください。

問32-1 あて名のご本人を主に介護している方の年齢お教えてください。

N=488

1. 40 歳代以下	9.8
2. 50 歳代	22.1
3. 60 歳代	16.8
4. 70 歳代	23.4
5. 80 歳代以上	13.7

無回答 14.1

↓
次ページへ

問32-2 主に介護をしている方がお困りのことはどのようなことですか。

N=488

1.	外出できない	24.6
2.	仕事との両立が難しい	24.4
3.	育児との両立が難しい	2.3
4.	家事との両立が難しい	10.9
5.	自分の時間が少なくなった	40.8
6.	身体的に疲れている	42.6
7.	精神的に疲れている	44.7
8.	健康状態が思わしくない	22.1
9.	経済的にゆとりがない	23.0
10.	相談できる相手がいない	5.5
11.	その他（ ）	4.9
12.	特に困っていることはない	12.7

あてはまるもの
すべてに○

無回答 15.8

★施設などに入所されていない方の調査は、ここで終わりです。

★返信用封筒に入れて、ポストに^{とうかん}投函してください。

★ご協力ありがとうございました。

※ 施設などに入所・入居している方が回答するページ ※

◎ここからは、施設などに入所・入居している方におうかがいします

◆施設等での生活についておうかがいします

問33 あなた(あて名のご本人)は、現在の施設(ホーム)等での生活についてどのように感じていますか。(1つに○) N=186

1. 満 足	32.3
2. どちらかと言えば満足	43.5
3. どちらかと言えば不満	10.8
4. 不 満	2.7

無回答 10.8

問34 あなた(あて名のご本人)は、現在の施設(ホーム)等に対する充実や改善の希望として、どのようなことがありますか。 N=186

1. 施設設備（居室・浴室など）の充実	10.8
2. 施設で提供される介護サービス（食事を除く）の充実	17.2
3. 施設職員の充実	28.5
4. 食事の充実	11.3
5. リハビリテーション・機能訓練の充実	22.6
6. 行事、レクリエーションなどの充実	14.5
7. 看護の充実と医療機関との連携の強化	12.4
8. 人権尊重の徹底	8.1
9. 話し相手などのボランティアの充実	25.8
10. 日常の事故防止対策の充実	14.5
11. 防災対策の充実	7.5
12. その他（ あてはまるものすべてに○ ）	8.6
13. 特にない	30.6

無回答 8.1

※ 施設などに入所・入居している方が回答するページ ※

◆利用にかかる費用、介護保険料、経済状況についておうかがいします

問35 介護保険の利用にかかる費用は、どなたが負担していますか。(1つに○) N=186

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. あなた（あて名のご本人）の負担 | 54.8 |
| 2. 家族の負担 | 9.7 |
| 3. あなた（あて名のご本人）と家族の両方の負担 | 23.7 |
| 4. その他（ ） | 5.9 |

無回答 5.9

問36 あなた(あて名ご本人)の、今年の介護保険料(1年間合計)はいくらですか。(1つに○)

N=186

- | | |
|---------------------|------|
| 1. 28,704円以下(第1段階) | 23.1 |
| 2. 43,056円(第2段階) | 12.9 |
| 3. 53,820円(第3段階) | 5.4 |
| 4. 64,584円(第4段階) | 10.8 |
| 5. 71,760円(第5段階) | 2.2 |
| 6. 78,936円(第6段階) | 4.3 |
| 7. 89,700円(第7段階) | 5.4 |
| 8. 107,640円(第8段階) | 2.2 |
| 9. 114,816円(第9段階) | 1.6 |
| 10. 147,108円(第10段階) | 3.2 |
| 11. 172,224円(第11段階) | 0.0 |
| 12. 190,164円(第12段階) | 0.0 |
| 13. 208,104円(第13段階) | 0.5 |
| 14. 229,632円(第14段階) | 0.5 |
| 15. 251,160円(第15段階) | 0.0 |

※介護保険料は、皆様に送付されている介護保険料納入通知書に記載されています。

無回答 28.0

※ 施設などに入所・入居している方が回答するページ ※

問37 あなた(あて名のご本人)は葛飾区の介護保険料について、どのように思いますか。

(1つに○)

N=186

1. 適当である	19.4	4. どちらとも言えない	23.7
2. 高いと思う	16.1	5. わからない	29.0
3. 安いと思う	2.2		

無回答 9.7

問38 今後の介護保険サービスと介護保険料のあり方について、あなた(あて名のご本人)の意見に近いものはどれですか。(1つに○)

N=186

1. 保険料は多少高くても、介護サービス・介護予防サービスが充実している方が良い	22.6
2. 介護サービス・介護予防サービスを多少抑えても、保険料が安い方が おさ 良い	12.9
3. どちらとも言えない	34.9
4. わからない	18.3

無回答 11.3

問39 区の高齢者施策(介護保険制度を含む)について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

★返信用封筒に入れて、ポストに投函とうかんしてください。

★ご協力ありがとうございました。

高齢者の生活に関する調査報告書

平成 2 9 年 3 月 発行

発 行

葛飾区福祉部福祉管理課

〒124-8555 葛飾区立石 5－1 3－1

電話 0 3（3 6 9 5）1 1 1 1

調査・分析

株式会社 コモン計画研究所

〒166-0015 杉並区成田東 5－3 5－1 5

THE PLAZA-F 2 階

電話 0 3（3 2 2 0）5 4 1 5

この冊子は印刷用の紙へリサイクルできます。

